

史料目録 第92集

愛知県下諸家文書目録  
(その1)

平成23年3月

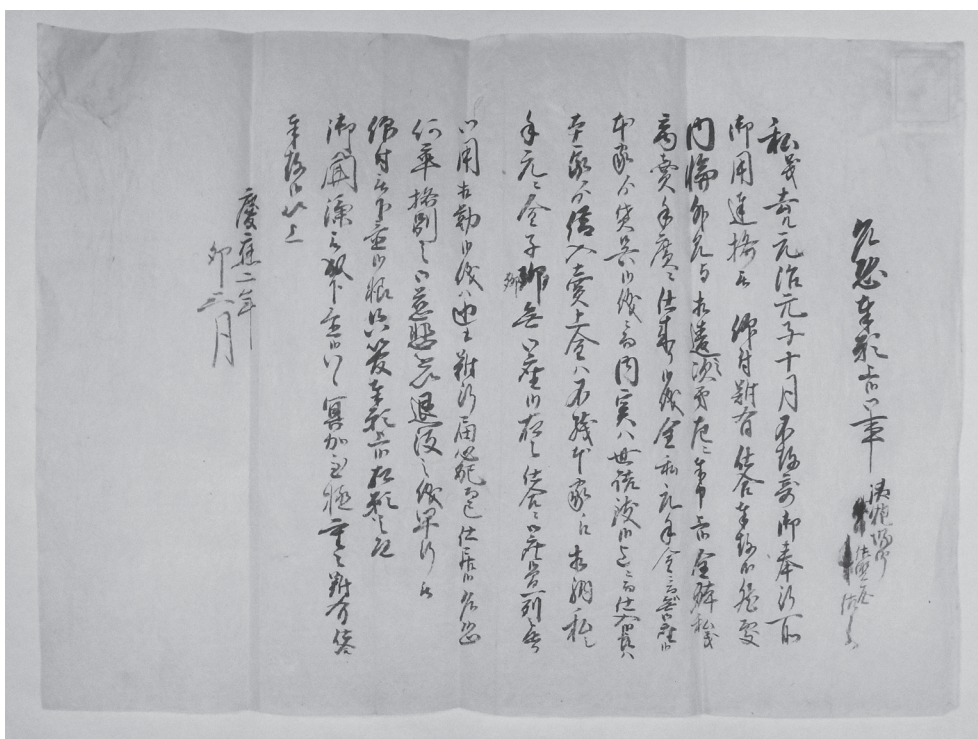
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館  
調査収集事業部

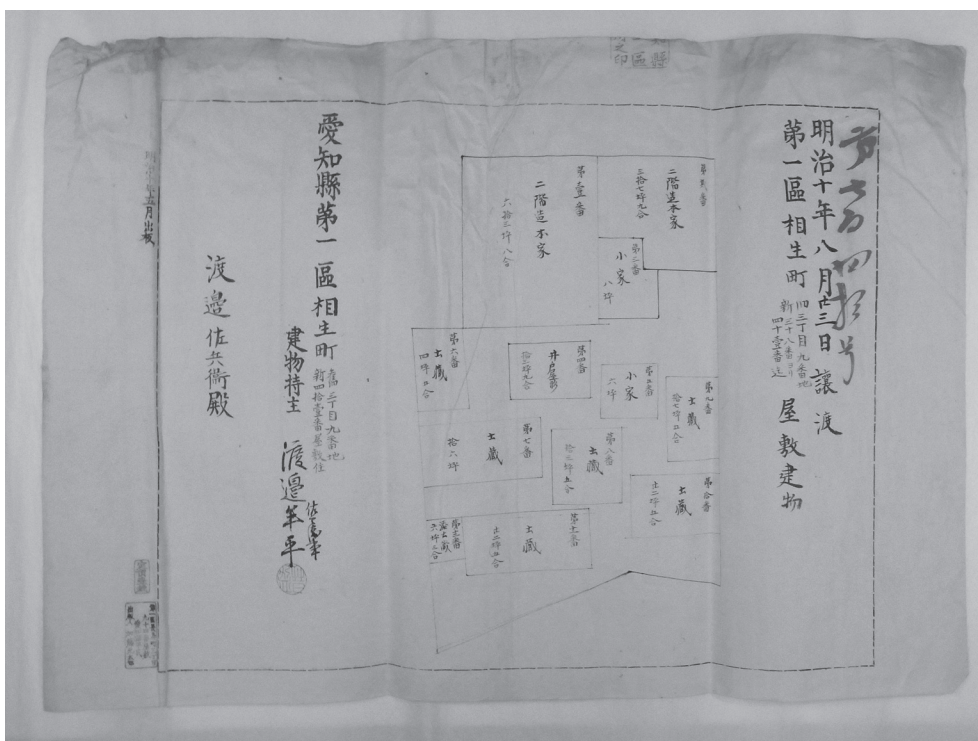
史料目録 第92集

愛知県下諸家文書目録  
(その1)

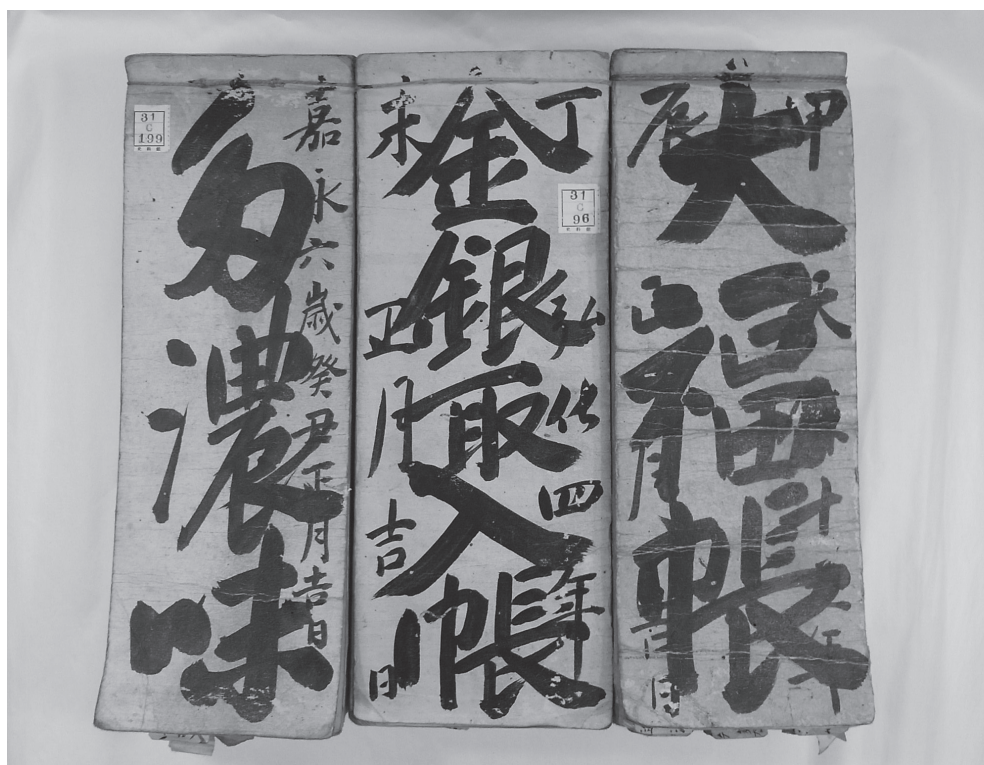




慶応 2 年町奉行所御用達並退役願下書（鉄砲塚町渡辺家文書 No. 65-1）



明治 10 年家督相続につき屋敷建物図（鉄砲塚町渡辺家文書 No. 61-2）



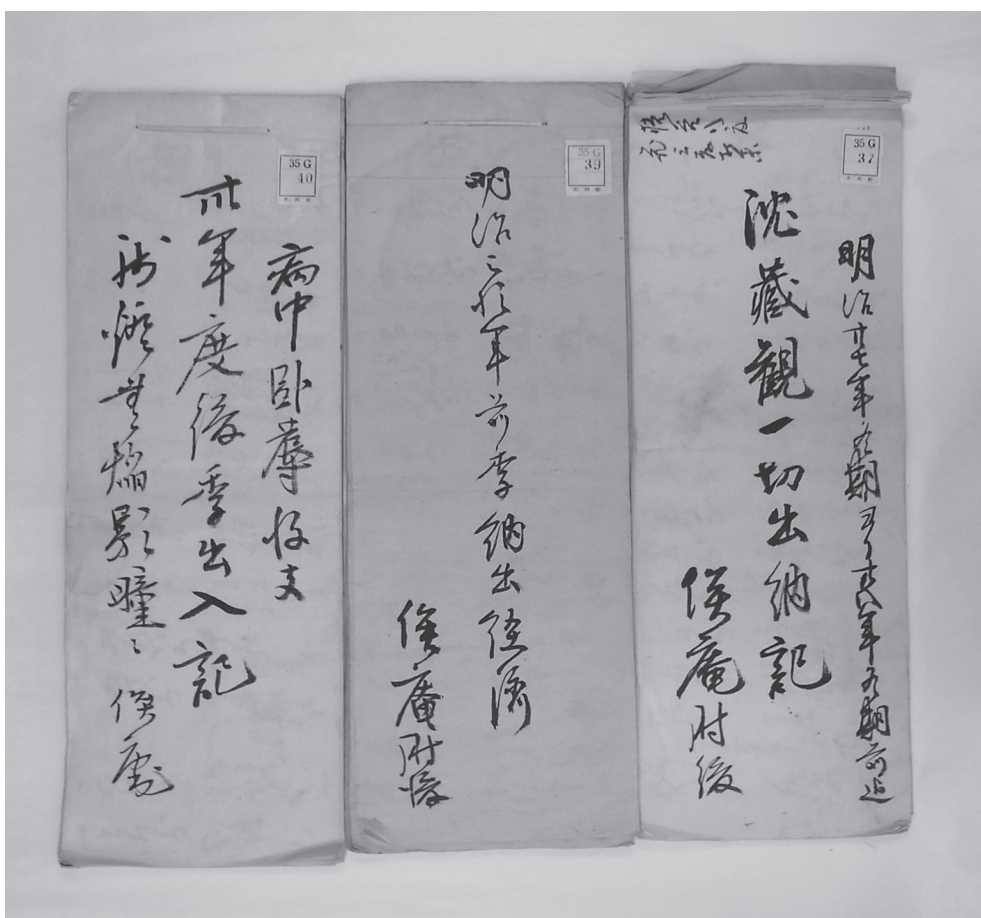
塩店・延店諸帳簿（大船町青木家文書No. 6・96・199）



諸国郷帳写（西陣町茜部家文書No. 105・57・58・59）



明治3年地割関係帳簿（甚目寺村吉川家文書 No. 69）



医塾「沈蔵観」関係記録（犬山鈴木家文書No. 37・39・40）

## 凡 例

- 本目録は、『史料目録』第92集として「尾張国名古屋鉄砲塚町渡辺家文書目録」(37X14)、「尾張国名古屋大船町知多屋青木家文書」(31C)、「尾張国名古屋西陣町茜部家文書」(36R 37A)、「尾張国海西郡村々免状その他史料」(23H)、「尾張国海西郡葛木村渡辺家文書」(23P)、「尾張国海東郡甚目寺村吉川家文書」(24D)、「尾張国丹羽郡犬山鈴木家文書」(35G)を収めた。
- 文書群の編成にあたっては、ISAD (G) (国際標準:記録記述の一般原則)の考え方も参考にしつつ、文書群を発生させた組織体・集団の役割や活動に留意し、文書群の持つ内的構造を復元することに努めた。各頁の肩に「3. 店方 /1. 焚味噌商 /2. 焚味噌組合」などと示し、各文書の階層中における位置を把握できるように配慮した。ただし、今回収録した文書群の中には文書点数が少量のものもあり、それらに関しては組織体のあり方を十分に検討することができず、文書群の階層構造についても便宜的なものとならざるをえなかった。
- 文書群最下階の文書配列は、原則として年代順とし、年欠文書は末尾に配列した。ただし、包紙入、こより紐で結わえられた文書についてはそのまとまりを尊重し、原則として最も適切と考えられる箇所一括掲載した。
- 本文記載は、ほぼ(1)表題、(2)作成者または差出人、(3)宛名、(4)作成年月日、(5)形態・数量、(6)整理番号の順である。包紙入などの一括情報は、(5)形態・数量に続けて/ (斜線) で区切った上で、これを明記した。また、紙質、文書の保存状態などの情報も同様に適宜注記した。
- 表題は原表題のあるものはそれを探り、ないものについては( ) を付して仮表題を与えた。また、表題のみでは内容が判別できないものについても、簡単な内容摘記をおこない、同様に( ) を付した。
- 作成年月日は和年号で示し、干支だけの場合はそれを採録した。推定年次については、( ) を付した。
- 史料の形態は、冊子型史料では、半(半紙縦折判)、美(美濃縦折判)、横長半(半紙横折判)、横長美(美濃横折判)、横半半折(半紙横折紙半折判)、横半列(半紙横折紙列帖装)などの略称によって原書の大概を示した。こうした表記の詳細については、『史料館所蔵史料目録』第50集の解題を参照されたい。書付型史料は、縦紙、縦折紙、縦切紙、縦継紙、横折紙、横切紙、横切継紙、小切紙、小紙などと表記した。また、綴られた文書の場合は、「3通1綴」などと、その構成を示した。
- 整理番号は、仮整理時に付与されたものを踏まえ、一部に関しては今回新たにこれを付与した。枝番号の付与基準は必ずしも物理的な関係を示すものとはなっていない。

本目録は、大友一雄がこれを担当し、調査収集事業部の種村威史がこれを補佐した。目録作成においては、「尾張国名古屋大船町知多屋青木家文書」については名エン株式会社、「尾張国海西郡葛木村渡辺家文書」については同家文書の一部を所蔵する名古屋市博物館、同館学芸員種田祐司氏、「尾張国丹羽郡犬山鈴木家文書」については愛知県犬山市の近藤薫氏、尾張国海東郡甚目寺村吉川家文書に関しては、漆部神社・美和歴史民俗博物館、吉川家の皆様に情報や調査についてのご協力を賜った。また、文書の目録データの作成にあたっては榎本博、鈴木直樹、北村厚介、萩原拓己、芹口真結子、武林弘恵、武子裕美、望月良親、以上の各氏の協力を得た。

# 総 目 次

口 絵

凡 例

総目次

愛知県下諸家文書 その1

尾張国名古屋鉄砲塚町渡辺家文書目録目録

目録本文細目次 .....	2
解 題 .....	5
目録本文 .....	21

尾張国名古屋大船町知多屋青木家文書目録

目録本文細目次 .....	110
解 題 .....	111
目録本文 .....	117

尾張国名古屋西陣町茜部家文書目録

目録本文細目次 .....	130
解 題 .....	131
目録本文 .....	135

尾張国海西郡村々免状その他史料目録

目録本文細目次 .....	150
解 題 .....	151
目録本文 .....	157

尾張国海西郡葛木村渡辺家文書目録

目録本文細目次 .....	178
解 題 .....	179
目録本文 .....	183

尾張国海東郡甚目寺村吉川家文書目録

目録本文細目次 .....	188
解 題 .....	189
目録本文 .....	193

尾張国丹羽郡犬山鈴木家文書目録

目録本文細目次 .....	200
解　　題 .....	201
目録本文 .....	207

# 尾張国名古屋鉄砲塚町渡辺家文書目録

---

尾張国名古屋鉄砲塚町渡辺家文書目録 本文細目次〔文書群の構造〕

---

<b>1. 町役人</b>	21
1.1. 鉄砲塚町町代	21
1.1.1. 御用	
1.1.2. 町政	
1.1.3. 祭礼	
1.1.4. 任免	
<b>2. 御用</b>	22
2.1. 町奉行所御用達	22
2.1.1. 任免など	
2.1.2. 軍用金	
2.1.3. 帰田金	
2.1.4. 御備講金	
2.2. 国産御用掛	23
<b>3. 内方</b>	24
3.1. 資産	24
3.1.1. 総勘定	
3.1.2. 運用など	
3.1.3. 不動産	
3.2. 金銭貸借	28
3.2.1. 貸与	
3.2.2. 藩士貸	
3.2.3. 借入	
3.2.4. 訴訟	
3.2.5. 書状	
3.2.6. その他	
3.3. 講金	35
3.4. 金銭授受	36
3.5. 金銭勘定	36
3.6. 借家経営	36
3.7. 地主経営	37
3.7.1. 土地譲渡	
3.7.2. 掟米	
<b>4. 店方</b>	39
4.1. 焚味噌商	39

4.1.1. 経営・資本（1. 本家関係、2. 店・社屋、3. 分店）	
4.1.2. 焚味噌組合（1. 年行司、2. 廻状、3. 交際、4. 取決、5. 会社）	
4.1.3. 役所関係（1. 届・願、2. 通達など）	
4.1.4. 資産・資金	
4.1.5. 店卸帳	
4.1.6. 取引（1. 仕入・注文、2. 送り状、3. 仕切、4. 値段、5. 支払、6. 通帳、7. 預札、8. 取引札）	
4.1.7. 出入・裁判	
4.1.8. 勘定（1. 売上、2. 諸勘定、3. 正金・札金）	
4.1.9. 製造	
4.1.10. 奉公人・職人	
4.1.11. 諸活動（1. 丸屋幸八、2. 笹屋又左衛門）	
4.1.12. 書状	
4.2. 綿商	78
4.2.1. 資金	
4.2.2. 株	
4.2.3. 取引	
4.2.4. 金銭勘定	
4.2.5. 情報	
4.3. 諸商	81
4.3.1. 肥料商	
4.3.2. 茶碗屋	
4.3.3. 古物商	
<b>5. 家</b>	<b>83</b>
5.1. 家屋普請	83
5.2. 家政	83
5.2.1. 役所関係	
5.2.2. 町関係	
5.3. 家族	84
5.3.1. 相続	
5.3.2. 家訓	
5.3.3. 諸動向	
5.3.4. 書状	
5.4. 冠婚葬祭	87
5.4.1. 祝事	
5.4.2. 仏事	
5.5. 教育教養	88
5.5.1. 学校	
5.5.2. 教養	

5.5.3. 諸芸能	
5.6. 家計	90
5.6.1. 買物	
5.6.2. 支払	
5.7. 交際	96
5.7.1. 贈答	
5.7.2. 寄付	
5.7.3. 交流	
5.7.4. 書状	
5.8. 信仰	105
5.9. 衛生	106
5.10. 諸活動	106
5.11. 乳母奉公	107
5.12. 日記	107
5.13. 物品	107

## 尾張国名古屋鉄砲塚町渡辺家文書目録解題

文書群記号	37X14
文書群名	<small>おわりのくに な ご やてつぼうづかちようわたなべけもんじょ</small> 尾張国名古屋鉄砲塚町渡辺家文書
年 代	天明5年(1785)～昭和30年(1955)(江戸時代後期から明治30年代のものが大半である)
数 量	1994 件 (枝番号も含めた本目録上での文書件数)

### 入手の経過

1962 年度に他の 37X の文書とともに一括して故紙業者より購入。

### 渡辺家の歴史

尾張国名古屋鉄砲塚町（現、愛知県名古屋市東区相生町）において居を構えた渡辺家は、江戸時代後期から昭和期にかけて味噌噌醤油の製造・販売などの商売を行う商人であり、屋号・商店名を「佐野屋」と称した。また、幕末期には一時鉄砲塚町の町役人である町代、また、尾張藩町奉行所御用達などを勤めた。同家歴代の当主については、現存する文書の検討から作成した解題末の渡辺家略系図を参照されたい。

本文書群から特定できる最初の当主は、文政～弘化期にかけて活動した佐兵衛である（便宜的にこの人物を初代とする）。家の成立に関しては不確かな面が少なくないが、隣町九十軒町（または萱町）で味噌噌商売を行った「佐野屋与右衛門」を本屋・本家と呼んでおり、「佐野屋与右衛門家」の味噌噌商売と連動する形で商いを始めたことが考えられる。ただし、佐野屋与右衛門家と佐野屋佐兵衛家の関係は、親族関係ではなく、「佐野屋与右衛門召仕」であり、住居についても当初は「九十軒町与右衛門扣借家」に居住した（No28-672）。商売上では佐野屋を名乗り、近隣で商売を始めたことから明らかに両者の関係は極めて深い。渡辺家は時に別家などとも表記される。

佐野屋与右衛門家について少し補足するならば、同家は、鉄砲塚町の南側の「九十軒町」に店舗を構え、同町の四つ辻は「佐野屋の辻」と呼ばれたという。これは同町に尾张国丹羽郡千秋村宇佐野（現、愛知県一宮市）から中村清左衛門・同与右衛門が転入し道路をへだてて家建て、それぞれ酒屋、味噌屋を始め、同町随一の富豪となったことから、屋号を用いて辻の名称がつけられたという（出典は当面『愛知県の地名』平凡社 109 頁）。伝承であるが、佐野屋与右衛門の出自や商売上の位置を伝えるものといえる。

また、渡辺家文書からは、文政9年（1826）、佐野屋与右衛門が駒屋瑞甫から味噌噌株・売場・諸道具などを金 230 両で購入し（No70）、これと同時に同人から名古屋城下鉄砲塚町「中ノ切西側」など3か所を金 500 両で入手したことが明らかである（No49-9）。こうした与右衛門家の商売の拡大に伴い佐兵衛は、その器量が認められ、佐野屋を名乗ることや独立しての味噌噌商売が認められたとも考えられる。

なお、佐野屋与右衛門が駒屋瑞甫から購入した味噌噌い道具類一式、建物敷地などの権利証文類は、佐野屋佐兵衛家に伝来しており、最終的に与右衛門から佐兵衛へと譲渡されていったことも考えられるが確証はない。

佐兵衛家が「佐野屋」の屋号は用いた事例は、確認の範囲であるが天保4年（1833）6月を初発と

する（No47-3）。この段階には一定程度独立を果たし、商いを開始したとみてよからう。

天保期以前の状況は文書も少なく、多くが不明であるが、天保15年（1844）には戸主佐兵衛至光と継子定治郎晋盈が署名する家訓書が伝来する（No28-235、No28-563）。定治郎（または定次郎）はすでに天保13年12月11日の図解帳（和算）に名前が見えるが、家訓書作成後に代替わりがあり、定次郎が2代目「佐野屋佐兵衛」を名乗ったとみられる。同人は文政10年（1827）生まれ、20歳頃に相続したことになる。嘉永1年（1848）に名古屋東田町三浦伊兵衛長女つな（天保3年（1832）生）と結婚し、安政2年（1855）に長男定次郎（のち3代目佐兵衛）が、万延1年（1860）に次男鋤三郎が誕生した。隠居は明治10年（1877）4月であり、役所に戸主交代の願いが提出され、3代目佐兵衛に引き継ぐ。

3代目は明治11年に名古屋赤塚町児玉嘉助姉すずと結婚し、明治13年長男嘉一が、明治24年には次男貞治が誕生したが、明治27年離縁となる。この間、明治17年には体調不良から戸主を退き、母親つなと交代する。佐兵衛は主税町80番地に転居し、書画・骨董などを扱う古物商を開店する。

つなは明治33年3月6日まで戸主にあるが、この間、書類上は長男佐兵衛を名目上の代理人とする段階、金森喜七・鈴木芳太郎などが代理人を勤める段階、孫である貞治を世子としてつなが代理人を務める段階（明治31年7月12日、貞治は廃嫡となり、鋤三郎の養子となる。No62-15）、そして、明治31年には伊藤又七家へ養子に出ていた鋤三郎が復籍し、つなの代理を務める段階があり、書類上の署名者などが各段階でそれぞれ変化するが、無年号文書の年代特定の上で一つの目安となる。

復籍した鋤三郎は、明治31年7月10日に名古屋長堀町荒川清九郎娘きく（明治9年3月2日生）と結婚するが、明治39年11月23日に亡くなり、兄（3代目佐兵衛）の次男貞治が戸主となる。同人は明治24年生まれ、15歳で家を継いだことになる。大正9年（1920）10月、千種町加藤金次郎三女きみ（明治33年9月21日生）と結婚し、長男佐兵衛（大正11年4月21日生）を含む2男2女を得た。

したがって、佐野屋佐兵衛家の経営は、初代佐兵衛－定次郎（2代目佐兵衛）－定次郎（3代目佐兵衛）－つな－鋤三郎－貞治－佐兵衛と引き継がれた。改めて、それぞれが経営責任者（戸主）であった期間を示すならば次の通りである。

初代佐兵衛（文政期頃～弘化期）、2代佐兵衛（弘化期～明治10年）、3代佐兵衛（明治10年～明治17年）、4代つな（明治17年10月6日～明治33年3月6日）、5代鋤三郎（明治33年3月～明治39年11月23日）、6代貞治（明治39年11月～未詳）、7代佐兵衛（未詳）

現存する大半の文書は、これらの戸主による経営関係のものである。

居屋敷・焚味噌製造販売所は複数存在し、また移動を確認できる。既述のように初代佐兵衛は、当初「九拾軒町佐野屋与右衛門召仕佐兵衛」（No28-672）として出発し、「九十軒町与右衛門扣借家」に居住したが、その後時期は不明であるが鉄砲塚町で居屋敷・店舗を構えた。2代目佐兵衛は元治1年（1864）10月に鉄砲塚町の町代に就任しており（No65-1）、町内で確固たる地位を築いたといえる。本家との関係においても次第に独立していったことが考えられる。なお、鉄砲塚町は本家があった九十軒町の北側にあり、武家地と町地が混在する地域であった。町内には味噌商永楽屋伝右衛門や薬舗駒屋小左衛門なども店舗を構えていた。町名は明治4年（1871）に相生町と改称し、その後大区制の成立・廃止などに伴い地番なども変更となった。

すなわち、明治6年（1873）6月時、2代目佐兵衛は第1大区6小区相生町3丁目9番地（No46-98）に店を構えたが、明治10年4月の文書では第1区相生町3丁目旧9番地新41番に地番変更となる。

居屋敷・製造所などの地番変更をまとめると次の通りである。

相生町旧3丁目9番地 →新38番～41番迄屋敷建物

相生町旧3丁目8番地 →新37番屋敷

相生町旧3丁目24番地 →新163番・229番・230番屋敷

なお、明治8年7月には、相生町3丁目9番地家作建物を表間口8間通3戸に仕切って借家に転用した。また、長短期的に複数の屋敷地、店舗・製造場を所有する状況も見られる。さらに居屋敷の移動もある。明治10年に3代目佐兵衛は、新番41番屋敷に居住した（No62-12）が、明治21年（1888）12月28日のニーラ溜製造見込石数減届では、相生町44番戸に移った。その後、明治25年6月の所得金高届では、名古屋市相生町49番戸渡辺つなとある（No41-13）が、明治27年12月17日の地所建物書入借用金証券では住所を尾張国名古屋市相生町44番戸渡辺つなとする（No48-17）。なお、店舗・製造所と居屋敷はこれも分離を確認できる。同家の主要な製造場所は、上記の番地とは異なり、「名古屋区相生町3丁目17番地 製造場醤油製造人渡辺つな」（明治18年）とする文書が多数を占める。

明治38年3月27日には、土地建物売渡証文（相生町3丁目18番宅地74坪）では、本家名古屋市萱屋町2番戸中村与右衛門が名古屋市相生町3丁目17番地を渡辺鋤三郎へ売却する。当時、3丁目17番地には、製造所を有したわけであり、その隣の土地を本家から入手したことになる。

明治期は、主に相生町3丁目17番地、相生町41、44、46、49番などを拠点に活動し、地続きなどに屋敷地を増やし、また、資金調達などに関連してそれらを売却、また質に入れ、さらにその一部が借屋などに利用されたのである。

以上、現存する文書・記録に関わり、渡辺家の歴史を概観したが、渡辺家の商売については、文書群の階層構造との関わりで説明したい。

## 文書群の構造と内容

渡辺家文書は、先祖代々の諸活動を通じて蓄積されたものであるが、それらは活動や役割のあり方から、1. 町役人、2. 御用、3. 内方、4. 店方、5. 家の5つの文書群に編成できると考えられた。それぞれの構造と内容は次の通りである。

### 1. 町役人

幕末期、2代目佐兵衛は鉄砲塚町の町代を勤めた。関係する文書件数が11件、年代は上限元治1年（1864）、下限明治5年（1872）である。文書数は少数であるが、1.1.1. 御用、1.1.2. 町政、1.1.3. 祭礼、1.1.4. 任免に編成した。名古屋の町制は、全町的な存在として惣町代、各町に町代－組頭が置かれた。一般に言われるところの町名主が町代であり、町役人は町運営に参政権を有する家持層から選ばれた。佐兵衛が鉄砲塚町の町代に就任した経緯などは、文書点数も少なく明らかではないが、就任は幕末元治1年、慶応2年（1866）には退職願いが出されている。1.1.1. 御用は、元治1年の長州戦争に関わる兵糧焚き出しに関するものである。前藩主慶勝が長州征討軍総督を勤めたことにより、領民に様々な負担が課せられたが、これもその一つである。

1.1.2. 町政には、町民と関わる町代の具体的な機能に関する文書を示した。質流証文への奥印、鉄砲塚町宗門人別帳作成、処分屋敷の売払事務、町役帳面作成などである。1.1.3 祭礼は町の自立的な取り組みとしての町内祭礼に関するものを、1.1.4. 任免は、慶応3年（1867）7月付けの持病を理由とする町代退役を求める願書のみであるが、項目をとくに立てた。

## 2. 御用

本文書群の件数は20件、年代は上限元治1年(1864)、下限明治8年(1875)である。御用は臨時の務めに関わるものを対象として、文書を2.1.町奉行所御用達、2.2.国産御用掛のもとに編成した。

2.1.町奉行所御用達では1.任免など、2.軍用金、3.帰田金、4.御備講金の機能の柱を見出し、文書個々をそれぞれ配置した。現存する文書は18点と少量であり、対象年代は元治1年から明治初期のものであり、ここでは「町奉行所御用達」と表記されるほかに「町奉行所御用達格」「町奉行所御用達並」とする文書も確認できる。幕末、尾張藩では御用達商人を細かく序列編成し、上納金負担などによって上位の階位へと昇進できる仕組みを導入した。渡辺佐兵衛の就任は元治1年、長州戦争などによる経費分担の問題に関係して御用達に登録されたことが考えられる。慶応2年退職を願い出るが、そこでは軍費金皆納が不可能であること、商いの売上金を残らず本家へ納めるため手元不如意であることが記される(No65-1)。

2.1.2.軍用金は、元治1年佐兵衛に上納が命じられた軍用金の分納・延納に関するものであり、長州戦争後も分納が続いている。点数は9点。2.1.3.帰田金は秩禄処分により、士族の特権が剥奪され、生活困窮に陥った士族対策として明治3年(1870)に藩が導入したものである。具体的には士族身分のまま藩内各地の適当な土地に分散帰農させる政策に関わり、その資金上納が御用達の商家や村人に命じられた。ここにはその関連の文書をまとめた。なお、この方策は明治4年7月、新政府が廃藩置県を宣言したことで継続不可能となり、翌明治5年2月限りで停止となっている。2.1.4.御備講金も、その詳細は不明であるが、藩に関する無尽金と考えられる。

2.2.国産御用掛は、明治4年の廃藩置県以前尾張藩が独自に導入した方策の一つであり、本文書群には明治2年11月19日と見られる鉄砲塚町佐野屋佐兵衛と永楽屋治兵衛の御国産御用掛への任命書、福島出張会所御用向勤めの通達が伝存する。

## 3. 内方

渡辺家における諸活動のうちとくに経済的な面での活動は、年々総決算がなされ帳簿が整備されていた。こうした計画的な資産管理や経営管理は前近代段階にすでに見られ、店舗商売などの店方と対置させて、内方の活動と捉えられる。渡辺家の場合、総勘定帳は明治11年(1878)から現存しており、経営の拡大、多角化のなかで、店方と内方を分離する認識が深まったことが考えられる(渡辺家文書に「内方」の文言が具体的に見られるのは、「(明治)三十九年十一月小栗第一分店什器調査」(No28-449)である)。よって、家全体の経済活動に関わる文書を本目録では、**3. 内方**として編成した。

3.内方に関する文書群は、総件数314件、年代上限は文政1年(1818)(内容年代は明和8年)、下限は明治38年である。対象文書は3.1.資産、3.2.金銭貸借、3.3.講金、3.4.金銭授受、3.5.金銭勘定、3.6.借家経営、3.7.地主経営に編成した。これらの柱のもとでの編成の詳細は本文詳細目次〔文書群の構造〕に示した通りである。

3.1.資産の件数は91件、年代は上限天保15年(1844)、下限明治38年(1905)である。本文書群は3.1.1.総勘定、3.1.2.運用など、3.1.3.不動産と編成した。総勘定では、明治11年(1878)～33年にいたる同家の経済活動に関する総勘定帳を収めた。事業ごとに上半期と通年での勘定がなされており、本文書は渡辺家の活動の柱を見いだす上でも重要である。なお、金銭ばかりでなく有物なども踏まえた総勘定となっている。運用などは他者への出資、銀行での運用などに関するものである。不動産は土地や

屋敷地の取引に関するものを示した。「扣地之覚」(No28-457)は、簡単なメモ書きであるが、渡辺家の明和8年(1771)から文化11年(1814)11月にかけての土地取得状況が記される。明和期に須ヶ口村に土地を求め、文化期には丸の内に土地を求めているが、後の渡辺家の活動と繋げて理解することが課題である。

3.2. 金銭貸借に関する文書は、数量が165件、この上限は天保2年(1831)、下限は明治38年である。3.2.1. 貸与、3.2.2. 藩士貸、3.2.3. 借入、3.2.4. 訴訟、3.2.5. 書状、3.2.6. その他に編成したが、件数が多い貸与・借入は商売に関するものである。借入では安政3年(1856)、明治9年(1876)、同11年などに大きな金額の動きを指摘できる。いずれも当主の交代などと関連する年次である。また、名古屋城下という立地とも関連して尾張藩士への貸与が天保から安政期に見られる。少額であるが、同家の経営基盤の確立などと無関係ではなかろう。訴訟・書状・その他に編成した文書も、金銭貸借に関するものである。

3.3. 講金は、対象文書が7点、いずれも幕末のものであり、商人仲間の金銭融通のための無尽講に関する文書である。永楽講・相続講の名前が見られるが、その具体的な運営については明らかでない。文書は講員としてのものと、講元担当時のものとが見られる。本来、区別すべきであるが、点数も少ないため同じ編成とした。

3.4. 金銭授受は、対象となる文書9件、時代は明治期である。ここには5.6. 家計、4. 店方以外の金銭授受関係文書を編成した。

3.5. 金銭勘定は、対象となる文書12件、いずれも無年号であるが、明治期のものが大半と思われる。店方・家計などとは一緒にしにくいものを収めた。なかには目的そのものが不明なものも見られた。

3.6. 借家経営は、対象となる文書16件、時代は上限が文政1年、下限が明治16年である。佐野屋与右衛門宛の借家請状1通、佐野屋宗右衛門宛の借家請状4通が含まれるが、渡辺家との明確な関係を見いだすことはできなかった。ただし、渡辺家の借家経営と関係するものと考え、ここに編成した。渡辺家の借家経営では、明治9年に居屋敷を3つに分け借家としている。予備の土地を取得した城下町商人の運用方法の1つとして借家経営があったといえる。

3.7. 地主経営は、3.7.1. 土地譲渡、3.7.2. 掟米に編成した。対象となる文書は14件、その大半が明治15年(1882)の文書である。渡辺家がどのような経緯から地主経営に乗り出すのか、未確認であるが、明治15年頃の成立と推定される「三河国挙母村長興寺村内所持地地券書上帳」(No51-8)によれば、取得地は29筆8反7畝余・地価金487円余、掟米は4石8斗7升余とある。作人は三河国西加茂郡下林村の鈴木栄吉・鈴木岩太郎・鈴木磯吉・鈴木吉蔵などであった。ただし、地主経営はさほど長く続かず、明治20年代の総勘定帳には記載がない。この点についても詳細は不明である。

#### **4. 店方**

渡辺家文書のうち質量両面で注目されるのが、名古屋商人としての商いに関する文書群である。対象年代は天明5年(1785)～昭和30年(1955)、数量は980点、とくに幕末から明治40年代の文書が良く残っている。店方での商売は焚味噌を中心に複数に見られるため、商売ごとに4.1. 焚味噌商、4.2. 綿商、4.3. 諸商(肥料商・茶碗屋・古物商)の柱を立て関係の文書を編成した。なお、3.1.1. 総勘定などには、各商売の年間収支が示されるので、あわせて確認することが必要である。また、家業としての商売であるため、他の文書も商売と無関係とはいえない。本文書の利用の際にはこれらの点に

関する留意が必要である。

#### 4.1. 焚味噌商

4.1. 焚味噌商は同家がもっとも重視した商売である。既述の通り本家佐野屋与右衛門家の商売に関わり、同じ佐野屋を冠して初代佐兵衛にはじまる。その経緯は不明であるが、天保期頃には店舗を構えたものと見られ、天保13年（1842）3月に導入される尾張藩の株仲間解散との関連も考えられる。対象文書の上限は天明5年（1785）、下限は昭和30年（1955）である。4.1. 焚味噌商に関する文書は、その活動に関わり、4.1.1. 経営・資本、4.1.2. 焚味噌組合、4.1.3. 役所関係、4.1.4. 資産・資金、4.1.5. 店卸帳、4.1.6. 取引、4.1.7. 出入・裁判、4.1.8. 勘定、4.1.9. 製造、4.1.10. 奉公人・職人、4.1.11. 諸活動、4.1.12. 書状に編成した。

このうち4.1.1. 経営・資本は、1. 本家関係、2. 店・社屋、3. 分店に編成した。1. 本家関係は、点数12点、対象年代は文政9年（1826）～明治13年（1880）である。ここでは本家佐野屋与右衛門家に関わる文書を編成した。既述のごとく初代佐兵衛は本家の商売に「召仕」として関わり、後に佐野屋佐兵衛として別家したが、その後も本家と深く関係していた。この点はさまざまな記録で確認できるが、ここでは商売に関わると見られるものを編成した。文政9年、焚味噌商売を行った駒屋瑞甫から佐野屋与右衛門への味噌商売の権利、居屋敷、諸道具譲渡に関する文書類も含まれる。譲渡額は730両に及ぶが、証文に佐兵衛の名前は見え、渡辺家に伝来した理由が明確ではない。本家との関係、あるいは対象施設などの権利が佐兵衛家に移ったことも考えてここに配した。佐兵衛家と直接関係する文書では、本家からの小納戸金入金覚帳、金子借用証文（借入金190両）、年々御下金の覚書、恩借金返済仕法などに関する書類、また、本家へ忠勤を賞した尾張藩の報奨金などに関する文書がある。経営面では明治13年代においても本家との関係は深かったといえる。

2. 店・社屋は、明治期のもの5点を編成した。商号登録・商標見本・居屋敷土蔵などの図面などからなるが、他でも触れるが居屋敷・製造所などは4.1.3. 役所関係のうちの届・願や、5.3.1. 相続などにそれぞれの目的から存在するので合わせて参照願いたい。

3. 分店は、明治18年（1885）から同39年（1906）の文書6点を編成した。明治18年の2件の新規営業届は尾張国中嶋郡萩原村酒井民次郎方借請営業、同郡一宮村内伊東仙十郎扣家借請規営業に関するもの、明治28年には伊藤家に養子に出た2代佐兵衛の次男鋤三郎が醬油味噌塩酢4種を取扱う分店支配人を勤めることに関する文書、さらに明治39年11月の小栗分店開店に関わる文書を収めた。同家が様々な形で営業の拡大を計っていたことがわかる記録といえる。

4.1.2. 焚味噌組合は、1. 年行司、2. 廻状、3. 交際、4. 取決、5. 会社編成した。点数は130点、上限は天明5年（1785）、下限は明治9年（1876）である。この組合文書では組織論的に2分すべきものを合わせて示した。すなわち、渡辺家は名古屋における焚味噌仲間の構成員であると同時にその組合の年行司などを時に勤めており、本来、構成員としての文書と年行司としての文書は分離することが考えられた。しかし、いずれに属するのか判断に迷う文書も存在したため、両者を一括して示すことにした。文書閲覧者はその点に留意されたい。

1. 年行司の対象年代は文久1年（1861）～明治8年、文書件数は47件である。名古屋には様々な商いごとに同業者が「仲間」を結成し、諸問題の解決や藩関係の事務を処理していた。渡辺家は「焚味噌仲間」に属した。味噌仲間・味噌溜仲間などの記載も見られるが、ここでは焚味噌仲間と同意で

あると捉えた（なお、醤油仲間に関わると考えられる文書も見られたが、渡辺家との関係は未確認）。焚味噌仲間には惣代があり、いくつか的地域的なまとまり（組）を統括した。渡辺家や本家中村家は「東組」に属し、「年行司」（世話方などという）を置いて、惣代からの伝達や組内の事務を担当した。幕末維新期の年行司の定員は2名である。名称からは年番での勤めを予想させるが、幕末維新期には渡辺佐兵衛が連年勤め、相方のみが交代している。文久2年段階の東組は、年行司が佐野屋与右衛門・佐野屋佐兵衛、構成員は京丸屋善六、柏屋佐兵衛、品野屋彦三郎、干鰯屋善蔵、八木屋弥兵衛、三輪屋甚左衛門、扇屋半七、山本屋甚兵衛、佐野屋宗右衛門、鍋屋源兵衛である（No28-671）。現存する文書からは、藩からの通達、構成員からの連絡書類、冥加金取立、鑑札の受け渡しなどに関する事務を確認できる。

2. 廻状には、惣代からの連絡を受けて順達されたもの、年行司が独自に組内の事務に関わり順達するものなどがある。何れの場合も、順達された廻状は最終的には発信者である年行司に戻される。渡辺家に現存する廻状はこうして回収された廻状や写などである。無年号のものが大半であるが、件数は64点である。

3. 交際は、「味噌屋御連中」による会食に関する文書など4点を収めた。組内での会合などに関するものと思われる。4. 取決では、焚味噌仲間や各組が活動に関わって作成した様々な取り決めなどに関する文書を編成した。件数は11点、対象年限は天明5年（1785）～明治2年である。天明5年の味噌屋仲間掟書写が含まれるが、新興の渡辺家にとっても重要な情報であり、おそらくは仲間入りなどに関わり書写されたものであろう。他には文政11年の味噌溜り商人組合取決め、弘化・安政の消防に関する取決め、原料である大豆の取扱い規則、升取扱い規則などがある。5. 会社は、明治4年（1871）、焚味噌仲間が新規に設立した焚味噌通商会社、明治5年の入津醤油会社の規則や組織などの文書を配置した。点数は4点である。

4.1.3. 役所関係は、1. 届・願、2. 通達などを編成した。対象年次は明治5年（1872）～25年（1892）、数量は288件。県による売人掌握に関わり、関係者は様々な対応を求められた。たとえば、県は売上金高届、醤油製造営業免許鑑札、溜り醪及溜現在高届、溜味噌買入届、溜醤油製造見込石届、醤油製造場建物並諸器械調書、醤油製造搾り器械封緘御請書、味噌現在高届、醤油製造方法書、醤油味噌御検査、醤油製造搾り器械御解封願などの提出を求めた。原料仕入れ、製造方法（原料配分）、製造高、仕込み桶・時期、そして売上げなど、全体がガラス張りにされた状態といえる。製造が終わると検査員が桶などに封をし、利用においても検査員が封を解く決まりであった。県の直接の窓口は時期的に変化するが「醤油税検査官」を宛所とする文書が多数を占める。目録編成では目的ごとに細かに編成せずに、編年順に示した。なお、役所への報告書から所得高・売買高・資産状況などを表化して本解説末に示した（第1～3表）。

4.1.4. 資産・資金は、対象年次が明治14年（1881）～19年、数量は7件。会社借入金関係、売上仕入駄賃など勘定書、醤油醸造関係道具類、商物保有高総勘定などを編成した。

4.1.5. 店卸帳は、焚味噌商に関わる現在品の勘定帳であり、6月と12月、年2回勘定がなされた。現存する文書は明治23年（1890）～41年、数量は12件である。

4.1.6. 取引は、1. 仕入・注文、2. 送り状、3. 仕切、4. 値段、5. 支払、6. 通帳、7. 預札、8. 取引札に編成した。対象件数は227件、年代は慶応3年～明治39年である。このうち1. 仕入・注文は120件、2. 送り状45件と数量が多いが、その大半はいずれも明治28年の日付であり、偶然に同年分がそっくり残っ

たことが考えられる。3. 仕切、5. 支払なども同様であるが、いずれも日々の商売のなかで発生したものであり、数値情報が集約された県への報告書などとは異なる一次的な文書である。4. 値段は販売品物の値段書などである。6. 通帳には、慶応3年（1867）～明治39年（1906）の通帳30冊を編成した。通帳の大半は「味噌溜御通」と題されたものであり、渡辺家（佐野屋）が小売の顧客に与えたものである。逆に佐野屋が買い手となった通帳も数点見られる。塩・酢・酒・薪などであり、商売との関係が考えられるため、ここに一緒に収めた。7. 預札は、小さな札であり、そこには佐野屋佐兵衛の名前、割印などが見られることから溜などの預り証という名称付与が適当と判断したが、その利用方法は不明である。数量は71件。8. 取引札も同様に使途は不明であるが、取引に関わる番号札であると考えここに編成した。数量は16件である。

4.1.7. 出入・裁判は、明治23年の車力による商品横領、明治27年の商品代金未納に伴い相手を訴えたことによる裁判記録などからなる。件数10件である。

4.1.8. 勘定は、1. 売上、2. 諸勘定、3. 正金・札金に編成した。数量は139件、対象年次は明治12年～45年である。売上の勘定書や諸勘定のなかには、メモ的なものも少なくない。また、正金・札金として編成した紙片もその利用目的は不明であり、断簡のようでもある。

4.1.9. 製造には、22件の文書を編成した。年代は文政12年（1829）～明治28年（1895）、製造秘伝書、原料関係、仕込み、諸道具に関するものなどを収めた。

4.1.10. 奉公人・職人の文書件数は12件、年代は上限文政10年（1827）、下限明治34年（1901）である。文政期の奉公人に関する文書が6件見られるが、これは佐野屋宗右衛門家の奉公人に関するものである。佐野屋宗右衛門家は、渡辺家同様に佐野屋与右衛門家を本家とする家であった可能性が高い。焚味噌組合で佐野屋を冠するのは、この3家のみである。

4.1.11. 諸活動は、1. 丸屋幸八、2. 笹屋又左衛門と編成した。1. 丸屋幸八は件数4件、上限は天保3年（1832）、下限は明治5年（1872）である。丸屋幸八（近藤幸八）は江戸時代に藩の御表具師を勤め、明治5年には味噌溜商売のための平商鑑札の交付を願う。現存する文書4件のうち3件は御表具師に関するものである。これらが渡辺家に伝来した理由は特定できなかった。また、2. 笹屋又左衛門は、明治5年～明治10年にいたる笹屋の味噌醤油などの売掛金請取帳である。東田町笹又、笹又出店などと文書にあり名古屋東田町に出店していたものと考えられるが、これらの文書が渡辺家に伝来した理由については明らかに出来なかった。

4.1.12. 書状は、焚味噌商に関することが明らかな書状16点を置いた。5. 家7. 交際4. 書状に関連するものが含まれることが予想される。合わせて参照されたい。

## 4.2. 綿商

渡辺家における綿商に関する経営文書は件数54件、年代は天保5年（1834）～明治10年（1877）である。これらを4.2.1. 資金、4.2.2. 株、4.2.3. 取引、4.2.4. 金銭勘定、4.2.5. 情報と編成した。

残存する文書の残り方からすると、その開始は焚味噌商よりも古い可能性がある。ただし、商売は単独ではなく、銭屋新右衛門との共同での商いである。開始においては本家から資金150両を借り入れており、その時の借金証文には「今般綿商売銭屋新右衛門と仲満商致申候ニ附為元手金難在拝借申候」（No47-6）とある。借用主は「佐野屋佐兵衛」、仲満商の相手銭屋新右衛門が「加判」する。また、同証文には「金子銭屋新右衛門方江差遣引置候間、万一私如何之儀有之候共新右衛門方より元利急度皆

済可仕候」とあり、本家からの借入金は新右衛門に渡っていた。渡辺家が出資者、銭屋新右衛門が実質的な運営を行う形といえそうである。両者の間での金銭受け渡しは、これ以外にも見られる。また銭屋新右衛門宛の文書が少なからず見られるが、これも以上のような仲満商に由来すると考えられる。この商売の終了時期は明らかでないが、残された文書からは、2代目佐兵衛の代に終了したことが考えられる。なお、綿に関する取引文書などでは、この商売に関わる文書であるのか、また、家の活動や暮らしに関わるものであるのか、特定できないものも存在した。利用にあたっては留意願いたい。

#### 4.3. 諸商

渡辺家は、焚味噌や綿商の他に 4.3.1. 肥料商・4.3.2. 茶碗屋・4.3.3. 古物商を行った。

4.3.1. 肥料商の文書件数は 11 件。明治 14 年（1881）6 月付けの肥物小売業廃業届が名古屋区役所区長宛に出されており、同家が肥料を商ったことが明らかであるが、無年号の文書やメモ的なものが大半であり、詳細は不明である。なお、本商売は本業の焚味噌製造を通じて発生した大豆の搾り粕などを扱う派生的な商いであった可能性が高い。

4.3.2. 茶碗屋は文書件数 2 件。「茶わん屋株買入之覚」（No46-9）によれば、天保 12 年（1841）7 月、佐野屋佐兵衛は茶碗屋に関わり大曾根万屋善九郎が所持していた瀬戸物本業染附株札を買入れている。代金は 1 両 2 分であるが、世話方 3 軒へ礼物 1 分、会所へ礼物酒 1 升、盆前御運 1 匁、株口入道具屋元兵衛礼 5 匁の支出を見ている。また、「茶わん屋株買入之覚」には、当時の尾張藩における焼き物商売の諸団体が示されており、渡辺家の位置を焼き物商売全体のなかで理解することもできる。ただし、商売を具体的に示す記録類は本文書群に見られない。

4.3.3. 古物商は文書件数 12 点。明治 28 年（1895）12 月 10 日付けで古物営業願が鍋屋町警察署長宛に出されており、その開始年を確認できる。願い主は、当時、隠居して主税町 80 番戸に居住した 3 代佐兵衛であり、店舗箇所も同人の住居箇所と同様である。古道具・古書画・古本などを扱う。焼き物などの仕入れに関する文書も見られるが、多くは無年号であり、活動時期などは不明である。なお、こうした文書群の存在からは、隠居別居していた 3 代佐兵衛の文書類も最終的には本家の文書群に組み入れられたことが考えられる。

### 5. 家

本文書群の年代は上限が天保 2 年（1831）、下限が明治 44 年（1911）、件数は 669 件である。文書群は 5.1. 家屋普請、5.2. 家政、5.3. 家族、5.4. 冠婚葬祭、5.5. 教育教養、5.6. 家計、5.7. 交際、5.8. 信仰、5.9. 衛生、5.10. 諸活動、5.11. 乳母奉公、5.12. 日記、5.13. 物品からなる。なお、家族の諸動向は商売の許可や届けなどに関わり、経営文書の中にも散見する。略系図作成のための基本的情報もそれらによっている（例えば No37-1-5 ～ 8 など）。

5.1. 家屋普請は文書件数 9 件、年次は明治 21 ～ 39 年であるが、無年号のものも多い。建材・建具購入や建物維持に関わると見られる職人手間に関するものなどからなる。

5.2. 家政は、5.2.1 役所関係、5.2.2 町関係からなる。文書件数は 18 件、対象年次は明治 3 ～ 31 年である。役所関係には戸籍関係の届、印鑑証明願、寄留届など役所と関わるものを配した。なお、5.3.1 相続にも役所宛のものが含まれるので、利用に当たって留意願いたい。町関係は家と町組に関わるものの、例えば町組の溝堀割費の受け取りなどを配した。

5.3. 家族は件数 51 件、5.3.1 相続、5.3.2 家訓、5.3.3 諸動向、5.3.4 書状からなる。5.3.1 相続は文書件数 32 件、

年次は天保2年(1831)～明治31年(1898)である。ここには渡辺家の戸主の交代などに伴う役所への提出書類を主に収めた。とくに明治10年時の2代佐兵衛から3代佐兵衛への相続に関する文書は充実しており、屋敷地や製造所の配置図、商売関係の機器・道具類などの書き上げは、同家の商売を知る上でも欠かせない。なお、ここには天保2・5年、甚兵衛という人物から庄兵衛・友次郎への相続に関する文書もあわせて配した。渡辺家と相当関係の深い家であることは間違いなく、初代佐兵衛が甚兵衛代理として相続に立ち会ったことにより、関連文書が伝来したと考えられる。5.3.2 家訓には、天保15年2月作成の初代佐兵衛の掟書など3点を配置した。そのうちの一つには「掟書一子相伝」などとあり、初代渡辺佐兵衛至光と2代定治郎晋盈の署名捺印が見られる(No28-563)。初代は嘉永1年以前に亡くなっており、倅への代替わりに関連して親子連名の掟書が作成されたことが考えられる。なお、同文書には「右掟手書本書は本家ニ納ル也、定治郎借用致写之」とあり、この掟書は本家が有したものを借り出し、それを写して作成している。本家・別家が同じ価値観であることが期待された結果ではなかろうか。5.3.3 諸動向は件数4件、対象年代は明治22年から明治44年である。家族の諸動向や同家に居留した人々に関する文書などからなる。なお、居留者のなかには商売関係のものが含まれることも考えられる。5.3.4 書状には親族間における書簡を配した。件数12件、無年号のものが大半である。

5.4. 冠婚葬祭は件数44件、年次は文久3年(1863)～明治39年(1906)である。親族を中心に渡辺家が拘わった冠婚葬祭に関する文書を祝事、仏事に分けて編成した。

5.5. 教育教養は、5.5.1 学校、5.5.2 教養、5.5.3 諸芸能からなる。件数は43件、年次は天保13年(1842)～明治31年(1898)である。学校は入学願いや授業参観など、教養は和歌・俳句・漢詩などの作品や、作品批評に関するものなどからなる。和歌・俳諧などは創作グループに属し、そこでの活動の結果生み出されたものが多い。諸芸能は能・狂言などの情報に関するものである。教養・諸芸能とも年次を欠くものが大半であるが、各当主とも程度の差はあれ、素養として身につけることが求められていたのではなかろうか。なお、5.7.4. 書状に教養や芸能に関する文書が少なくない。あわせて確認されたい。

5.6. 家計は、5.6.1 買物と5.6.2 支払に編成した。総件数185件、年次は天保7年(1836)～明治31年(1898)であるが、無年号のものが多くを占めるため、この年限に止まることを意味するものではない。5.6.1 買物は名古屋での買物の領収書・買物品書上等からなる。婚礼などに関連したものや家普請などの金銭請取なども一部含まれる。件数は154件である。5.6.2 支払は、料理屋・人力車・船賃などの支払いに関係するものであり、件数は31件である。

5.7. 交際は、5.7.1 贈答、5.7.2 寄付、5.7.3 交流、5.7.4 書状からなる。総件数256件、記年号の文書にみる年限は弘化2年(1845)～明治31年(1898)である。詳細は目録本文によるが、贈答には、本家からの出産祝いなど祝義7年間分の書上げもみられ、本家との関係が経済的な関係に止まらなかったことを確認できる(No46-38)。寄付は嘉永3年(1850)大洪水に伴う人々への味噌などの寄付行為や学校建築などの寄付行為に関する文書からなる。書状は、233件とその件数が多い。さまざまな意思伝達が書状を用いてなされており、とくに諸芸能に関するものが多い。5.5. 教育教養とあわせて利用願いたい。

5.8. 信仰は、文書件数21件、年次は慶応3年(1867)～明治15年(1882)であり、祭礼や社寺参詣などに関する文書からなる。

5.9. 衛生は、文書件数3件、家族の健康や衛生などの文書である。

5.10. 諸活動は、件数 32 件、年限は安政 5 年（1858）～明治 29 年（1896）、商売などには収まらない諸活動に関する文書を配置した。

5.11. 乳母奉公は、天保 4 年（1833）のもの 1 件のみである。宛名は渡辺家ではなく、佐野屋宗右衛門宛である。現存理由は不明である。

5.12. 日記は、2 件、年次は不明である。

5.13. 物品は、白紙 4 枚を配した。文書などに混じってモノ資料が発見されることが少なくないが、物品として編成すべきものがあると考えた。たとえば文具などはモノとして管理されたわけであり、秩序の復元を試みるならば物品が適当であろう。

### 渡辺家文書の整理方針

渡辺家文書は、昭和 37 年（1962）度に古紙業者より文部省史料館が受け入れ、文書群記号 37X14 を与え、これまで仮整理のまま閲覧に供してきたものである。今回、目録刊行にあたってはこの仮整理の文書配列順にしたがい、これまでの仮番号を生かしながら、文書群個々に整理番号を与えた。

また、渡辺家文書には一件書類が袋や紙縫で一括りにされるものが少なかった。これらはすでに付されていた整理番号に枝番号、孫番号を用いて目録上に示し、同時に形態欄に封筒入・紐括り・袋入などと状態を明記した。ただし、これらの中には、便宜的にひとまとまりとされたものも多く見られ、綴られたもの相互の関係が必ずしも明瞭でないものもあった。したがって、目録の作成では、これらを組織機能との関わりで然るべき位置に移動させることをおこなった。枝番号が与えられた文書が、まとまりを離れ、各所に散在する状況は、こうした理由による。また、やや煩雑な感があったが、各文書ごとに一括状況（たとえば「No.28-112 は 13 冊紐一括」など）を記して、利用者に伝来状態を伝えることが出来るように配慮した。

なお、枝番号表記のすべてが、こうした集合的な状況を示すものではない。過去の仮整理段階では、同内容の文書を取り集め枝番号を付すことが行われたため、仮整理での番号を引き継いだ本目録では、枝番号が形態的な特徴を示す場合と、内容的なまとまりを示す場合がある。集合的状況は、前述のごとく形態欄に示した注記によって判断されたい。

**史料状態** 綴じ紐が切れた文書が見られる。重要と判断された文書の一部が裏打ちされている。

**検索手段** 本目録（国文学研究資料館調査収集事業部『史料目録』第 92 集）。

**複製の存在** とくにない。

### 関連史料

徳川林政史研究所蔵「尾張国名古屋史料」に渡辺佐兵衛による文書が 3 点ほど確認される。

### 出版物

渡辺家文書を用いた出版物はないと考えられるが、渡辺家文書を理解する上で参考となる図書には次のものなどがある。

- ・『名古屋市史』産業篇（大正 4 年 8 月、名古屋市）
- ・『新修名古屋市史』第 3 卷（平成 11 年 3 月、名古屋市）
- ・『新修名古屋市史』第 4 卷（平成 11 年 3 月、名古屋市）

**記述日** 2010 年 12 月 10 日（担当大友一雄）

[illegible]

第 1 表 渡辺家所得金額表

年代	合計	営業 (味噌溜)	営業 (門前町分 店味噌溜)	貸家業 (主税町)	貸家業 (相生町)	給料	無記名整理 公債	配当金 (利金)
明治 22年度								
明治 23年度								
明治 24年度								
明治 25年度	129. 00. 0	82. 00. 0					5. 00. 0	42. 00. 0
明治 26年度	125. 61. 0	80. 20. 0					5. 00. 0	44. 01. 6
明治 27年度	306. 20. 0	260. 20. 1					5. 00. 0	40. 00. 0
明治 28年度	310. 21. 5	270. 21. 5						40. 00. 0
明治 29年度	354. 35. 0	295. 37. 0		3. 98. 0				55. 00. 0
明治 30年度	346. 47. 2	280. 05. 1		7. 05. 0				59. 56. 7
明治 31年度	362. 02. 2	353. 97. 9		8. 04. 7				
明治 32年度	370. 15. 5	361. 29. 5		8. 86. 0				
明治 33年度	492. 99. 2	486. 42. 3		6. 56. 9				
明治 34年度	440. 89. 2	436. 45. 8		4. 43. 4				
明治 35年度	405. 39. 7	401. 57. 2		3. 82. 5				
明治 36年度	317. 48. 4	303. 08. 4		14. 40. 0				
明治 37年度	422. 38. 7	284. 38. 7		18. 00. 0		120. 00. 0		
明治 38年度	440. 73. 2	259. 23. 2	150. 00. 0	18. 00. 0	13. 50. 0			
明治 39年度								
明治 40年度	342. 56. 0	300. 80. 0		20. 16. 0	21. 60. 0			
明治 41年度								
明治 42年度	515. 88. 0	350. 00. 0		136. 80. 0	29. 08. 0			
明治 43年度	471. 20. 0	260. 00. 0		136. 80. 0	74. 40. 0			
明治 44年度								
大正 1 年度								
大正 2 年度								
大正 3 年度								
大正 4 年度								
大正 5 年度								
大正 6 年度								
大正 7 年度								
大正 8 年度								
大正 9 年度	2433. 00. 0	930. 00. 0		900. 00. 0	468. 00. 0			135. 00. 0
大正 10年度								

注：単位は円・銭・厘。円と銭に該当する箇所には、を入れた。

出典：「(醸造営業届・願書など役所関係書類控)」(No. 37-1-6)

第2表 渡辺家売上高など

年代	名義	売上金高				建物賃貸金			従業員数 (人)
		合計	味噌	醤油	塩	合計	土地建物 に属する分	造作その他 諸色分	
明治22年度	渡辺つな	6213.44.5	5623.84.5		589.60.0				
明治23年度		7476.65.4	6670.70.0		805.95.4				
明治24年度		7885.19.9	2971.42.9	4457.14.4	456.62.6				
明治25年度		7555.96.9	2786.97.1	4180.45.5	588.54.3				
明治26年度		7163.78.7	1767.92.3	4735.31.9	660.54.5				
明治27年度		6233.89.5	1539.31.8	4310.26.8	384.30.9				
明治28年度		6290.13.5	1378.45.2	4487.78.2	423.90.1				
明治29年度		7431.05.0	1617.75.5	5280.03.1	533.26.4				7
明治30年度									
明治31年度		14408.24.9	11275.11.6		3133.13.3	88.20.0	84.00.0	4.20.0	7
明治32年度			14209.18.7		3225.16.4	88.20.0	84.00.0	4.20.0	7
明治33年度	渡辺鋤三郎		17203.33.7		3722.52.6	99.75.0	95.00.0	4.75.0	7
明治34年度			16500.00.0		3500.00.0	122.60.9	116.07.7	5.83.9	7
明治35年度			15232.99.0		3197.58.6	124.69.0	118.75.0	5.91.4	7
明治36年度			14014.14.7		2983.33.4	141.54.0	134.80.0	6.74.0	7
明治37年度			12961.64.0		3276.16.1	144.90.0	138.00.0	6.90.0	7
明治38年度	渡辺貞治		12639.71.4		3357.84.7	144.90.0	138.00.0	6.90.0	6
明治39年度			10870.46.4		3724.05.5	144.90.0	138.00.0	6.90.0	6
明治40年度			10997.23.1		4042.81.6	150.00.0	142.50.0	7.50.0	6
明治41年度			6000.00.0		6000.00.0	150.00.0			5
明治42年度			8000.00.0		6000.00.0	180.00.0			6
明治43年度			8999.31.3		4045.24.4	210.00.0			6
明治44年度			7791.20.0		3861.39.3	240.00.0			4
大正1年度			9655.87.5		4851.72.6	240.00.0			6
大正2年度			8283.59.7		4719.15.0	240.00.0			4
大正3年度			8330.52.0		4544.88.0	240.00.0			4
大正4年度			6988.00.6		4032.34.6	240.00.0			4
大正5年度			8042.00.0		3957.00.0	362.00.0			4
大正6年度			8226.00.0		4375.00.0	448.00.0			4
大正7年度			8356.00.0		4977.00.0	448.00.0			4
大正8年度			10662.00.0		6876.00.0	584.00.0			4
大正9年度			9190.00.0		7161.00.0	584.00.0			3
大正10年度			6810.00.0		5913.00.0	584.00.0			3

注：単位は円・銭・厘である。円と銭に該当する箇所に．を入れた。

出典：「(醸造営業届・願書など役所関係書類控)」(No. 37-1-6)

第3表 渡辺家資産状況（明治19年）

種別1	種別2	種別3	数量	種別1	種別2	種別3	数量
醤油製造場	製造に属する分	倉庫	4棟	醤油製造諸器械	烙印セシ分	槽蓋	1
		倉庫2階	4ヶ所			極木	7
		釜場	2ヶ所			台輪	1
		槽場	1ヶ所			層	4
		納家	1棟			釜蓋	2
		塩廬	1ヶ所			受桶	1
		井戸屋形	1ヶ所			カツキ桶	4
		庇	4ヶ所			カスリ	1
		掛出	1ヶ所			半役	5
	製造に属せざる分	居宅	1棟		烙印セザル分	小詰桶	2
		倉庫	2棟			水囊	3
		掛出	2ヶ所			フンシ	3
		雪隠	2ヶ所			水通シ	3
		桶数	101			樽	1
		槽	1			締ノ木	1
		男柱	1			樋	1
		締メ木	1			半切桶	1
		半切桶	7			掛ケ袋	170
醤油製造諸器械	烙印セシ分	試シ桶	11		烙印セザル分	釜	3
		挑桶	1			鎧竹	1
		擔桶	4			掛石	13
		杓	9			甌寶	2
		櫛	1			カマス	10
		垂レ桶	1			筵	300
		臼	2			箱	2
		杵	4			寶	10
		搥	2			箕	3
		木鍬	7			火箸	2
		漏斗	3			火計	1
		櫛子	17			塩廬	5ヶ所
		寶板	1			釜	1

出典：「明治十九年醤油製石検査簿」（No. 38-2）



表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

## 1.町役人

### 1.1.鉄砲塚町町代

#### 1.1.1.御用

永伝兵糧焚出之覚	(元治1年)11月～12月5日)	横長半・1冊<2丁墨>/ (No.31は紐一括)	31-6
兵糧焚出之覚(12月27日～正月5日まで)	元治1年甲子12月11日	横長半・1冊<2丁墨>	31-5
覚(兵糧諸品代金割当分金17両2分受取) 伊藤喜兵衛(印文)「銭喜」→佐野屋佐兵衛様	(元治1年)子12月25日夕	横切紙・1通	28-440

#### 1.1.2.町政

永代質流相渡申家屋鋪之事(鉄砲塚町内北ノ切東側代金146両にて質流れ) 家屋敷渡主嘉八、町代理兵衛・佐兵衛外4名→仏屋信太郎殿	慶応2年寅11月	縦紙・1通	49-11
鉄砲塚町宗門人別帳下書(新規異同書上) 町代佐兵衛・理兵衛	慶応3卯年3月	半・1冊<13丁墨>	33
取落品之覚(鼠羅紗紙入1つ天満宮で取落し) 和泉町笹屋伝兵衛(印)/(奥書)同(和泉町)年寄吹原文三郎(印)	(明治5年)壬申2月	縦紙・1通	68-10
(伊兵衛処分屋敷売払につき書状) 中根→佐野屋佐兵衛殿	未6月	横切継紙・1通	28-573
(町役帳面へ貼り付けのため土蔵代金受取書写依頼につき書状) 伊奈→さのや佐兵衛様	9月朔日	横切継紙・1通	28-581
(土蔵壊しの件につき書状) 中根八右衛門→佐野屋佐兵衛様	26日	横切継紙・1通	28-575

#### 1.1.3.祭礼

(町内祭礼につき諸品寄附書上帳)		横長半・1冊<2丁墨>/ (No. 31は紐一括)	31-2
------------------	--	---------------------------	------

#### 1.1.4.任免

乍恐奉願上候御事(持病につき町代役御免願下書) 鉄砲町町代佐兵衛	慶応3年卯7月	縦紙・1通	67
----------------------------------	---------	-------	----

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

## 2.御用

### 2.1.町奉行所御用達

#### 2.1.1.任免など

(去亥年御上京の節献上物奇特につき御庭焼の陶器下付申渡) (町奉行所)→町奉行所御用達佐野屋佐兵衛	(元治1年)7月	横切継紙・1通	28-626
乍恐奉願上候御事(売上金残らず本家へ納め手元不如意につき御奉行所御用達並退役願下書) 鉄砲町佐野屋佐兵衛	慶応2年卯(マ)3月	堅紙・1通	65-1
(別家佐兵衛昨冬御奉行所御用達格就任の処御軍費金皆納不可能に付退役願下書)		横切継紙・1通	28-681
(別家佐兵衛昨冬御奉行所御用達格就任の処御軍費金皆納不可能に付退役願下書)		横切継紙・1通	28-682
(別家佐兵衛御奉行所御用達退役願下書)		横切継紙・1通/(前欠力)	28-684

#### 2.1.2.軍用金

乍恐御歎願奉申上候御事(軍用金130両のうち50両のみ一括上納願) 鉄砲塚町佐野屋佐兵衛(印墨消)	(元治1年)子10月	半・1冊<3丁墨>	65-5
(御軍費調達金残金80両上納願状并上納金証文雛形)	元治2年丑1月	横切紙・1通	28-214
乍恐口上之覚(御軍費調達金130両のうち80両取賄い不能につき他借上納願ならびに他借証文) 田嶋屋嘉兵衛	(元治2年)丑1月	半・1冊	65-2
乍恐奉願上候御事(別家佐兵衛御用達格退役ならびに軍用金減額願) (本家)中村はる	(元治2年)丑1月	半・1冊<2丁墨>	65-7
覚(軍費金16両2分2朱と銀3匁余受取書) 町奉行所(印)→佐野屋佐兵衛	慶応2年寅7月24日	堅切紙・1通	65-6
乍恐奉願上候御事(手元金不如意につき軍費金分割納入願) 鉄砲塚町佐野屋佐兵衛(印切抜)	(慶応3年)卯6月	堅紙・1通	65-8
覚(軍費金上納状況につき申上書) 鉄砲塚町佐野屋佐兵衛(印墨消)	(慶応3年)卯8月	堅紙・1通	65-4
覚(調達金札金450両受取) 銭屋喜兵衛(印)→佐野屋佐兵衛様	巳9月22日	横切紙・1通	28-278
(軍費金上納延引願)		堅切紙・1通	65-3

#### 2.1.3.帰田金

記(帰田調達金14円上納証書下書) 相生町渡辺佐兵衛	明治6年10月	堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.46は紐一括)	46-104
記(帰田調達金14円上納証書下書) 相生町佐野屋渡辺佐兵衛	明治6年10月	堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.46は紐一括)	46-106
証(旧藩士帰田資金調達のところ下げ渡しにつき受取書) 第1大区市中用達格頭取渡辺佐兵衛(印)	明治8年7月6日	堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.60は紐一綴)	60-4

## 2.1.4. 御備講金

(御備講金受取書綴) 御備講懸→佐野屋佐兵衛殿		堅紙・3点一綴<3 丁墨>/ (木版刷)/ (綴目に付箋)	50-1
-------------------------	--	-------------------------------------	------

## 2.2. 国産御用掛

(鉄砲塚町佐野屋佐兵衛・永楽屋治兵衛御国産御用掛 任命書写) *端裏書に「明治二巳十一月十九日御申付ニ 相成候写 本書永楽屋治兵衛方ニ有之候」	(明治2年)11月(19日)	小切紙・1通/(紙 縫紐あり)	28-542
(鉄砲塚町佐野屋佐兵衛・永楽屋治兵衛国産御用掛任 命のうえ福島出張会所御用向勤めるべき旨通達)		小切紙・1通	28-551

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

### 3.内方

#### 3.1.資産

##### 3.1.1.総勘定

奥印(11年の有金812円など勘定)	(明治12年)	小切紙・1通/(後欠力)	28-539
明治十一戊寅ヨリ同十二己卯マテ勘定帳(肥物粕種粕差引損益勘定帳) 渡辺佐兵衛	(明治12年)	半・1冊<4丁墨>/ (黒色罫紙)	39-1
明治十二己卯勘定帳(醤油・溜・味噌・有物売上差引勘定帳) 渡辺佐兵衛	(明治12年)	半・1冊<6丁墨>/ (黒色罫紙)	39-2
(明治12年分肥物粕種粕差引勘定帳) (渡辺佐兵衛)	(明治12年)	罫紙・2通/(黒色罫紙)	39-3
(明治12年分醤油・溜・味噌・有物売上差引勘定帳下書) (渡辺佐兵衛)	(明治13年)	罫紙・2通/(青色罫紙)	39-4
明治十三年庚辰勘定帳(醤油・溜・味噌・有物ならびに粕種粕など所得差引勘定帳) 渡辺佐兵衛	(明治13年)	半・1冊<8丁墨>/ (黒色罫紙)	39-5
明治十四辛巳勘定帳(前半半分醤油・溜・味噌・有物など差引勘定帳) 渡辺佐兵衛	(明治14年)	半・1冊<6丁墨>/ (黒色罫紙)	39-6
明治十四辛巳勘定帳(後半半分醤油・溜・味噌・有物など差引勘定帳) 渡辺佐兵衛	(明治14年)	半・1冊<6丁墨>/ (黒色罫紙)	39-7
(明治14年前半期醤油・溜・味噌・有物・借入金など差引総勘定帳下書)	(明治14年)	半・1冊<5丁墨>/ (青色罫紙)	40-15
明治十五壬午勘定帳(醤油・溜・味噌・有物など差引勘定帳) 渡辺佐兵衛	(明治15年)	半・1冊<7丁墨>/ (黒色罫紙)	39-8
明治十六癸未勘定帳(後半か年分醤油・溜・味噌・有物など差引勘定帳) 渡辺佐兵衛	(明治16年)	半・1冊<6丁墨>/ (黒色罫紙)/(挿入文書1点あり)	39-9
明治十七甲申勘定帳(前半か年分醤油・溜・味噌・有物など差引勘定帳) 渡辺佐兵衛	(明治17年)	半・1冊<6丁墨>/ (黒色罫紙)	39-10
明治十七甲申勘定帳(後半か年分醤油・溜・味噌・有物など差引勘定帳) 渡辺津奈	(明治17年)	半・1冊<6丁墨>/ (黒色罫紙)	39-11
明治十八乙酉勘定帳(後半か年分醤油・溜・味噌・有物など差引勘定帳) 渡辺ツナ	(明治18年)	半・1冊<6丁墨>/ (黒色罫紙)/(挿入文書1点あり)	39-12
明治十八乙酉勘定帳(醤油・溜・味噌・有物など差引勘定帳) 渡辺ツナ	(明治18年)	半・1冊<6丁墨>/ (黒色罫紙)	39-13
第四号万勘定日記(日々売上など書上勘定) 渡辺つな	(明治19丙戌年1月～12月)	半・1冊<26丁墨>	39-14
売上高調十九年四月ヨリ廿年三月迄(醤油・味噌買入売上差引総勘定帳)	(明治19年4月～20年3月)	半・1冊<7丁墨>/ (青色罫紙)	40-14
明治十九丙戌上半年(醤油・溜・味噌・有物他売上など差引勘定帳下書)	(明治19年)	半・1冊<3丁墨>/ (黒色罫紙)	39-15
明治十九丙戌上半年(醤油・溜・味噌・有物など売上差引勘定帳下書)	(明治19年)	半・1冊<3丁墨>/ (黒色罫紙)	39-16
後半ケ年分明治十九丙戌勘定帳 渡辺ツナ	(明治19年)	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)	39-17
明治貳拾丁亥勘定帳(上半年分醤油・溜・味噌・有物など差引勘定帳) 渡辺ツナ	(明治20年)	半・1冊<3丁墨>/ (黒色罫紙)	39-18

明治貳拾年勘定帳(醤油・溜・味噌・有物など差引勘定帳) 代理戸谷庄七	(明治20年)	半・1冊<10丁墨>/ (青色罫紙)	39-19
明治廿年中勘定書(売上・有物・買入など差引勘定帳)	(明治20年)	半・1冊<5丁墨>/ (青色罫紙)	39-20
明治廿一年中勘定書(醤油・溜・味噌・有物他売上など差引勘定帳) 渡辺ツナ	(明治21年)	半・1冊<6丁墨>/ (黒色罫紙)	39-21
残金処分法(貸付金利足取立につき)	(明治21年)	罫紙・1通/(青色罫紙)	39-22
明治廿一年中たなおろし調出分(元買入・醤油買入・借用分など差引総勘定帳)	(明治21年)	半・2点一綴<8丁墨>/ (青色罫紙)	40-1
明治廿貳年中勘定書(醤油・溜・味噌・有物他売上など所得差引勘定帳) 渡辺つな	(明治22年)	半・1冊<5丁墨>/ (青色罫紙)	39-23
明治廿貳年中勘定書(醤油・溜・味噌・有物他売上など所得差引仮勘定帳) 渡辺つな	(明治22年)	半・1冊<5丁墨>/ (青色罫紙)	39-24
明治廿二己丑勘定帳(醤油・溜・味噌・有物他売上など所得差引勘定帳、上半か年分) 渡辺ツナ	(明治22年)	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)	39-25
明治廿二年仲前勘定書(醤油・溜・味噌・有物他売上など所得差引勘定帳) 渡辺ツナ	(明治22年)	半・1冊<3丁墨>/ (青色罫紙)	39-26
(明治22年仲間味噌・醤油・塩買入金有物等勘定帳)	(明治22年)	半・1冊<6丁墨>/ (青色罫紙)	39-27
(明治22年度買元高・借入金など差引総勘定帳)	(明治22年)	半・1冊<9丁墨>/ (青色罫紙)	40-5
(明治22年度売元金・借入金など書上帳)	(明治22年)	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)	40-12
明治廿三年中勘定(醤油・溜・味噌・有物他売上など所得差引勘定帳)	(明治23年)	半・1冊<3丁墨>/ (青色罫紙)	39-28
明治廿三年中勘定書(醤油・溜・味噌・有物他売上など所得差引勘定帳) 渡辺つな	(明治23年)	半・1冊<5丁墨>/ (青色罫紙)	39-29
廿三年仲前分勘定書(醤油・溜・味噌・有物など差引勘定帳)	(明治23年)	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)	39-30
明治廿三年仲前勘定書(醤油・溜・味噌・有物など差引勘定帳) 渡辺つな	(明治23年)	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)	39-31
(明治23年度買元高・借入金など差引総勘定帳)	(明治23年)	半・2点一綴<8丁墨>/ (青色罫紙)	40-6
(明治23年前期買元高・借入金など差引総勘定帳)	(明治23年)	半・1冊<6丁墨>/ (青色罫紙)	40-9
明治廿四年仲前勘定書(醤油・溜・味噌・有物他売上など所得差引勘定帳) 渡辺つな	(明治24年)	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)	39-32
明治廿四年中勘定(醤油・溜・味噌・有物他売上など所得差引勘定帳写)	(明治24年)	半・1冊<3丁墨>/ (青色罫紙)	39-33
明治廿四年仲前勘定(醤油・溜・味噌・有物他売上など所得差引仮勘定帳)	(明治24年)	半・1冊<3丁墨>/ (青色罫紙)	39-34
明治廿四年中勘定書(醤油・溜・味噌・有物他売上など所得差引勘定帳) 渡辺つな	(明治24年)	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)	39-35
(明治24年前期買元高・借入金など差引総勘定帳)	(明治24年)	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)	40-7
(明治24年中期買元高・借入金など差引総勘定帳)	(明治24年)	半・1冊<2丁墨>/ (青色罫紙)	40-8
(明治24年中期買元高・借入金など差引総勘定帳)	(明治24年)	半・1冊<5丁墨>/ (青色罫紙)	40-10
明治廿五年勘定書(醤油・溜・味噌・有物他売上など所得差引勘定帳) 渡辺つな	(明治25年)	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)	39-36

## 鉄砲塚町渡辺家文書 3.内方/1.資産/1.総勘定

明治廿五年中勘定書(醤油・溜・味噌・有物他売上など所得差引勘定帳) 渡辺つな	(明治25年)	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)	36-37
明治廿五年中勘定書(醤油・溜・味噌・有物他売上など所得差引仮勘定帳) 渡辺つな	(明治25年)	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)	36-38
(明治25年中期買元高・借入金など差引総勘定帳)	(明治25年)	半・1冊<5丁墨>/ (青色罫紙)	40-11
明治廿六年仲前勘定書(醤油・溜・味噌・有物など差引勘定帳) 渡辺つな	(明治26年)	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)	39-39
明治廿六年仲前仮勘定書(醤油・溜・味噌・有物他売上など所得差引仮勘定帳)	(明治26年)	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)	39-40
明治廿七年仲前勘定書(醤油・溜・味噌・有物他売上など所得差引勘定帳) 渡辺つな	(明治27年)	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)	39-41
(明治28年前期買元高・借入金など差引総勘定帳)	(明治28年)	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)/(汚損あり)/(挿入文書1点あり)	40-2
(明治28年中期買元高・借入金など差引総勘定帳)	(明治28年)	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)/(挿入文書2点あり)	40-3
明治廿九年仲前勘定	(明治29年)	半・1冊<2丁墨>/ (青色罫紙)/(挿入文書1点あり)	39-42
(明治30年塩買入れ他支出金勘定帳)	(明治30年)	半・1冊<3丁墨>/ (青色罫紙)	39-43
(明治33年6月まで買元高・借入金など差引総勘定帳)	(明治33年)	半・1冊<5丁墨>/ (青色罫紙)/(挿入文書3点あり)/(破損あり)	40-4
(みそ懸り物・家賃など総勘定)	已12月	横長半・1冊<2丁墨>/ (No.46は紐一括)/(綴紐脱)	46-25
(味噌代、宗家祝儀代など金銭出入帳)	(11月24日)	横長半・1冊<55丁墨>/ (No.46は紐一括)/(フケ甚大、前後欠)	46-40
買入醤油及醪調査仮簿(買入先住所氏名など)		堅紙・1通/(黒色罫紙)/(断簡力)	40-13
覚(醤油・溜・味噌・有物他売上など資産差引勘定帳、断簡)		横折紙・2通/(No.46は紐一括)	46-27
(肥物・寄金・本家様借入金など金銭差引勘定下書)		堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.46は紐一括)	46-56

## 3.1.2.運用など

覚(金銭運用見積書)	(文久1年)	横切継紙・1通	28-655
仮領収券(共栄運送資本金25円出資につき仮領収) 共栄運送合資会社代表林杉之丞(印)、加藤太七(印)→渡辺つな殿	明治32年11月	堅紙・1通/(活版)	68-8
利子請取通 代人加藤兼太郎・佐藤政太郎→渡辺鋤三郎様	明治34年4月30日(～明治35年3月)	横半半折・1冊<4丁墨>	10
銀行出入覚 小永扣		横切半半折(袖珍)・1冊<1丁墨>	69-16
記(明治11年10月より13年1月までの元利書付)		小切紙・1通	28-443
(古銭両替相場書上)		堅紙・1通/(茶色罫紙)	46-90

## 3.1.3.不動産

扣地之覚(明和～文化期佐兵衛買入家屋畑地覚書)	(明和8～文化11年11月)	横折紙・1通	28-457
(御屋敷地面御貸借につき約定証文、地所図面付) 佐野屋定治郎→竹内陽阿弥様御屋敷	天保15年辰8月	縦継紙・1通	51-7
(居屋敷および借家関係図面綴、屋敷見取図などあり)	(天保15年辰8月～明治33年3月)	縦継紙・縦紙・22点一綴<22丁墨>	52
差入申證文之事(譲受け地所町奉行所へ附替え差延べ願ならびに居宅西裏貸渡につき、彩色地所図面共) 佐野屋佐兵衛(印)→浅野文内様	文久2年戌12月	縦継紙・1通	49-2
差入申證文之事(譲受け地所町奉行所へ附替え差延べ願ならびに居宅西裏貸渡につき、彩色地所図面共) 佐野屋佐兵衛→浅野文内様	文久2年戌12月	縦継紙・1通	49-3
差入申證文之事(譲受け地所町奉行所へ附替え差延べ願ならびに居宅西裏貸渡につき、彩色地所図面共) 佐野屋佐兵衛→浅野文内様	文久2年戌12月	縦継紙・1通	51-9
永代売渡申地面之事(鉄砲塚町の内主税筋通南側を売渡し、代金2両2分) 売主浅野文内(印)、町代治兵衛(印)外3名→佐野屋佐兵衛殿	慶応2年寅3月	縦紙・1通	49-12
覚(鉄砲塚町主税筋南側183坪御右筆安藤治兵衛拝領屋敷に引渡覚) 町役所→屋敷方御役所	慶応3年卯3月26日	縦紙・1通	68-5
(愛知郡名古屋新田飛地分税納入届) 第1大区6小区相生町3丁目24番地同所9番地居住商渡辺佐兵衛	明治6年6月	縦紙・1通/(No.46は紐一括)	46-98
諸事留(名古屋区主税町家作建物ヲ斎田庄八名義で買求めに付金員借入記) 百花園	明治14年霜月	横長半・1冊<3丁墨>	13
地所家作売渡シ為取換証(相生町3丁目14番地127坪余他2階建家売渡し、代金225円) 売主渡辺佐兵衛(印墨消)、証人山田季俊(印墨消)→松下兵吉殿	明治16年2月22日	縦紙・1通/(証券罫紙)	49-6
印鑑証明願(西春日井郡杉村宅地売渡しの代人につき印鑑証明願) 右(名古屋市相生町44番戸平民渡辺嘉一幼者ニ付祖母戸主) 渡辺つな(印墨消)→名古屋市中村修殿	明治23年4月15日	縦紙・1通/(青色罫紙)/(No.60は紐一綴)	60-12
(地所登記請求事件関係書類綴) (愛知県名古屋市相生町44戸渡辺嘉一幼者ニ付祖母戸主渡辺つな代人同県同市主税町80番戸売主三浦湛外)→(同県西春日井郡杉村大字杉268番戸買主前沼三四郎外)	(明治23年)	縦紙・半・8点一綴	49-5
土地建物売渡証文(相生町3丁目18番宅地74坪代金900円にて売渡し、付売渡物件目録) 名古屋市萱屋町2番戸売主中村與右衛門→名古屋市相生町3丁目17番地渡辺鋤三郎殿	明治38年3月27日	半・1冊<3丁墨>/(青色罫紙)	49-4
口上之覚(美濃屋伊兵衛持分書入屋敷の内天王坊領内土蔵売渡につき届) 佐野屋佐兵衛(印墨消)→本田町惣代甚八様・伝兵衛様外1名	午8月	縦紙・1通	71
記(壮六持分土蔵売却につき手助金1割28円受取書) 渡辺佐兵衛→佐々弥八様・齊田庄八様	1月26日	小切紙・1通	28-452
(宅地坪数など書出)		小切紙・1通	28-269
記(8・9・24番地屋敷権利書類目録)		縦紙・1通/(赤色罫紙)/(No.46は紐一括)	46-59
(相生町本家地所家作坪数ほか書上) 家作持主渡辺佐兵衛事半平印、渡辺定次郎事佐兵衛印		縦紙・2点一綴/(No.46は紐一括)	46-60
地券証御書換願(名古屋区富士塚町2丁目12番地宅地481坪余売却につき、地価56円余)		縦紙・1通/(青色罫紙)	49-7

家作建物売渡証券(名古屋区富士塚2丁目12番地内建物売渡し)	堅紙・1通/(青色罫紙)	49-8
地券証御書換願(雛形)	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.60は紐一綴)	60-15

## 3.2.金銭貸借

### 3.2.1.貸与

借用申金子之事(要用につき米札金5両借用) 借主関市之右衛門(印)、加判山崎路右衛門(印)→佐野屋宗右衛門殿御取次	天保2年卯4月6日	堅紙・1通	28-775
借用申金子之事(水連中講金の内より金4両借用) 借り主笹屋治郎平(印)、加判万屋治郎八(印)→佐野屋佐兵衛様	天保4年巳6月	堅紙・1通/(No.47-2~60まで紙縫一括)	47-3
借用申金子之事(金10両、居宅家屋敷書入写) 山城屋借主友二郎→佐兵衛殿御取次	天保5年午8月	堅紙・1通/(No.47-2~60まで紙縫一括)	47-5
借用申金子之事(長栄講金書入金1両借用) 笹屋治郎平(印)→佐野屋佐兵衛様	天保6年末7月	堅紙・1通/(No.47-2~60まで紙縫一括)	47-7
借用申金子之事(要用につき金2両借用) 金借り主桶師米蔵(印)→佐野屋佐兵衛様・御元様	天保8酉3月	堅紙・1通	28-757
借用申金子之事(要用につき金3両借用) 借主山田鍋八郎(印)、加判小泉屋茂兵衛(印)→佐野屋貞次郎殿	弘化3年午1月4日	堅紙・1通	28-767
借用申金子之事(要用につき仏壇引当にて金2両1分余借用) 三井屋重兵衛(印)外1名→佐野屋佐兵衛様	嘉永4亥8月	堅紙・1通	28-754
添証文之事(要用につき20両借用、引当家屋敷30両) 粉屋源左衛門(印切取)→佐野屋嘉助様御取次	嘉永7寅年4月	堅紙・1通	28-762
引当を以金子借用証文之事(要用につき金100両、田畑7反7畝歩) 清洲田中町分金借主清七印、下小田井村加判惣重右衛門/(奥印)右(下小田)村庄屋代頭百姓半右衛門→佐兵衛殿	嘉永7年寅6月	堅紙・1通	28-764
二割増請取申金子之事(味噌・綿・肥物商売の元手として金2両余前借) 七間町馬持善蔵(印)・文右衛門(印)・利吉(印)・善七(印)・豊吉(印)→佐野屋佐兵衛殿	安政2年卯4月	堅紙・1通/(No.47-2~60まで紙縫一括)	47-9
借用金添証文之事(金10両) 大野屋又兵衛(印)→佐野屋左兵衛殿	安政3年辰4月	堅紙・1通/(No.47-2~60まで紙縫一括)	47-11
借用仕金子之事(金5両) 玄庵(印)→佐兵衛様	安政3年辰7月	横切紙・1通/(No.47-2~60まで紙縫一括)	47-12
差入申証文之事(借用金5両返済仕方取極につき証文) 主塚屋専助(印)外1名→佐野屋佐兵衛様	安政4年巳7月	堅紙・1通	28-760
借用申金子之事(要用につき金2両余借用) 借主青山藤吉郎(印)、加判佐藤台二(印)→佐野屋佐兵衛殿	安政5年午1月	堅紙・1通	28-770
證書(要用につき金1両借用) 田島源治屋敷(印)→佐野屋佐兵衛殿	安政5年午7月	堅紙・1通	28-756
借用申金子之事(盆御仕舞金調達のため金50両借用) 葉栗郡嶋村又三郎(印)/(奥印)右村惣代兼松甚兵衛(印)	安政5年午7月	堅紙・1通/(No.47-2~60まで紙縫一括)	47-19
二割増請取申金子之事(味噌・綿・肥物など新規開業費金2両2分借用) 善蔵(印)・理吉(印)・善七(印)・豊吉(印)→佐野屋佐兵衛殿	安政6年末4月	堅紙・1通	50-9
添証文之事(借用金50両返済延期につき) 清須田中町分清七(印)→鉄砲塚佐兵衛殿	安政7申年閏3月	堅紙・1通	28-768

添証文之事(金50両) 清洲田中町分清七(印)→鉄砲塚佐兵衛殿	元治2年丑2月	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-21
二割増請取申金子之事(味噌・綿・肥物商売の元として金3両余前借り) 勘六(印)・善蔵(印)・善左衛門(印)・鐘蔵(印)→さの屋佐兵衛様	慶応2年寅4月	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-22
借用申金子証文之事(金30両借用、拵付脇差差入) 大野屋又兵衛(印)→佐野屋佐兵衛様	明治1辰年12月	堅紙・1通/(包紙入)	28-765
借入金証券(10円借用、抵当仏壇1本) 借主岩田弥七(印)→旦那様	明治5年9月16日	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-38
借入金証券(商売相始め申すにつき家財・道具書入金30円借用証文写) 借主野村岩助印、加判石川弘道印→渡辺佐兵衛殿	明治8年甲戌(ママ)3月26日	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-28
証券(金550円借用証文下書)	明治6年酉6月	堅紙・1通/(No.46は紐一括)/(切取りあり)/(後欠)	46-99
借入金証券(6円借用、抵当仏壇1本) 借主清水市兵衛(印切取)→渡辺佐兵衛殿	明治6年12月19日	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-39
(朱書)「第三〇〇七号」家作建物書入借入金証券(金20円借用、引当第1大区3小区白壁町4丁目22番地内の建物) 家作持主後藤銅印/(奥印)第1大区3小区神谷義富印他1名→渡辺佐兵衛殿	明治7年3月19日	堅紙・1通	48-16
(書入質図面写、第1大区3小区白壁町4丁目22番地建物) 愛知県第1大区白壁町4丁目22番地住居建物持主後藤銅→渡辺佐兵衛殿	明治9年4月24日	堅紙・1通	48-18
(貸金証券入置につき書上、下書)	明治12年12月1日	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-25
約定証券(金120円借用、抵当名古屋主税町内地券ほか) 借主安藤政頭(印)→渡辺佐兵衛殿	明治14年3月27日	堅紙・1通	48-20
仮(金17円50銭受取書) 中村太郎吉→渡辺佐兵衛様	(明治)16年3月22日	小切紙・1通	28-390
證(7円借用) 富永徳城(印)→渡辺左兵衛様	明治17年1月	堅紙・1通	28-769
借入金証券(6円借用) 借主美濃国土岐郡高山村天湊鶴太郎→名古屋区相生町渡辺ツナ殿	明治22年7月	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-40
借入金証券(100円借用) 東春日井郡瀬戸村28番戸寺尾竹次郎(印)→尾張国名古屋区相生町渡辺つな殿	明治22年8月26日	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-41
借入金証券(金200目、雛形) 名古屋市何町何丁目何番戸金借主——、名古屋市何町何番戸保証人——	明治22年11月	堅紙・1通	28-772
借入金証券(60円借用、抵当仏壇・箆笥など諸色) 借主山田金次郎(印)、証人栗田米蔵(印)→渡辺つな殿	明治23年4月	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-42
借用証券(10円借用、抵当出張旅費負担・諸道具) 借用主柴田喜左衛門(印)・柴田元蔵(印)→渡辺つな殿取次土井竹郎殿	明治23年9月23日	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-43
借入金証券(93円借用) 土岐郡多治見町1312番戸金借主落合仙蔵(印)、保証人梶田仙右衛門(印)→名古屋市相生町渡辺つな殿	明治23年10月15日	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-44
金子借用証券(金20円借用) 東春日井郡雛五村大字堀之内17番戸借主樋口彦右衛門(印)・樋口新之右衛門(印)外1名→渡辺つな殿	明治23年	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-45
味噌溜代借用証券(金34円余借用) 岐阜県土岐郡下石村187番戸借主水野新九郎(印)、保証人当村81番戸川村鼻吉(印)→渡辺つな殿	明治24年6月4日	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-46

## 鉄砲塚町渡辺家文書 3.内方/2.金銭貸借/1.貸与

借入金証券(金28円余借用) 美の国土岐郡多治見太田金治郎(印)→渡辺つな殿	明治24年7月	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-47
借入金証券(金15円余借用) 美の国土岐郡妻木小野玉次郎(印)→渡辺つな殿	明治25年12月1日	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-48
借入金証書(金20円余借用) ミノ土岐郡多治見町萩原彦太郎(印)→名古屋市相生町渡辺つな殿	明治26年8月7日	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-49
借入金証券(金38円余借用) 名古屋市駿河町126番戸借主野村秀治郎(印)、同証人名古屋市相生町野村伝右衛門(印)→名古屋市相生町渡辺ツナ殿	明治27年7月1日	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-51
記(貸金合計金193円74銭2厘受取書) 愛北物産合資会社(印)→渡辺佐兵衛様身元引受御中	(明治)27年12月20日	横切継紙・1通	28-389
借入金証券(金8円余借用) 座見丈治(印)→渡辺つな殿	明治32年1月1日	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-52
年済借用証書(金250円借用) 東濃中津町74番戸借用人鈴木徳蔵(印)、保証人鈴木伝七(印)→名古屋市相生町佐野屋ツナ殿	明治32年1月	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-53
借入金証券(兼吉借金弁償のため金64円借用) 名古屋市萱屋町175番戸平民戸田豊教(印)・戸田兼吉(印)→丹羽治作殿	明治34年9月	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-54
證文之事(金5両借用証文) 塚屋専助(印)→佐野屋佐兵衛殿	寅4月8日	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-56
借用申金子事(金2両借用) 借主庄八(印)、請人新右衛門(印)→佐野屋佐兵衛様	辰極月晦日	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-58
書添申証文(佐野屋佐兵衛への借入金返済延引につき保証人へ返済約定証文) 塚屋専助→伊勢屋太助様	巳7月5日	堅紙・1通	28-774
差入申一札之事(居宅質流につき一札) 塩町常三郎(印)・同人母とう→鉄砲塚町佐野屋佐兵衛殿	午5月	堅紙・1通	49-1
借用申金子之事(金2両2分借用下書) 十吉→さの屋殿	3月9日	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-55
(金1分借用証文、拝借米にて返済) 本田伊右衛門(印)→佐野屋佐兵衛殿	5月2日	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-60
(借入金の利子減額願につき書状) 児玉→渡辺君	6月30日	横切継紙・1通	28-599
口述(銀行抵当新規書入れにつき旧書物返却願) 春久→(抹消)「渡辺おつな様」	12月7日	小切紙・1通	28-561
(下林村貸金和解の約束につき書状)		横切紙・1通/(後欠)	28-261
諸色預り証券(仏壇・畳など計60品目預り証券下書)		堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.46は紐一括)	46-42
借入金証券(仏壇・畳などを抵当に計58品目金60円)		堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.46は紐一括)	46-43

## 3.2.2.藩士貸

借用申金子之事(借入金3両、百姓証文の代替証文) 関謙次郎(印)→佐野屋宗右衛門殿	天保4年巳6月29日	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-2
借用申金子之事(要用に金3分借用) 大嶋謙太郎(印)→佐野屋宗右衛門殿	天保4年巳7月	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-4
借用申金子之事(金3両) 森曾十郎(印)→佐野屋佐兵衛殿	天保6年末12月	堅紙・1通	28-236

借用申金子之事(藩士貸金200疋) 本多伊右衛門(印) 信隆(花押)→佐野屋左兵衛様	嘉永4年亥12月	堅紙・1通/(包紙入、紐あり)	28-398
借用申金子之事(金2分) 本多伊右衛門(印)→佐野屋佐兵衛殿	安政2年卯4月	堅紙・1通/(封筒有)	28-187
借用申金子之事(金1両借用、知行所収納米より返済) 大嶋源六郎(印)→佐の屋宗右衛門殿	安政2年卯9月	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-10
証文之事(要用につき金3両借用) 平野甚内(印)→佐野屋佐兵衛殿	安政4年巳12月	堅紙・1通/(包紙入)	28-778
借用申手形之事(要用のため金3両借用、知行所川田方村当暮収納米にて返済約定) 大嶋源六郎(印)→佐のや佐兵衛殿	安政6年未6月	堅紙・1通/(封筒入)/(No.28-179は3冊紙縫一括)	28-179-3
借用申金子之事(金4両借用、知行所秋物成にて返済) 猪谷忠三郎(印)→佐野屋定次郎殿	申3月	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-59
(知行米にて返済につき金1両借用願) 本多伊右衛門→佐野屋佐兵衛様	5月2日	堅紙・1通	28-676
(訳合いにて金子8両内密借用願につき書状) 平野甚内→佐野屋清左衛門	7月20日	横切紙・1通	28-114
(内々願遣候一件行き届き兼ね書状) 大嶋喜代郎→佐兵衛方	9月22日	横切紙・1通/(No.28-179は3冊紙縫一括)	28-179-1
(鉄砲打方御用にて出張入用金借用願につき書状) 大嶋喜代郎→佐の屋佐兵衛様	9月22日	横切紙・1通/(No.28-179は3冊紙縫一括)	28-179-2
(金子借用願につき書状) 本多伊右衛門→佐のや佐兵衛様	12月26日	横切紙・1通	28-397

## 3.2.3.借入

家屋敷質物二書入借用申金子之事(金700両借用、鉄砲塚町中之切西側家屋敷ほか書入) 恵由(印墨消)	天保9年戌5月	堅紙・1通/(後欠)・1通/(後欠力)	48-22
借入金添証文之事(正金700両・藤屋勘助持分300両の役印付証文差入にて金400両借用) 佐野屋借主佐兵衛(印墨消)→江戸屋清助殿御取次	安政3年辰11月	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-13
借入金添証文之事(正金700両・藤屋勘助持分300両の役印付証文差入にて金400両借用、写) 佐野屋借主佐兵衛→江戸屋清助殿御取次	安政3年辰11月	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-14
添証文之事(要用につき50両借用、清七持分の金100両の役印証文1通差入) 佐野屋佐兵衛(印墨消)→江戸屋清助殿御取次	安政4巳年11月	堅紙・1通	28-763
借入金添証文之事(要用につき金50両借用) 借主佐野屋佐兵衛(印墨消)→江戸屋清助殿御取次	安政4巳年11月	堅紙・1通	28-771
添証文之事(金100両借用、藤屋勘助持分300両役印付証文引当) 佐野屋佐兵衛(印墨消)→江戸屋清助殿御取次	安政4年巳11月	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-17
借用申添証文之事(金3両借用、箕浦五兵衛持分150両役印付証文引当) 借主佐野屋佐兵衛(印)→江戸屋清助殿御取次	安政5年午5月	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-18
覚(金250両借用書) 佐野屋佐兵衛(印)→江戸屋清助殿	万延1申年4月	堅紙・1通	28-736
御預り置申金子之事(金100両) 佐野屋佐兵衛(印墨消)→山田御隠居様	明治3年午5月	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-23
添証文之事(万屋新吉持分役印証文引当にて金150両借用) 佐野屋佐兵衛(印切抜)→山田御隠居様	明治3年午5月	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-24

## 鉄砲塚町渡辺家文書 3.内方 /2.金銭貸借 /3.借入

御預り置申金子之事(金130両) 佐野屋佐兵衛(印墨消)→山田御隠居様	明治3年閏10月	堅紙・1通	28-766
御預置申金子之事(135両借用につき) 佐野屋佐兵衛(印切取)→山田御居様	明治4年未4月	堅紙・1通	28-758
御預り置申金子之事(金150両借用) 佐野屋佐兵衛(印墨消)→山田御隠居様	明治4年未11月	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-26
御預り置申金子之事(金100両借用) 佐野屋佐兵衛(印)→山田御隠居様御屋敷	明治5年壬申10月	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-27
家作建物書入借用金証券(金850円、引当相生町3丁目9番地内の建物) 右家作持主渡辺佐兵衛(印墨消)、証人出井甚九郎(印切取)→戸谷庄七殿	明治9年12月18日	堅紙・1通/(No.48は一包み)	48-7
(書入質図面、第1区相生町3丁目9番地121坪余の内建物 附、売渡シ為預約定手附金預り証) 同町9番地居住渡辺佐兵衛(印)→戸谷庄七殿	明治9年12月18日書入質	堅紙・1通/(No.48は一包み)	48-8
「第七百拾九号」(書入質図面、第1区相生町3丁目9番地建物) 愛知県第1区相生町3丁目9番地居住建物持主渡辺佐兵衛(印墨消)→戸谷庄七殿	明治9年12月18日書入質	堅紙・1通/(No.48は一包み)	48-9
「第四百九十二号」地券書入借用金証券(金145円借用、引当第1区相生町3丁目24番地) 地主渡辺佐兵衛(印墨消)、証人出井甚九郎(印貼紙)→戸谷庄七殿	明治9年12月18日	堅紙・1通/(No.48は一包み)	48-10
「第四百九十一号」地券書入借用金証券(金500円借用、引当第1区相生町3丁目9番地の内の建物) 地主渡辺佐兵衛(印墨消)、証人出井甚九郎(印貼紙)→戸谷庄七殿	明治9年12月18日	堅紙・1通	48-11
地券書入借用金証券(金635円借用、引当第1区相生町3丁目9番地地券) 地主渡辺佐兵衛、証人渡辺定治郎→戸谷庄七殿	明治9年12月	堅紙・1通/(No.48は一包み)	48-1
(書入質図面、第1区相生町3丁目9番地建物) 愛知県第1区相生町3丁目9番地居住建物持主渡辺佐兵衛→戸谷庄七殿	明治9年12月書入質	堅紙・1通/(No.48は一包み)	48-2
(書入質図面、第1区相生町3丁目9番地建物) 愛知県第1区相生町3丁目9番地居住建物持主渡辺佐兵衛→戸谷庄七殿	明治9年12月書入質	堅紙・1通/(No.48は一包み)	48-3
家作建物書入借用金証券(第1区相生町3丁目9番地の内の建物を引当)	(明治9年12月)	堅紙・1通/(No.48は一包み)	48-4
家作建物書入借用金証券(金900円借用、引当第1区相生町3丁目9番地の内の建物)	(明治9年12月)	堅紙・1通/(No.48は一包み)	48-5
家作建物書入借用金証券(引当第1区相生町3丁目9番地の内の建物)	(明治9年12月)	堅紙・1通/(No.48は一包み)	48-6
(書入質図面、名古屋区相生町3丁目24番地建物) 愛知県第1区相生町3丁目9番地建物持主渡辺佐兵衛→戸谷庄七殿	明治9年12月書入質	堅紙・1通	48-13
添証券(2000円借用、地券書入証券ほか) 渡辺佐兵衛(印)、証人渡辺定次郎(印)→戸谷庄七殿	明治10年1月1日	半・1冊<2丁墨>/ (証券界紙)/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-29
借用金証券(金1800円、下書) 金借主、証人	明治11年11月10日	小切紙・1通/(小紙1枚挿入あり)	28-779
借用金証券(金1800円) 金借用主渡辺印/(奥書)中村→中村太郎吉殿	明治11年11月20日	横切紙・1通	28-776
借用金証券(米屋兵一郎預書、横井善右衛門借用証券書入にて金1800円借用) 金借用主渡辺佐兵衛(印切取)→中村太郎吉殿	明治11年11月20日	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-33
借用金証券(米屋兵一郎預書、横井善右衛門借用証券書入にて金1800円借用証文写) 金借用主渡辺佐兵衛→中村太郎吉殿	明治11年11月20日	堅紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-34

借入金証券(1800円借用、南部大豆などの預り証文と借用証券書入) 金借用主渡辺佐兵衛→中村太郎吉殿	明治11年11月20日	縦紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-35
証(400円借用証) 渡辺佐兵衛(印墨消)→児玉嘉助殿	明治12年10月28日	縦紙・1通/(黒色罫紙)	28-752
証(金50円預り証文) 渡辺佐兵衛(印)→児玉嘉助殿	明治12年11月4日	小切紙・1通	28-745
写証(金300円) (渡辺佐兵衛)→横井善右衛門殿	(明治)12年12月28日	縦紙・1通	28-755
証(金200円借用証文下書) 渡辺佐兵衛→斎田庄八殿	明治13年1月11日	縦紙・1通/(黒色罫紙)/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-36
証(金100円借用証文下書) 渡辺佐兵衛→斎田庄八殿	明治13年1月11日	縦紙・1通/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-37
証(200円借用証下書) 渡辺佐兵衛→児玉嘉助殿	明治13年2月18日	縦紙・1通/(青色罫紙)	28-751
写証(100円借用証下書) →(児玉氏)	明治13年6月28日	縦紙・1通/(青色罫紙)	28-753
「第六九号」(書入質図面、名古屋区相生町3丁目17番地建物) 愛知県名古屋区相生町3丁目17番地家作持主渡辺佐兵衛(印)→戸谷庄七殿	明治14年1月17日書入質	縦紙・1通	48-12
「第六拾号」家作建物書入質借入金証券(引当名古屋区相生町3丁目17番地の内の建物) 家作持主渡辺佐兵衛(印)、証人渡辺正三郎(印)→戸谷庄七殿	明治14年1月17日	縦紙・1通	48-14
「第五拾九号」地券書入借入金証券(金1350円、引当名古屋区相生町3丁目17番地の地券) 地主渡辺佐兵衛(印)、証人渡辺正三郎(印)→戸谷庄七殿	明治14年1月17日	縦紙・1通	48-15
(書入質図面、第壹番本家瓦葺11坪建物抵当) →青山新ノ七殿	明治16年1月25日	縦紙・1通	48-21
記(貸金55円余領収書) 森久七(印)→渡辺鋤三郎殿	明治21年5月6日	縦紙・1通/(青色罫紙)	50-8
記(借入金500円返済につき抵当物件受取書) 渡辺つな→第十一国立銀行御中	明治23年9月24日	縦紙・1通/(青色罫紙)/(No.47-2～60まで紙縫一括)	47-50
地所建物書入借入金証券(金100円、抵当尾張国名古屋主税町4丁目19番地の宅地197坪余ほか) 尾張国名古屋市相生町44番戸借用主渡辺つな(印切取)・尾張国西春日井郡佐洲町247番戸保証人渡辺正三郎(印切取)→名古屋相生町79番戸浅野鋤三郎殿	明治27年12月17日	半・1冊<4丁墨>/(赤色罫紙)	48-17
地所建物書入借入金証券(金398円借用、引当名古屋主税町4丁目19番地197坪余内の建物ほか) 名古屋市相生町44番戸借主渡辺つな(印)、小舟町1番戸証人荒川外之助(印)→愛知県西春日井郡金城村大字田幡63番戸小川栄三郎殿	明治29年3月24日	半・1冊<3丁墨>/(赤色罫紙)	48-19
貸金領収証(貸金398円領収書) 小川栄三郎→名古屋市相生町44番地渡辺つな殿死跡相続人同市同町3丁目17番地渡辺鋤三郎殿	明治33年3月31日	縦紙・1通/(赤色罫紙)	50-7
貸金受取證書(明治34年貸付2000円受取書、抵当物件名古屋主税町内土地) 名古屋東橋町98番債権者加藤兼次郎(印)→名古屋相生町3丁目17番地渡辺鋤三郎殿	明治36年4月28日	縦紙・1通/(登記朱印あり)	68-4
契約解除證書(金2000円弁済につき抵当物権契約解除証書) 名古屋市門前町3丁目31番地株式会社尾張銀行代表取締役武田藤三郎(印)→名古屋市相生町3丁目17番地渡辺鋤三郎殿	明治38年6月9日	縦紙・1通/(登記朱印あり)	68-3
覚(借入金惣勘定覚、金421両)	卯2月～未10月	横切紙・1通	28-188-2
(金子請取仮証券差上につき書状) 斉田→渡辺君	5月5日	横切紙・1通/(ひも共)	28-380
借入金証券(下書、200円)		縦紙・1通/(青色罫紙)	28-750

## 鉄砲塚町渡辺家文書 3.内方 /2.金銭貸借 /3.借入

添証券(2000円借用、地券書入証券ほか8通目録、下書) *No.47-29と関連か		堅紙・1通/(証券界紙)/(No.47-2~60まで紙縫一括)	47-30
添証券(2000円借用、地券書入証券ほか) 渡辺佐兵衛、証人渡辺定次郎→戸谷庄七殿		堅紙・1通/(No.47-2~60まで紙縫一括)	47-31
添証券(2000円借用、地券書入証券ほか目録下書)		堅紙・1通/(No.47-2~60まで紙縫一括)	47-32

## 3.2.4.訴訟

貸金催促之訴状扣(被告人士族後藤鋤、元金20円) 渡辺佐兵衛代書人士族植村忠重→七等判事芹沢政温殿	明治9年5月22日	半・1冊<5丁墨>/ (No.46は紐一括)/ (表紙に付紙あり)	46-68
(渡辺佐兵衛勸解願につき裁判所へ出頭案内) 名古屋区裁判所→名古屋白壁町22番地後藤鋤	明治11年10月8日	小切紙・1通/(札付あり)	28-376
証(後藤鋤事件呼出状罫紙代5厘上納につき) 名古屋相生町商渡辺佐兵衛	10月23日	堅切紙・1通	28-292
乍恐御訴訟奉申上候御事(塩町小松屋恒三郎家屋敷書入借用金返済滞納につき訴状、裁許文付) 鉄砲塚町九十軒町恵由扣借家訴訟人佐野屋佐兵衛(印)	午4月	半・1冊<2丁墨>	54-1
乍恐奉願上候御事(春日井郡下小田井村箕浦五兵衛貸金滞につき召喚願) 鉄砲塚町之内九十軒恵由扣借屋佐兵衛(印)	未6月	半・1冊<3丁墨>/ (No.46は紐一括)	46-77
身代限御取消願(貸金催促訴訟被告人身代限につき下書)		横折紙・1通	28-286

## 3.2.5.書状

(書状と預り書引替の件につき書状) 中村太郎吉→渡辺佐兵衛様	2月19日	小切紙・1通	28-315
(残金日分けにて返済願につき書状) 鍋屋町勘七→渡辺君	5月14日昼	横切紙・1通	28-258
記(金子出資書立) (印文「渡辺」)	5月25日	堅紙・1通/(青色罫紙)	28-252
(書状包紙) *No.28-572の包紙 養念寺内泰覚→渡辺佐兵衛様	6月26日	包紙・1点	28-570
(金員5円返納につき書状) *No.28-570は包紙 養念寺内泰覚→渡辺佐兵衛様	6月26日	横切紙・1通	28-572
(本月中に金銭返却につき書状) 三井支店瀬兵衛→渡辺佐兵衛様	8月14日	横切紙・1通	28-579
(借入金60円返済につき書状) 齊田庄八→渡辺佐兵衛殿	8月31日	横切紙・1通	28-385
(拝借金1両受取につき書状) 三左衛門→佐兵衛様	9月14日	横切紙・1通	28-556
(金銭借用の利子につき書状) 山田季俊(印)→渡辺佐兵衛様	12月23日	小切紙・1通	28-281
(金銭16銭余返納の件につき書状) 中邨→渡辺賢君	18日	横切紙・1通	28-149
(縣金返済の件などにつき書状) 中村八右衛門→佐野屋佐兵衛様	(24日夜日)	横切紙・1通	28-549
(渡し金差し詰まりのため日歩にて取計願につき書状) 中太→渡辺君	28日	小切紙・1通	28-251
(金子払底につき書状)		小切紙・1通/(後欠)	28-555

## 3.2.6.その他

覚(仏壇・金簞筭借用につき一札) (尾張名古屋)信濃久蔵(印)→渡辺佐兵衛様	安政4年2月	縦紙・1通	28-717
借入金証券(兼吉費消金弁償のため金64円借用) → 丹羽治作殿	明治34年	縦紙・1通/(青色野紙)	28-773
入記(金3円50銭寄合へかし)	寅6月21日	小切紙・1通	28-384
一札(貴家より申請けの塩町家屋敷両役印手形差入れ金30両借用のところ為替書付紛失につき一札) 堀田惣太郎(印)→佐野屋佐兵衛殿	寅9月	縦紙・1通/(No.47-2~60まで紙縫一括)	47-57
記(利子金33円相渡申候につき) 熊野屋嘉助→佐野屋善七様	卯10月31日	横切紙・1通	28-340
(貸金1701円他書上)	辰3月30日	横切紙・1通	28-377
(渡辺佐兵衛愛北物産へ従事中の不明金236円返済督促状写) 愛北物産合資会社標茶支店印→渡辺ツナ殿・戸谷庄七殿	9月12日	縦紙・1通/(青色野紙)	69-2
記(御差紙1通受取) 後藤鋤(印)→渡辺佐兵衛様	10月8日	縦切紙・1通	28-489
(安藤文助他4氏へ債権額に応じて分配の件につき書付)		小切紙・1通	28-393
(安藤文助465円15銭他書上)		横切紙・1通	28-396
(差押品売得金配当要求代理人委任状雛形)		横切紙・1通	28-416
借用申金子之事(箕浦五兵衛持分居屋敷役印付証文引当金子借用証文下書)		小切紙・1通	28-552
覚(借入金残金差引勘定并残金減額願) 鷺丹→貴永様		横切紙・1通	28-634
借入金副証券(家作建物書入借入金雛形)		縦紙・1通	28-759
地券書入借入金証券(雛形)		縦紙・1通	28-761
(杉本佐兵衛分など金銭勘定書)		横折紙・1通	28-780
(借入金証書雛形綴)		縦紙・2点一綴<2丁墨>/(一部青色野紙)	47-1
借用申金子事(家屋敷・畑書入にて金10両借用、雛形)		縦紙・1通	47-61

## 3.3.講金

三ばん永楽講(講金積立帳) 金預り主笹屋勘助	安政6年己未4月	半・1冊<7丁墨>	34
差入申証文之事(永楽講金落圖にて貴殿80両役印証文講中へ預入れにつき証文下書) → 藤屋甚右衛門殿	文久3年亥4月	横切紙・1通	28-777
差入申証文之事(永楽講落圖講金預り番に付80両役印証文1通借用) 佐野屋佐兵衛(印墨消)→藤屋甚九郎殿	文久3年亥4月	縦紙・1通/(No.47-2~60まで紙縫一括)	47-20
当座借貸覚(永楽講) 永楽社	明治12年卯1月より	横半半折・1冊<3丁墨>	9
永楽講十四会目当日出入覚(4月7日講員掛金覚)	(4月7日)	横折紙・1通	56-2
(相続講開催につき招待状) さの屋内つな	3月30日	横切紙・1通	28-104
(相続講開催につき招待状)		横切紙・1通	28-103

## 3.4.金銭授受

證(報酬金150円受取書) 三浦伊兵衛→渡辺鋤三郎殿	明治35年9月20日	堅紙・1通	50-5
記(金9円受取書) 三浦伊兵衛→荒川外之助様	(明治)35年12月9日	小切紙・1通	50-11
覚(金6両余支払) か見屋庄七→佐野屋佐兵衛様	6月29日	横切紙・1通	28-641
記(割合金1円22銭受取状) 大野屋又右衛門(印)→渡辺様	6月29日	小切紙・1通	28-293
記(栄盛社の割戻し支払に付) 栄盛社代庄七→渡辺君	8月17日	横切紙・1通	28-645
記(銀貨5円引替手数料受取) 銭屋三十郎(印)	11月15日	小切紙・1通	28-653
記(金銭受取) 三州屋佐吉(印)→渡辺佐兵衛様	12月9日	横切紙・1通	28-650
覚(金2両受取) 幸七→佐兵衛様	12月28日	横切紙・1通	28-649
覚(金銭出納)		小切紙・1通/(後欠)	28-633

## 3.5.金銭勘定

覚(金銭39両余返済につき書上) 小左衛門→塩三殿	3月5日	小切紙・1通	28-713
(店への入金額など勘定覚)	(6月29日)～12月31日	横切紙・1通/(前欠)	28-425
覚(金銭2両余勘定添書)	8月22日	横切紙・1通	28-638
(金銭書上)	9月14日	小切紙・1通	28-30
覚(車力など金銭勘定)		横切紙・1通	28-635
覚(車力など代金差引勘定)		横切紙・1通	28-639
(人別金銭勘定書上)		小切紙・1通	28-640
(金銭勘定書上)		横切紙・1通/(No. 28-673は5点紐一括)	28-673-4
(金銭勘定書上)		小切紙・1通/(No. 28-673は5点紐一括)	28-673-5
(金銭書付)		小切紙・1通	28-284
記(貨幣別数量勘定)		横切紙・1通	28-487
覚(金129両余勘定書上)		小切紙・1通	28-714

## 3.6.借家経営

借家請状之事 *No.28-694の案文 借主佐野屋源左衛門(印)、請人杉山屋惣右衛門(印)→佐野屋与右衛門殿	文政1年寅8月	堅紙・1通/(所々貼紙あり)	51-1
借家請状之事(又七へ家賃5匁5分にて借家につき請状写) 借主又七、町請忠治、家請情明寺御所久兵衛→佐野屋宗右衛門殿	文政10年亥6月	堅紙・1通/(No.28-693は4点紙縫一括)	28-693-1
借家請状之事(新蔵へ家賃5匁5分にて借家につき請状) 借主又七(印)、町請忠治(印)、家請情明寺御所久兵衛(印)→佐野屋宗右衛門殿	文政10年亥6月	堅紙・1通	28-694
借家請状(勘蔵母きく借家につき) 借主きく(印)、請人治兵衛(印)→佐野屋宗右衛門殿	文政10年亥6月	堅紙・1通	69-3

借家請状之事 借主新蔵、町請定右衛門、家請治兵衛→佐野屋宗右衛門殿	天保8年酉11月	堅紙・1通/(No.28-693は4点紙縫一括)	28-693-4
借地証券(相生町3丁目8番地内110番扣借家1戸、家賃1ヶ月21銭余) 家借主高間嘉助(印)、同町加判出井甚九郎(印)→渡辺佐兵衛殿	明治8年1月1日	堅紙・1通/(無印紙証書用紙)	51-5
借地証券(相生町3丁目24番地内、家賃1ヶ月30銭) 第1大区6小区相生町3丁目23番地居住借主林栄七(印)、加判佐々木嘉吉(印)→渡辺佐兵衛殿	明治8年4月	堅紙・1通/(無印紙証書用紙)	51-4
仕切家届(相生町3丁目9番地建物借家3戸に仕切り仕りたく願書) 第1大区6小区相生町3丁目9番地商渡辺佐兵衛(印)/(奥印)副戸長浅野平八(印)、戸長天野間政信(印)→愛知県令警察鷲尾陸聚殿	明治8年7月	半・1冊<2丁墨>/ (一部黒色野紙) (No.60は紐一綴)	60-3
仕切家届(相生町3丁目家作建物借家3戸に仕切り仕りたく願) 第1大区邸商渡辺佐兵衛	明治8年7月	堅紙・1通/(黒色野紙)	74-1
借家貸渡届(商油業志知万次郎へ相生町3丁目旧9番地屋敷貸渡しにつき届書) 第1区相生町3丁目旧9番地新41番屋敷居住商渡辺佐兵衛→愛知県令安馬保和殿	明治10年6月	堅紙・1通/(黒色野紙)	51-3
借家証券(主税町の内扣屋敷、家賃1ヶ月35銭宛) 家借主伊澤伊平(印)/名古屋区相生町3丁目37番屋敷引受人高間弥吉(印)→渡辺佐兵衛殿	明治16年7月15日	半・1冊<2丁墨>/ (証券界紙)	51-2
乍恐奉願上候御事(伴嘉蔵名古屋九十軒町佐野屋金蔵扣借家利吉方へ同居願写) 清須小塚分佐吉後家/(奥書)右(清洲小塚分)村河村新兵衛→朝田藤三郎様御陣屋	申6月23日	堅紙・1通	68-2
(借家請人ほか書上)		堅紙・1通/(No.28-693は4点紙縫一括)	28-693-2
(借主・町請人書上)		堅切紙・1通/(No.28-693は4点紙縫一括)	28-693-3
借家貸渡届(下書)		堅紙・1通	51-6
百花園改正出金表(地券・家作買入金、借家新築費など見込勘定)		堅紙・1通/(青色野紙)/(No.46は紐一括)	46-57

## 3.7.地主経営

### 3.7.1.土地譲渡

(朱書)「第百三号」地所売渡證(三河国西加茂郡挙母村内反別1反4畝26歩、代金67円余、絵図面付) 三河国西加茂郡下林村27番屋敷平民農売主鈴村勝五郎(印)外1名/(奥印)下林村戸長代理筆生平岩富四郎(印)→尾張国名古屋区相生町渡辺佐兵衛殿	明治15年5月11日	半・1冊<3丁墨>/ (青色野紙)	49-13
(朱書)「第百号」地所売渡證(三河国西加茂郡挙母村内反別9畝20歩、代金46円余、絵図面付) 三河国西加茂郡下林村49番屋敷平民農売主鈴村栄吉(印)外1名/(奥印)右村戸長代理筆生平岩富四郎(印)→尾張国名古屋区相生町渡辺佐兵衛殿	明治15年5月11日	半・1冊<3丁墨>/ (青色野紙)	49-16
(朱書)「第三百十号」地所売渡証(三河国西加茂郡長興村内反別1反4畝29歩、代金70円余、絵図面付) 三河国西加茂郡下林村廿九番屋敷平民農売主鈴村甚吉(印)外1名/(奥印)長兵寺村戸長佐野藤太郎(印)→尾張国名古屋区相生町渡辺佐兵衛殿	明治15年5月11日	半・1冊<3丁墨>/ (青色野紙)	49-20
(朱書)「第百四号」地所売渡證(三河国西加茂郡挙母村内反別1反1歩、代金38円余、絵図面付) 三河国西加茂郡下林村18番屋敷平民農売渡人鈴村岩五郎(印)外1名/(奥印)右村戸長代理筆生平岩富四郎(印)→尾張国名古屋区相生町渡辺佐兵衛殿	明治15年5月11日	半・1冊<3丁墨>/ (青色野紙)	49-14

鉄砲塚町渡辺家文書 3.内方/7.地主経営/1.土地譲渡

(朱書)「第九拾九号」地所売渡證(三河国西加茂郡挙母村內反別3畝19歩、代金17円余、絵図面付) 三河国西加茂郡下林村40番屋敷平民農売主鈴木吉藏(印)、同国同郡同村35番屋敷保証人平民農鈴木銀次郎(印)/(奥印)右村戸長代理筆生平岩富四郎(印)→尾張国名古屋区相生町渡辺佐兵衛殿	明治15年5月11日	半・1冊<3丁墨>/ (青色罫紙)	49-15
(朱書)「第百壹号」(三河国西加茂郡挙母村内地所売渡証地価63円余、代金48円余、絵図面付) 西加茂郡下林村26番屋敷売渡人鈴木磯八(印)外1名/(奥印)右村戸長代理筆生平岩富四郎(印)→名古屋渡辺佐兵衛殿	明治15年5月11日	半・1冊<3丁墨>/ (青色罫紙)	49-18
(朱書)「第百五号」地所売渡證(三河国西加茂郡挙母村內反別3畝4歩余、代金17円余、絵図面付) 三河国西加茂郡下林村47番屋敷平民農売主鈴木儀平(印)外1名/(奥印)右村戸長代理筆生平岩富四郎(印)→尾張国名古屋区相生町渡辺佐兵衛殿	明治15年5月11日	半・1冊<3丁墨>/ (青色罫紙)	49-19
(朱書)「第百六号」地所売渡証(三河国西加茂郡挙母村內反別8畝26歩、代金32円余、絵図面付) 三河国西加茂郡下林村18番屋敷平民農売主鈴木磯八(印)外3名/(奥印)戸長代理筆生平岩富四郎(印)→尾張国名古屋区相生町渡辺佐兵衛殿	明治15年5月11日	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)	49-21
(朱書)「第百弐号」地所売渡証券(三河国西加茂郡挙母村內反別9畝23歩、代金34円余、絵図面付) 三河国西加茂郡下林村35番売渡人鈴木銀次郎(印)外1名/(奥印)右村戸長代理筆生平岩富四郎(印)→尾張国名古屋区相生町渡辺佐兵衛殿	(明治15年5月売渡)	半・1冊<3丁墨>/ (青色罫紙)	49-17
(三河国挙母村長興寺村內所持地地券書上帳、29筆8反7畝余・地価金487円余・掬米4石8斗7升余、作人は下林村居住)		半・1冊<3丁墨>/ (青色罫紙)	51-8
(田畑取調書上)		横長半・1冊<3丁墨>/ (No.46は紐一括)	46-11

### 3.7.2.掬米

明治十五年度掬米(鈴木栄吉・鈴木岩太郎・鈴木磯吉・鈴木吉藏分)	(明治16年)	小札・3点一綴	68-17
明治十五年度掬米(鈴木勝五郎分)	(明治16年)	小札・1点	68-18
(地租など差引作徳米勘定書)		小切紙・1通	28-472

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
<b>4.店方</b>			
<b>4.1.焚味噌商</b>			
<b>4.1.1.経営・資本</b>			
<b>4.1.1.1.本家関係</b>			
一札(焚味噌株・売場・諸道具他永代売渡につき、金230両) 売主駒屋瑞甫(印)、證人駒屋小左衛門(印)・駒屋淨雲(印)・駒屋五兵衛(印)→佐野屋与右衛門殿	文政9年戌6月4日	縦紙・1通	70
一札(鉄砲塚町の内中ノ切西側他地所3ヶ所売渡し、代金500両) 家売り主駒屋瑞甫(印)、證人駒屋小左衛門・駒屋淨雲・駒屋五兵衛→佐野屋与右衛門殿	文政9年戌6月4日	縦紙・1通	49-9
永代売渡家屋敷事(鉄砲塚町の内中ノ切西側他地所3ヶ所売渡し写、代金500両) 家売り主駒屋瑞甫(印)、證人駒屋小左衛門・駒屋淨雲・駒屋五兵衛→佐野屋与右衛門殿(書き直して「宗右衛門殿」)	文政9年戌6月4日	縦紙・1通	49-10
小納戸(本家より小納戸金入金覚帳) 渡辺氏	弘化4丁未年改之	横長半・1冊<4丁墨>	23-2
借入金添証文之事(家屋敷証文差入にて金190両借用) 借主別家佐兵衛(印墨消)→御本家様	安政4年巳2月	縦紙・1通/(No.47-2~60まで紙縫一括)	47-15
借入金添証文之事(家屋敷証文差入にて金190両借用証文写) 別家佐兵衛→御本家様	安政4年巳2月	縦紙・1通/(No.47-2~60まで紙縫一括)	47-16
年々御下金之覚(本家へ預け切り分など混雑につき借入分記入帳)	文久4年甲子11月	横長半・1冊<3丁墨>/(No.31は紐一括)	31-4
覚(10月1日~12月27日まで人足31人半本屋より請取) 初治郎→本家様	寅12月	横切紙・1通	28-171
約定証(恩借金返済仕法内輪切替につき) 別家渡辺佐兵衛→御主人様	明治13年10月	縦紙・1通/(証券界紙)/(No.46は紐一括)	46-87
約定証(恩借金返済仕法内輪切替につき) 別家渡辺佐兵衛→御主人様	明治13年10月	縦紙・1通/(No.46は紐一括)	46-88
(主家へ忠勤につき鳥目5貫文下賜写) (尾張藩)→九拾軒町佐野屋与右衛門召仕佐兵衛	3月	横切紙・1通	28-672
写(主家へ忠勤につき鳥目5貫文下賜) (尾張藩)→(九拾軒町佐野屋与右衛門召仕佐兵衛	3月	小切紙・1通/(No.28-399は3点紙紐一括)	28-399-2
<b>4.1.1.2.店・社屋</b>			
商号登記申請書(さのや商号、付証拠写) 愛知縣名古屋市相生町44番戸渡辺つな(印)→名古屋区裁判所御中	明治31年8月5日	縦紙・2点一綴/(一部青色罫紙)/(No.46は紐一括)	46-100
(鶴重町に醸造の付属製造場建設等につき書状) 種田勘七→渡辺おつな様	4月12日	横切紙・1通	28-562
覚(出店普請・道具入用・大工作料など諸勘定帳)		横長半・1冊<9丁墨>/(No.46は紐一括)/(貼紙あり)	46-32
(東田町通り本家・土蔵絵図面)		縦紙・1通	73-18
(相生味噌・渡辺佐兵衛の商標印影集)		横切紙・1通	28-464
<b>4.1.1.3.分店</b>			
新規営業届(中嶋郡萩原村酒井民次郎方借り請け味噌醬油新規営業仕り度) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛印、酒井民次郎印→中嶋郡長日比野明殿	明治18年10月	縦紙・1通/(青色罫紙)	37-3-9

## 鉄砲塚町渡辺家文書 4.店方/1.焚味噌商/1.経営・資本/3.分店

新規営業届(中嶋郡一宮村内伊東仙十郎扣家借用にて味噌醤油商新規営業仕り度) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛印、伊奈仙十郎印→中嶋郡長日比野明殿	明治18年12月	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-37
分店支配ニ付差入証(醤油味噌塩酢4種取扱い分店支配人業務条項) 分店支配人相生町44番伊藤鋤三郎(印)、親戚保証人中野清三郎(印)、親戚保証人荒川外之助(印)→小栗富治郎殿	明治28年12月15日	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)/(No.46は紐一括)	46-61
契約書(戸田兼吉雇用契約書) (名古屋市門前町味噌醤油商小栗富治郎第壹分店支配人) 渡辺鋤三郎(印)、(雇用户) 萱屋町175番戸平民戸田兼吉(印墨消) 外保証人2名	明治34年9月2日	半・1冊<2丁墨>	53-1
明治三十九年十一月四日一分店財産調(開店準備納屋諸道具など)	明治39年11月4日	横折紙・2通/(青色罫紙)	28-448
三十九年十一月小栗第一分店什器調査(此分内方覚)	(明治39年)11月	横切紙・1通	28-449

## 4.1.2.焚味噌組合

## 4.1.2.1.年行司

口上之覚(八戸大豆など有無お尋ねのところ持ち合いこれなき旨達し) (尾州名古屋) 赤塚町品野屋彦三郎(印)	文久1年西10月	堅紙・1通	28-710
(文久1・2年仲間御冥加金取立帳)	(文久1年)~文久2年12月	横長半・1冊<3丁墨>/ (No.31は紐一括)	31-1
口上之覚(上州大豆45俵仙台大豆50俵手払い御請につき) 赤塚町品野屋彦三郎(印)	(元治1年)子7月	堅紙・1通	28-658
(奉行所より御飼料御用につき持合大豆取調御用留写) (焚味噌屋惣代)	(元治1年)子7月	横長半・1冊<3丁墨>/ (No.31は紐一括)	31-3
調達金人別帳(尾張藩関東出兵につき焚味噌屋東組分調達金) (焚味噌屋東組) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛	慶応4辰年7月	半・1冊<6丁墨>/ (虫損)	32
覚(上納御返済金450両余仲間勘定書写)	明治2年巳9月20日	半・1冊<3丁墨>/ (No.46は紐一括)	46-83
覚(醤油溜製造見積書) 坂上町江州屋孫六(印)	明治5年申1月	堅紙・1通/(No.57は12点一綴)	57-2
覚(明治4年分醤油製造高届、228石余) 山田弥兵衛(印)	明治5年壬申3月	堅紙・1通	37-5-40
覚(明治4年分醤油製造高届、54石余) 品野屋彦三郎(印)	(明治5)申3月	堅紙・1通	37-5-41
覚(乾粉142石5斗保存の指示) 相生町渡辺佐兵衛(印)→醤油年行事御中	(明治5年)壬申11月	堅紙・1通/(No.57は12点一綴)	57-4
覚(乾粉保存の指示、雛形) 何町何誰→醤油年行事御中	(明治5年)壬申11月	堅紙・1通/(No.57は12点一綴)	57-5
覚(元大豆の内157石余焚味噌製造につき届下書) 相生町渡辺佐兵衛→年行司御中	明治6年7月13日	堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.46は紐一括)	46-107
記(4度目焚数など届書) 相生町神谷伝右衛門(印)→年行事御衆中様	明治6年7月13日	堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.55は18点一綴)	55-5
癸酉九月より来戌八月迄石数願扣(元大豆製造願など書類綴)	(明治6年)7月31日	半・1冊<13丁墨>/ (青・黒色罫紙)	37-1-1
御届(明治6年醤油製造高届、292石) 相生町神谷伝右衛門(印)→年行司御衆中様	(明治6年)西8月19日	堅紙・1通/(黒色罫紙)	37-5-42
記(元大豆の内97石余焚味噌製造につき届書下書) 相生町渡辺佐兵衛→年行司御中	明治6年11月8日	堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.46は紐一括)	46-105

## 鉄砲塚町渡辺家文書 4.店方/1.焚味噌商/2.焚味噌組合/1.年行司

届ケ(明治6年免許元大豆100石醤油製造焚終届) 第1 大区6小区東田町小川けい(印)→愛知縣	明治7戊年1月	豎紙・1通/(黒色 罫紙)	37-5-53
順達(明治7年年醤油垂高取調書提出につき大至急順 達、醤油醸造届書雛形共) (東組世話方神谷伝右衛門・ 渡辺佐兵衛)	(明治7年)7月22日午 後9時30分	横切継紙・2点一 綴/(黒色罫紙)	37-5-45
記(甲戌免許の鑑札受取証) 杉江藤左衛門(印)	明治8年3月4日	豎紙・1通/(黒色 罫紙)/(No.46は紐 一括)	46-72
記(増石願鑑札受取証) 酒井辰之助(印)	(明治8年)亥4月2日	堅切紙・1通/(No. 46は紐一括)	46-75
(鑑札受取証) 赤塚町深田初治郎(印)	(明治8年)亥4月5日	豎紙・1通/(黒色 罫紙)/(No.46は紐 一括)	46-69
覚(鑑札受取証) 神田正純(印)	(明治)8年4月5日	小切紙・1通/(No. 46は紐一括)	46-74
記(免許の鑑札受取証) 第1区3小区石町小林忠兵衛 (印)→渡辺佐兵衛様	明治8年亥4月9日	小切紙・1通/(黒 色罫紙)/(No.46は 紐一括)	46-71
証(免許鑑札受取証) 赤塚町梅田六平(印)	(明治8年)亥4月	豎紙・1通/(黒色 罫紙)/(No.46は紐 一括)	46-73
記(醤油製造鑑札受取) 竹田常三郎(印)→渡辺佐兵衛様	(明治8年)4月	豎紙・1通/(No.46 は紐一括)	46-76
覚(極上味噌ほか代金書上) 焚味噌屋惣代(印)	酉9月	豎紙・1通/(No.57 は12点一綴)	57-10
覚(冥加金6両3分余受取) 銭屋喜兵衛→佐野屋佐兵衛様	子12月18日	小切紙・1通	28-430
覚(味噌溜仲間1か年分売上高御国用・他売捌分別届 書)	巳7月	半・1冊<3丁墨>	37-5-14
一札(焚味噌商売再開報告につき書状) 久屋町三輪屋 武助印→焚味噌屋惣代御衆中様	未2月20日	小切紙・1通	28-582
請書覚(平商につき味噌溜川出し仕送荷せざる旨達) 柴田屋鉄蔵(印)	未11月	豎紙・1通	59-1
御受書之事(今般平商につき味噌溜山出し・川出送ら ざる旨受書) 生鯖屋文治(印)	未11月	豎紙・1通	59-2
御請書事(平商につき味噌溜川出し・馬荷など送らざ る旨受書) 中嶋屋藤助(印)	未11月	豎紙・1通	59-3
御請書事(平商につき重達商売せざる旨受書) 油屋 松兵衛(印)	未11月	豎紙・1通	59-4
御請書事(平商につき味噌溜川出し・馬荷などせず旨 受書) 池田屋与左衛門(印)	未11月	豎紙・1通	59-5
御請書之事(平商につき味噌溜川出し・馬荷などせず 旨受書) 鍋屋久蔵(印)	未11月	豎紙・1通	59-6
(焚味噌商売休職の件取計願につき書状) 三輪屋(山 本屋)武助→佐野屋佐兵衛様	2月20日	横切継紙・1通	28-589
記(鑑札6通受取) 鈴木善六(印)→佐野屋佐兵衛様	3月22日	小切紙・1通/(青 色罫紙)	28-686
(主人会合へ不参の件につき書状) 惣介→渡辺佐兵衛 様	4月25日	横切紙・1通	28-175
(焚味噌屋休職願につき書状) 山本屋甚兵衛→佐野屋 佐兵衛様	9月8日	横切継紙・1通	28-126
演舌ニ而(組合入用費返却分勘定つき書状)	12月4日	横切継紙・1通	28-87
覚(酉年御冥加金10軒分勘定書写)	12月15日	横切継紙・1通	28-512
(近年焚極これなく冥加金減免願いたく書状) 扇屋 半七→佐(佐野屋)佐兵衛様	14日	横切継紙・1通/ (No.28-13は3冊紐 一括)	28-13-1

## 鉄砲塚町渡辺家文書 4.店方/1.焚味噌商/2.焚味噌組合/1.年行司

(冥加金減免願につき書状) 扇屋井助→佐(佐野屋)佐兵衛様	14日	横切継紙・1通/(No.28-13は3冊紐一括)	28-13-2
(冥加金扣帳下渡し願につき書状) 扇屋井助→佐(佐野屋)佐兵衛様	19日	横切継紙・1通/(No.28-13は3冊紐一括)	28-13-3
覚(醤油溜製造用元大豆分醤油製造高仲間局)		半・1冊<4丁墨>	37-5-39
一ヶ年生産・製造高調(御城下穀類諸品他郡へ販売高など取調雛形)		半・1冊<3丁墨>/ (No.57は12点一綴)	57-9
味噌溜請売業下商記		縦紙・1通/(No.57は12点一綴)	57-11

## 4.1.2.2.廻状

(味噌小売値下げなどにつき廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→永楽屋おるい殿・柏屋佐兵衛様・品野屋彦三郎様外7名	(文久1年)酉8月9日	横切継紙・1通	28-267
廻紙(和宮様下向にて蒲団御入用につき佐兵衛まで至急連絡願いたく廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→永楽屋おるい様・柏屋佐兵衛様外8名	(文久1年)10月6日子上刻	横切継紙・1通	73-5
口演(別紙の通り味噌値段値下げにつき廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→京丸屋善六様、柏屋佐兵衛様、品野屋彦三郎様、干鰯屋善蔵様、八木屋弥兵衛様、三輪屋甚左衛門様、扇屋半七様、山本屋甚兵衛様、佐野屋宗右衛門さま、鍋屋源兵衛様外1名	(文久2年戌)8月14日	横切継紙・1通	28-671
一札(塩高値の件許容願) 古金屋孫平、証人野村屋新次郎、同断萱野屋武兵衛/(奥印) 佐のや与右衛門、同佐兵衛→山本屋甚兵衛様、扇屋半七様、京丸屋善六様、八木屋弥兵衛様、柏屋佐兵衛様、品のや彦三郎様、干鰯屋善蔵様、湯屋源兵衛様、佐のや惣右衛門様	文久3年亥4月	横切継紙・1通	28-460
(商い不景気嘆願にて溜・味噌値段など取り決めにつき廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→柏屋佐兵衛様、表屋武助様、品野屋彦三郎様、干鰯屋善蔵様、鍋屋源兵衛様、扇屋半七様、八木屋弥兵衛様、山本屋甚兵衛様	(明治1年辰)12月20日	横切継紙・1通	28-664
廻文(醤油製造高届書の案紙至急順達の旨) 表屋武助・佐野屋佐兵衛→丸屋市兵衛様・山本屋甚兵衛様外6名	(明治5年)壬申7月24日	横切継紙・1通/(No.73-19は18点紙縫一括)	73-19-1
順達(新御鑑札交付につき焚残り注意の旨) 神谷伝右衛門・渡辺佐兵衛→神田正純様・鬼頭佐助様・大嶋善左衛門様・宮崎平四郎様・深田初治郎様・江尻彦三郎様・酒井辰之助様・森本善蔵様・森川市兵衛様・内藤武兵衛様・鎌田清助様・杉江藤左衛門様・東田町油屋事小川清七様	(明治5年)9月11日	横切継紙・1通	73-13
(味噌を以て醤油製造営業者取調べにつき請書提出他の旨廻状) 表屋武助・佐野屋佐兵衛→丸屋市兵衛様・菊屋徳兵衛様外11名	(明治5年)壬申10月18日已上刻	横切継紙・1通/(No.73-19は18点紙縫一括)/(下札あり)	73-19-6
廻文(味噌を以て製造の醤油溜り数至急取調べの旨) 佐野屋佐兵衛・表屋武助→美濃屋善左衛門様・深田屋初治郎様外1名	(明治5年)壬申10月25日	横切継紙・1通/(No.73-19は18点紙縫一括)	73-19-3
(壬申鑑札・大蔵省の鑑札佐兵衛方へ差出などにつき廻状) 神谷伝右衛門・渡辺佐兵衛→神田正純(カ)様・鬼頭佐助様・大嶋善左衛門様外8名	明治6年7月28日	横切継紙・1通	28-194
廻文(別紙のことに至急組下へ通達依頼他の旨) 蜂須賀武助・渡辺佐兵衛→鬼頭佐助様・大嶋善左衛門様外9名	1月25日	横切継紙・1通/(No.73-19は18点紙縫一括)/(下札あり)	73-19-11
廻文(壬申7月までの仕切残金取調の旨) 蜂須賀武助・渡辺佐兵衛→鬼頭佐助様・宮崎平四郎様外2名	2月9日	横切継紙・1通/(No.73-19は18点紙縫一括)	73-19-10
(塩升出来につき受取人派遣依頼の旨廻状) 佐野屋佐兵衛→八木輔兵衛様・太田屋藤兵衛様外5名	2月14日	横切継紙・1通/(No.73-19は18点紙縫一括)	73-19-2

廻紙(神谷伝右衛門年行司退役につき跡役蜂須賀茂助任命の件通知) 渡辺佐兵衛→鬼頭佐助様・大嶋善左衛門様外8名	3月18日	横切継紙・1通	73-1
(大豆一件相談につき急廻状) 年行司→野田庄蔵様・渡辺新右衛門様・伊藤佐兵衛様・渡辺佐兵衛様	3月20日	横切紙・1通	28-140
(昨年の醤油製造高取調べにつき雛形通り提出の旨廻状) 佐野屋佐兵衛→柏屋佐兵衛様・表屋松治郎様外4名	3月22日	横切継紙・1通/ (No.73-19は18点紙縫一括)	73-19-8
(大豆升についての規則取極依頼につき廻状) 神谷伝右衛門・渡辺佐兵衛→神田正純様・鬼頭佐助様・宮崎平四郎様外8名	3月24日	横切継紙・1通/ (No.73-19は18点紙縫一括)	73-19-9
巡紙(醸造増減の有無即刻提出すべき旨) 神谷伝右衛門・渡辺佐兵衛→鬼頭佐助殿・深田初治郎殿外3名	3月26日 午前7時	横切継紙・1通	73-4
(廻状断簡)	3月31日	横切紙・1通/(No.46は紐一括)	46-70
廻紙(免許鑑札増減書き入れ交付につき至急佐兵衛方まで来訪案内) 神谷伝右衛門・渡辺佐兵衛→神田正純様・梅田六平様・鬼頭佐助様・深田初次郎様・酒井辰之助様・竹田常三郎様・小林忠兵衛様・杉江藤左衛門様	4月1日	横切継紙・1通	73-6
順達(横井徳三郎・榊原兵吉・森田清助・米田小兵衛・松野甚吉へ今般口入業申付けにつき) 醤油造年行司→森本伊左衛門殿・吉田唯之助殿・牧野房太郎殿・伊藤佐兵衛殿・神谷伝右衛門殿・渡辺佐兵衛殿	4月3日	横切継紙・1通	73-16
順達(仲間樽廻今般惣廻しにつき御手廻し指示ならびに口入業申付けにつき案内順達) 醤油造年行司→森本伊左衛門殿・吉田唯之助殿・牧野房太郎殿・伊藤佐兵衛殿・神谷伝右衛門殿・渡辺佐兵衛殿	4月15日	横切継紙・1通	73-15
覚(御廻紙・状箱受取) きち徳→佐の屋佐兵衛様	5月26日	小切紙・1通	28-499
(御用につき至急佐兵衛方へ入来の旨飛切り大急ぎ廻状) 佐野屋與右衛門・同佐兵衛→柏屋佐兵衛様・表屋武助様・品野屋彦三郎様・干鰯屋善蔵様・鍋屋源兵衛様・扇屋半七様・八木弥兵衛様・山本屋武助様	7月24日	横切継紙・1通	73-9
廻文(醤油製造高届書の案紙至急順達の旨) 表屋武助・佐野屋佐兵衛→丸屋市兵衛様・山本甚兵衛様外6名	7月24日11時	横切継紙・1通/(No.73-19は18点紙縫一括)	73-19-5
廻文(醤油製造高届書の案紙至急順達の旨) 表屋武助・佐野屋佐兵衛→美濃屋彦左衛門様・表屋松治郎様外3名	7月24日	横切継紙・1通/(No.73-19は18点紙縫一括)	73-19-7
口演(伊勢塩高直取締の懸合につき廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→永楽屋お恵殿・柏屋佐兵衛様・表屋武助様外8名	7月28日	横切紙・1通	28-22
(御預けの大豆御解きにつき焚味噌仲間廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→柏屋佐兵衛様・表屋武助様・品野屋彦三郎様外4名	7月29日	横切継紙・1通	28-27
口演(奉行所より火急の用向につき佐兵衛方へ参集依頼の旨飛切り大急ぎ廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→永楽屋お恵様・柏屋佐兵衛様・品野屋彦三郎様・干鰯屋善蔵様・堀田屋与兵衛様・鍋屋源兵衛様・八木屋弥兵衛様・京丸屋善六様・三輪屋甚左衛門様・扇屋半七様・山本屋甚兵衛様・佐野屋宗七郎様	8月朔日朝	横切継紙・1通	73-12
廻文(盆前調達金残金上納の旨) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→渡辺半七様・山田弥兵衛様外6名	8月6日	横切継紙・1通/(No.73-19は18点紙縫一括)	73-19-18
廻文(調達金即刻提出の旨飛切り大急ぎ廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→柏屋佐兵衛様・表屋武助様・干鰯屋善蔵様・鍋屋源兵衛様	8月11日	横切継紙・1通	73-7

## 鉄砲塚町渡辺家文書 4. 店方/1. 焚味噌商/2. 焚味噌組合/2. 廻状

(焚味噌用の塩不足の旨惣代衆より通知につき廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→鍋屋源兵衛様・永楽屋おるい殿・柏屋佐兵衛様・表屋武助様・品野屋彦三郎様・干鰯屋善蔵様・八木屋弥兵衛様・三輪屋甚左衛門衛門様・扇屋半兵衛様・山本屋甚兵衛様・佐野屋宗右衛門様	8月13日	横切継紙・1通	28-623
(味噌小売値段下げにつき廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→永楽屋おるい様・柏屋佐兵衛様・品野屋彦三郎様・干鰯屋善蔵様・鍋屋源兵衛様・八木屋弥兵衛様・三輪屋甚左衛門様・扇屋半七様・山本屋甚兵衛様・佐野屋宗右衛門様	8月13日	横切継紙・1通	28-661
(御国産御勘定所南部八戸大豆450俵入札につき作良新田会所へ出張の件飛切り大急ぎ廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→柏屋佐兵衛様・表屋武助様・品野屋彦三郎様・干鰯屋善蔵様・鍋屋源兵衛様・扇屋半七様・八木屋弥兵衛様・山本武助様	8月17日申中刻	横切継紙・1通	73-8
(小売株・鑑札ほか御預りの者佐兵衛方へ通達する旨廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→柏屋佐兵衛様・表屋武助様・品野屋彦三郎様・干鰯屋善蔵様・鍋屋源兵衛様・扇屋半七様・八木屋弥兵衛様・山本屋甚兵衛様	8月19日	横切継紙・1通	28-663
(4ッ時迄に印形持参佐兵衛方へ入来の旨廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→永楽屋おるい殿・柏屋佐兵衛様・表屋武助様外7名	8月24日	横切継紙・1通	28-37
(口入佐七商い吟味中商い停止につき廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→永楽屋おるい様・柏屋佐兵衛様・品野屋彦三郎様・干鰯屋善蔵様・八木屋弥兵衛様・鍋屋源兵衛様・三輪屋甚左衛門様・扇屋半七様・山本屋甚兵衛様・佐野屋宗右衛門様	9月3日	横切継紙・1通	28-660
口演(別紙の通り味噌値段下げにつき廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→永楽屋おるい様・柏屋佐兵衛様・品野屋彦三郎様・干鰯屋善蔵様・鍋屋源兵衛様・八木屋弥兵衛様・三輪屋甚左衛門様・扇屋半七様・山本屋甚兵衛様・佐野屋宗右衛門様	9月8日	横切継紙・1通	28-670
(伊勢塩一件につき佐兵衛方へ参会案内廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→永楽屋おるい様・柏屋佐兵衛様・表屋武助様・品野屋彦三郎様・干鰯屋善蔵様・鍋屋源兵衛様・八木屋弥兵衛様・扇屋半七様・山本屋甚兵衛様・佐野屋宗右衛門様	9月9日	横切継紙・1通	28-659
順達(伊勢塩買入立合弁不都合につき仲間新規取極の旨)(醤油業東組行事) 神谷伝右衛門・渡辺佐兵衛→神田正純様・鬼頭佐助様・大嶋善左衛門様・深田初治郎様・宮崎平四郎様・江尻彦左衛門様・酒井辰之助様・森本善蔵様・森川市兵衛様・鎌田清助様・内藤武兵衛様・杉江藤左衛門様・小川けい様(東田町)	9月14日	横切継紙・1通	73-17
順達(県雑税掛から名古屋醤油業元締中への醸造税残金上納督促の件につき廻状) 東組世話方(神谷伝右衛門・渡辺佐兵衛)→鬼頭佐助殿・大嶋善左衛門殿・深田初二郎殿・宮崎平四郎殿・江尻彦三郎殿・酒井辰之助殿・森本善蔵殿・森川市兵衛殿・内藤武兵衛殿・鎌田清助殿・杉江藤左衛門殿・小川けい殿	9月22日	横切継紙・1通/(No. 46)は紐一括)	46-67
(塩入津支配方世話人の件などにつき廻状) 佐野屋興右衛門・同佐兵衛→永楽屋おるい殿・柏屋佐兵衛様・表屋武助様他7名	9月28日	横切継紙・1通	28-96
(味噌日雇鑑札交付につき名前書提出の旨廻状) 佐野屋佐兵衛→柏屋佐兵衛様・表屋松治郎様外4名	10月5日	横切継紙・1通/(No. 73-19)は18点紙紐一括)	73-19-13
(塩一件相談のため御入来願につき廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→山本屋甚兵衛様・扇屋半七様・八木屋弥兵衛様・柏屋佐兵衛様・表屋武助様・品野屋彦三郎様・干鰯屋善蔵様・鍋屋澤蔵様	10月6日	横切継紙・1通	28-610
廻文(規則書順達の旨) 佐野屋佐兵衛→表屋武助様・八木弥兵衛様外5名	10月8日	横切継紙・1通/(No. 73-19)は18点紙紐一括)	73-19-14

廻文(13日鑑札交付の旨急ぎ廻文) 佐野屋佐兵衛→八木弥兵衛様・表屋武助様外2名	10月11日	横切継紙・1通/(No. 73-19は18点紙縫一括)	73-19-15
順紙(醤油造免許鑑札交付につき桜天神まで至急出頭の旨) 月番年行司→吉田唯之助殿・森本伊左衛門殿・牧野房太郎殿・伊藤佐兵衛殿・神谷伝右衛門殿・渡辺佐兵衛殿	10月22日	横切継紙・1通	73-10
(焚味噌休止の旨他通達等につき廻状) 表屋武助・佐野屋佐兵衛→柏屋佐兵衛様・美濃屋善左衛門様外8名	10月27日	横切継紙・1通/(No. 73-19は18点紙縫一括)/(下札あり)	73-19-12
(銭屋道喜葬式につき焚味噌仲間廻状) →柏屋佐兵衛様・表屋武助様・品野屋彦三郎様外7名	11月10日	横切継紙・1通	28-26
(味噌日雇い鑑札交付につき当人出頭の旨廻状) 佐野屋佐兵衛→柏屋佐兵衛様・表屋松治郎様外5名	11月10日	横切継紙・1通/(No. 73-19は18点紙縫一括)	73-19-4
(永楽屋伝右衛門死去につき大急ぎ廻状) 佐野屋与右衛門・伝兵衛→山本屋甚兵衛様外9名	11月17日	横切継紙・1通	28-564
(塩一條相談の件につき廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→柏屋佐兵衛様・表屋武助様・品野屋彦三郎様外4名	11月20日	横切継紙・1通	28-192
(売日認め方につき通知状) 当番鈴木久助・蜂須賀武助・伊藤新左衛門→鈴木善六様・吉田只之介様・牧野房太郎様・森本伊左衛門様・渡辺佐兵衛様・神谷伝右衛門様	11月20日	小切継紙・1通	28-679
廻文(商社諸入用銀10匁支払い願の旨) 佐野屋佐兵衛→柏屋佐兵衛様・表屋松治郎様外5名	11月25日	横切継紙・1通/(No. 73-19は18点紙縫一括)	73-19-17
廻文(調達金返却につき交付の旨急ぎ通知) (東組焚味噌屋)佐野屋与右衛門・同佐兵衛→山本屋甚兵衛様・扇屋半七様・八木弥兵衛様外7名	12月2日	横切紙・1通	68-13
口上(諸色高直につき味噌溜共値上げにつき廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→永楽屋伝右衛門様・山本屋甚兵衛様外9名	12月17日	横切継紙・1通/(No. 73-19は18点紙縫一括)	73-19-16
(大豆堀川車力2文足につき廻状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→柏屋佐兵衛様・表屋武助様・品野屋彦三郎様・干鰯屋善蔵様・鍋屋源兵衛様・山本屋甚兵衛様・扇屋半七様・八木屋弥兵衛様	12月19日	横切継紙・1通	28-580
廻文(伊藤次郎左衛門等名古屋為替会社開店につき案内廻状) 佐野屋佐兵衛→柏屋佐兵衛様・表屋おいそ様・品野屋彦三郎様・干鰯屋善蔵様・表屋武助様・八木弥兵衛様・太田屋藤吉様	12月20日	横切紙・半・2点一綴<3丁墨>/(No.46は紐一括)	46-64
廻紙(冥加金拠出依頼につき) 佐野屋奥右衛門・同佐兵衛→永楽屋おるい様・柏屋佐兵衛様・品野屋彦三郎様・干鰯屋善蔵様・鍋屋源兵衛様・堀田屋与兵衛様・八木屋弥兵衛様・京丸屋善六様・三輪屋甚左衛門様・扇屋半七様・山本屋甚兵衛様・佐野屋宗七郎様	12月22日	横切継紙・1通	73-11
(兵粮焚出の諸品代金仲間一同より取集につ廻状) (焚味噌屋惣代ならびに佐野屋与右衛門・同佐兵衛)→柏屋佐兵衛様・表屋武助様・品野屋彦三郎様・干鰯屋善蔵様・鍋屋源兵衛様・山本屋甚兵衛様・扇屋半兵衛様・八木屋弥兵衛様	12月23日	横切継紙・1通	28-614
(世話方小頭役塩屋兵吉就任につき案内順達状) 佐野屋与右衛門・同佐兵衛→柏屋佐兵衛様・表屋武助様・品野屋彦三郎様・干鰯屋善蔵様・鍋屋源兵衛様・扇屋半七様	12月24日	横切紙・1通	28-518
(回章発給につき書状) 庄五郎→定次郎様		横切紙・1通	28-70
(昨日御奉行所様より仰渡されの儀御談じにつき廻状) (佐野屋佐兵衛)		横切紙・1通	28-468
(各々伊勢塩不足分弁じ申すべき旨廻状) (佐野屋与右衛門・同佐兵衛)		横切紙・1通	28-669

## 4.1.2.3.交際

覚(肴・酒代など代金受取書) 小川や文吉→味噌屋御連中様	未7月	横切継紙・1通	50-16
覚(船賃など諸費831匁余受取書) 小川屋文吉→味噌屋御連中様	未11月	横切継紙・1通	50-13
覚(料理・酒代など諸費31匁余受取書) 小川屋文吉→佐野屋佐兵衛様	戊7月13日	横切継紙・1通	50-14
(芝居弁当代など代金受取書綴) (近江屋直吉)→(佐野屋殿初味噌問屋御中様)	(7月13日)	横切継書・2点一綴<2丁墨>	50-10

## 4.1.2.4.取決

定(味噌屋仲間掟書写)	天明5年9月	堅継紙・1通	58
(味噌溜り商人組合取決めにつき請書、雛形) 年行司印、組頭何屋誰印・同断何屋誰印/(奥印)何屋誰印	文政11年子9月	半・1冊<3丁墨>/ (No.46は紐一括)	46-49
運水組出方(東1番組・東2番組・北3番組・北4番組の出火対応構成員書上)	弘化4年未6月	堅紙・1通	63-2
雲水組方角遠方在辺出火之節寄場(寄場・過料銭規定書) 焚味噌屋惣代(印)	(弘化4年)未6月	堅紙・1通	63-3
運水組出方(東1番組・東2番組・北3番組・北4番組の出火対応構成員書上)	安政2年1月	堅紙・1通	63-4
東組焚味噌屋小売直下ヶ書上写(赤塚町柏屋佐兵衛・赤塚町品野屋彦三郎・大曾根屋源兵衛・佐野屋佐兵衛による販売状) 北佐野屋扣	元治1甲子7月19日	横長半・1冊<5丁墨>/ (丁間史料あり)	17
(出火運水組入用金高支払勘定書綴)	(明治2年)12月～明治3年12月)	横折紙・2点一綴	63-1
大豆規則(取引規則) 米穀業仲間→醤油業御中	西2月	堅紙・1通	69-6
(塩問屋株式1口125両で焚味噌屋中へ買請などにつき取決書)	10月	小切紙・1通	28-613
一札(升扱人改正規則につき一札)		横切継紙・1通	28-462
記(醸造商売の取決め)		小切紙・1通/(No.46は紐一括)	46-7

## 4.1.2.5.会社

焚味噌業商律(焚味噌通商会社創立につき会社約款) 焚味噌屋世話方森本伊左衛門・山本屋甚蔵・葛木屋新右衛門・佐野屋佐兵衛・銭屋勘七、熱田同成田屋弥三郎・万屋八右衛門/(奥印)頭取中村次郎太・三輪惣右衛門、同並神谷伝右衛門、肝煎鈴木久助・伊藤新左衛門・大菱屋庄蔵・美濃屋佐兵衛・森本治右衛門・佐藤理助・河村武七・青木庄次郎・加藤善八・桔梗屋丈助・井澤屋茂兵衛・米屋兵吉、熱田肝煎山田清三郎・竹内弥七	明治4年未9月	半・1冊<7丁墨>/ (No.46は紐一括)	46-62
入津味噌醤油規則(入津醤油会社)	(明治5年)壬申1月	堅紙・1通/(No.57は12点一綴)	57-1
御伺書(入津醤油会社御廃止今般改めて商社創立届につき税銀額伺書) 入津醤油世話方業元頭取中村次郎太・神谷伝右衛門(印)→愛知県御庁	(明治5年)壬申4月	堅紙・1通/(No.57は12点一綴)	57-3
入社金(人別書立)		半・1冊<2丁墨>/ (No.46は紐一括)	46-66

## 4.1.3.役所関係

## 4.1.3.1.届・願

醤油製造御鑑札御下ヶ願(写) (第1大区小5区関鍛冶町元229番)武内又六郎印/(奥書)菅井東作→県庁御中	(明治5年)壬申10月13日	堅紙・1通/(No.46は紐一括)/(掛ヶ紙2枚あり)	46-4
---	----------------	-----------------------------	------

御届(明治5年免許元石300石醤油製造願)	明治6年5月	堅紙・1通	37-5-47
御届(明治6年免許元石300石醤油製造願) 相生町渡辺佐兵衛	明治6年5月	小切紙・1通	37-5-55
(別冊判取帳証印願下書) 愛知縣管下尾張国愛知郡萱屋町中村次郎太→愛知縣御庁	明治6年6月26日	堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.46は紐一括)	46-101
(別冊判取帳証印願下書) 愛知縣管下尾張国愛知郡相生町渡辺佐兵衛→愛知縣御庁	明治6年7月2日	堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.46は紐一括)	46-102
(別冊判取帳証印願下書) 愛知縣管下尾張国愛知郡相生町渡辺佐兵衛→愛知縣御庁	明治6年7月2日	堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.46は紐一括)	46-108
(別冊金銭請渡帳証印願下書) 愛知縣管下尾張国愛知郡相生町渡辺佐兵衛→愛知縣御庁	明治6年7月2日	堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.46は紐一括)	46-109
御届(明治6年免許元大豆300石醤油製造願) 相生町渡辺佐兵衛	明治6年7月・10月	堅紙・1通	37-5-54
記(元大豆の内97石余焚味噌製造につき届下書) 相生町渡辺佐兵衛	明治6年11月8日	堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.46は紐一括)	46-103
御届(明治6年免許元石300石分醤油製造願ほか) 相生町渡辺佐兵衛	(明治6年・明治7年)	堅紙・1通/(黒色罫紙)	37-5-46
荷車御鑑札願(大車3輪・小車1輪所持につき鑑札交付願) 第1大区6小区相生町商渡辺佐兵衛/(奥書)第1大区6小区相生町副戸長代村瀬勘七→愛知県令警察鷺尾陸聚殿	明治7年5月	堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.60は紐一綴)	60-1
荷車御鑑札願(大車3輪・小車1輪所持につき鑑札交付願) 第1大区6小区相生町商渡辺佐兵衛/(奥書)第1大区6小区相生町副戸長代村瀬勘七→愛知県令警察鷺尾陸聚殿	明治7年5月	堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.60は紐一綴)	60-2
御届(明治7年3月増高免許元石150石分醤油製造願) 相生町渡辺佐兵衛	明治7年7月	堅紙・1通/(黒色罫紙)	37-5-44
御届(醤油製造高書上、明治6年9月～7年8月免許元石450石) 愛知郡相生町渡辺佐兵衛	明治7戊年7月	堅紙・1通/(黒色罫紙)	37-5-48
御届(醤油製造高書上、明治6年9月～7年8月分免許元石450石) 愛知郡相生町渡辺佐兵衛	明治7戊年7月	堅紙・1通/(黒色罫紙)	37-5-49
御届(元大豆300石分醤油製造願、明治7年9月～8年8月) 相生町渡辺佐兵衛→愛知縣令鷺尾陸聚殿	明治7年8月	堅紙・1通/(黒色罫紙)	37-5-43
御届(10月免許元石300石醸造願) 相生町渡辺佐兵衛→愛知縣令鷺尾陸聚殿	明治7年12月	堅紙・1通/(黒色罫紙)	37-5-2
御届(明治7年免許元石100石余醤油製造願) 相生町渡辺佐兵衛→愛知縣令鷺尾陸聚殿	明治7年12月	堅紙・1通/(紙背は黒色罫紙)	37-5-57
減石願(御免許製造量減石願雛形)	明治7戊年	堅紙・1通	37-3-11
御届(明治7年免許元石300石醤油製造願) 相生町渡辺佐兵衛→愛知縣令鷺尾陸聚殿	(明治7年)	堅紙・1通/(黒色罫紙)	37-5-56
復籍届(次男鋤三郎復籍届) 本人渡辺鋤三郎、右親渡辺佐兵衛→愛知縣令安場保和殿	明治9年12月	堅紙・1通/(黒色罫紙)	37-5-64
届(明治9年味噌・溜製造高届書、紙背に明治10年4月付佐兵衛より定次郎への家督相続届) 渡辺佐兵衛	明治10年1月	堅紙・1通/(黒色罫紙)/(切取あり)	37-5-63
(職業・製造品取調・渡辺佐兵衛分届写) 相生町41番邸渡辺佐兵衛	(明治10年)	堅紙・1通	37-5-1
明治十年中他府縣へ輸出物品表写(渡辺佐兵衛分、中醤油・味噌) 第1区相生町41番邸渡辺佐兵衛印	(明治10年)	堅紙・1通/(黒色罫紙)	37-5-62
天保元年ヨリ明治十二年マテ米価額取調表 中村	(明治12年)	堅紙・2通/(黒色罫紙)/(No.46は紐一括)	46-47

## 鉄砲塚町渡辺家文書 4.店方/1.焚味噌商/3.役所関係/1.届・願

天保元年ヨリ明治十二年マテ米価額取調表 中村	(明治12年)	堅紙・2通/(黒色 罫紙)/(No.46は紐 一括)	46-48
(安政6年から明治12年までの味噌・溜り価額取調表)	(明治12年)	堅紙・1通/(黒色 罫紙)/(No.46は紐 一括)/(前欠)	46-50
(天保元年から明治12年までの味噌価額取調表) 中村	(明治12年)	堅紙・2通/(黒色 罫紙)/(No.46は紐 一括)	46-51
(天保元年から明治12年までの味噌・溜り価額取調表) 中村	(明治12年)	堅紙・1通/(黒色 罫紙)/(No.46は紐 一括)/(後欠)	46-52
天保元年ヨリ明治十二年マテ上八歩味噌・溜り価額取調表 中村	(明治12年)	堅紙・2通/(黒色 罫紙)/(No.46は紐 一括)	46-53
(天保1年より安政5年までの味噌価額・溜り価額取調表) 中村	(明治12年)	堅紙・1通/(黒色 罫紙)/(No.46は紐 一括)	46-55
(安政6年から明治12年までの味噌・溜り価額取調表)	(明治12年)	堅紙・1通/(黒色 罫紙)/(No.46は紐 一括)	46-54
(作事など支出勘定下書、紙背に明治12年の資産勘定下書)	(明治12年)	堅紙・1通/(黒色 罫紙)/(No.46は紐 一括)	46-89
荷車御鑑札返上願(下書) 第1区相生丁何番屋敷平民商渡辺佐兵衛	明治11年5月	堅紙・1通	28-233
御鑑札返上願(大車3輪・小車1輪破損につき鑑札返上願) 平民商渡辺佐兵衛→愛知県令安場保和殿	明治11年5月	堅紙・1通/(黒色 罫紙)/(No.60は紐 一綴)	60-7
(明治11年後半年分荷本税受取) 第1区二等副戸長小笠原忠益(印)→納人相生町渡辺佐兵衛	明治11年9月3日	堅紙・1通/(木版)	28-431
御鑑札返上願(六枚矧荷車破損解車につき鑑札返上願状) 第1区相生町41番戸屋敷平民商渡辺佐兵衛	明治11年12月12日	堅紙・1通/(黒色 罫紙)/(No.55は18 点一綴)	55-6
記(明治11年3781円余売上金高届写) 相生町(渡辺佐兵衛印)→相生町戸長御中	明治12年1月7日	堅紙・1通/(黒色 罫紙)/(No.46は紐 一括)	46-85
(明治11年6月迄分味噌・醤油など売上帳・醤油・塩など売上他資産差引勘定書)	明治12年7月	半・1冊<2丁墨>/ (赤色罫紙)	41-28
醤油高(明治11年醤油売上金届書、高4024円余) 渡辺佐兵衛→相生町戸長御中	明治12年8月12日	堅紙・1通/(黒色 罫紙)	41-26
明治十二年卯年(明治12年分醤油・溜・味噌・有物他売上など差引総勘定帳)	(明治12年)	堅紙・1通/(黒色 罫紙)/(2通一括)	41-2
明治十二月巳卯年(味噌醤油買入売上など差引勘定書)	(明治12年)	堅紙・1通/(下書 力)	41-4
明治十二巳卯年(味噌醤油買入売上など差引勘定下書)	(明治12年)	堅紙・1通/(黒色 罫紙)	41-5
明治十二年度売上届元(味噌・溜り売上、下書)	(明治12年)	堅紙・1通/(赤色 罫紙)/(No.46は紐 一括)	46-86
明治十三庚辰年六月(味噌醤油買入売上など勘定書下書)	(明治13年6月)	堅紙・2通/(黒色 罫紙)/(3通一括)	41-3
明治十三庚辰年(味噌醤油買入売上など差引勘定下書)	(明治13年6月)	堅紙・1通/(黒色 罫紙)	41-6
明治十三年庚辰年六月(味噌醤油買入売上など差引総勘定書下書)	(明治13年6月)	堅紙・1通/(黒色 罫紙)	41-9
(明治13年6月迄分味噌・醤油など売上帳ならびに醤油・塩など売上他資産差引勘定書)	明治13年7月	半・1冊<2丁墨>/ (黒色罫紙)	41-27

届(明治13年度味噌溜製造卸売上金高届、売上金高3735円余)(相生町)渡辺佐兵衛印→名古屋区役所区長吉田禄在殿	明治14年7月	竖紙・1通/(黒色罫紙)/(No.55は18点一綴)	55-10
届(明治13年度売上届、雛形) 右何之誰印→名古屋区長吉田禄在殿	明治14年7月	竖紙・1通/(No.60は紐一綴)	60-9
御届記(金銭判取帳・荷物判取帳届下書) 渡辺検印→第拾四組戸長岩田正富殿	明治16年7月12日	竖紙・1通/(黒色罫紙)	74-2
記(金銭判取帳・荷物判取帳届下書) →第拾四組戸長岩田正富殿	明治17年9月	竖紙・1通/(黒色罫紙)	74-3
届(明治17年中醤油製造高59石6斗、此代価298円) 相生町49番地渡辺つな印	明治18年5月	竖紙・1通/(No.37-1-4は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-4-1
届(味噌溜商業事務代理人渡辺佐兵衛とする旨) 右(相生町)渡辺つな印・渡辺佐兵衛印	明治18年5月	竖紙・1通/(No.37-1-4は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-4-2
醤油製造桶容量御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町3丁目17番地製造場醤油製造人渡辺つな→愛知県収税属金森信久(鉛筆書)	明治18年6月	半・1冊<2丁墨>/ (No.37-1-4は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-4-3
醤油製造桶容量御検査願(16石3斗6升4合) 名古屋区相生町3丁目17番地製造場醤油製造人渡辺つな→愛知県醤油税検査官御中	明治18年6月24日	半・1冊<13丁墨>/ (No.37-1-4は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-4-4
(溜製成見込・溜製成高届) 渡辺つな印	明治18年6月25日	竖紙・1通/(No.37-1-4は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-4-5
溜製造営業御免許願(尾張国相生町17番地製造場) 愛知県尾張国名古屋区相生17番地平民願人渡辺つな印・頭取鈴木善六印→愛知県令勝間田稔殿代理愛知県大書記官野村賀真殿	明治18年6月	竖紙・1通/(No.37-1-4は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-4-6
届(明治17年度売上金高届) 渡辺つな印→名古屋区長吉田禄在殿	明治18年6月29日	竖紙・1通/(No.37-1-4は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-4-7
醤油製造桶容量御検査願(名古屋区相生町3丁目17番地製造場) →愛知県収税属日比野顕殿検査所	(明治18年)6月29日	半・1冊<3丁墨>/ (No.37-1-4は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-4-8
溜製造営業御免許願(尾張国相生町17番地製造場) 愛知県尾張国名古屋区相生町17番地平民願人渡辺つな(印)・頭取鈴木善六(印)/(奥印)名古屋区十五ヶ町戸長岩田正富→愛知県令勝間田稔殿代理愛知県大書記官野村賀真殿/名古屋区長吉田禄在(印)	明治18年6月27日	半・1冊<2丁墨>/ (No.37-1-4は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-4-9
(醤油製造営業免許鑑札写)	(明治18年6月30日)	竖紙・1通/(No.37-1-4は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-4-10
溜り醪及溜現在高届(写) 右(名古屋区相生町)渡辺つな→愛(知県令勝間田稔殿代)理愛(知県大書記官野村賀真)殿	明治18年6月	半・1冊<3丁墨>/ (No.37-1-4は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-4-11
溜り現在高届(39石3斗1升4合) 渡辺つな→愛知県令勝間田殿代理愛知県大書記官野村賀真殿	明治18年6月	半・1冊<4丁墨>/ (No.37-1-4は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-4-12
醤油製造容量御検査願(製造場11桶) (渡辺つな)代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年7月	半・1冊<5丁墨>/ (No.37-1-4は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-4-13
溜味噌買入御届(溜9斗9升9合、味噌362貫300目) 名古屋相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油検査員御中	明治18年7月13日	竖紙・1通/(No.37-1-4は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-4-14
溜醤油製造見込届(溜醤油82石2斗5升、醤油36石8斗) 名古屋区相生町3丁目17番地醤油製造営業人渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県令勝間田稔殿代理愛知県大書記官野村賀真殿	明治18年7月13日	半・1冊<2丁墨>/ (No.37-1-4は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-4-15

## 鉄砲塚町渡辺家文書 4.店方/1.焚味噌商/3.役所関係/1.届・願

醤油製造場建物並諸器械調書(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町3丁目17番地醤油製造営業人渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県令勝間田稔殿代理愛知県大書記官野村賀真殿	明治18年7月	半・1冊<5丁墨>/ (No.37-1-4は16点一綴)/ (青色罫紙)	37-1-4-16
製造場建物図面心得書第貳号書式ノ内(通達・雛形写真共)	(明治18年7月5日)	半・1冊<2丁墨>/ (青色罫紙)	37-3-5
醤油製造搾り器械封緘御請書(槽・男桂各1か所) 名古屋区相生町17番地醤油製造営業人渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県令勝間田稔殿代理愛知県大書記官野村賀真殿	明治18年7月14日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/ (青色罫紙)	37-1-3-1
味噌現在高届(相生町17番地製造場) 右(相生町)渡辺つな→愛(知県令勝間田稔代)理愛(知県大書記官野村賀真)殿	明治18年6月	半・1冊<3丁墨>/ (No.37-1-3は67点一綴)/ (青色罫紙)	37-1-3-2
醤油製造方法書(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町17番地醤油製造営業人渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県令勝間田稔殿代理愛知県大書記官野村賀真殿	明治18年7月14日	半・1冊<4丁墨>/ (No.37-1-3は67点一綴)/ (青色罫紙)	37-1-3-3
味噌買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年8月4日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/ (青色罫紙)	37-1-3-4
味噌醤油買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年8月18日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/ (青色罫紙)	37-1-3-5
味噌買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年8月26日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/ (青色罫紙)	37-1-3-6
味噌買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年9月7日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/ (青色罫紙)	37-1-3-7
味噌溜買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年9月14日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/ (青色罫紙)	37-1-3-8
御訂正願(明治17年度中味噌醤油卸小売営業売上金高違算) 渡辺つな代理渡辺佐兵衛印・頭取鈴木善六印→名古屋区長吉田禄在殿	明治18年9月	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/ (青色罫紙)	37-1-3-9
味噌買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年9月19日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/ (青色罫紙)	37-1-3-10
味噌溜買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年9月24日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/ (青色罫紙)	37-1-3-11
醤油味噌御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税)検査官御中	明治18年9月24日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/ (青色罫紙)	37-1-3-12
醤油製造搾器械御解封願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税)検査官御中	明治18年9月24日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/ (青色罫紙)	37-1-3-13
味噌買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税)検査官御中	明治18年9月25日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/ (青色罫紙)	37-1-3-14
醤油製造搾器械御解封御受書(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税)検査官御中	明治18年9月25日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/ (青色罫紙)	37-1-3-15
醤油買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税)検査官御中	明治18年9月	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/ (青色罫紙)	37-1-3-16
醤油元味噌検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税)検査官御中	明治18年9月	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/ (青色罫紙)	37-1-3-17
味噌醤油買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年10月	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/ (青色罫紙)	37-1-3-18

醤油御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税) 検査官御中	明治18年10月2日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-19
醤油製造搾り器械封緘御請書(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税 検査官御中	明治18年10月6日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-20
醤油御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税 検査官御中	明治18年10月6日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-21
味噌醤油買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税) 検査官御中	明治18年10月7日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-22
味噌醤油買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税) 検査官御中	明治18年10月10日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-23
醤油製造搾り器械御解封願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税) 検査官御中	明治18年10月13日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-24
醤油製造元味噌御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税) 検査官御中	明治18年10月13日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-25
醤油製造元味噌御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税) 検査官御中	明治18年10月	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-26
味噌醤油買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税) 検査官御中	明治18年10月10日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-27
醤油御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税 検査官御中	明治18年10月	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-28
醤油製造見込石数増減御届(明治18年度中醤油製造見込高132石余) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛・頭取鈴木善六→愛知県令勝間田稔殿	明治18年10月20日	半・1冊<3丁墨>/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-29
醤油製造方法書(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛・(味噌溜醤油商組合) 頭取鈴木善六→愛知県令勝間田稔殿	明治18年10月20日	半・1冊<3丁墨>/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-30
味噌買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税 検査官御中	明治18年10月	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-31
醤油御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税 検査官御中	明治18年10月22日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-32
味噌買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税 検査官御中	明治18年10月26日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-33
味噌醤油買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税 検査官御中	明治18年10月28日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-34
醤油醪御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税 検査官御中	明治18年10月28日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-35
醤油醪現今調(31石余) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税) 検査官御中	明治18年10月30日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-36
味噌買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税 検査官御中	明治18年10月30日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-37
味噌買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税 検査官御中	明治18年11月5日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-38

## 鉄砲塚町渡辺家文書 4. 店方/1. 焚味噌商/3. 役所関係/1. 届・願

醤油製造元味噌御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年11月11日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-39
醤油御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税)検査官御中	明治18年11月11日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-40
味噌買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年11月15日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-41
醤油御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年11月17日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-42
味噌買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年11月	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-43
味噌醤油買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税)検査官御中	明治18年11月28日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-44
醤油製造元味噌払検査願(元味噌高375貫目) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年11月30日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-45
味噌買入御届(味噌400貫目) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年11月30日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-46
醤油御検査願(醤油12石4斗4升5合) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛印→愛知県醤油税検査官御中	明治18年12月6日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-47
醤油製造元味噌御検査願(元味噌250貫目) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税)検査官御中	明治18年12月6日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-48
醤油御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税)検査官御中	明治18年12月6日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-49
味噌買入御届(味噌300貫目) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛印→愛知県醤油税検査官御中	明治18年12月9日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-50
味噌買入御届(味噌200貫目) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年12月11日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-51
醤油製造元味噌御検査願(元味噌250貫目) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税)検査官御中	明治18年12月11日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-52
醤油御検査願(醤油9石3斗1升8合) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛印→(愛知県醤油税)検査官御中	明治18年12月10日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-53
醤油製造元味噌御検査願(元味噌275貫目) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛印→愛知県醤油税検査官御中	明治18年12月16日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-54
醤油御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛印→愛知県醤油税検査官御中	明治18年12月17日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-55
味噌醤油買入御届(醤油3石9斗2升4合、味噌200貫目) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年12月17日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-56
醤油醪御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年12月17日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-57
醤油御検査願(醤油9石3斗1升9合) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛印→愛知県醤油税検査官御中	明治18年12月18日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-58
醤油製造元味噌御検査願(元味噌225貫目) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛印→愛知県醤油税検査官御中	明治18年12月	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-59

醤油御検査願(醤油9石3斗8升9合) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年12月23日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-60
醤油御検査願(醤油9石9斗9升5合) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛印→愛知県醤油税検査官御中	明治18年12月26日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-61
味噌買入御届(味噌580貫目) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年12月26日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-62
醤油買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→(愛知県醤油税)検査官御中	明治18年12月28日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-63
醤油御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛印→愛知県醤油税検査官御中	明治18年12月28日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-64
味噌醤油買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛印→(愛知県醤油税)検査官御中	明治19年1月	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-65
醤油製造見込石数減御届御引換願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛印→愛知県令勝間田稔殿	明治19年1月5日	堅紙・1通/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-66
醤油製造見込石数減御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県令勝間田稔殿	明治18年12月19日	半・1冊<4丁墨>/(No.37-1-3は67点一綴)/(青色罫紙)	37-1-3-67
(明治18年度中醤油製造見込につき届書) 名古屋区相生町17番地醤油製造営業人渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県令勝間田稔殿代理愛知県大書記官野村賀真殿	明治18年7月	堅紙・1通/(青色罫紙)/(前欠)	37-5-11
明治十八年七月ヨリ同廿年六月迄通計合テ式ケ年間営業所得取調表 渡辺	明治18年7月~22年5月	半・1冊<24丁墨>/(青色罫紙)	41-1
味噌買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛(印墨消)→愛知県醤油税検査官御中	明治18年9月4日	堅紙・1通/(No.37-1-2は16点一綴)/(青色罫紙)/(反古)	37-1-2-1
味噌買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛(印墨消)→愛知県醤油税検査官御中	明治18年11月	堅紙・1通/(No.37-1-2は16点一綴)/(青色罫紙)/(反古)	37-1-2-2
味噌醤油買入御届(相生町17番地製造場、下書)		堅紙・1通/(No.37-1-2は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-2-3
(下書「味」)		堅紙・1通/(No.37-1-2は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-2-4
味噌醤油買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理金森喜七→愛知県醤油税御検査員御中	明治20年6月	堅紙・1通/(No.37-1-2は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-2-5
味噌醤油買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理金森喜七→愛知県醤油税御検査員御中	明治20年6月	堅紙・1通/(No.37-1-2は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-2-6
味噌買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年11月	堅紙・1通/(No.37-1-2は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-2-7
(菓子小売営業鑑札願) 右(中島郡萩原村)後藤東三郎(印墨消)→中島郡長日々野明殿	明治18年9月15日	堅紙・1通/(No.37-1-2は16点一綴)/(青色罫紙)/(帳はずれ)/(反古)	37-1-2-8
醤油製造元味噌御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛(印墨消)→愛知県醤油税検査官御中	明治18年11月	堅紙・1通/(No.37-1-2は16点一綴)/(青色罫紙)/(反古)	37-1-2-9
醤油製造元味噌御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛(印墨消)→愛知県醤油税検査官御中	明治18年11月	堅紙・1通/(No.37-1-2は16点一綴)/(青色罫紙)/(反古)	37-1-2-10

## 鉄砲塚町渡辺家文書 4. 店方/1. 味噌噌商/3. 役所関係/1. 届・願

味噌買入御届(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年11月	堅紙・1通/(No.37-1-2は16点一綴)/(青色罫紙)/(反古)	37-1-2-11
明治十八年十月十四日醤油現在高調(下書) →愛知県醤油税検査官御中	明治18年	半・1冊<3丁墨>/(No.37-1-2は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-2-12
醤油御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年11月11日	堅紙・1通/(No.37-1-2は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-2-13
醤油御検査願(相生町17番地製造場) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年11月11日	堅紙・1通/(No.37-1-2は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-2-14
(醤油・溜製造高書付)		堅紙・1通/(No.37-1-2は16点一綴)/(青色罫紙)/(反古)	37-1-2-15
借家証文(下書)		堅紙・1通/(No.37-1-2は16点一綴)/(青色罫紙)	37-1-2-16
味噌買入御届(相生町17番地製造場分) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年9月4日	堅紙・1通/(青色罫紙)/(反故)	37-4-24
(端桶仕込醤油高下書、第39～43号樽分)	(明治18年9月30日～10月分)	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.46は紐一括)	46-1
新規営業届(中嶋郡萩原村酒井民次郎方借請け味噌醤油卸小売商) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛、酒井民次郎→中嶋郡長日比野明殿	明治18年10月	堅紙・1通/(青色罫紙)/(反故)	37-5-16
味噌買入御届(鵜飼源六より味噌200貫買入につき届書) 名古屋区相生町17番地渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知県醤油税検査官御中	明治18年11月	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.55は18点一綴)	55-17
(明治18年中減石醤油製造方法届書) 名古屋区相生町17番地渡辺つな代理人製造人渡辺佐兵衛様(印墨消)→愛知県令勝間田稔殿	明治18年12月19日	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-4-3
(明治18年中減石醤油製造方法届書) 名古屋区相生町17番地渡辺つな代理人製造人渡辺佐兵衛様(印墨消)→愛知県令勝間田稔殿	明治18年12月19日	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-4-4
(明治18年中減石醤油製造方法届書) 名古屋区相生町17番地渡辺つな代理人製造人渡辺佐兵衛様(印墨消)→愛知県令勝間田稔殿	明治18年12月19日	堅紙・1通/(青色罫紙、前欠)	37-4-5
(明治18年中醤油製造見込減石につき届書) (代理渡辺)	明治18年12月	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-4-21
醤油製造見込石数増御届(醤油一斗仕込製造法雛形共)	(明治18年)	綴・2点一綴<3丁墨>/(青色罫紙)	37-3-2
(醤油製造原品買入帳ほか帳簿表紙覚書)	(明治18年)	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-3-8
(明治17年度第2期納分ほか営業税書上)	(明治18年)	堅切紙・1通	37-4-16
明治十八年中醤油現在高取調簿 尾張国名古屋区相生町3丁目17番地渡辺ツナ	明治18年	半・1冊<6丁墨>/(青色罫紙)	37-5-5
明治十八年度売上高取調表(味噌・醤油・塩)	明治18年	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-5-9
明治十八年度売上高取調表(味噌・醤油・塩)	明治18年	堅紙・1通/(青色罫紙)/(貼紙あり)	37-5-10
醤油製造見込石数届御引換願下書(裏面は明治18年減石醤油製造高についての届下書)	(明治18年)	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-5-20
明治十八年醤油造石検査簿(醤油製造搾り器械封緘御請書共) 尾張国名古屋区相生町17番地渡辺つな代理渡辺佐兵衛(印)→愛知県令勝間田稔殿	(明治18年)	半・1冊<21丁>/(「愛知縣」罫紙)/(表紙欠損あり)/(5冊一綴の内)	38-1

明治十九年醤油造石検査簿(醤油製造搾り器械封緘御請書共) 尾張国名古屋区相生町17番地渡辺つな→愛知縣令勝間田稔殿	(明治19年)	半・1冊<30丁>/ (「愛知縣」罫紙)/(5冊一綴の内)	38-2
明治二十年醤油造石検査簿(醤油仕込調査簿・醤油製造搾り器械封緘御請書共) 尾張国名古屋区相生町17番地渡辺つな代人鈴木芳太郎(印)→愛知縣令勝間田稔殿	(明治20年)	半・1冊<33丁>/ (「愛知縣」罫紙)/(5冊一綴の内)	38-3
醤油税受検査簿(挿入文書あり) 相生町17番地製造場	明治21年7月2日～明治23年3月3日	半・1冊<7丁>/ (「愛知縣」罫紙)/(5冊一綴の内)	38-4
明治廿老年醤油造石検査簿 渡辺つな代人金森喜七(印)	(明治21年)	半・1冊<29丁>/ (「醤油製造検査簿」罫紙)/(5冊一綴の内)	38-5
(明治18年分売上金高998円余書上)	(明治18年)	堅紙・1通/(青色罫紙)	41-31
(明治18年仲後分入用ほか勘定書)	(明治18年)	堅紙・1通/(青色罫紙)	41-32
(明治18・19年分売上金高ほか勘定書)	(明治18年～明治19年)	堅紙・1通/(青色罫紙)	41-33
(明治19年醤油・味噌・醗現在高調)	明治19年1月1日	半・1冊<6丁墨>/ (青色罫紙)	37-5-7
味噌醤油買入御届(相生町17番地製造場分) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知縣醤油税検査官御中	明治19年1月13日	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-4-13
味噌醤油買入御届(名古屋区相生町17番地製造場分) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛→愛知縣醤油税検査官御中	明治19年1月29日	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-4-2
(味噌醤油買入れにつき届書) 名古屋区相生町渡辺つな代理渡辺佐兵衛印	明治19年1月	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-4-15
醤油造営業願届日家栄(醸造業関係届・願書控綴) 渡辺つな	明治19年1月(～12月)	半・堅紙・72点一綴<94丁墨>/ (青色罫紙)	37-1-5
届(明治18年度味噌醤油卸小売売上届、1659円余) 右(名古屋区相生町17番)渡辺つな印→名古屋区長吉田禄在殿	明治19年4月22日	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-5-24
届(明治18年度味噌醤油卸小売売上届、1525円余) 右(名古屋区相生町17番)渡辺つな(印)→名古屋区長吉田禄在殿	明治19年4月	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-5-23
届(明治18年度味噌醤油卸小売売上届、1525円余) 名古屋区相生町17番地渡辺つな(印)→名古屋区長吉田禄在殿	明治19年4月	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-5-26
届(明治18年度味噌醤油卸小売売上届、1659円余) 右(名古屋区相生町17番)渡辺つな(印)→名古屋区長吉田禄在殿	明治19年4月	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-5-27
届(明治18年度味噌醤油卸小売売上届、1659円余) 名古屋区相生町17番地渡辺つな(印)→名古屋区長吉田禄在殿	明治19年4月	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-5-29
届(明治18年度味噌醤油卸売・小売売上金高届、1659円余) 右(名古屋区相生町17番地)渡辺つな印→名古屋区長吉田禄在殿	明治19年4月	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-5-60
届(明治18年度味噌醤油卸売・小売売上金高届、1659円余) 右(名古屋区相生町17番地)渡辺つな→名古屋区長吉田禄在殿	明治19年4月	堅紙・1通/(青色罫紙)/(切取・貼付訂正箇所あり)	37-5-61
味噌買入御届(名古屋相生町17番地製造場分) 名古屋区相生町17番地渡辺つな代渡辺佐兵衛	明治19年5月	堅紙・1通/(青色罫紙)/(反故)	37-5-28
(桶醤油味噌高改)	(明治19年)12月31日改	横長半・1冊<2丁墨>/ (No.46は紐一括)	46-12

## 鉄砲塚町渡辺家文書 4.店方/1.焚味噌商/3.役所関係/1.届・願

明治十九年一月一日醤油現在高	(明治19年)	堅紙・2通/(青色罫紙)/(帳はずれ力)	37-4-11
明治十七年より十九年迄営業の薪高年毎調(下調)	(明治19年)	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.60は紐一綴)	60-10
(醸造営業届・願書など役所関係書類控)	(明治20年1月～12月)	半・堅紙・93点一綴<118丁墨>/(青色罫紙)	37-1-7
届(明治19年度分味噌溜塩売上金届) 名古屋区相生町17番地醤油製造人渡辺つな代理金森喜七印、(味噌溜醤油商組合)取頭鈴木善六印、頭取青木新四郎印→名古屋区長吉田禄在殿	明治20年4月	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-5-37
届(渡辺つな明治19年度味噌醤油塩製造売上金高届) 名古屋区相生町17番地醤油製造人渡辺つな代理人金森喜七→名古屋区役所区長吉田禄在殿	明治20年4月日	堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.55は18点一綴)	55-11
届(渡辺つな明治19年度味噌醤油塩製造売上金高届) 名古屋区相生町17番地醤油製造人渡辺つな代理人金森喜七→名古屋区役所区長吉田禄在殿	明治20年4月日	堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.55は18点一綴)	55-12
届(渡辺つな明治19年度味噌醤油塩製造売上金高届) 名古屋区相生町17番地醤油製造人渡辺つな代理人金森喜七→名古屋区役所区長吉田禄在殿	明治20年4月	堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.55は18点一綴)	55-13
届(渡辺つな明治19年度味噌醤油塩製造売上金高届) 名古屋区相生町17番地醤油製造人渡辺つな代理人金森喜七→名古屋区役所区長吉田禄在殿	明治20年4月	堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.55は18点一綴)	55-14
醤油製造桶容量御検査願(名古屋区萱屋町25番地製造場分) 名古屋区萱屋町25番地醤油製造人中村与右衛門代理渡辺佐兵衛印→愛知縣醤油税検査員御中	明治20年9月	半・1冊<7丁墨>/(青色罫紙)	37-2-1
(醸造営業届・願書など役所関係書類控)	(明治20年12月～明治23年3月)	半・36点一綴<50丁墨>/(青色罫紙)/(前後欠)	37-1-8
醤油御検査願(相生町17番地製造場分) 名古屋区相生町17番地醤油製造人渡辺つな代理金森喜七→愛知縣醤油税検査員御中	明治20年12月13日	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-2-2
醤油御検査願(相生町17番地製造場分、下書) ——印→——御中	明治20年12月16日	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-2-3
味噌醤油買入御届(相生町17番地製造場分) 名古屋相生町17番地渡辺ツナ代人金森喜七→愛知縣醤油税検査員御中	明治20年12月	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-2-4
所得金高届下調(明治20年分調査分)	(明治20年)	半・1冊<4丁墨>/(青色罫紙)	41-12
(明治20年中味噌・醤油など資産差引勘定書)	(明治20年)	半・1冊<3丁墨>/(青色罫紙)	41-29
所得ニ付調(明治20～21年分売上金、預金利子など資産取調)	(明治20年～明治21年)	半・1冊<2丁墨>/(青色罫紙)	41-34
(醤油造石取調明細表綴、明治21年1月～3月分) 名古屋区相生町17番地醤油製造人渡辺つな代理金森喜七印→愛知縣醤油税検査員御中	明治21年3月1日～4月1日	堅紙・3点一綴<4丁墨>/(青色罫紙)	37-5-35
明治廿年味噌醤油元上り取調表 相生町17番地製造場渡辺つな生引製支配人渡辺佐兵衛(印)	明治21年4月30日	半・1冊<4丁墨>/(青色罫紙)	37-5-36
(明治20年度分醤油・味噌・塩買入分高届下書) 名古屋区相生町17番地醤油製造人渡辺つな代人金森喜七→名古屋区長太田禄在殿	明治21年4月	半・1冊<11丁墨>/(青色罫紙)	37-4-1
ニーラ溜製造見込石数減届(名古屋区相生町44番戸製造場分) 尾張国名古屋区相生町44番戸醤油製造人渡辺ツナ代理金森喜七→第一区租税検査員名古屋派出所中	明治21年12月28日	半・1冊<2丁墨>/(青色罫紙)	37-3-1
明治廿一年スピキ溜・ニイラ溜見込石高増減表	明治21年	堅紙・1通/(青色罫紙)	37-5-13

醤油製造見込石数増御届(明治21年實引醤油製造方法書共) 名古屋区相生町17番地醤油製造人渡辺つな代理金森喜七(印)→愛知縣知事勝間田稔殿	明治21年	半・2点一綴<4丁墨>/ (青色罫紙)	37-5-34
(明治21年上半年分資産勘定書)	(明治21年)	半・1冊<3丁墨>/ (黒色罫紙)	41-25
明治廿二年一月一日現在高御届(醤油・味噌高) 名古屋区相生町44番地醤油製造営業人渡辺つな代理金森喜七印→第一区租税検査員名古屋派出所御中	明治22年1月	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)	37-5-58
記(管内味噌・溜り代金届) 相生町渡辺佐兵衛	明治22年3月14日	堅紙・1通/ (黒色罫紙)	37-5-59
売上届(明治21年度分醤油ほか) 名古屋相生町44番戸渡辺つな→名古屋区服部直衡殿	明治22年4月	堅紙・1通/ (青色罫紙)	37-5-8
所得届(営業税・貯蓄利子など取調) 名古屋区相生町44番戸渡辺ツナ→名古屋区長服部直衡殿	明治22年5月10日	堅紙・1通/ (青色罫紙)	41-35
借入金証券(雛形)	明治22年	堅紙・1通/ (青色罫紙)	37-5-12
所得金高届(所得税調、明治21年中現品入費高、売上書共綴)	(明治22年)	半・1冊<7丁墨>/ (青色罫紙)	41-10
明治廿貳年所得ニ付取調	(明治22年)	堅紙・1通/ (青色罫紙)	41-15
明治廿二年営業費(所得勘定書)	(明治22年)	堅紙・1通/ (青色罫紙)	41-19
(明治22年分仕入元増寄合勘定書)	(明治22年)	堅紙・1通/ (青色罫紙)	41-21
明治廿貳年ヨリ同廿四年マテ三ケ年平均所得調	(明治22年～明治24年)	堅紙・1通/ (青色罫紙)	41-14
(明治22から24年3カ年分平均所得勘定書)	(明治22年～明治24年)	堅紙・1通/ (青色罫紙)	41-24
醤油製造営業廃業届(名古屋市相生町44番戸製造場分) 名古屋市相生町44番戸醤油製造人渡辺つな代人金森喜七→愛知縣知事白根伝一殿	明治23年3月	堅紙・1通/ (青色罫紙)	37-3-10
(醸造営業届・願書など役所関係書類控)	(明治23年4月4日～大正15年)	半・1冊<78丁>/ (青色罫紙) / (切紙挟込み)	37-1-6
明治廿三年所得ニ付取調	(明治23年)	堅紙・1通/ (青色罫紙)	41-17
明治廿三年営業費(所得勘定書)	(明治23年)	堅紙・1通/ (青色罫紙)	41-20
明治廿四年所得ニ付取調	(明治24年)	堅紙・1通/ (青色罫紙)	41-16
明治廿四年営業費(所得勘定書)	(明治24年)	堅紙・1通/ (青色罫紙)	41-22
所得金高届(所得金96円余) 名古屋市相生町49番戸渡辺つな印→愛知縣知事千田貞暁殿	明治25年6月	堅紙・1通/ (青色罫紙)	41-13
所得金高御届(所得金90円余、下書力) 名古屋市相生町49番戸渡辺つな印→愛知縣知事千田	明治25年6月	堅紙・1通/ (青色罫紙)	41-23
(醤油・溜り・味噌製造高下書)	(明治)25年	横長半・1冊<2丁墨>/ (No.46は紐一括)	46-14
(荷車税金上納につき届) 第1区相生町渡辺佐兵衛		小切紙・1通	28-291
覚(申9月より癸酉8月迄の醸造高届書雛形)		堅紙・1通/ (赤色罫紙)	28-254
約定証(味噌酒代金借用につき公債証書担保約定証雛形) 約定主渡辺つな・証人何の誰		横切継紙・1通	28-445
醤油製造搾器械御解封願(雛形)		堅紙・1通/ (青色罫紙)	37-3-3

記(溜り・味噌・塩売上金1290円届、下書)	縦紙・1通/(青色 罫紙)	37-3-4
(書状断簡) 五之助→渡辺佐兵衛様	断簡・1通	37-3-6
(ニーラ醤油81石余ほか書上)	縦紙・1通/(青色 罫紙)	37-4-6
初売廻端寸法及石算簿(各桶容積)	縦紙・1通/(青色 罫紙)	37-4-7
(桶別味噌量目書上)	縦紙・1通/(青色 罫紙)	37-4-8
(桶別味噌量目書上)	縦紙・1通/(青色 罫紙)	37-4-9
(桶別醤油量目書上)	縦紙・1通/(青色 罫紙)	37-4-10
買入仮記(味噌など買入量書上)	縦紙・1通/(青色 罫紙)	37-4-12
(醤油量目書立)	縦紙・1通/(青色 罫紙)	37-4-14
(醤油製造見込高書上)	縦紙・1通/(青色 罫紙)	37-4-17
醤油製造見込石御届(下書)	縦紙・1通/(青色 罫紙)	37-4-18
(明治18年中減石醤油製造方法届書)	縦紙・1通/(青色 罫紙)	37-4-19
醤油製造方法書(醤油製造高見込届書)	縦紙・1通/(青色 罫紙)	37-4-20
(原品買入合計額・遣払合計額勘定書)	縦紙・1通/(青色 罫紙)	37-4-22
(醸造高書上)	縦紙・1通/(青色 罫紙)/(後欠)/ (裁断力)	37-4-23
味噌醤油買入御届(相生町17番地製造場分) →愛知縣 醤油税検査官御中	縦紙・1通/(青色 罫紙)/(反故)	37-4-25
味噌醤油買入御届(相生町17番製造場分)	半・1冊<2丁墨>/ (青色罫紙)	37-4-26
醤油并ニ味噌現在高届(相生町17番地製造場分)	半・1冊<6丁墨>/ (青色罫紙)	37-5-6
醤油製造見込石数減御届(下書)	縦紙・1通/(青色 罫紙)	37-5-15
(ニーラー等製造原料書上)	堅切紙・1通/(青 色罫紙)	37-5-17
醤油製造法(醤油製造原料書上)	縦紙・1通/(「愛知 県醤油製造検査 簿」罫紙)	37-5-18
(紙片)	堅切紙・1通/(青 色罫紙)	37-5-19
醪現在高調(製造桶書上)	縦紙・1通/(青色 罫紙)	37-5-21
(醤油製造料書上)	縦紙・1通/(青色 罫紙)/(断簡)	37-5-22
(断簡「味噌」)	縦紙・1通/(青色 罫紙)	37-5-25
届(醤油など製造原料代金書上)	縦紙・1通/(青色 罫紙)	37-5-30
醤油製造法方記(下書途中)	縦紙・1通/(青色 罫紙)	37-5-31
醤油製造法方記(醤油製造見込書上)	縦紙・1通/(青色 罫紙)	37-5-32
醤油増届之法方(醤油製造見込書上)	半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)	37-5-33

醤油製造見込覚(極引6斗5升ほか)		堅紙・1通/(青色罫紙)	37-5-38
(桶寸法書上、第28号ほか)		堅紙・1通/(青色罫紙)	37-5-50
(味噌醤油買入売上など差引勘定書下書)		堅紙・1通/(青色罫紙)	41-7
(資産差引総勘定書下書)		堅紙・1通/(黒色罫紙)	41-8
明治拾八年ヨリ廿三年迄取調表(雛形)		堅紙・1通/(青色罫紙)	41-11
(白紙罫紙)		堅紙・1通/(青色罫紙)	41-18
(預け金・借り金勘定書)		半・1冊<3丁墨>/ (青色罫紙)	41-30
醤油製造法方(仕込み状況)		半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)	45
(端桶石算記綴、第14・39・40・42・43号樽醤油)		半・1冊<6丁墨>/ (青色罫紙)/(No.46 は紐一括)/(綴紐 脱)	46-2
竈板製造法(第1・2号樽味噌仕込ならびに醤油高など 下書)		半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙)/(No.46 は紐一括)	46-3
醤油製造御検査願(雛形)		堅紙・1通/(青色 罫紙)/(No.55は18 点一綴)	55-16
届(味噌製造売上高書上)		堅紙・1通/(青色 罫紙)/(No.55は18 点一綴)	55-18
溜買入之部(697円分買入記)		横折紙・1通/(青 色罫紙)/(No.57は 12点一綴)	57-12
(溜り等仕込高記)		堅紙・1通/(青色 罫紙)/(一部鉛筆 書)	57-13
記(極上味噌等相場書上、戸長へ提出用)		堅紙・1通/(茶色 罫紙)	57-14
醤油製造搾り器械封緘御請書 醤油製造営業人→愛知 県知事勝間田稔殿		半・1冊<4丁墨>/ (木版)/(未使用)	57-15
乍恐奉願上候御事(親類養子につき御札免許願、雛形) 誰印		堅紙・1通/(青色 罫紙)/(No.60は紐 一綴)	60-14

## 4.1.3.2.通達など

区乙第六拾五号(醤油醪及醤油現在高取調べにつき) 名古屋区長吉田緑在→名古屋区戸長役場	明治18年6月12日	半・堅紙・3点一綴 <4丁墨>/ (青色罫 紙)/(No.46は紐一 括)	46-44
醤油溜りヲ併称ス製造営業人心得書 渡辺綱	明治18年6月御達	半・1冊<37丁>/ (表紙のみ青色罫 紙)/(活版)	42
(醤油税に関する太政官布告第14号通知につき戸長役 場廻状)	(明治18年7月3日～13 日)	半・1冊(5丁>/(青 色罫紙)/(一部活 版)/(No.46は紐一 括)	46-41
(地方物産取調に関する布達につき書上、下書)		堅紙・1通/(赤色 罫紙)/(No.46は紐 一括)	46-93

## 4.1.4.資産・資金

願書(会社資本借入金返済猶予願) 右願主渡辺鋤三郎 (印)→渡辺佐兵衛殿	(明治)14年6月	半・1冊<3丁墨>/ (赤色罫紙)	37-5-4
---	-----------	----------------------	--------

## 鉄砲塚町渡辺家文書 4.店方/1.焚味噌商/4.資産・資金

(醤油など売上仕入駄賃家賃など書上勘定書留)	(明治19年)	横半列・1冊<49丁墨>/ (前欠) / (6冊紐一綴の内)	26-5
口上覚(金子皆済延期決定通知状) (尾州)三井屋吉蔵(印)→佐野屋佐兵衛様	亥9月29日	小切紙・1通	28-586
(醤油醸造関係道具・桶なわ代など勘定)		横切紙・1通	28-531
借用分(預かり金など書上勘定書)		横長半・1冊<4丁墨>/ (青色罫紙) / (No.46は紐一括)	46-8
(商物保有高金銭総勘定書)		縦紙・1通/ (青色罫紙) / (No.46は紐一括)	46-63
(主税筋通店・地所家財道具書上)		横半半折・1冊<7丁墨>	75

## 4.1.5.店卸帳

勘定帳(酒・味噌・醤油など仕入れ勘定帳) 渡辺つな	明治23年庚寅12月	横美半折・1冊<21丁墨>/ (No.3は6冊紐一括)	3-1
勘定帳(酒・味噌・醤油など仕入れ勘定帳) 渡辺つな	明治27年午12月	横美半折・1冊<21丁墨>/ (No.3は6冊紐一括)	3-2
現在品高店卸(味噌・醤油・塩酢など店卸帳)	(明治)29年6月30日	横美半折・1冊<5丁墨>/ (No.4は6冊紐一括)	4-1
現在品(味噌・醤油・塩酢など) 渡辺	(明治)30年6月30日	横半半折・1冊<8丁墨>/ (No.4は6冊紐一括)	4-2
現在品(味噌・醤油・塩酢など店卸帳)	明治30年12月末	横半半折・1冊<8丁墨>/ (No.4は6冊紐一括)	4-3
勘定帳(酒・味噌・醤油など現在品勘定帳)	明治31年6月30日	横半半折・1冊<9丁墨>/ (No.3は6冊紐一括)	3-4
勘定帳(酒・味噌・醤油など現在品勘定帳)	明治31年12月	横美半折・1冊<8丁墨>/ (No.3は6冊紐一括)	3-3
勘定帳(酒・味噌・醤油など現在品勘定帳)	明治33年12月31日	横半半折・1冊<13丁墨>/ (No.3は6冊紐一括)	3-5
勘定帳(酒・味噌・醤油など現在品勘定帳)	明治34年6月30日	横半半折・1冊<13丁墨>/ (No.3は6冊紐一括)	3-6
現在品(味噌・醤油・塩酢など店卸帳)	明治36年12月31日	横半半折・1冊<9丁墨>/ (No.4は6冊紐一括)	4-4
現在品(味噌・醤油・塩酢など店卸帳)	明治39年11月22日	横半半折・1冊<8丁墨>/ (No.4は6冊紐一括)	4-5
現在品(味噌・醤油・塩酢など店卸帳)	明治41年12月31日	横半半折・1冊<8丁墨>/ (No.4は6冊紐一括)	4-6

## 4.1.6.取引

## 4.1.6.1.仕入・注文

記(極上印味噌大樽送り願) タジミ萬喜(印)→佐野屋様御店中	(明治28年)1月19日	小切紙・1通/ (No.29-11は88点一綴)	29-11-29
記(極上味注文書) 玉井屋篤(印文)「岐阜県美濃国土岐郡土岐津町高柴篤印」→佐野屋御店中	(明治28年)8月2日	小切紙・1通/ (No.29-11は88点一綴)	29-11-84
注文(浅味注文書) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)8月3日	小紙・1通/ (No.29-11は88点一綴)	29-11-82

注文(色付溜注文状) 与(印文「加藤与助」)→(佐野屋様)	(明治28年)8月4日	小紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-77
(小栗醤油注文書) 五百日道隙東加島(印)	(明治28年)8月4日	小紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-81
記(溜注文書) 土岐津町高山岩崎屋店(印文)「土岐津町字高山加藤信次郎」→相生町佐野屋殿	(明治28年)8月4日	小紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-83
誌(溜り等注文状) 池田丸屋紋蔵(印)→佐の屋つな様	(明治28年)8月5日	小切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-76
記(溜注文状) 大曾根南店→さの屋様	(明治28年)8月6日	小紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-78
記(上溜など送り願) (美濃土岐郡)ツマギ(村)水の源吾→相生町佐野や様	(明治28年)8月7日	小切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-12
記(清酢等注文状) 清水屋庄七(印文)「土岐郡駄知村」→左野屋(佐野屋)様	(明治28年)8月8日	小切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-69
注文(浅味噌等注文状) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)8月8日	小切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-73
記(味噌等注文状) ますや伊助→佐野屋ツナ様	(明治28年)8月8日	小切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-75
注文(浅味噌) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)8月9日	小紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-70
注文(浅溜) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)8月9日	小紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-71
キ(味噌注文状) 熊谷鎌次郎(印文)「土岐郡妻木村」→佐野屋おつな様	(明治28年)8月9日	小切紙・1通/(赤色野紙)・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-72
記(極上溜等注文状) 玉井屋(印文)「岐阜県美濃国土岐郡土岐津町高柴篤印」→佐野屋様	(明治28年)8月10日	小切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-64
注文(浅溜注文状) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)8月10日	小切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-65
キ(薄引注文状) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)8月10日	小切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-67
(注文の溜未だ未到着につき問合状) 久ま之(熊野)村本野仙之助→なこ屋相生丁佐野屋様	(明治28年)未8月13日	横切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-53
注文(並八2樽) 与介→相生町佐野屋様	(明治28年)8月15日	小切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-48
注文(浅溜) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)8月16日	小切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-51
注文(上溜等) ツマキ熊谷鎌次郎(印)→佐野屋おつな様	(明治28年)8月17日	小切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-52
(注文味噌引渡願) 為一郎→(佐野屋様)	(明治28年)8月18日	横切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-38
(浅溜り1本注文) 鈴木源市→佐野屋御中	(明治28年)8月18日	小切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-39
記(大上溜等購入依頼状) 玉井屋(印文)「岐阜県美濃国土岐郡土岐津町高柴篤印」→佐野屋様	(明治28年)8月18日	小切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-42
記(極上味噌小桶2本注文) 池田高橋安次郎→相生町佐野屋様	(明治28年)8月19日	小切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-34
(角兼注文の浅溜など引渡願) 佐野屋新助(印)→佐野屋店中	(明治28年)8月19日	小切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-36
注文(浅溜り小1駄) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)8月20日	小切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-33
キ(注文味噌溜り引渡願) (土岐郡下石村)高木肇(印)→さのや様	(明治28年)8月21日	小切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-30
記(味噌6本引渡願) ㊦→佐のや様	(明治28年)8月21日	小切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-31
注文(浅味噌小1駄) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)8月23日	小切紙・1通/(No. 29-11)は88点一綴	29-11-27

## 鉄砲塚町渡辺家文書 4.店方/1.焚味噌商/6.取引/1.仕入・注文

注文(浅溜り1駄反) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)8月25日	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-19
キ(溜りなど送り願) (印文「竹折村藤屋口助」)→さのや様	(明治28年)8月26日	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-4
記(極上溜2樽引渡願) (岐阜県美濃国土岐郡土岐津町)高柴篤(印)→佐野屋様御店中	(明治28年)8月26日	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-11
注文(浅溜り小1駄) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)8月27日	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-15
キ(清口上など送り願) 今村成岩休七→相生丁佐野屋	(明治28年)8月27日	横切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-17
キ(味噌など注文) (印文「土岐郡妻木村墨屋重兵衛」)→さのや様	(明治28年)8月28日	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-6
注文(浅溜り小1駄) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)8月28日	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-8
注文(浅味など) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)8月28日	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-9
(入荷ニール・中引溜りの取引につき書状) 江戸清→渡辺おつな様	(明治28年)8月28日	横切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-13
記(味噌など送り願) 池田升屋伊助→佐野屋ツナ様	(明治28年)8月29日	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-5
記(極上など6本貸し送り願) 土岐津町高山岩崎屋(加藤作次郎)(印)→相生町佐野屋殿	明治28年8月30日	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-1
注文(溜りなど6本) 土岐郡多治見町冬務勝治郎→佐野屋御店中	(明治28年)8月30日	堅紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-7
キ(大野味噌など2本代1円50銭送り願) 坂下徳治郎店→相生町佐野屋	(明治28年)10月6日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-33
キ(大野味噌など3本代銭送り願) 坂下徳治郎店→相生町佐野屋	(明治28年)10月14日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-11
記(別浅溜りなど注文) 鈴木源市→佐のや様	(明治28年)11月1日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-64
注文(浅味小1駄) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月1日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-67
口演(溜りなど販売願) 大森村寺尾庄助(角印)→相生町佐野屋御店様	(明治28年)11月3日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-69
キ(溜りなど5升注文) 吉野屋→佐野屋様	(明治28年)11月5日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-56
キ(浅味小1駄注文) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月5日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-58
注文(浅溜り小1駄) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月5日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-59
注文(浅溜りなど) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月5日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-60
記(味噌など送り願) ますや伊助(印)→佐野屋ツナ様	(明治28年)11月5日	横切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-61
(明樽・明桶注文、味噌・溜り送り願) (美濃土岐郡下石村)高木肇(印)→さのや様	(明治28年)11月5日	横切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-63
注文書(上溜1本) 和田(印)→(佐野屋商店中)	(明治28年)11月6日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-57
注文(浅味大1本) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月7日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-54
注文(浅溜り小1駄) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月7日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-55
(溜り2本注文) 竹折(村)藤や源助(印)→さのや様	(明治28年)11月8日	横切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-50
記(ニカリ大樽10本注文) (土岐郡笠原村)カネタ屋(印)→佐野やつな殿	(明治28年)11月8日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-53

キ(薄引など大2本注文、此頃の品悪しき旨) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月9日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-12
記(上味噌12貫目注文) 池田高橋安次郎→相生町佐野屋様	(明治28年)11月11日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-46
記(上溜りなど2本送り願) ますや末九郎→名古屋相生町さのやつな様	(明治28年)11月11日	横切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-47
注文(浅溜・浅味) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月12日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-44
注文(浅味中1駄) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月13日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-41
記(多治見萬屋永治郎方へ溜2本送付願) 笠原春店→相生町佐野屋殿	(明治28年)11月15日	横切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-39
注文(浅味小1駄) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月18日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-37
注文(浅溜り小1駄) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月18日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-38
記(樽・桶9本注文) 由沢橋岡金治郎→相生町佐野屋様	(明治28年)11月20日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-32
記(極上味噌など2駄注文) (岐阜県美濃郡土岐郡土岐津町高柴篤)玉井屋(印)→佐野屋様	(明治28年)11月20日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-36
注文書(別浅溜2駄) (美濃土岐郡多治見)萬(屋)井→佐野屋様	(明治28年)11月21日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-29
記(白味噌など注文) 池田升屋伊助(印)→相生町佐野屋ツナ様	(明治28年)11月21日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-31
キ(大味噌2本注文) 美濃土岐郡笠原村加藤定七(印)→佐のや様	(明治28年)11月21日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-48
記(味噌など2駄注文) □(伊に○)→佐のや様	(明治28年)11月22日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-28
キ(浅味1駄注文) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月22日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-30
(浅溜り小1駄注文) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月23日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-26
記(白みそなど4駄送り願) 池田升屋伊助(印)→佐野屋ツナ様	(明治28年)11月24日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-21
注文(浅溜り小1駄) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月24日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-24
記(別極上味噌2桶注文) 池田高橋安次郎(印)→相生町佐野屋様	(明治28年)11月24日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-27
(浅みそなど3本注文) 鈴木源市→佐野屋様	(明治28年)11月25日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-20
(醪樽など4筆注文) 高山米屋鎌吉(印)	(明治28年)11月25日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-22
キ(大上溜りなど2本注文) 池田升屋末九郎→さのやつな様	(明治28年)11月25日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-23
記(并溜りなど6本送り願) (美濃土岐郡)ツマキ(村清水屋)水野源助(印)→佐野屋様	(明治28年)11月26日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-15
キ(浅味小1駄注文) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月26日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-19
注文(浅味など小6本) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月27日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-17
注文(浅溜り小1駄) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月28日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-14
キ(極天溜り3本注文) (美濃土岐郡)ツマキ(村)橋本屋熊三郎(印)→相生町佐野屋つな様	(明治28年)11月29日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-6

## 鉄砲塚町渡辺家文書 4.店方/1.焚味噌商/6.取引/1.仕入・注文

(味噌など送り願) (美濃土岐郡) ツマキ(村)熊谷幸吉 (印)→佐野屋ツナ様	(明治28年)11月29日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-8
(溜樽など11本依頼) イセサキ屋(印)	(明治28年)11月30日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-3
注文(別上浅味など4本) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月30日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-5
記(味噌2駄送り願) (美濃土岐郡駄知村)清水屋庄七 (印)→名古屋相生町左野屋(佐野屋)つな様	(明治28年)11月	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-1
記(稀上溜り2駄送り願) 中竹屋加藤伊兵衛→相生町佐 の屋佐兵衛様	(明治28年)11月	横切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-43
(断簡) →ナゴヤ相生町さのやつ(佐野屋つな)	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-18
記(味噌3升送り願) 金治郎→さのや様	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-2
(赤味噌など注文)	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-34
記(塩など注文) (美濃土岐郡多治見)八伊(伊三郎)→佐 野屋様	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-51
キ(塩1駄注文) (美濃土岐郡) ツマキ(村)橋本屋熊三郎 (印)→相生町佐野屋つな様	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-62
記(済汁2本送り願) (美濃加藤与助)(印)→(佐野屋)様	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-2
キ(大野味噌1本代50銭送り願) 坂下徳治郎店→相生町 佐野屋	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-3
キ(溜りなど4本注文) 吉野屋→佐野屋様	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-10
(塩3樽代50銭送り願) 坂下徳治郎店→相生町佐野屋	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-14
キ(大野味噌など3本代2円送り願) 坂下徳治郎店→佐 野屋	(明治28年)	横切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-25
(味噌・溜注文状) 笠松ノ町村田店	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-49
キ(大野味噌注文状) 坂下徳治郎店→佐野屋	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-50
注文(浅溜) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-55
キ(大野味噌注文状) 坂下徳治郎店→相生町佐野屋	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-74
「あいおい味噌 二百目」(書付) 加丈(印文)「加島」	(明治28年)	小紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-80
(大野味噌等注文書) 坂下徳次郎店→相生町佐野屋	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-87
記(味噌醤油取引高勘定帳) 佐野屋与右衛門→渡辺つ な殿・幸七殿	巳12月	横半半折・1冊<2 丁墨>/(No.46は紐 一括)	46-23
記(味噌醤油取引高勘定断簡) 佐野屋与右衛門→渡辺 つな殿	午6月	横長半・1冊<3丁 墨>/(No.46は紐一 括)	46-24
記(味噌醤油取引高勘定帳) 佐野屋与右衛門二十七→ 渡辺つな殿	酉年6月	横長半・1冊<3丁 墨>/(No.46は紐一 括)	46-17
覚(溜醤油取引代金勘定帳) 橋屋宗五郎→佐野屋佐兵 衛様	酉年	横長半・1冊<2丁 墨>/(No.46は紐一 括)	46-18
記(大上酒9升ほか急入用につき供出願) キヨス→相 生町様	1月22日	横切紙・1通	28-587

(溜買入下書)	(1月～6月)	横長半・1冊<2丁墨>/ (No.46は紐一括)/(綴紐脱)	46-6
別紙(上味噌溜代金過剰分を返却につき書状) 中根八右衛門→佐野屋佐兵衛様	7月21日	横切紙・1通	28-98
記(極上味噌3樽ほか注文書) 高柴篤(印文「岐阜縣美濃国土岐郡土岐津村」)→佐野屋御中様	8月31日	横切紙・1通/(No.46は紐一括)	46-65
記(溜買入記) 本とや重七→渡辺つな殿	12月	横長半・1冊<3丁墨>/ (No.46は紐一括)	46-10
(大豆他諸品買入帳断簡)		横長半・1冊<4丁墨>/ (No.46は紐一括)	46-20
(綱貫の内壺口毎に余り目切の件などにつき書状)		堅切紙・1通/(赤色野紙)	28-402
(榊原様注文物品預り願などにつき書状)		横切紙・1通	28-619
(大豆他諸品買入帳断簡)		横長半・1冊<8丁墨>/ (No.46は紐一括)	46-19

## 4.1.6.2.送り状

諸荷物通送証券(溜大至急送状) 美濃国恵那郡付知村柳屋半治郎(印)→名古屋市相生町さの屋つな殿行	明治28年7月30日	小紙/1通(木版)/(No.29-11は88点一綴)	29-11-88
送り状(2俵代11銭) (美濃土岐郡)高田(加藤)悦助分(印)→名古屋新柳町小栗支店荷あずかりさのや行	(明治28年)7月	横切紙・1通/(No.29-11は88点一綴)	29-11-22
送り状(6俵代29銭) (美濃土岐郡)高田(加藤)悦助分(印)→名古屋相生町さのや行	(明治28年)7月	横切紙・1通/(No.29-11は88点一綴)	29-11-23
送り状(10俵代50銭) (美濃土岐郡)高田(加藤)悦助分(印)→名古屋相生町さのや行	(明治28年)7月	横切紙・1通/(No.29-11は88点一綴)	29-11-24
記(中溜等送状) ますや伊助→さのヤツナ様	(明治28年)8月8日	小切紙・1通/(No.29-11は88点一綴)	29-11-41
キ(明樽送状) カサ屋→相生町佐の屋様御店	(明治28年)8月11日	小切紙・1通/(No.29-11は88点一綴)	29-11-68
送り状(溜樽) 土岐郡土岐村字名滝小倉兼衛→名古屋相生町佐野屋様	(明治28年)8月12日	堅紙・1通/(No.29-11は88点一綴)	29-11-58
キ(明樽・明桶送付状) 高木肇→さのや様	(明治28年)8月12日	切紙・1通/(No.29-11は88点一綴)	29-11-60
送状(桶・樽) 美濃国酒井下村酒井石佐のや逸太郎(印)→佐の屋つな殿	明治28年8月12日	小紙・1通/(No.29-11は88点一綴)	29-11-61
送り状(溜樽・味噌桶) 高山新地岩崎屋作次郎(印文「土岐津町字高山加藤作次郎」)→相生町佐野屋殿	明治28年8月16日	小切紙・1通/(No.29-11は88点一綴)	29-11-46
キ(浅味送付状) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)8月17日	小切紙・1通/(No.29-11は88点一綴)	29-11-47
注文(薄引大1本送付状) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)8月18日	小切紙・1通/(No.29-11は88点一綴)	29-11-44
記(明樽など送り状) 丸屋弥蔵(印)→佐野屋様	(明治28年)8月19日	横切紙・1通/(No.29-11は88点一綴)	29-11-37
キ(浅味小3本送り状) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)8月23日	小切紙・1通/(No.29-11は88点一綴)	29-11-28
キ(浅味など送り状) 八百栄→さのや様	(明治28年)8月25日	小切紙・1通/(No.29-11は88点一綴)	29-11-18
送券(溜り樽2本、多治見運送店次) 美濃土岐郡多治見畑蔵春吉→相生町さのや佐兵衛殿	(明治28年)8月25日	横切紙・1通/(No.29-11は88点一綴)/(木版)	29-11-20
送券(溜り樽3本) 土岐郡小田村正宗寺(印)→名古屋相生町佐野屋ツナ殿行	(明治28年)末8月26日	横切紙・1通/(No.29-11は88点一綴)	29-11-21

## 鉄砲塚町渡辺家文書 4. 店方/1. 焚味噌商/6. 取引/2. 送り状

記(溜り2本・みそ1本御渡につき) 丸弥(印)→佐の屋様	(明治)28年11月1日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-71
(別上浅味大1本送り状) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月2日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-68
キ(溜り樽・味噌桶送り状) 美濃小野郡竹折村三枡や由兵衛(印)→愛知県名古屋市長生町佐野屋商店殿	明治28年11月3日	横切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-66
送り状(溜り樽など11升余) 柳屋店(印)→佐野屋商店御中	(明治28年)11月7日	横切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-40
送り(溜り明樽13本送り状) 美濃曾木(町)大野(屋)金之介(印)→佐野屋ツナ様	(明治28年)11月22日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-16
記(溜りなど6本送り状) 升屋末九郎→さのやつな様	(明治28年)11月27日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-10
送り状(桶・樽21本、佐藤運送所送り状) 浅野村水の重太郎→佐野屋商店殿行	明治28年11月29日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-4
キ(浅味小1駄送り状) 八百栄→(佐野屋様)	(明治28年)11月29日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-9
送り状(樽など18本売却願) (美濃土岐郡)ツマキ(村)熊谷鎌治郎(印)→名古屋市長生町佐野屋おつな様	(明治28年)11月	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-13
送状(樽・桶) 土岐郡多治見町各努勝治郎より(印)外1名→佐野屋御店中	(明治28年)7月28日	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-45
送り(溜桶3樽) 木股永兵衛(印)→ナコヤ相生町佐野屋殿	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-25
送り(樽8本) (土岐郡多治見萬屋喜平)→佐野屋行	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-42
記(大樽など7本送り状) 池田口(カサに幸)→上様	(明治28年)	横切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-49
(溜り引渡願) (アラカワ)(印)	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-16
キ(大桶2つ) (加藤口助)→(佐野屋様)	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-32
(盆前のため少々のみを送付につき書状) 西浦会社→名古屋市長生町渡辺つな殿	(明治28年)	横切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-35
溜送り状(溜り樽16本・味噌桶4本送状) 東濃竹屋三柳屋由兵衛書(印)→名古屋市長生町佐野屋商店御中	明治32年8月6日	堅紙・1通/(No. 57は12点一綴)	57-8
送券(精品溜33樽) 愛知県半田港株式会社萬三商店醬油部(印)→名古屋市長生町佐野屋商店殿	大正2年4月28日	堅切紙・1通	29-4
送券(浅五分生り1樽・製品溜20樽) 愛知県半田港株式会社萬三商店醬油部(印)→名古屋市長生町佐野屋商店殿	大正3年3月12日	堅切紙・1通	29-6
送券(中引9樽・最上9樽) 名古屋市長生町大船町3丁目井上支店→佐の佐兵衛殿行	大正11年7月6日	堅切紙・1通	29-5
送券(上樽引生り30樽) 愛知県半田港萬三商店醬油部(印)→名古屋市長生町佐野屋商店殿	昭和2年1月5日	堅切紙・1通	29-2
送券(上樽引生り23樽) 愛知県半田港株式会社萬三商店醬油部(印)→名古屋市長生町佐野屋商店殿	昭和2年6月6日	堅切紙・1通	29-7
送状(八分中引溜30樽) 愛知県知多郡成岩町丸八味噌溜醸造元加藤鈺太郎→名古屋市長生町口佐野屋商店殿	昭和3年2月27日	堅切紙・1通	29-8
送状(仙台粒19貫10挺) 尾張西枇杷島町味噌溜製造業児島豊三郎→相生町さのさ殿	昭和3年2月29日	堅切紙・1通	29-1
送券(上樽引生り20樽) 愛知県半田港株式会社萬三商店醬油部(印)→名古屋市長生町佐野屋商店殿	昭和3年6月16日	堅切紙・1通	29-9
送券(浅五分生り2樽) 愛知県半田港株式会社萬三商店醬油部(印)→名古屋市長生町佐野屋商店殿	昭和30年1月20日	堅切紙・1通	29-3
キ(溜り小1駄送り状) 八百北米→(佐野屋商店)様	11月1日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-70

(注文の溜り送付の旨書付)		小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-72
<b>4.1.6.3.仕切</b>			
現金味噌溜仕切 佐野屋佐兵衛→武内又左衛門殿、口入森田清助殿	明治9年子極月	横長半・1冊<4丁墨>	21
(上溜代金請求書) 鈴木平市→佐野屋様	(明治28年)8月10日	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-66
記(大野味噌他) (土岐郡)ツマキ(妻木)村橋本屋熊太郎→佐野屋つな様	(明治28年)8月13日	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-62
覚(溜売渡につき覚) *端裏に「近甚道具一條、佐久道具一條」とあり 佐野屋佐兵衛→浅野屋喜兵衛殿、口入清助殿	亥1月1日	小切紙・1通/(No. 28-112は13冊紐一括)	28-112-9
覚(溜醤油引渡高金勘定写) 佐野屋与右衛門→佐野屋宗右衛門殿	亥7月	横切紙・1通	28-695
覚(極上味噌代金勘定) 佐野屋与右衛門	亥7月	横切紙・1通/(後欠)	28-466
覚(極上味噌売上書) 佐野屋與左衛門→佐野屋宗右衛門殿	亥7月	横切紙・1通	28-505
覚(味噌溜など代金勘定) 宗右衛門→本家様	1月	横切紙・1通	28-467
(稀印380匁・稀落370目ほか代金書上)		小切紙・1通	28-497
記(大上溜りなど代金書立)		横切紙・1通	28-524
<b>4.1.6.4.値段</b>			
溜直段之覚(上溜り他溜り直段書)	明治9年丙子11月1日	横切紙・1通/(No. 57は12点一綴)	57-6
溜直段之覚(極上溜り直段書)	明治9年丙子11月1日	横切紙・1通/(No. 57は12点一綴)	57-7
覚(仕入物値段引下げにつき通知状雛形)	子7月	縦紙・1通	28-295
(付箋・小麦・大麦代金書上)		付箋・1点	28-381
<b>4.1.6.5.支払</b>			
記(荷物一桶代金受渡期日取決につき) 大仏屋信太郎(印)→口入久兵衛殿	明治17年4月	小切紙・1通	28-476
記(味噌等代金支払書) 池田斉藤安次郎→相生町佐野屋様	(明治28年)8月4日	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-79
記(酒代11銭請求願) さか屋加藤官兵衛→相生町佐の屋佐兵衛様	(明治28年)8月23日	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-26
送り(溜り樽など12本運送賃17銭余支払願) (美濃土岐郡瀬津村)小里和田亀二郎(印)→名古屋相生町さの屋つな様	(明治)28年9月18日	横切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-52
記(塩3俵代56銭受取) (名古屋相生町)佐野屋(印)→浅井信太郎様	(明治28年)10月23日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-65
(味噌2・3駄代金支払願) 柳屋半次郎(印)→佐の屋つな様	(明治28年)11月6日	横切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-45
(味噌樽など運送賃4銭領収書) 駄知田中屋→名古屋佐野屋様行	(明治28年)11月21日	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-35
(藤平右衛門支店へ金5円為替送金につき書状、後欠力)	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-10は72点一綴)	29-10-7
(五井かべ代金支給願につき書状) (印文)「美濃明知橋本幸八郎」→佐野や様	(明治28年)	横切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-40
キ(加工1本代請求書) 坂下徳治郎店→相生町佐野屋	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-43

## 鉄砲塚町渡辺家文書 4.店方/1.焚味噌商/6.取引/5.支払

記(溜樽請求書) (土岐郡)定林寺村後藤九郎治(印)→相生町佐屋様	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-56
(樽請求書) →(佐野屋様)	(明治28年)	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-57
記(荷物直渡り代金納期につき書状) 熊野屋佐助(名古屋赤塚町老丁目)→口入久兵衛様	申4月12日	横切紙・1通	28-667
記(仕切金支払督促につき書状) 白木屋善右衛門→渡辺佐兵衛様	3月19日	小切紙・1通	28-207

## 4.1.6.6.通帳

味噌溜御通(売掛記) 佐野屋佐兵衛→出井甚九郎様	慶応3年丁卯1月吉日	横美半折・1冊<10丁>/(No. 1は24冊綴紐一括)	1-1
味噌溜御通(売掛仕切帳) 佐野屋佐兵衛→泰山様	明治3年庚午1月吉日	横美半折・1冊<中身なし>/(No. 1は24冊綴紐一括)	1-2
味噌溜御通(売掛仕切帳) 佐野佐(名古屋相生町)→口又口口様	明治19年1月吉日	横美半折・1冊<2丁墨>/(No. 1は24冊綴紐一括)	1-3
清醋御通(代金支払帳) 酢屋伝左衛門→佐野屋佐兵衛様	明治21年子1月吉日	横美半折・1冊<6丁墨>/(No. 2は9冊綴紐一括)	2-2
酒御通 (名古屋鍋屋町)酒佐野屋(中村正三郎)→渡辺佐兵衛様	明治21年戌子1月吉晨	横美半折・1冊<6丁墨>/(No. 2は9冊綴紐一括)	2-3
味噌溜御通(売掛仕切帳) →堀之内樋口新三右衛門様	明治22年己丑吉日	横美半折・1冊<5丁墨>/(No. 1は24冊綴紐一括)	1-4
現金塩之通(代金支払帳) 知多屋新四郎→佐野屋佐兵衛様	明治24年辛卯1月吉日	横美半折・1冊<2丁墨>/(No. 2は9冊綴紐一括)	2-4
味噌溜御通(売掛仕切帳) 相生町佐野屋→守山村鶴飼清左衛門様	明治24年辛卯吉日現在	横美半折・1冊<6丁>/(No. 1は24冊綴紐一括)	1-5
味噌溜御通(売掛仕切帳) 相生町佐野屋→柴木義久	明治25年壬辰1月吉日	横美半折・1冊<6丁>/(No. 1は24冊綴紐一括)	1-6
味噌溜御通(売掛仕切帳) 相生町佐野屋→セト水野重九郎様	明治27年甲午2月吉日	横美半折・1冊<1丁墨>/(未使用)/(No. 1は24冊綴紐一括)	1-7
味噌溜御通(売掛仕切帳) 相生町佐野屋→岩村田中屋大治様	明治28年乙未1月吉日	横美半折・1冊<6丁墨>/(No. 1は24冊綴紐一括)	1-8
塩薪炭御通(代金支払帳) 古金屋弥平→佐野屋佐兵衛様	明治28年乙未1月吉日	横美半折・1冊<9丁墨>/(No. 2は9冊綴紐一括)	2-5
味噌溜御通(売掛仕切帳)	明治28年乙未	横美半折・1冊<2丁墨>/(裏表紙欠)/(No. 1は24冊綴紐一括)	1-9
醤油通(代金支払帳) 名古屋新柳町6丁目小栗支店(印)	明治29年1月吉日	横美半折・1冊<3丁>/(裏表紙欠)/(No. 2は9冊綴紐一括)	2-6
味噌溜御通(売掛仕切帳) 瀧善兵衛→佐野屋おつな殿	明治29年丙申1月吉日	横美半折・1冊<9丁墨>/(No. 1は24冊綴紐一括)	1-10
現金塩御通(代金支払帳) 知多屋新四郎→佐野屋つな様	明治29年丙申1月吉日	横美半折・1冊<3丁墨>/(No. 2は9冊綴紐一括)	2-7
味噌溜御通(売掛仕切帳) 相生町佐野屋→内津福岡金次郎様	明治35年壬寅1月吉日	横美半折・1冊<11丁>/(No. 1は24冊綴紐一括)	1-12

味噌溜御通(売掛仕切帳) 右衛門様	相生町佐野屋→カチ川水野佐	明治35年壬寅2月吉日	横美半折・1冊<3 丁墨>/(No.1は24 冊綴紐一括)	1-11
味噌溜御通(売掛仕切帳)	相生町佐野屋→田中光義様	明治35年壬寅8月吉日	横美半折・1冊<4 丁墨>/(No.1は24 冊綴紐一括)	1-13
味噌溜御通(売掛仕切帳)	相生町佐野屋→瀬戸商会様	明治35年壬寅8月吉日	横美半折・1冊<2 丁墨>/(No.1は24 冊綴紐一括)	1-14
味噌溜御通(売掛仕切帳) 松之助様	名古屋市相生町佐野屋→竹島	明治36年癸卯1月吉日	横美半折・1冊<1 丁>/(No.1は24冊 綴紐一括)	1-15
味噌溜御通(売掛仕切帳)	→セト伊藤安七様	明治36年癸卯2月吉日	横美半折・1冊<2 丁墨>/(No.1は24 冊綴紐一括)	1-16
味噌溜御通(売掛仕切帳) 様	相生町佐野屋→セト川本利吉	明治36年癸卯2月吉日	横美半折・1冊<3 丁墨>/(No.1は24 冊綴紐一括)	1-17
味噌溜御通(売掛仕切帳) 重様	相生町佐野屋→セト伊杵屋宗	明治36年癸卯2月吉日	横美半折・1冊<5 丁墨>/(No.1は24 冊綴紐一括)	1-18
味噌溜御通(売掛仕切帳) 相生町水谷鏑太郎様	名古屋市相生町佐野屋商店→	明治37年甲辰1月吉日	横美半折・1冊<2 丁墨>/(No.1は24 冊綴紐一括)	1-19
味噌溜御通(売掛仕切帳) 土岐桜堂土谷周治様	名古屋市相生町佐野屋商店→	明治38年乙巳1月吉日	横美半折・1冊<2 丁墨>/(No.1は24 冊綴紐一括)	1-20
味噌溜御通(売掛仕切帳) 中津加藤東様	名古屋市相生町佐野屋商店→	明治39年丙午1月吉日	横美半折・1冊<6 丁墨>/(No.1は24 冊綴紐一括)	1-21
味噌溜御通(売掛通仕切帳)			横美半折・1冊<1 丁>/(No.1は24冊 綴紐一括)	1-22
(味噌溜売掛通仕切帳)			横美半折・1冊<3 丁墨>/(表紙裏表 紙欠)/(No.1は24 冊綴紐一括)	1-23
(味噌溜売掛仕切帳) 相生町佐野屋様	名古屋市新柳町六丁目小栗支店→		横美半折・1冊<15 丁墨>/(表紙欠)/ (No.1は24冊綴紐 一括)	1-24

## 4.1.6.7.預札

(溜預り証、1升分)	(印文「鉄砲町佐野屋佐兵衛」)	申5月	小札・1点	68-14
(戌年分溜預り証)	(印文「鉄砲町佐野屋佐兵衛」)	(戌年1月～極月)	小札・44点	68-15
(亥年分溜預り証)	(印文「鉄砲町佐野屋佐兵衛」)	(亥年1月～極月)	小札・26点	68-16

## 4.1.6.8.取引札

(焚味噌醤油関係丸さ番号札)	(印文「さ」)		小札・16点/(紙縫 り一括)	69-19
----------------	---------	--	--------------------	-------

## 4.1.7.出入・裁判

入門届(勸解入門書)	第1区相生町平民渡辺佐兵衛→高 階殿	(明治)11年10月18日	小切紙・1通	28-434
(溜ほか送り 荷物八軒町車力横領につき告訴一件関 係書類綴)	(名古屋市相生町44番戸平民告訴人渡辺つ な)→(名古屋第三警察署御中)	(明治)23年9月22日)	半・2点一綴<5丁 墨>	54-3
支払命令(売掛金不足分渡辺つなへ支払命令)	御嵩 区裁判所判事平生忠辰→(債務者岐阜県土岐郡多治見町 梶田捨吉)	明治27年5月5日	半・1冊<4丁墨>/ (「御嵩区裁判所」 青色罫紙)/(No.46 は紐一括)	46-46

## 鉄砲塚町渡辺家文書 4.店方/1.焚味噌商/7.出入・裁判

支払命令申請書(梶田捨吉売掛代金87銭15銭余渡辺つなへ支払請求書) (渡辺ツナ代人同人次男)伊藤鋤三郎→御嵩区裁判所判事平生忠辰殿	明治27年5月11日	堅紙・1通/(青色罫紙)	69-12
領収證(手数料・旅費金41銭) 御嵩区裁判所執達吏林蔵(印)→渡辺つな殿	明治27年5月19日	小切紙・1通/(木版)	69-7
執行御取消申請書(岐阜県多治見町梶田捨吉売掛代金請求一件合意につき執行取消申請書) 味噌溜り商渡世ツナ代人債権者伊藤鋤三郎→御嵩区裁判所執達吏林蔵(印)	明治27年5月23日	堅紙・1通/(青色罫紙)	69-10
記(梶田捨吉動産競売金1円10銭領収書) 御嵩区才判所執達吏代理金井彦三郎(印)→伊藤鋤三郎殿	(明治)27年6月4日	小切紙・1通	69-8
委任状(土岐郡多治見町梶田捨吉財産競売金配当受取代理人伊藤鋤三郎へ委任状下書) 愛知縣尾張国名古屋市相生町44番戸渡辺つな印	明治27年6月7日	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.46は紐一括)	46-84
差添証券(梶田捨吉売掛金請求一件熟談につき) (立会人)佐藤邦三郎	(明治27年)	横切継紙・1通	69-11
告訴書(溜ほか送り荷横領品目書上) 名古屋市相生町44番戸荷主渡辺つな→名古屋第三警察署長警部織田敏男殿		半・1冊<2丁墨>	54-2

## 4.1.8.勘定

## 4.1.8.1.売上

(酒・味噌代金売渡記) 佐野屋佐兵衛→水野吉兵衛殿、口入清助殿	(明治12年カ)己卯12月	横切紙・1通/(前欠)/(No.28-178は10冊紙縫紐一括)	28-178-10
味噌売上調二付当座内扣(醤油などとも)	明治17年4月18日	横長半・1冊<6丁墨>	30
覚(醤油味噌など小売帳)	(明治41年～42年)	横半半折・1冊<12丁墨>/(3冊紙縫一括の内)	8-3
小売覚(醤油味噌など小売帳) 名古屋市相生町佐野屋商店	明治43年	横半半折・1冊<10丁墨>/(3冊紙縫一括の内)	8-2
小売臨時貸覚(醤油味噌など掛売帳)	明治44年	横半半折・1冊<7丁墨>/(3冊紙縫一括の内)	8-1
記(上八歩溜売渡勘定)	寅10月12日	横切紙・1通/(No.28-178は10冊紙縫紐一括)	28-178-9
記(極上味噌24樽売渡勘定)	寅11月16日	横切紙・1通/(No.28-178は10冊紙縫紐一括)	28-178-7
記(極上味噌32樽代金77円余にて売渡勘定)	寅11月16日～(卯)1月3日	小切継紙・1通/(No.28-178は10冊紙縫紐一括)	28-178-5
記(上八歩溜売渡勘定)	寅12月10日～(卯)7月5日	小切継紙(紙縫紐共)・1通/(No.28-178は10冊紙縫紐一括)	28-178-1
覚(極上溜代金勘定) 佐野屋与右衛門→佐野屋宗右衛門殿	亥7月	横切紙・1通	28-742
記(上八歩味噌売渡勘定)	1月26日～11月1日	小切継紙・1通/(No.28-178は10冊紙縫紐一括)	28-178-4
記(味噌売渡し) 佐野屋鋤三郎(印)→佐野屋佐兵衛殿	3月3日	小切紙・1通	28-242
記(上八歩溜売渡勘定)	7月9日～12月27日	横切紙・1通/(No.28-178は10冊紙縫紐一括)	28-178-3

記(上八歩溜売渡勘定)	8月15日～11月5日	小切紙・1通/(No.28-178は10冊紙縫紐一括)	28-178-2
記(上八歩溜6樽代金14円にて売渡勘定)	8月15日～11月5日	横切紙・1通/(No.28-178は10冊紙縫紐一括)	28-178-6
記(上八歩味16樽代金39円余にて売渡勘定)	9月7日	横切紙・1通/(No.28-178は10冊紙縫紐一括)	28-178-8
(中村正斉様・関様御屋敷・綿屋勘兵衛様分売上帳)		横長美・1冊<6丁墨>/(No.46は紐一括)	46-15
記(味噌代金書上記)		横長半・1冊<2丁墨>/(No.46は紐一括)	46-34
(醤油売上帳)	(明治45年)	半・1冊<14丁墨>/(青色罫紙)/(No.46は紐一括)	46-58
覚(極上味噌など差引勘定下書)		横折紙・1通/(No.46は紐一括)	46-91

## 4.1.8.2.諸勘定

小座雑誌(明治13年～16年の臨時金銭など覚帳) 佐野佐店	明治12年己卯11月	横美半折・1冊<16丁墨>/(表紙などフケ)	6-1
売かい当座帳(米仕入帳) 佐野佐店	紀元2539年(明治12年)	横半半折・1冊<7丁墨>	7
記(溜代金勘定) 白木屋善左衛門→渡辺佐兵衛様	(明治)13年3月	横切紙・1通	28-283
味噌仕払帳(仕入勘定) 尾張国名古屋区相生町74番戸渡辺ツナ	明治21年	横長半・1冊<5丁墨>/(虫損不開)	19
記(金7円80銭書上)	辰3月20日	小切紙・1通	28-318
記(溜・味噌代金勘定書上) 堀田店→渡辺つな様	巳6月	横折紙・1通	28-720
記(金5円藤森伊右衛門かし受取)	旧1月3日	小切紙・1通	28-373
慶助覚(内金勘定書)	(1月15日～12月11日)	横長半・1冊<1丁墨>/(青色罫紙)/(No.46は紐一括)/(綴紐脱)	46-26
(日ごと金額書き上げ)	21日～28日	横切紙・1通/(No.28-516は11点紙縫紐一括)	28-516-4
(入出金差額勘定書)		横切紙・1通/(No.28-516は11点紙縫紐一括)	28-516-2
(入出金差額勘定書)		横切紙・1通/(No.28-516は11点紙縫紐一括)	28-516-3
(金銭書出)		小切紙・1通/(No.28-516は11点紙縫紐一括)	28-516-11

## 4.1.8.3.正金・札金

(正金・札金勘定)	8月14日	小切紙・1通/(No.28-243は20点紙縫一括)	28-243-1
(正金・札金勘定)	8月18日	小切紙・1通/(No.28-243は21点紙縫一括)	28-243-2
(正金・札金勘定)	8月19日	小切紙・1通/(No.28-243は22点紙縫一括)	28-243-3
(正金・札金勘定)	8月21日	小切紙・1通/(No.28-243は23点紙縫一括)	28-243-4

## 鉄砲塚町渡辺家文書 4. 店方/1. 焚味噌商/8. 勘定/3. 正金・札金

(正金・札金勘定)	8月22日	小切紙・1通/(No. 28-243は24点紙綴一括)	28-243-5
(正金・札金勘定)	8月23日	小切紙・1通/(No. 28-243は25点紙綴一括)	28-243-6
(正金・札金勘定)	8月25日	小切紙・1通/(No. 28-243は26点紙綴一括)	28-243-7
(正金・札金勘定)	8月26日	小切紙・1通/(No. 28-243は27点紙綴一括)	28-243-8
(正金・札金勘定)	8月28日	小切紙・1通/(No. 28-243は28点紙綴一括)	28-243-9
(正金・札金勘定)	8月29日	小切紙・1通/(No. 28-243は29点紙綴一括)	28-243-10
(正金・札金勘定)	8月30日	小切紙・1通/(No. 28-243は30点紙綴一括)	28-243-11
(正金・札金勘定)	8月31日	小切紙・1通/(No. 28-243は31点紙綴一括)	28-243-12
(正金・札金勘定)	9月3日	小切紙・1通/(No. 28-243は32点紙綴一括)	28-243-13
(正金・札金勘定)	9月6日	小切紙・1通/(No. 28-243は33点紙綴一括)	28-243-14
(正金・札金勘定)	9月28日	小切紙・1通/(No. 28-243は34点紙綴一括)	28-243-15
(正金・札金勘定)	10月18日	小切紙・1通/(No. 28-243は35点紙綴一括)	28-243-16
(正金・札金勘定)	10月19日	小切紙・1通/(No. 28-243は36点紙綴一括)	28-243-17
(正金・札金勘定)	10月21日	小切紙・1通/(No. 28-243は37点紙綴一括)	28-243-18
(正金・札金勘定)	10月25日	小切紙・1通/(No. 28-243は38点紙綴一括)	28-243-19
(正金・札金勘定)	10月27日	小切紙・1通/(No. 28-243は39点紙綴一括)	28-243-20
(正金・札金など勘定覚)	9月17日	小切紙・1通	28-319
(正金・札金など勘定覚)	9月30日	小切紙・1通	28-320
(正金・札金など勘定覚)	12月	小切紙・1通	28-321
(正金・札金など勘定覚)	12月14日	小切紙・1通	28-322
(正金・札金など勘定覚)	11月4日	小切紙・1通	28-323
(正金・札金など勘定覚)	11月7日	小切紙・1通	28-324
(正金・札金など勘定覚)	11月10日	小切紙・1通	28-325
(正金・札金など勘定覚)	9月6日	小切紙・1通	28-326
(正金・札金など勘定覚)	7月20日	小切紙・1通	28-327
(正金・札金など勘定覚)	9月13日	小切紙・1通	28-328
(正金・札金・銭勘定覚)	8月7日	小切紙・1通	28-329

(正金・札金など勘定覚)	12月2日	小切紙・1通	28-330
(正金・札金など勘定覚)	11月25日	小切紙・1通	28-331
(正金・札金など勘定覚)	11月16日	小切紙・1通	28-332
(正金・札金など勘定覚)	8月12日	小切紙・1通	28-333
(正金・札金など勘定覚)	10月6日	小切紙・1通	28-334
(正金・札金など勘定覚)	9月21日	小切紙・1通	28-346
(正金・札金など勘定覚)	9月22日	小切紙・1通	28-347
(正金・札金など勘定覚)	9月25日	小切紙・1通	28-348
(正金・札金など勘定覚)	9月19日	小切紙・1通	28-349
(正金・札金など勘定覚)	9月	小切紙・1通	28-350
(正金・札金など勘定覚)	10月4日	小切紙・1通	28-351
(正金・札金など勘定覚)	10月2日	小切紙・1通	28-352
(正金・札金など勘定覚)	9月27日	小切紙・1通	28-353
(正金・札金など勘定覚)	10月11日	小切紙・1通	28-354
(正金・札金など勘定覚)	10月13日	小切紙・1通	28-355
(正金・札金など勘定覚)	12月9日	小切紙・1通	28-356
(正金・札金など勘定覚)	11月14日	小切紙・1通	28-357
(正金・札金など勘定覚)	11月11日	小切紙・1通	28-358
(正金・札金など勘定覚)	11月5日	小切紙・1通	28-359
(正金・札金など勘定覚)	11月9日	小切紙・1通	28-360
(正金・札金など勘定覚)	8月9日	小切紙・1通	28-361
(正金・札金など勘定覚)	7月29日	小切紙・1通	28-362
(正金・札金など勘定覚)	7月29日	小切紙・1通	28-363
(正金・札金など勘定覚)	8月10日	小切紙・1通	28-364
(正金・札金など勘定覚)	7月31日	小切紙・1通	28-365
(正金・札金など勘定覚)	8月3日	小切紙・1通	28-366
(正金・札金など勘定覚)	8月1日	小切紙・1通	28-367
(正金・札金など勘定覚)	8月5日	小切紙・1通	28-368
(正金・札金など勘定覚)	8月4日	小切紙・1通	28-369
(正金・札金など勘定覚)	8月11日	小切紙・1通	28-373
(正金・札金など勘定覚)	10月23日	小切紙・1通	28-371
(正金・札金など勘定覚)	7月2日	小切紙・1通	28-372
(正金・札金勘定)	12月21日	小切紙・1通/(No. 28-516は11点紙縫紐一括)	28-516-5
(正金・札金勘定)	12月22日	小切紙・1通/(No. 28-516は11点紙縫紐一括)	28-516-6
(正金・札金勘定)	12月23日	小切紙・1通/(No. 28-516は11点紙縫紐一括)	28-516-7
(正金・札金勘定)	(12月)26日	小切紙・1通/(No. 28-516は11点紙縫紐一括)	28-516-8

## 鉄砲塚町渡辺家文書 4. 店方/1. 焚味噌商/8. 勘定/3. 正金・札金

(正金・札金勘定)	12月27日	小切紙・1通/(No. 28-516)は11点紙縫紐一括)	28-516-9
(金銭書出)	(12月)26日	小切紙・1通/(No. 28-516)は11点紙縫紐一括)	28-516-10
(正金・札金勘定、3月前期分)	(3月1日～12日)	横切継紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-1
(正金・札金勘定、3月後期分)	(3月13日～30日)	横切継紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-2
(正金・札金勘定)	(1月18日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-3
(正金・札金勘定)	(3月8日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-4
(正金・札金勘定)	(2月25日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-5
(正金・札金勘定)	(2月28日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-6
(正金・札金勘定)	(2月25日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-7
(正金・札金勘定)	(2月22日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-8
(正金・札金勘定)	(3月2日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-9
(正金・札金勘定)	(3月1日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-10
(正金・札金勘定)	(3月9日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-11
(正金・札金勘定)	(2月23日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-12
(正金・札金勘定)	(3月16日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-13
(正金・札金勘定)	(2月24日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-14
(正金・札金勘定)	(3月25日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-15
(正金・札金勘定)	(3月10日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-16
(正金・札金勘定)	(26日～27日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-17
(正金・札金勘定)	(2月23日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-18
(正金・札金勘定)	(3月16日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-19
(正金・札金勘定)	(3月7日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-20

(正金・札金勘定)	(3月4日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-21
(正金・札金勘定)	(3月11日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-22
(正金・札金勘定)	(3月5日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-23
(正金・札金勘定)	(3月25日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-24
(正金・札金勘定)	(3月22日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-25
(正金・札金勘定)	(2月26日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-26
(正金・札金勘定)	(3月29日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-27
(正金・札金勘定)	(3月17日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-28
(正金・札金勘定)	(3月27日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-29
(正金・札金勘定)	(3月19日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-30
(正金・札金勘定)	(3月20日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-31
(正金・札金勘定)	(3月24日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-32
(正金・札金勘定)	(3月24日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-33
(正金・札金勘定)	(3月23日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-34
(正金・札金勘定)	(3月21日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-35
(正金・札金勘定)	(3月14日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-36
(正金・札金勘定)	(3月15日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-37
(正金・札金勘定)	(3月13日)	小切紙・1通/(No. 28-543)は37点紙縫紐一括)	28-543-38

## 4.1.9.製造

秘伝書(極上溜・早たまり・醤油作方など) 弁慶橋竜宮町東都横山弥兵衛(印)	文政12丑年9月良辰	半・1冊<12丁>	43
滴方御猶予願(被告において金策不行届につき滴方猶予願書) 名古屋区筒井町被告平民足立寅吉(印)、原告平民渡辺佐兵衛(印)→名古屋区裁判所判事補豊田弘世様	明治12年7月5日	堅紙・1通/(黒色罫紙)/(No.55は18点一綴)	55-7
製造覚(醤油製造記、明治17年～18年2月20日分) 渡辺店	明治17年9月吉日	横長半・1冊<8丁墨>(破損開扉不能)	18-1

## 鉄砲塚町渡辺家文書 4.店方/1.焚味噌商/9.製造

醬[破損](醬油製造覚、明治17年度分他)	明治17年	横長半・1冊<13丁墨>/ (破損甚大)	18-2
ニイラ溜仕込帳 (渡辺)	(明治21年9月17日～12月5日)	横長半・1冊<8丁墨>/ (No.46は紐一括)	46-5
樽番号帳	明治26年11月ヨリ	横半半折・1冊<10丁墨>	11-1
記(明樽等代金請求書) 大野金之介→佐野御つな様	(明治28年)7月21日	小切紙・1通/(No.29-11は88点一綴)	29-11-54
(浅溜借用願につき書状) 柳屋半二郎→佐野屋つな様	(明治)28年7月25日	横切紙・1通/(No.29-11は88点一綴)	29-11-86
(溜借用願につき書状、前欠) (恵那郡)柳屋半次郎(印)→佐野屋ツナ殿	(明治28年)7月30日	小切紙・1通/(No.29-11は88点一綴)	29-11-85
口仲(食庭塩代金貸渡につき) 亀屋喜平次(印文「名古屋納屋」)→佐野屋佐兵衛様御店衆中様	辰3月18日	堅切紙・1通	28-282
記(小豆1斗など代金勘定) 荒川→佐野屋さま	1月31日	小切紙・1通	28-290
覚(大上130石水7升ほか書上) 山武吉清→佐野屋佐兵衛様御店衆中様	4月6日	小切紙・1通	28-488
(中村次郎太方へ醬油高提出の件につき書状) 第6区戸長	7月24日	小切紙・1通	28-197
(醬油製造高取調の件通知につき書状) 第6区戸長	7月24日	小切紙・1通	28-387
(道具入札の件につき書状) 鈴木久助→渡辺佐兵衛様	11月19日	横切紙・1通	28-17
(醬油造高届書案紙の通り認めるべき旨につき書状)		横切紙・1通	28-461
(味噌溜・納米など仕込み残り勘定)		横折紙・1通	28-470
(味噌溜・納麦・有物など勘定)		横折紙・1通	28-471
記(西蔵・溜蔵・からし場ほか157俵5斗書上)		横切紙・1通	28-480
(本大上溜り2石ほか合方につき書付)		小切紙・1通	28-494
覚(醬油仕込みなど覚)		横長半・1冊<3丁墨>/ (No.46は紐一括)	46-33
(醬油醸造関係道具・桶なわ代など勘定)		横切紙・1通	28-530

## 4.1.10.奉公人・職人

御請状之事(当地新町裏万蔵倅金蔵奉公人請状、1年季・給金1両3分) 請人美濃屋浅右衛門(印)→佐野屋惣右衛門様	文政10年亥2月	堅紙・1通	53-4
奉公人請状之事(貞祖院門前万蔵倅金蔵奉公人請状、1年季・給金1両3分) 美のや浅右衛門→佐野屋宗右衛門殿	文政10年亥2月	堅紙・1通	53-5
奉公人請状之事(奉公人請状下書、1年季・給金1両2分) 美のや浅右衛門→佐野屋宗右衛門殿	文政10年亥3月	堅紙・1通	53-6
御請状之事(中嶋郡下り津村甚右衛門倅義助奉公人請状、4月から来年2月まで・給金1両2分) 請人美のや浅右衛門(印)→佐野屋惣右衛門様	文政10年亥4月	堅紙・1通	53-7
御請状之事(美濃中嶋郡大沢村文蔵倅要助奉公人請状、1年季・給金1両2分) 美濃屋浅右衛門(印)→佐野屋惣右衛門様	文政11年子3月	堅紙・1通	53-8
御請状之事(春日井郡大野村嘉助奉公人請状、1年季・給金1両3分) 請人美濃屋浅右衛門(印)→佐野屋惣右衛門様	文政11年子3月	堅紙・1通	53-9

桶工御通(代金支払帳) 桶師甚助→渡辺様	明治21年戊子1月吉日	横半半折・1冊<7丁墨>(No. 2は9冊紐一括)	2-1
雇人請證券(愛知郡三ツ谷村横地鈴次郎6ヶ月雇用請証券、給金10円) 名古屋市金澤町13番戸阪本屋雇人周旋所木原楠蔵(印)→渡辺つな様	明治33年3月4日	堅紙・1通/(木版)	53-3
雇人請證券(名古屋市大曾根町柴山ちやう期間6ヶ月の雇用契約書、給金14円) 名古屋市飯田町116番戸、証人加藤浅右衛門(印)→渡辺鋤三郎殿	明治34年10月22日	堅紙・1通/(木版)	53-2
(随行につき書状) 店惣七郎→御主人	1月26日	小切継紙・1通	28-134
(身分引請証券送付につき書状) 内野八兵衛→渡辺つな様	10月30日	横切紙・1通	28-560
給金定(佐兵衛・鋤三郎・つな・利喜・りやう・芳治の給金)		堅切紙・1通/(茶色罫紙)	28-433

## 4.1.11.諸活動

## 4.1.11.1.丸屋幸八

乍恐奉願上候御事(藤七召抱えにつき御札免許願状) 御表具師幸八(印)/(奥印)儀兵衛(印墨消)・茂兵衛(印墨消)→杉本栄蔵様	天保3年辰12月	堅紙・1通/(No.55は18点一綴)	55-2
乍恐奉願上候御事(倅小兵衛張付師御札免許願状) 御表具師幸八(印)/(奥印)儀兵衛(印墨消)・茂兵衛(印墨消)→杉本栄蔵様	天保3年辰12月	堅紙・1通/(No.55は18点一綴)	55-3
乍恐奉嘆願上候御事(味噌溜出店につき平商鑑札交付願) 第3区内2小区杉出町丸屋幸八(印)/(奥印)右町年寄理八	(明治5年) 壬申2月5日	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.55は18点一綴)	55-4
(奉公人御数寄屋御用達御張付師近藤幸八略歴)		横切紙・1通	28-652

## 4.1.11.2.笹屋又左衛門

多留帳(古樽・新樽改ならびに樽別販売記録) 笹又出店	明治5年壬申1月吉日	横半半折・1冊<67丁墨>	11-2
書拔帳(売掛金受取帳) 東田町笹又	明治8年乙亥極月	横長半・1冊<10丁墨>	22-1
書拔帳(売掛金受取帳) 笹又出店	明治9年子6月	横長半・1冊<10丁墨>	22-4
諸品店卸帳(味噌など諸品) 笹又出店	明治9年子極月	横長半・1冊<4丁墨>	20-1
書拔帳(売掛金受取帳) 笹又出店	明治9年丙子極月	横長半・1冊<10丁墨>	22-2
書拔帳(売掛金受取帳) 笹又出店	明治9年丙子極月	横長半・1冊<10丁墨>	22-3
小座諸品記(醤油など覚帳) 笹亦出店	明治10年丁丑1月1日	横半半折・1冊<4丁墨>	6-2
諸品店卸帳(味噌など諸品) 笹又出店	明治10年丁丑6月	横長半・1冊<4丁墨>	20-2
書拔帳(売掛金受取帳) 笹又出店	明治10年丁丑6月	横長半・1冊<10丁墨>	22-5
書拔帳(売掛金受取帳) 笹又出店	明治10年丁丑6月	横長半・1冊<12丁墨>	22-6
書拔記(醤油売掛金受取帳) 笹屋又左衛門	明治10年丑8月	横半半折・1冊<6丁墨>	22-7

## 4.1.12.書状

(当月末日には送金等につき書状) (土岐郡下石村酒井商店)→佐野や御店様	(明治28年)末8月12日	横切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-59
キ(すし紙在庫につき書状) 中村文蔵→渡辺御店	(明治28年)8月12日	小切紙・1通/(No. 29-11は88点一綴)	29-11-63
(会許預り残り金返納につき書状) みそ十柳屋→旦那様	1月20日	横切紙・1通	28-14
(○印引合御渡し依頼などにつき書状) ミのや彦兵衛→さのや佐兵衛様	2月24日	横切紙・1通	28-615
覚(金銭勘定依頼) 南佐のや哥七→渡辺定次郎様	3月12日	横切紙・1通	28-265
(表武公へ返辞不念のため一事件出来につき書状) □□[欠損]→□サ君	4月18日	横切紙・1通/(前欠)	28-161
(山城屋払勘定につき書状) 中村太郎吉→渡辺定次郎様	6月18日	横切紙・1通	28-137
(3名程井桁屋へ人員差出につき書状) 竹屋→鉄さ君	9月8日	横切紙・1通	28-106
(酒造方菓売追加税の件につき書状下書) 瀬兵衛→中村君・渡さ君	12月11日	横切紙・1通	28-597
(吉五郎金子75両持参につき受取状願いの書状) 中根八右衛門→佐野屋佐兵衛様	18日	横切紙・1通	28-97
(増減届・永伝共持参願につき書状) 祐弘→鉄サ君	24日	小切紙・1通	28-201
(売場せわしく仕切出来申さずにつき書状下書)		横切紙・2通/(下書共)	28-8
(売場せわしく仕切出来申さずにつき書状下書)		横切紙・1通	28-9
(会計の件問合せつき書状) 三平→渡辺晋敬君		横切紙・1通	28-15
(弥平不正にて商取引差留のところ赦免の件につき書状下書)		横切紙・1通	28-29
口上(○印壺本借用願につき書状下書)		横切紙・1通	28-62

## 4.2.綿商

## 4.2.1.資金

借用申金子之事(綿の仲間商いの元手のため札金150両借用) 借主佐野屋佐兵衛(印)、加判銭屋新右衛門(印切取)→御本家様	天保5年午9月	縦紙・1通/(No.47-2~60まで紙縫一括)	47-6
綿元手金覚帳(くり綿株・江戸積株購入他綿仲間付合費勘定帳) 佐野屋佐兵衛	天保9年戊戌1月吉日	横長半・1冊<8丁墨>/ (5冊紐一綴の内)	15-1
覚(綿売り金15両をもって本家返済などにつき) 定治郎	天保15年辰10月朔日	横切紙・1通	28-411
証文之事(銭屋新兵衛へ金50両貸渡し書入手形など3通預かりにつき) 佐野屋佐兵衛(印)→山城屋庄兵衛殿	嘉永6年丑6月	縦紙・1通/(No.47-2~60まで紙縫一括)	47-8
覚(金13両2分余受取) (名古屋京町通新町) 銭屋新右衛門(印)→佐野屋佐兵衛様	午5月晦日	小切紙・1通	28-343

## 4.2.2.株

覚(中印繰株金3両1分2朱受取) 八木弥兵衛→銭屋新右衛門様御取次	酉11月5日	横切紙・1通	28-316
-----------------------------------	--------	--------	--------

乍恐奉願上候御事(繰綿江戸積十軒株譲渡の件願書) 鍋屋町之内喜八(印)→町方御役所あて名なし	西12月	堅紙・1通/(No.55 は18点一綴)	55-1
(積株名前の件につき願書借用願の旨書状) 銭新右衛 門→佐野屋貞次郎様	8月4日	横切紙・1通	28-61

## 4.2.3.取引

御買口覚(大上本住実綿15本分買付書) 平野屋太兵衛 (印)→銭屋新右衛門殿	天保8年酉11月22日	小切継紙・1通	56-1
仕切(大上本住実綿15本分仕切書、 $\text{ズ}$ 2貫51匁) 平野 屋太兵衛(印)→銭屋新右衛門殿	天保8年酉11月22日	横切継紙・1通	56-3
積口覚(本住みわた15本船積出帆につき) 平野屋太兵 衛(印)→銭屋新右衛門殿	天保8年酉12月14日	横切継紙・1通	28-701
御買口覚(大極上朝鮮実綿10本分他買付書) 平野屋太 兵衛(印)→銭屋新右衛門殿	天保9年戌10月4日	横切継紙・1通	56-5
実綿買付覚(43本) (和州)村嶋長兵衛(印)→銭屋新右衛 門様	天保9年戌10月11日	横切継紙・1通	56-4
綿売買覚帳(和州綿朝鮮綿売買分など勘定帳)	天保9年戌秋	横長半・1冊<13丁 墨>/(5冊紐一綴 の内)	15-2
実綿仕切状(代金受取) 村嶋長兵衛(印)→名古屋銭屋新 右衛門殿	天保9年戌11月	横折紙・1通	28-266
亥秋綿売上覚帳(綿取引勘定帳)	天保10年	横長半・1冊<6丁 墨>/(5冊紐一綴 の内)	15-3
亥秋綿買入覚帳(綿取引勘定帳)	天保10年	横長半・1冊<8丁 墨>/(5冊紐一綴 の内)	15-4
壬寅秋綿買入覚(綿取引勘定帳)	(天保13年)	横長半・1冊<3丁 墨>/(5冊紐一綴 の内)	15-5
記(大京24銭ほか $\text{ズ}$ 1円70銭請取) 河内屋喜八→佐野屋 定様	(明治)10年6月	横折紙・1通	28-501
覚(大京代など諸費4円20銭余受取書) 河内屋喜八→ 佐野屋定様	子11月	横切継紙・1通	50-15
覚(極上実綿売附につき) (名古屋)みのや文介→佐野屋 佐兵衛様	丑9月19日	小切紙・1通	28-508
覚(朝せんなどに関する代金勘定)	丑10月9日改	小切継紙・1通	28-240
記(大京2本など諸品代受取書) 河内屋喜八→佐野屋定 様	丑11月	横長半・1冊<2丁 墨>/(No.46は紐一 括)	46-39
記(村鉄など代金1円15銭5分受取書) 河内や喜八→渡 辺定様	丑12月	堅紙・1通	50-6
覚(実綿10本勘定)	寅1月28日	横切紙・1通	28-644
覚(大坂運賃など金銭勘定) 新右衛門→佐兵衛	寅2月	横切紙・1通	28-529
覚(味綿代金勘定書) 綿屋東助→佐野屋佐兵衛様	寅7月22日	横切継紙・1通/(No. 28-692は4点紙縫 一括)	28-692-2
覚(金銭勘定書上) みのや文助(印文)「名護屋古渡新町 美濃屋」→佐野屋佐兵衛様	寅10月5日	横切継紙・1通/(No. 28-692は4点紙縫 一括)	28-692-1
覚(実綿引渡につき書上) みのや文助(印文)「名護屋古 渡新町美濃屋」→佐野屋佐兵衛様	寅10月5日	小切紙・1通/(No. 28-692は4点紙縫 一括)	28-692-3
記(品代金2円5銭余受取) 名古屋長島町河内屋喜八→渡 辺様・嘉様	卯12月	横切紙・1通	28-392

## 鉄砲塚町渡辺家文書 4.店方/2.綿商/3.取引

覚(実綿20本など勘定) 新右衛門→(佐野屋様)	巳7月4日	横折紙・1通/(No.28-673は5点組一括)	28-673-2
記(品代金6円83銭9厘受取書) (名古屋長島町)河内や喜八(印)→渡辺佐兵衛様	巳12月	縦紙・1通	28-391
(白木綿など反物代金書立) 銭屋新右衛門→佐野屋佐兵衛様	午1月	横切継紙・1通	28-525
覚(白木綿など金113両2分余代金受取) 銭屋新右衛門→佐野屋佐兵衛様	午4月	横切継紙・1通	28-337
覚(繰綿3貫932匁代金書立) 銭屋新右衛門→佐野屋佐兵衛様	戌12月	横切継紙・1通	28-474
覚(大坂拝銀・駄賃など代金勘定) (やま新)→(まるさ)様	亥7月	横切継紙・1通	28-522
覚(和州・朝鮮他代金228両1分3匁3分8リ書上) さ(佐野屋)→山新様	亥11月	横切継紙・1通	28-413
覚(橘印綿29本買請) (尾州名古屋)又→(銭屋新右衛門様)	1月19日	小切継紙・1通	28-299
(品代金請取) (やま新)→(まるさ)様	1月	横切紙・1通	28-526
覚(返金30両受取) 銭新→佐兵衛様	2月晦日	横切紙・1通	28-637
覚(綿代金54両) 内木屋文七→銭屋新右衛門様	6月	横切継紙・1通	28-463
覚(実綿15本代金3両3分11匁4分3リ受取) 銭屋新右衛門→佐野屋佐兵衛様	7月	横切継紙・1通	28-409
(種繰綿纏めて御注文などにつき書状) 平野屋太兵衛・公助・里三→銭屋新右衛門様	10月4日	横切継紙・1通	28-34
(ご注文綿指値行き違いつき書状) 村嶋長兵衛(印文「和州金銀不要」)→銭屋新右衛門様	10月11日	横切継紙・1通	28-479
(孫市様仕入れの内品物15本貴家様振り替えなどにつき書状) 平野屋太兵衛・半助・理三郎→銭屋新右衛門様	11月22日	横切継紙・1通	28-612
覚(和州実綿代金納付) 新右衛門→左兵衛様	11月	横切継紙・1通	28-534
覚(極上綿代金7両余勘定書)		横切継紙・1通	28-747

## 4.2.4.金銭勘定

差引覚(出入金勘定171匁余) 平野屋太兵衛(印文「金銀不要」)→銭屋新右衛門殿	天保8年酉3月晦日	横切継紙・1通	28-436
覚(綿糸など代金支払皆済につき書上)	午3月5日	小切紙・1通	28-748
小前覚(銭屋新右衛門本住実脚代金書上) 平野屋太兵衛(印文「金銀不要」)→銭屋新右衛門殿	酉11月	横切継紙・1通	28-437
覚(極ミ綿代米札勘定)		横切継紙・1通	28-509
覚(極上生綿代金勘定)		横切継紙・1通	28-510

## 4.2.5.情報

決着相庭(繰綿相場書上) 品野屋彦左衛門→佐野屋様	10月4日	小切紙・1通	28-506
(相場・荷積み方などにつき書状) 平野屋太兵衛(印)・半助・理三郎→銭屋新右衛門様	12月2日	横切継紙・1通	28-569

## 4.3.諸商

## 4.3.1.肥料商

廃業届(肥物小売業廃業届) 名古屋区相生町41番邸味噌溜製造卸売商渡辺佐兵衛→名古屋区役所区長吉田録在殿	明治14年6月	縦紙・1通/(黒色野紙)/(No.55は18点一綴)	55-8
廃業届(肥物小売業廃業届) 名古屋区相生町41番屋敷味噌溜製造卸売商渡辺佐兵衛→名古屋区役所区長吉田録在殿	明治14年6月	縦紙・1通/(黒色野紙)/(No.55は18点一綴)	55-9
(肥物貸金等書立)	1月1日～5月25日	横切紙・1通	28-427
(肥物売掛覚、春分)	2月6日	小紙・1通	28-247
(小泉庄二分肥物売掛覚)	5月15日	小紙・1通	28-248
(肥物売上覚、奥へ渡し分)	6月17日	小紙・1通	28-250
(肥物売掛覚、又船廻渡し分)	7月12日	小紙・1通	28-249
(肥物より利子入金額など書立)	7月30日～11月24日	横切紙・1通	28-426
(肥物利子収入金など勘定)	(12月)30日～31日	横切紙・1通/(前欠)	28-521
(肥物代金掛売覚)	(12月31日～5月25日)	横折紙・1通	28-244
(肥物ほか勘定書)		横切紙・1通/(前後欠)	28-502

## 4.3.2.茶碗屋

茶わん屋株買入之覚(佐野屋佐兵衛茶碗屋株茶屋善九郎から買入関係記録留)	天保12年丑7月10日	横長半・1冊<3丁墨>/(No.46は紐一括)	46-9
(茶碗類売上帳)		横長半・1冊<4丁墨>/(No.46は紐一括)	46-37

## 4.3.3.古物商

古物営業願(居咄・行商営業許可願書) 名古屋市飯田町3丁目78番戸花井直吉→石町警察分署長・警部武田孝継殿	明治28年12月20日	縦紙・1通/(青色野紙)/(No.55は18点一綴)	55-15
古物営業願(古道具・古書画・古本) (本籍名古屋市相生町44番戸、現住所店舗主税町80番戸) 渡辺佐兵衛→鍋屋町警察署長殿警部武田孝継殿	明治29年11月10日	縦紙・1通/(青色野紙)/(No.60は紐一括)	60-13
覚(本青磁など陶磁器数量書立)	丑7月	横切紙・1通/(No.28-112は13冊紐一括)	28-112-1
覚(画料1両2分受取) 松吉権溪(印)→江月堂様御取次	3月7日	横切紙・1通	28-451
記(檜木鉢など売掛金勘定書) 安井屋甚二郎→佐野屋様	7月11日	横切紙・1通	28-253
覚(青磁器など代金勘定) 泉九→佐野屋佐兵衛様	菊月	横切紙・1通/(No.28-112は13冊紐一括)	28-112-2
覚(壺代金受取書) 柏屋三左衛門→さのや佐兵衛様	11月22日	小切紙・1通	28-202
記(八戸壺代金ほか納入) 嘉平→旦那様	11月23日	小切紙・1通	28-517
記(焼物代金受取) ちたや清八→佐野屋様	11月23日	縦切紙・1通	28-656

鉄砲塚町渡辺家文書 4.店方/3.諸商/3.古物商

覚(青磁大井など代金書立)		横切継紙・1通/(No. 28-112は13冊紐一括)	28-112-4
覚(染付皿10枚ほか、金1両2分書上) 宇治屋菊次郎→渡辺佐兵衛様		小切紙・1通	28-495
覚(唐津水さしなど代金勘定) 宇治屋菊次郎→渡辺様		横切紙・1通/(No. 28-692は4点紙綴一括)	28-692-4

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

## 5.家

### 5.1.家屋普請

現金諸木売上(檜など) 通名材木屋八右衛門(水谷しづ)→佐野屋佐兵衛様	明治21年戊子1月吉日 ～12月	横長半・1冊<3丁墨>	14
建物新築届(名古屋市主税町20番敷地内木造建物3坪新築届) 名古屋市相生町17番地渡辺鋤三郎→名古屋市長志水直殿	明治34年6月14日	小切紙・1通	69-9
証(金90円建設資金書上) 中央線千種駅停車場前盛立運送店主任相原鍋太郎→渡辺鋤之助殿	明治39年4月25日	横切紙・1通	28-490
記(材木屋賃金など勘定) 大工平助(印)→佐野屋佐兵衛様	卯2月13日	小切継紙・1通	28-285
覚(障子12本他書上) ミのや重兵衛(印)→佐野屋左兵衛様	戌3月	横切継紙・1通	28-382
記(板瓦・和竹など入札額覚) 伊藤五郎吉(印)	2月14日	横切継紙・1通	28-218
記(大工手間代受取) 大工報一→さの屋様	3月30日	小切紙・1通	28-279
記(左官賃金勘定) 左官松→佐野屋様	3月31日	小切継紙・1通	28-277
届(家作普請届雛形) →第四仕所御中		横切紙・1通	28-375

### 5.2.家政

#### 5.2.1.役所関係

一札(佐兵衛妻子宗門改めにつき一札) 巾下浄土真宗法蔵寺(印)→弓場助三郎殿・服部唯次郎殿外3名	明治3年3月	堅紙・1通/(No.64は3点紐一綴)	64-1
一札(佐兵衛ならびに子供宗門改めにつき一札) 飯田町浄土真宗養念寺(印墨消)→弓場助三郎殿・服部唯次郎殿外3名	明治3年3月	堅紙・1通/(No.64は3点紐一綴)	64-2
一札(佐兵衛ならびに妻子召仕男女宗門改めにつき一札) 佐野屋佐兵衛(印)→弓場助三郎殿・服部唯次郎殿外3名	明治3年3月	堅紙・1通/(No.64は3点紐一綴)	64-3
届(嗣子定二郎年齢届書下書) 一印→戸長天野政信殿・日比野茂兵衛殿	明治7年9月	堅紙・1通/(No.46は紐一括)	46-96
請取証(明治14年3月13・16日分陸軍士官衆席料25銭受取書下書) 名古屋区相生町渡辺佐兵衛→名古屋警察署	明治14年6月7日	堅紙・1通/(黒色罫紙)	50-2
請取証(明治14年3月13・16日分陸軍士官衆席料25銭受取書下書) 名古屋区相生町渡辺佐兵衛→名古屋警察署御中	明治14年6月7日	堅紙・1通/(黒色罫紙)	50-3
請取証(明治14年3月13・16日分陸軍士官衆席料25銭受取書下書)	(明治14年)	堅紙・1通/(黒色罫紙)	50-4
入寄留退去届(相生町渡辺つな方寄留野村秀次郎原籍駿河町126番へ退去につき届) 名古屋区相生町44番渡辺つな(墨消)→名古屋区長服部直衡殿	明治22年3月8日	堅紙・1通/(青色罫紙)	62-4
出寄留復帰届(名古屋市相生町渡辺つな方寄留野村秀次郎原籍復帰につき届) 名古屋区駿河町戸野村伝右衛門→名古屋区長服部直衡殿	明治22年3月8日	堅紙・1通/(青色罫紙)	62-5
印鑑証明願(渡辺つな分) 右(名古屋市相生町44番戸)渡辺つな(印墨消)→名古屋市中村修殿	明治23年4月15日	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.60は紐一綴)	60-11

## 鉄砲塚町渡辺家文書 5.家/2.家政/1.役所関係

廃家願(大橋泰恩養嗣子大橋敬造独身困却につき廃家のうえ生家中野弥一郎方へ復籍願) 大橋敬造后見人鍋屋町110番戸平民中野清三郎他1名	明治26年9月	縦紙・1通/(青色罫紙)	62-6
(徴兵取調書記入依頼書) 名古屋市役所→相生町44番戸伊藤敏三郎殿	明治28年2月16日	小切紙・1通/(活版)/(左部切断)	69-14
入寄留届(名古屋市門前町平民伊藤敏三郎方へ萱屋町戸田兼吉寄留につき届) (本籍萱屋町175番戸平民戸田豊教長男)戸田兼吉外1名→名古屋市長柳本直太郎殿	明治29年3月28日	縦紙・1通/(青色罫紙)	62-2
寄留替届(桃井馬吉名古屋市白壁町より門前町伊藤敏三郎方へ寄留替につき届) (本籍海東郡森村33番戸平民)桃井馬吉二男桃井司馬次郎・伊藤敏三郎(印)→名古屋市長柳本直太郎殿	明治29年	縦紙・1通/(青色罫紙)	62-3
出入寄留届(渡辺貞治名古屋主税町80番戸父佐兵衛方へ寄留につき届) 右(本籍名古屋市相生町44番戸平民渡辺佐兵衛長男)渡辺貞治外1名→名古屋市長志水直殿	明治31年3月11日	縦紙・1通/(青色罫紙)	69-4
(御取替金子御小納戸へ納方延引につき書状) →渡辺定君	4月15日	横切紙・1通	28-109

## 5.2.2.町関係

証(相生町水落の溝堀割費22円余受取書写) 相生町3丁目6番地伊藤庄七印、取扱安藤難波印→渡辺佐兵衛殿外18名	明治13年辰1月	縦紙・1通	28-453
覚(町内普請、博物館への出品雑具の件などにつき書状) さのや佐兵衛宅より→渡辺佐兵衛殿	(明治)13年4月15日	横切継紙・1通/(包紙有)	28-646

## 5.3.家族

## 5.3.1.相続

一札(本屋は庄兵衛、新屋は友次郎へ永代譲り渡しの件熟談納得につき証文) 佐兵衛→庄兵衛殿・友次郎殿・秀吉殿	天保2年卯2月	縦紙・1通	72-1
證文(幼少にて本屋相続相成りがたく友次郎へ新屋1ヶ所譲るなど相続証文) 佐兵衛→友次郎殿・秀吉殿	天保2年卯2月	縦紙・1通	72-2
御受書之事(友二郎へ譲りの屋敷田地譲受けにつき受書写) 庄兵衛→佐兵衛様	天保5年午8月	縦紙・1通	76-1
御受書之事(本屋跡式庄兵衛殿へ譲渡しにつき受書写) 友二郎→佐兵衛様	天保5年午8月	縦紙・1通	76-2
預り證文之事(友二郎持分家屋敷田地など金10両書入手形1通預り証文写) 佐兵衛→友二郎殿	天保5年午8月	縦紙・1通	76-3
譲状之事(家屋敷・下畑1反余譲渡証文写) 佐平・甚兵衛代佐兵衛、加判庄兵衛→友治郎殿	天保5年午8月	縦紙・1通	76-4
譲状之事(家屋敷など譲渡証文下書) 佐平・甚兵衛代佐兵衛、加判庄兵衛→友治郎殿	天保5年午8月	縦紙・1通	76-5
譲状之事(家屋敷など譲渡証文下書) 佐平・甚兵衛代佐兵衛、加判庄兵衛→友治郎殿	天保5年午8月	縦紙・1通	76-6
譲状之事(家屋敷など3ヶ所譲渡証文下書) 庄兵衛	(天保5年8月)	縦紙・1通	76-7
(友二郎・庄兵衛分屋敷等譲渡受書) (友二郎・庄兵衛)	(天保5年8月)	縦紙・1通	76-8
乍恐奉願上候御事(善蔵後家懸人こうと申す者引請願) 九十軒町与右衛門扣借家佐兵衛(印)/(奥印)町代茂兵衛外1名	(天保11年)子4月	縦紙・1通/(掛紙あり)	62-1

復籍届(渡辺鋤次郎相生町41番地渡辺佐兵衛方へ復籍届) 本人渡辺鋤次郎、右親渡辺佐兵衛→宛名成規之通	明治9年3月	堅紙・1通/(「相生町」罫紙)	62-9
戸主替届(渡辺佐兵衛多病につき定次郎へ家督相続願、県上申の旨朱印) (第1区相生町3丁目旧9番地新41番屋敷居住) 渡辺佐兵衛(印)、長男渡辺定次郎(印)外2名→愛知県令安場保和殿	明治10年4月6日	堅紙・1通/(黒色罫紙)	62-12
戸主替届(渡辺佐兵衛多病につき定次郎へ家督相続願下書) (第1区相生町3丁目旧9番地新41番屋敷醬油業) 渡辺佐兵衛→愛知県令安場保和殿	明治10年4月	堅紙・1通/(黒色罫紙)	62-10
戸主替届(渡辺佐兵衛多病につき定次郎へ家督相続願下書) (第1区相生町3丁目屋敷) 渡辺佐兵衛	(明治10年4月)	堅紙・1通/(青色罫紙)/(掛札あり)	62-11
改名願(代替りにつき渡辺定次郎佐兵衛と改名願、付諸国取引先人名) 右(第1区相生町3丁目新41番屋敷旧9番地居住) 渡辺定次郎(印)、渡辺佐兵衛(印)外2名/(奥印)副戸長大田秀一(印)、区長吉田禄在(印)→愛知県令安場保和殿	明治10年5月5日	半・1冊<3丁墨>/(黒色罫紙)	62-14
家作建物譲渡届(渡辺半兵衛隠居につき相生町旧3丁目8番地新37番屋敷佐兵衛へ譲渡) 愛知県第1区相生町旧3丁目9番地新41番屋敷譲渡人商渡辺佐兵衛事半平(印)、譲請主渡辺定次郎事佐兵衛(印)外2名→愛知県令安場保和殿	明治10年8月20日	堅紙・1通/(黒色罫紙)	61-3
家作建物譲渡届(渡辺半兵衛隠居につき相生町旧3丁目9番地新38番～41番屋敷佐兵衛へ譲渡) 第1区相生町旧3丁目9番地新41番屋敷譲渡人商渡辺佐兵衛事半平(印)外3名→愛知県令安場保和殿	明治10年8月20日	半・1冊<4丁墨>/(黒色罫紙)/(下札あり)	61-6
家作建物譲渡届(渡辺半兵衛隠居につき相生町旧3丁目24番地新160番・229番・230番屋敷佐兵衛へ譲渡、県採択旨朱印あり) 第1区相生町旧3丁目9番地新41番屋敷譲渡人商渡辺佐兵衛事半平(印)外3名→愛知県令安場保和殿	明治10年8月20日	半・1冊<3丁墨>/(黒色罫紙)/(下札あり)	61-7
家作建物譲渡証券(渡辺半兵衛隠居につき相生町旧3丁目9番地新38番～41番屋敷佐兵衛へ譲渡) 譲渡人渡辺佐兵衛事半平(印)外2名/(奥印)戸谷庄七(印)/(奥印)第1区副戸長尾崎吉従(印)→渡辺佐兵衛殿	明治10年8月23日	堅紙・1通	61-1
明治十年八月廿三日譲渡第一区相生町旧三丁目九番地新三十八番ヨリ四十番迄屋敷建物 愛知県第1区相生町旧3丁目9番地新41番屋敷建物持主渡辺佐兵衛事半平(印)→渡辺佐兵衛殿	明治10年8月23日譲渡	堅紙・1通/(一部木版)	61-2
家作建物譲渡証券(渡辺半兵衛隠居につき相生町旧3丁目24番地・新163番・229番・230番書入屋敷佐兵衛へ譲渡) 譲渡人渡辺佐兵衛事半平(印)親類惣代中野弥一郎(印)外1名/(奥印)戸谷庄七(印)・第1区副戸長尾崎吉従(印)→渡辺佐兵衛殿	明治10年8月23日	堅紙・1通	61-4
明治十年八月廿三日譲渡第一区相生町旧三丁目廿四番地新百六拾番・式百二拾九番・式百三拾番屋敷(朱書「第七百三拾九号」) 愛知県第1区相生町旧3丁目9番地新41番屋敷住居建物持主渡辺佐兵衛事半平(印)→渡辺佐兵衛殿	明治10年8月23日譲渡	堅紙・1通/(木版)	61-5
家作建物譲渡届(渡辺半兵衛隠居につき相生町旧3丁目8番地新37番屋敷佐兵衛へ譲渡) 譲渡人商渡辺(傍注)「佐兵衛事」半平(印)外2名/(奥印)第1区副戸長尾崎吉従(印)→渡辺佐兵衛殿	明治10年8月23日	堅紙・1通	61-8
(相生町旧3丁目8番地新37番屋敷建物図面) 愛知県第1区相生町旧3丁目9番地新41番屋敷住居建物持主渡辺佐兵衛事半平(印)→渡辺佐兵衛殿	明治10年8月23日譲渡	堅紙・1通/(木版)	61-9
(西春日井郡杉村内屋敷宅地売却のところ渡辺嘉一幼少につき三浦湛後見人証明願綴) (名古屋主税町80番地後見人三浦湛)→(名古屋市長中村修殿)	(明治23年4月12日)	堅紙・2点一綴<2丁墨>/(青色罫紙)	62-13

(次男貞治の廃嫡・養子の件聞届けにつき通知) 愛知県名古屋市長志水直(印)→名古屋市相生町44番戸平民渡辺佐兵衛	明治31年7月12日	堅紙・1通/(桃色罫紙)/(一部木版)	62-15
戸第八四九号(伊藤鋤三郎の廃家・復籍願を了承の旨通知) 愛知県名古屋市長志水直(印)→名古屋市相生町44番戸伊藤鋤三郎	明治31年11月	堅紙・1通/(「愛知県名古屋市役所」罫紙)	62-8
(跡相続本家庄兵衛へ譲り遣わし候につき書状) 友二郎・秀三・りつ母・平吉→十兵衛・庄兵衛・御組合衆	10月27日	横切紙・1通	28-125
一札之事(甚兵衛死去にて屋敷地ほか売渡につき書状) さのや佐兵衛→友二郎殿・秀吉殿/(奥書)友二郎・秀吉・同人母・平吉→さのとの		横切紙・1通	28-475
(友二郎屋敷地譲渡の請書下書)		横切紙・1通	28-743
隠居家督願(老衰のため隠居につき鉄三郎へ家督願)(尾張国愛知郡菖屋町旧1番屋敷新2番屋敷商味噌醬油渡世先代清六)中村次郎吉外2名		堅紙・1通/(黒色罫紙)	62-7

(掟書四通入につき書付) 渡辺晋盈(印)	天保15年甲辰2月25日	横切紙・1通	28-485
父佐兵衛掟手(写、一子相伝の家訓) 渡辺佐兵衛至光(印)、倅同定治郎晋盈(印)	天保15年甲辰2月下旬	横切継紙・1通	28-235
父佐兵衛掟書也(掟書之本書ハ御本家ニ有) 渡辺佐兵衛(印)、同定治郎晋盈(印)書之	天保15年甲辰仲春中旬ニ写之	横切継紙・1通	28-563

証(渡辺貞治殿との一件内済につき仲裁者へ誓書) 高橋ギカ(印墨消)→荒川清九郎殿	明治44年2月	堅紙・1通/(青色 罫紙)	68-12
覚(貴殿娘八十送り一札請取につき) 新町町代(印)→ 佐野屋佐兵衛殿	未2月	堅切紙・1通	28-513
(包紙)「嘉一様 敬参五帖」(印文「愛知県下尾張国名 古屋区東鐘木町廿六番屋敷松枝杏三」)	7月15日	包紙・1点	28-496-1
(白紙)		小切紙・1通	28-496-2

(ご機嫌伺い等につき書状) 愛知縣名古屋相生町9番地 渡辺佐兵衛内すず→奈良北天満町福井様	明治12年1月21日	横切紙・1通/(No. 28-514は4点紙縫 紐一括)	28-514-4
(写真にてご機嫌伺い等につき書状) すず→祖母様	酉1月15日	横切継紙・1通/(No. 28-514は4点紙縫 紐一括)	28-514-1
(写真にてご機嫌伺い等につき書状) すず→祖母様	酉1月15日	横切継紙・1通/(No. 28-514は4点紙縫 紐一括)	28-514-2
(写真にてご機嫌伺い等につき書状) すず→祖母様	酉1月15日	横切継紙・1通/(No. 28-514は4点紙縫 紐一括)	28-514-3
(長男の徴兵の件戸籍掛りへ内聞につき書状) 小川 →兄玉様	3月8日	横切紙・1通	28-173
(東京へ出立につき近況日記) 佐兵衛→母上様	4月8日	横切継紙・1通	28-617
(商業廃止次第などにつき通知状) 渡辺→渡辺左兵衛 様	4月11日	横切継紙・1通/ (赤色罫紙)	28-576
(奈良福井行の手紙受渡し願につき書状) 嘉三郎→お 姉様	4月19日	横切紙・1通	28-172

(安産まで尊家へお預り願いたく書状)	8月8日	横切継紙・1通	28-24
(庄八店へ贈呈の半切の割合調べ願につき書状) 嘉三郎→御姉殿	12月19日	横切紙・1通	28-128
(明治37年岡本善七店東京支店に入店につき生活勤務など近況報告の書状) 日本橋区兜町六番地岡本善七殿支店ニテ渡辺鉄三郎→渡辺佐兵衛様		縦紙・3通/(青色罫紙)	28-75
(生活困難にて援助願につき書状)		横切継紙・1通/(後欠)	28-616

## 5.4.冠婚葬祭

### 5.4.1.祝事

慶事小遣覧	明治7年8月	横長半・1冊<4丁墨>	23-5
慶事諸用留(熊田家との婚礼記)	明治7年8月	横長半・1冊<16丁墨>	23-4
慶事到来物記	明治7年11月11日	横長半・1冊<11丁墨>	23-6
到来[ ] (婚礼祝儀物到来品覚帳) 渡辺佐兵衛	明治10年丁丑	横長半・1冊<5丁墨>/(表紙欠損)	23-9
縁組届(父半平四女かつ中野清三郎との縁組届)	明治13年12月24日	縦紙・1通/(黒色罫紙)/(No.60は紐一綴)	60-8
おりやう慶事小遣帳	明治17年6月	横長半・1冊<5丁墨>	23-8
嘉寿帳(紋粕書付記) 尾張国名古屋区相生町17番地第14671号渡辺ツナ	明治18年中	横長半・1冊<5丁墨>	23-7
慶事條仮記(結納)	明治28年乙未11月3日	横長半・1冊<4丁墨>	23-10
おしの安産到来物覧	(28日～30日)	横長半・1冊<3丁墨>/(No.46は紐一括)	46-110
諸道具目録(掛物・釜・徳利など婚礼諸品目録) 百花園		横長半・1冊<4丁墨>	12
(婚礼祝儀品目録)		横長美・1冊<3丁墨>/(綴じ紐部破損)	23-16
記(婚礼祝儀品目録)		横長美・1冊<3丁墨>	23-18
小目録(三ッ組盆1箱など婚礼品書出)		横長半・1冊<2丁墨>/(No.46は紐一括)	46-114
慶事到来品記		横長半・1冊<3丁墨>	23-13
(慶事・恵比寿講・祇園など諸品入用記)		横半半・1冊<80丁墨>	23-14
(扇荒川清兵衛様、御祝儀など書付)		横切継紙・1通	28-484
目録(婚礼祝儀品目録)		横長美・1冊<3丁墨>	23-15
小目録(婚礼祝儀品目録)		横長美・1冊<3丁墨>	23-17
(婚礼次第書、断簡)		折紙・4通/(No.46は紐一括)/(帳はずれ、あるいは前後欠カ)	46-92

## 5.4.2.仏事

釋指月居士悔名前帳(香典帳)	文久3年癸亥4月27日	横長半・1冊<5丁墨>	23-1
仏前江備到来物覚	明治11年6月5日	横長半・1冊<4丁墨>/ (No.46は紐一括)	46-111
釋晋敬信士不幸諸事留(葬儀出席者など書付) 渡辺扣	明治34年辛丑6月16日	横長半・1冊<7丁墨>	23-11
不幸買物帳(葬儀諸事支払帳) 名古屋市相生町佐野屋商店	明治39年11月	横長半・1冊<4丁墨>	23-12
覚(金5両受納) 法蔵寺納所(印)→佐のや佐兵衛様	丑11月20日	横切紙・1通	28-698
(先祖七周忌法事相談につき書状) 清兵衛→善七様	3月4日	横切紙・1通	28-120
(香両居士法回御勤の御礼などにつき書状) 奥田五郎→渡辺佐兵衛様	5月10日	横切継紙・1通	28-611
記(渡辺正三郎様金10銭他法事につき香儀受納) 養念寺納所→渡辺佐兵衛様	6月5日	横切継紙・1通	28-341
覚(袖袍童子一周忌につき御仏供米受納) 養念寺納所→佐野屋佐兵衛様	9月12日	小切継紙・1通	28-643
覚(祥月につき御供米など納付及び通夜日時通知の旨書状) 法蔵寺納所(印)→佐の屋渡辺佐兵衛様御使中	11月10日	横切紙・1通	28-533
覚(葬祭料など金銭請取) 法蔵寺納所(印)→佐野屋佐兵衛様御居衆中	霜月17日	横切継紙・1通	28-528
覚(御葬式の御布施金150疋・青銅30疋受取) 開源寺→渡辺佐兵衛様御支配中	11月18日	縦紙・1通	28-447
記(葬式志受取) 宮圓寺→さのや佐兵衛様	11月18日	小切継紙・1通	28-702
(法事につき養念寺へ参詣依頼状) 中村太郎吉→渡辺佐兵衛様・渡辺御後室様	11月19日	小切紙・1通	28-77
(養念寺法事参詣者・献立書立)	5日木曜日	横折紙・1通/(No.46は紐一括)	46-82
(養念寺様・渡辺正三郎様など寺院・人名書上)		横折紙・1通	28-36
(伝馬町幸八ほか正敬寺埋葬者戒名書立)		小切紙・1通	28-110
(幸八縁者戒名書立)		小切紙・1通	28-111
覚(佐野屋与右衛門様金50疋他香典書上)		横切紙・1通	28-345
覚(人別香典料書上)		横切継紙・1通	28-632
(人別香典料書上)		横切継紙・1通/(前欠)	28-642
(葬儀行列次第図)		横切継紙・1通	28-677
(葬儀行列次第図)		横切継紙・1通	28-678
(献立表)		横折紙・1通/(No.46は紐一括)	46-81
御所持之もの覚(御湯かん・仏前御伽之ものなど葬儀関係者書出)		横長半・1冊<2丁墨>/ (No.46は紐一括)	46-116

## 5.5.教育教養

## 5.5.1.学校

(渡辺りやう小学校入校願) 右(渡辺りやう)父渡辺佐兵衛	明治8年1月13日	縦紙・1通/(黒色罫紙)	74-7
------------------------------	-----------	--------------	------

入学願(渡部貞治入学願下書) 右(本籍名古屋市相生町44番戸寄留名古屋主税町80番戸平民商渡辺佐兵衛長男渡辺貞治)父(渡辺佐兵衛)	明治21年8月11日	堅紙・1通/(青色罫紙)	69-1
入学願(渡辺貞治名古屋市榊棠尋常小学校入学願) 右(名古屋主税町80番戸渡辺貞治)父渡辺佐兵衛印→名古屋市榊棠尋常小学校長吉田光三郎殿	明治31年3月11日	堅帳・1通/(活版)	69-25
(坂上学校定期試験参観通知依頼状) 月添(印文「田宮」)→神谷伝右衛門殿・渡辺佐兵衛殿	4月29日	堅切紙・1通	28-548

## 5.5.2.教養

図解帳(和算問題) 渡辺定治郎	天保13壬寅年12月11日出来	横長半・1冊<16丁墨>	44
胼(詠歌) 渡辺鋤三郎	明治3年庚午仲秋日	半・1冊<8丁墨>	27-1
祝(和歌詠草)	明治10年5月15日	堅紙・1通	68-6
(相生町参殿時に詠んだ歌)	(明治11年)8月21日	堅切紙・1通/(No. 28-3は15冊紐一括)	28-3-12
東田道具売上記(茶道具売上帳) 渡辺氏	明治11年戊寅	小半・1冊<3丁墨>/(罫紙)	5
御通(諸品代金支払帳) 名古屋東橋町山田屋鎌吉→渡辺鋤三郎様	明治30年	横半半折・1冊<5丁墨>/(No. 2は9冊紐一括)	2-8
(答書) 鉄→渡辺若様	3月10日	小切紙・1通	28-200
(封筒、和歌関係) 富方(印文「石黒陸介」)→さのや様御産者様	4月28日	封筒・1点	27-11
(封筒、和歌関係) 寸副(印)→佐野屋佐兵衛様	5月5日	封筒・1点	27-12
(封筒、和歌関係) 前副(印文「石黒陸介」)→佐野屋様御内方	7月5日	封筒・1点	27-10
(封筒、和歌関係) 方副(印文「石黒陸介」)→佐野屋様	8月23日	封筒・1点	27-9
(前句付などの件につき書状) 信正→忠継雅兄	8月25日	横切継紙・1通	28-144
(立春に関する俳諧)		横折紙・1通	28-28
(俳句、「草の餅」など7首) →青山大宗匠		横切紙・1通	28-238
庭上白鶴別(和歌詠草2首)		小切継紙・1通	28-191
(和歌詠草2首「氷停」) →晋敬		横折紙・1通	27-3
(和歌詠草)		横折紙・1通	27-4
(和歌詠草2首「夕雪」「名所雪」)		横折紙・1通	27-5
(和歌詠草5首「首夏」「時鳥」)		横折紙・1通	27-6
(和歌詠草2首、付添削) →かよし		横折紙・1通	27-7
(和歌詠草2首「元日」) →定次		横折紙・1通	27-8
(「冬床」他和歌詠草3首、付添削) →晋敬		横折紙・1通	27-13
夜時雨(和歌詠草) 元行		横切紙・1通	28-118
(漢詩)		横切紙・1通	28-138
(漢詩、五言絶句)		横切紙・1通	28-139
久田耕甫好図 東月堂		半・1冊<9丁墨>	27-2
(詩文草案「四海浪静に」)		堅紙・1通	28-675
(拝生飛之楚)		小切紙・1通	28-189-1

唐土歴代之覚(中国歴代王朝書上)		横切紙・1通	28-558
------------------	--	--------	--------

<b>5.5.3.諸芸能</b>			
初日四月十三日堅杉町於加藤邸故呉清追吉善能組(能演目、付14日能組)	4月13日～14日	横折紙・1通	69-23
四月二十二日能組(大野での能演目など)	4月22日	横折紙・1通/(一部木版)	69-22
五月一日能組(大野での能演目など)	5月1日	横切紙・1通/(一部木版)	69-17
初日十月十三日堅杉町於加藤邸故呉清追吉善能組(能演目、付14日能組)	10月13日～14日	横折紙・1通	69-24
(能土日定めにつき口上覚) 大野→庄五郎様、定次郎様	11月2日	横切紙・1通	28-20
(能開催につき諸道具など覚書)		横切紙・1通	28-268
着類記(狂言関係)		横長半・1冊<2丁墨>/(前欠力)	27-14
鳴子(狂言)		横切半半折・1冊<6丁墨>	27-15
ふみ荷 全(狂言)		半・1冊<12丁墨>	27-16
(狂言1円・装束料2円ほか代金書上)		横切紙・1通	28-500

<b>5.6.家計</b>			
<b>5.6.1.買物</b>			
丙申改地元蘭・長生草おほえ(盆栽売買記)	(天保7年)	横長半・1冊<6丁墨>	16
記(品代金3円23銭余請取) 河内屋文左衛門(印)→渡辺定様	(明治)12年6月(28日)	堅紙・1通	68-1
記(茶上田嶋・唐綸子ほか代金71銭受取) 扇屋佐右衛門→佐野屋佐兵衛様	(明治)15年8月	横切継紙・1通	28-481
記(花瓶1口6円10銭受取) 柴里堂忠三郎(印文「名古屋鍋屋加藤」)→青山新七	明治15年12月	小切継紙・1通	28-704
記(綿代金受取) 大喜楼→相生町佐の屋佐兵衛様	(明治)20年6月	堅紙・1通	28-450
御料理御肴通(代金支払帳) →相生町渡辺様	明治31年戊戌	横半半折・1冊<8丁>/(No. 2は9冊紐一括)	2-9
記(品代・人力車代2円3銭受取) 河内屋文左衛門→渡辺定様	子6月	堅紙・1通	28-477
記(御酒正坪ほか代金請取) 近江屋周吉→佐野屋佐兵衛様、若御旦那様	子6月	堅紙・1通	28-511
覚(酒さのや様金2両遣し)	丑5月23日	横切紙・1通	28-342
覚(品代24両受取) たからや佐兵衛→佐のや佐兵衛様	丑11月22日	小切紙・1通	28-696
覚(品代5貫文余受取) 三竹屋長左衛門→佐野屋佐兵衛様	丑11月28日	横切継紙・1通	28-636
記(澤原原工など代金勘定) 山城屋店	寅盆	小切紙・1通/(付札あり)	28-275
記(杉代金仕切) 八なや佐兵衛→佐野や佐兵衛様	寅11月	小切紙・1通	28-155
記(21年分品代金3書上) さのやつな→樋口安蔵様	卯2月	小切紙・1通	28-403
記(三木16俵代金受取) 大の屋増兵衛→中嶋や太七様	卯3月29日	小切紙・1通/(No. 28-541は2点紙紐一括)	28-541-1

記(賃金ほか請取) 川喜(名古屋長島町河内屋喜八)→渡辺様	卯6月	横切紙・1通	28-519
記(食庭塩代金10円受取) 三地屋喜平次(印)→斉田庄八様	卯11月22日	小切紙・1通	28-746
覚(けわたなど代金勘定) 新七	巳3月	横切紙・1通	28-458
(佐野屋佐兵衛分絹織物書上) 大丸屋惣四郎→佐野屋與兵衛様迄	巳5月	横切継紙・1通	28-721
記(金銭勘定書、ノ16円) 見崎屋重太郎・幸七(印)→渡辺おつな様	巳6月	小切継紙・1通	28-728
覚(本縮羽一重など金銭書上) 大掛屋松助→佐野屋佐兵衛様	巳9月12日	横切紙・1通	28-730
覚(戸はり代金など受取) 指物屋源兵衛→佐野屋清兵衛様	巳11月29日	横切紙・1通	28-699
覚(織物代金受取) 織田屋文助→渡辺佐兵衛様	巳霜月晦日	横切紙・1通	28-700
覚(白ふさ代金受取) 山形や平助→佐兵衛様	巳11月	小切紙・1通	28-241
覚(品代金受取) さし源→佐野屋清兵衛様	巳12月	小切紙・1通	28-538
覚(棹直し代金など勘定書上) 井沢屋専助→佐野様	午1月28日	横切継紙・1通/(後欠)	28-738
覚(わん代金2朱受取) けの屋小三郎→佐野屋佐兵衛様	午2月11日	小切継紙・1通/(No.28-673は5点紐一括)	28-673-1
覚(白金代金受取) 三井甚左衛門(印文「名古屋鉄砲塚」)→佐野屋佐兵衛様	午2月18日	横切紙・1通	28-685
覚(髪結など代金受取) 鏡屋平兵衛→佐野屋清兵衛様	午2月	横切継紙・1通	28-298
覚(長袴など代金勘定) 成田屋元助→佐野屋佐兵衛様	午3月	横切紙・1通	28-296
覚(キス大丹など代金書上) 宇野屋菊次郎→渡辺佐兵衛様	午3月	横切継紙・1通	28-735
覚(金銭受取) かさや平兵衛→佐野屋清兵衛様	午4月	横切紙・1通	28-297
覚(笹喜分など勘定書上) 山本→さの屋佐兵衛	午8月	横切継紙・1通/(貼紙あり)	28-722
記(下駄9足手間代ほか受取) 山雲屋藤三郎→渡辺佐兵衛様	午12月	横切継紙・1通	28-459
記(酒代金など12円余請取) 河内屋庄助(印)→渡辺佐兵衛様	午12月	横切継紙・1通	28-598
記(氷ほか代金1円余受取) 井政→佐の屋定様	午12月	横切継紙・1通	28-601
覚(雑用薪代金他書上)	壬申8月	横切継紙・1通	28-394
覚(枕5ツ他代金書上) 綿屋勘兵衛→佐野屋佐兵衛様	酉7月朔日	小切紙・1通/(No.28-399は3点紙紐一括)	28-399-1
覚(米搗代金など書上)		小切紙・1通	28-726
(代金受取) *No.28-726の後半部分か 巴屋勘七→佐野屋佐兵衛様	酉11月29日	小切紙・1通	28-727
覚(藍一文字など代金請取) 成文堂(印文「尾張書籍」)→佐野屋様	亥12月12日	横切継紙・1通	28-532
覚(10匁代金受取) 笹屋惣七	1月2日	横切継紙・1通/(後欠)	28-725
覚(満の汐見3冊代金受取) 本間清六(印文「名古屋善林山本伊」)→佐野屋佐兵衛様	2月1日	横切継紙・1通	28-705
覚(筋光など代金受取) 柏屋庄八→上	2月5日	小切継紙・1通	28-300
覚(水引など代金8匁余受取) かしわ屋正二→上	2月5日	小切継紙・1通	28-631

## 鉄砲塚町渡辺家文書 5.家/6.家計/1.買物

覚(上刀1丁ほか代金1両余受取) (尾張名古屋本町)笹屋惣助(印)→佐野屋佐兵衛様	2月5日	横切継紙・1通	28-719
覚(扇子12本・色紙4ツ他代金受取) 大黒屋源兵衛→銭新様	2月6日	横切紙・1通	28-483
覚(都島など代金受取) 藤五郎→佐野屋様	2月10日	横切継紙・1通	28-706
覚(金焼下に付かんさし3本代金60匁6分他受取) 柏屋庄八→佐野屋佐兵衛様	2月11日	横切紙・1通	28-412
覚(染物代金受取) 松崎屋伝六→佐野屋佐兵衛様	2月11日	小切紙・1通	28-688
覚(手拭など代金受取) 大ひしや松太郎→上	2月11日	横切継紙・1通	28-689
覚(打ひも代金受取) 柏屋庄八→佐野屋様	2月11日	小切紙・1通	28-707
覚(品代金1貫250文受取) くまのや小三郎→佐野屋様	2月18日	小切紙・1通	28-410
覚(竹代金ほか勘定) 石ウす清兵衛→佐野屋佐兵衛様	2月晦日	小切紙・1通	28-630
記(京物4半など代金2円48銭皆済) 河内屋喜八	2月	横切継紙・1通	28-469
覚(白4袋指ほか〆165匁代金6匁6分書上) よし田	2月	小切紙・1通	28-498
覚(金31両余受取) 鏡屋平兵衛→佐野屋清右衛門様	2月	小切継紙・1通	28-749
(傘代金受取) 名古屋本町通伝馬町下ル(玉屋町)金屋庄三郎(印)→佐野屋さま	3月16日	堅紙・1通/(木版)	28-432
記(玉子代金ほか2円40銭5厘受取) 清兵衛→上	3月21日	横切紙・1通	28-422
記(晒代金3円80銭5厘にて皆済) 因竹右衛門→渡辺佐兵衛様	3月25日	横切紙・1通	28-455
記(御酒ほか代金2円15銭受取) 清兵衛→上	3月26日	横切紙・1通	28-428
記(唐紙わし物30銭書上) 春近屋坪井→佐野屋様	3月31日	小切紙・1通	28-491
キ(品代金勘定) (印文)「竹皮商名古屋市西区小島町44番中尾音七」→佐野屋さま	4月7日	小切紙・1通	28-302
記(さしみ他代金1円69銭5厘受取書) (新廓若宮)清々楼→定様	4月8日	横切継紙・1通	28-313
覚(鯨代金勘定) 美濃屋甚助→新蔵様	4月11日	小切紙・1通	28-690
覚(金2両受取) 表くや→佐野や様	4月24日	小切紙・1通	28-734
覚(ふとん他代金5円20銭8厘書上) (印文)「新守座前茶屋相生」→河喜善様	4月28日	小切紙・1通	28-312
記(手間賃など請取) 広セ(印文「白地軒」)→佐野屋佐兵衛様	4月30日	小切紙・1通	28-260
記(大46人ほか計178円10銭書上) 桶甚→佐野屋様	4月30日	横切紙・1通	28-482
覚(茶碗など代金勘定) 宇治屋菊治郎→渡辺佐兵衛様	5月7日	小切継紙・1通	28-691
覚(女帯地ほか品物送付) 半兵衛→佐野佐様(佐野屋佐兵衛)	5月20日	横切継紙・1通/(No. 28-673は5点紐一括)	28-673-3
記(大蘭など代金受取) 川喜(印文「河内屋喜八」)→渡辺定様	5月	横切紙・1通	28-311
(八百屋代金など受取記)	(6月5日～8日)	横長半・1冊<2丁墨>/ (No.46は紐一括)	46-35
記(フナ代金ほか勘定) 七のや→渡辺様	6月31日	小切継紙・1通	28-454
記(大黒屋5本など品代受取) 川喜(名古屋長嶋町河内屋喜八)→佐野屋定様	6月	横切継紙・1通	28-287
記(御酒代金ほか1円96銭受取) 井政(井桁屋政吉)→御客様	6月	横切継紙・1通	28-423
覚(櫛など代金受取) (名古屋門前町)呉竹(印)→上	7月2日	小切紙・1通	28-301

覚(盆栽楊枝ちりめん2本立1鉢代金受取) 植木屋佐造 (印文「志版味佐蔵」)・甚右衛門→南彦様	閏7月12日	小切紙・1通	28-456
記(しき2銭他代金77銭請取) (印文)「新守座前茶屋米 つる」→佐野屋様	7月17日	横切紙・1通	28-335
記(鉄など量書立) 中川→上	8月2日	横切紙・1通	28-274
記(代金24円受取書) (印文)「大嘉新廓常磐町旭棲」→上	8月2日	小切紙・1通	28-404
覚(菜盛わん代金勘定) 春伊→塗師庄七様	8月4日	小切紙・1通	28-744
記(波文練1円60銭受取) 美濃屋伊助(印)→佐野佐様(佐 野屋佐兵衛)	8月6日	横切紙・1通	28-424
記(てつじかし金62銭受取) 中川→上	8月6日	横切紙・1通	28-465
記(酒代1円余) (印文「中茶屋」)	(8月10日)	小札・1点	68-19
覚(扇子台代金など受取) ひものや吉兵衛→佐野屋様	8月13日	小切紙・1通	28-657
記(木綿代内金1円余受取) 成岩屋弥一郎→佐の屋佐兵 衛様	8月26日	横切紙・1通/(No.28- 3は15冊紐一括)	28-3-13
口上(青畳送り状) 新右衛門→佐兵衛様	9月5日	小切紙・1通	28-165
(箱炭櫃ほか届方等につき書状) 山本屋佐兵衛→渡辺 佐兵衛様	9月13日	横切紙・1通	28-683
覚(たんすなど代金勘定) いづみや久七	9月17日	横切紙・1通/(No.28- 112は13通紐一括)	28-112-11
覚(小袴など着物代金勘定) 伊兵衛→佐野屋様	9月18日	横切紙・1通/(No. 28-112は13通紐一括)	28-112-5
覚(金50疋ほか受納) 養念寺納所→佐野屋佐兵衛様	9月19日	小切紙・1通	28-741
記(晒代30反代金) →佐野屋様	9月28日	小切紙・1通	28-276
請求書(小浪之ワケタン代金受取) (印文)「古銅鉄諸機 械類製成原料売買商 名古屋市中区相生町3丁目12林篤 三郎」→佐兵衛様	9月30日	小切紙・1通	28-537
口上(品代金支払願) 米物屋(伊兵衛)→(さのや)佐兵衛 様	菊月	横切紙・1通/(No. 28-112は13通紐一括)	28-112-8
覚(吸物わんなど代金勘定) はや藤七→さのや庄七様	10月3日	横切紙・1通/(No. 28-112は13通紐一括)	28-112-12
記(杉ノたん巻1本65銭請取) (尾州本町6丁目有職調進 町)新七→佐野様	10月14日	小切紙・1通	28-408
記(白南京21人前90銭受取) 伊奈屋円兵衛→佐野屋様	10月14日	小切紙・1通/(青色 罫紙)	28-420
覚(さかな他代金1円4銭2厘書上) 三朝楼→上	10月	小切紙・1通	28-478
(付箋)	11月1日	小切紙・1通	28-339
覚(金2両余受取) 取次幸七→佐野屋佐兵衛様	11月7日	小切紙・1通	28-718
覚(吸物膳等購入案内状) 品野屋彦左衛門→佐野佐様 (佐野屋佐兵衛)	11月8日	小切紙・1通	28-507
覚(品代請取) 石磨清兵衛(印)→佐の屋佐兵衛様	11月12日	横切紙・1通	28-629
(注文かけ物仕入などにつき書状) 佐の佐(佐野屋佐兵 衛)→キヨス山城屋半平様	11月13日	横切紙・1通	28-146
記(大嶋竹代金受取) 八百字(印文「大曾根」)→上	11月16日	横切紙・1通	28-628
記(白味噌代金受取) 三長(印文「名古屋相生町三井長右 衛門」)→さの屋さ兵衛様	11月16日	小切紙・1通	28-697
記(杓杓1本代金受取) 名古屋門前町七ツ番地角枿屋儀 三郎→浅野善七様	11月19日	小切紙・1通/(一 部木版)	28-654

## 鉄砲塚町渡辺家文書 5.家/6.家計/1.買物

(女帷子など代金案内状) 小舟丁→相生町様	11月20日	横切継紙・1通	28-271
記(若菜など代金82銭受取) 清兵衛→上	11月21日	横切紙・1通	28-419
覚(11月17日258文請取) 中嶋屋甚右衛門→佐の屋佐兵衛様	11月22日	小切紙・1通	28-473
覚(白砂糖代金受取) おかしや長兵衛→佐野屋佐兵衛様	11月22日	小切紙・1通	28-493
覚(干菓子など返札状) 津嶋屋徭兵衛→佐野屋佐兵衛様	11月22日	小切紙・1通	28-703
覚(髷物など小間物代金請取) 芝立長右衛門(印文「名古屋赤塚町」)→佐野屋佐兵衛様	11月25日	小切紙・1通	28-142
覚(絹糸36文他代金1貫330文受取) 萬屋久助→さのや佐兵衛様	11月28日	横切紙・1通	28-344
覚(損料代金受取) 綿屋勘兵衛→佐野屋佐兵衛様	11月29日	小切継紙・1通	28-724
覚(とうふなど代金31匁5分受取につき) 葛本屋清八→佐の屋様	11月	横切継紙・1通	28-41
記(御酒他代金60銭受取) (新廓若宮)清々楼→上	12月	横切紙・1通	28-314
覚(白砂糖代金受取) 丸や庄兵衛→佐野屋佐兵衛様	12月	小切継紙・1通	28-723
覚(御湯代金受取) 子源→上	1日	横切紙・1通	28-441
(着物の寸法伺いなどにつき書状) 善七→佐兵衛様	8日	横切継紙・1通	28-739
記(御酒ほか料理代金1円90銭受取) 掛元→上	21日	横切継紙・1通	28-444
(羽織など太郎吉・佐野屋持分の代金書立)		横切継紙・1通	28-289
覚(茶碗など金銭書上) 宇治屋菊次郎→渡辺佐兵衛様		横切紙・1通	28-732
(大吉物拵代金など支払書) 渡辺正三郎→定次君		横切紙・1通	28-76
覚(吸物差など数量書立)		横切紙・1通/(No. 28-112は13通紐一括)	28-112-3
覚(茶箱など品物書立)		小切紙・1通/(No. 28-112は13通紐一括)	28-112-6
覚(品代金書立) 三兵衛→さのや様		小切紙・1通/(No. 28-112は13通紐一括)	28-112-7
覚(仙台平袴など着物数書立)		横折紙・1通/(No. 28-112は13通紐一括)	28-112-10
別段口上申上候(衣類口・大小口の口返納方向につき) 中根→佐兵衛様		横切紙・1通	28-219
記(色紙など雑貨代金書立)		横切継紙・1通	28-259
覚(人名・献立書上)		横切紙・1通/(付箋挿入)	28-338
覚(品代金書上)		小切紙・1通	28-378
覚(品代金書上)		横切紙・1通	28-379
(品代金書上)		小切紙・1通	28-383
記(小鯛他代金10円67銭6厘5毛書上)		横切継紙・1通	28-415
覚(先切袋仕立代金ほか11両7分勘定)		横切紙・1通	28-417
(加密列1両ほか書上)		横切紙・1通	28-492
覚(上綿ほか代金書上)		横切継紙・1通	28-503
(諸品勘定書)		横切継紙・1通	28-504
覚(たくわんなど諸品書立)		横折紙・1通	28-540

(米代金21円余受取) 松な屋→中嶋や様		小切紙・1通/(No.28-541は2点紙綴紐一括)/(前欠カ)	28-541-2
覚(某品10本勘定書) 石町		小切継紙・1通	28-687
(こより)		こより・1点	28-708
證(金2円余書上、紙背に金銭書上あり)		小切紙・1通/(No.28-711は3点紙綴紐一括)	28-711-2
(利足金勘定につき書上) →新蔵様		小切紙・1通/(No.28-711は3点紙綴紐一括)	28-711-3
覚(金銭人別勘定書上)		横切継紙・1通	28-712
覚(人名書立)		横切継紙・1通	28-716
(品物・金銭書上)		横折紙・1通	28-729
御献立		横切継紙・1通	28-731
(ふち高など代金書上)		小切紙・1通	28-733
覚(紙代金ほか6両勘定書上)		横切継紙・1通/(後欠)	28-737
(諸品買物決済帳) →玉水屋丈助様		横長半・1冊<2丁墨>/(No.46は紐一括)	46-13
小遣覚(豆腐他諸品買入帳)		横長半・1冊<3丁墨>/(No.46は紐一括)	46-28
(金銭75銭余書出) (印文「八代久愛知公園松浦屋」)		小札・1点	68-20

## 5.6.2.支払

記(人力代金など諸品受取書) 川喜(河内屋喜八)→渡辺佐兵衛様	(明治)15年12月	横長半・1冊<3丁墨>/(No.46は紐一括)	46-29
証(御酒代金ほか3円余受取) 八尾善→(宛名部墨消)	(明治)18年6月	横折紙・1通/(No.46は紐一括)	46-79
証(御酒代金ほか4円余受取) 愛知縣名古屋区長者町3丁目八尾善(印)→(宛名部墨消)	(明治)18年12月	横折紙・1通/(No.46は紐一括)	46-78
覚(酒など代金受取) 河内屋庄助→渡辺定様	子3月30日	横切紙・1通	28-270
記(御酒・妓など代金請取) 河内屋文左衛門(名古屋)→渡辺定様	丑6月	縦継紙・1通	28-520
表具師初二郎金子覚(家賃・親法事など出金覚共)	(丑9月～卯7月3日)	横長半・1冊<2丁墨>/(No.46は紐一括)/(貼紙あり)	46-36
記(酒代他諸品代受取書) 河内屋弥助→佐野屋定様	丑12月	横長半・1冊<2丁墨>/(No.46は紐一括)	46-16
記(人力代金など諸品受取書) 河内屋喜八(印文「河内屋」)→渡辺佐兵衛様	寅年6月	横長半・1冊<2丁墨>/(No.46は紐一括)	46-30
記(人力代金など諸品代受取書) 河内屋喜八→渡辺佐兵衛様	寅12月	横長半・1冊<2丁墨>/(No.46は紐一括)	46-21
記(酒代など受取) 河内屋弥助→佐野屋佐兵衛様	卯6月	横切継紙・1通	28-294
記(酒肴など代金受取) 川喜(河内屋喜八)→渡辺様	卯6月	横切継紙・1通	28-308
記(人力代金など諸品受取書) 河内屋喜八→渡辺佐兵衛様	卯6月	横長半・1冊<3丁墨>/(No.46は紐一括)	46-22

## 鉄砲塚町渡辺家文書 5.家/6.家計/2.支払

覚(御ぜん代金など受取) 河内屋庄助(印)→渡辺佐兵衛様	卯12月30日	横切継紙・1通	28-578
記(料理など代金受取) 井政→佐野屋定様	巳12月	横切継紙・1通	28-264
記(料理代金など5円余受取) 井政(印文「名古屋魚ノ棚井桁屋政吉」)→佐の屋定様	午6月	横切継紙・1通	28-600
記(酒宴代20円余勘定) 相生→渡辺様	午12月	横切紙・1通	28-546
御ほうび入用留(酒代金など出金勘定)	戌3月3日	横切紙・1通	28-527
記(妓など代金1円38分余受取書) (名古屋)河内屋文左衛門(印)→渡辺定様	亥12月	堅継紙・1通	50-12
覚(此花代金1両余受取) 小玉屋左兵衛→上	1月21日	堅切紙・1通	28-715
記(料理など代金受取) 清兵衛→定様	4月8日	横切継紙・1通	28-263
記(料理など代金受取) 清兵衛→上	5月	横切紙・1通	28-262
覚(料理など代金受取) 鈴楼→上	7月3日	横切紙・1通	28-310
記(料理など代金受取) 福岡→上様	8月8日	横切継紙・1通	28-307
記(料理など代金受取) 三国楼→上	10月9日	小切継紙・1通	28-309
記(御酒など代金勘定) 本月(印)→上	10月	小切継紙・1通	28-306
記(料理など代金受取) 神風楼→上	12月7日	横切継紙・1通	28-303
記(料理など代金受取) 神風楼→上	12月11日	横切継紙・1通	28-304
記(料理など代金受取) 神風楼→上	12月14日	横切紙・1通	28-305
覚(花代金受取) 山城屋→上	12月	横切紙・1通	28-280
佐兵衛屋分覚(さし身など代金勘定)		横切紙・1通/(No.28-112は13通紐一括)	28-112-13
(渡辺分芝居行・舟賃など代金2円83銭9厘3毛書上)		横切紙・1通	28-400

## 5.7.交際

## 5.7.1.贈答

万覚[ ](歳暮の祝儀書上)	安政5年戊午極月	横長半半・1冊<5丁墨>/<下部欠損>/<6冊紐一綴の内>	26-3
記(京登り鉄漿御祝儀請取書) 河内屋文左衛門→渡辺定様	子6月	堅紙・1通	28-515
覚(定次郎誕生など本家より祝儀7年間分書上)		横長半・1冊<3丁墨>/<No.46は紐一括>	46-38
到来物(菓子など諸品書立)		横切継紙・1通	28-523

## 5.7.2.寄付

覚(須ヶ口村出町方極難渋之者人数45軒書立帳) 須ヶ口村出町方年行司弥兵衛・平兵衛	(嘉永3)戊年8月	横長半半・1冊<3丁墨>	36-2
窮民之者名前帳(清洲本町分)	嘉永3戊年8月	横長半・1冊<4丁墨>	36-1
大水ニ付ほとこし覚帳(鍋屋片町他各町村へ金銭・焼味噌寄付の覚帳) 佐野屋佐兵衛扣	嘉永3年戊8月	横長美・1冊<4丁墨>	24
夫食頂戴名前(海東郡今宿村63軒分)	嘉永3戊年9月	横長半・1冊<4丁墨>	35
寄附金願(本区第13学区山口学校新築費) →愛知縣令(抹消)[国貞廉平殿]	明治17年月日	堅紙・1通/(青色罫紙)/(活版)	37-5-51

寄附金願(本区第13学区山口学校新築費) →愛知縣令(抹消)[国貞廉平殿]	明治17年月日	堅紙・1通/(青色野紙)/(活版)	37-5-52
(明治29年6月罹災救恤金50銭受取書) 宮城県知事大浦兼武(印)・岩手県知事知事末弘直方(印)・青森県知事河野圭一郎(印)→愛知県尾張国名古屋相生町渡辺チ(ツ)ナ	明治31年8月1日	堅紙・1通/(「岩手県」野紙)	69-13
写(鉄砲塚町佐野屋佐兵衛窮民へ施物奇特につき銀1枚下賜) (尾張藩)→鉄砲塚町佐野屋佐兵衛	11月	小切紙・1通/(No.28-399は3点紙紐一括)	28-399-3
(須ヶ口村・堀江村・鍋屋片町・内・今宿村窮民助成金勘定帳)		横長半・1冊<4丁墨>	36-3

## 5.7.3.交流

差上申一札(中村隠居酒縁結び風聞よろしからず佐兵衛などをもって詫一札綴) (松下兵々衛外2名)→(山田御隠居様)	(明治8年3月日)	堅紙・半・3点一綴<4丁墨>/ (黒色野紙)/(No.46は紐一括)	46-45
口上(裏筵持合につき) 干鰯屋善蔵(印文「名古屋坂上町善蔵」)→佐の屋佐兵衛様	西10月	堅紙・1通	28-709
記(2月30日見舞金など費用書立)	2月30日	横折紙・1通/(No.28-516は11点紙紐一括)	28-516-1
(中野弥助一族など人名書立)		小切紙・1通	28-129
(付箋)「池田町藤本藤六」		付箋・1点	28-406
記(6日礼廻り熊田嘉助様外11名書上)		小切紙・1通	28-401
(人名書立)		横折紙・1通/(No.46は紐一括)	46-80
(扇屋久助他人名書出)		横長半・1冊<2丁墨>/ (No.46は紐一括)	46-112
(山本屋甚九郎他人名書出)		横長半・1冊<2丁墨>/ (No.46は紐一括)	46-113
(東田町八百屋佐吉他人名書出)		横長半・1冊<3丁墨>/ (No.46は紐一括)	46-115

## 5.7.4.書状

(米屋利兵衛と相談されたきにつき依頼状) 本多与八郎→佐野屋与右衛門様新家	(弘化2年)12月28日	横切紙・1通/(包紙あり)	28-674
(勝手切替のため音信贈答など5か年間断りにつき書状)	明治11年5月	小切紙・1通	28-196
(入湯にて療養中の旨につき書状) 御館山温泉ニテ斉田庄八→土谷宗兵衛殿	明治15年3月9日	堅紙・1通	28-606
(隠逸の苗除進上につき書状) 志水湛→渡辺定君	子4月16日	横切紙・1通	28-133
(大角力興行開催のため見物願につき書状) 嘉部山空之助→佐野屋御旦那様	寅年10月10日	横切紙・1通	28-226
(頼事にてお八十尊家へ参りにつき書状) 弥生一郎(成岩屋弥助)→(渡辺佐兵衛様)	西3月14日	横切紙・1通	28-46
(明日別荘行きの件熊野屋へ通達の旨願状) 鑒蔵→渡定君	西9月	横切紙・1通	28-592
(クダ返納につき書状) 成文→晋敬君	1月1日	横切紙・1通	28-154
(明日大野有無の件につき書状) 子賢→晋敬君	1月5日	横切紙・1通	28-84
(年始挨拶状) 奥田五郎吉→渡辺鋤三郎様	1月9日認メ	横切紙・1通	28-208

## 鉄砲塚町渡辺家文書 5.家/7.交際/4.書状

(飲食代等割合金支払につき書状) 戸谷庄七→渡辺定治郎様	1月10日	小切継紙・1通	28-648
(黍一俵ほか進呈につき書状) キヨス→渡辺庄兵衛様	1月11日	横切継紙・1通	28-162
(作料など落手他につき書状) 貞鹿→佐兵衛様	1月13日	横切紙・1通	28-50
(竹雀君の差支のため来訪断等の件につき書状) なかの→鉄左君	1月18日	小切継紙・1通	28-141
口述(○印誠大遅れの件お詫びなどにつき) 清新之丞→小川屋新蔵様	1月26日	横切継紙・1通	28-414
(柳泉寺参詣の時刻遅延などにつき書状) 豎蔵→伊兵衛兄	1月30日	横切継紙・1通/(後欠)	28-593
(自宅へ立寄り願につき書状)	1月31日	小切紙・1通	28-220
(大野裳束納欠席のため伝言願につき書状) 人借入や庄五郎→さの定次郎様	旧暦2月朔日	横切継紙・1通	28-95
口上(御かりかへの件御礼ならびに手形御改め方願いに付き書状) 清新之丞→小川や新蔵様	2月朔日	豎継紙・1通	28-113
(注文の品本家へ取りに遣わす旨につき書状) 西尾→渡辺君	2月2日	小切継紙・1通	28-624
(木印・宮座印馳走料合金3650請取られたく書状) 正春→晋敬君	2月5日	横切継紙・1通	28-116
(書状断簡) 柏屋正七→佐野屋佐兵衛様	2月6日	小切紙・1通/(前欠)	28-418
(親元尋ねの経緯につき書状) 御内室→渡定殿	2月12日	横切継紙・1通/(前欠力)	28-176
(包紙) 永野三郎→渡辺定次郎様	2月12日	包紙・1点	28-198
(一昨日仰せ置かれ候ところ願書を差上につき書状) 白木屋徳右衛門・桔梗屋佐兵衛→中村与右衛門様	2月14日	横切紙・1通	28-680
(杉拝見の件につき書状) 謙造→佐兵衛様	2月15日	横切紙・1通/(欠損あり)	28-82
(新守座芝居見物の御供願につき書状) 吉の→おりき様へ	2月19日	横切継紙・1通	28-211
(来訪願につき書状) 酒井弟鋤三郎→渡辺佐兵衛様	2月19日	横切継紙・1通	28-225
(呉詣氏初七日寺参り欠席につき書状) 子賢→晋敬君	2月20日	横切継紙・1通	28-177
(近況報告につき書状) 五郎吉→渡辺定次郎様	2月21日	横切継紙・1通	28-227
(来訪などの件問合につき書状) 佐野屋善七→渡辺定治郎様	2月22日	横切紙・1通	28-108
(新守芝居同伴願の件につき書状) しの→おりきさま	2月24日	横切紙・1通	28-86
(預り金ほか御渡しにつき書状) 松野→前野善七様	2月26日	横切紙・1通	28-25
口演(鯛2本先方受取につき) 銭屋新右衛門→佐野屋佐兵衛様	2月	小切紙・1通	28-204
(宴会での粗忽の件謝罪につき書状) 道平→晋敬君	3月4日	横切継紙・1通	28-181
(鉄砲塚渡辺様へ使の件につき書状) 由右衛門→(京町通先新町通鍋屋町)なかの(弥助)様	3月21日	横切紙・1通	28-152
舌代(能見物の都合出来兼につき書状) 廳亭→佐野佐様(佐野屋佐兵衛)	3月22日	横切紙・1通	28-567
(遅刻せず来訪の旨につき書状) 庄五郎→千の様	3月25日	横切紙・1通	28-151
(種々御厄介の旨など挨拶につき書状) 大八木(清次郎)→渡辺君・中乃君	3月27日	豎紙・1通	28-231
(集会へ参加依頼につき書状) 子賢→敬晋先生	3月	小切紙・1通	28-44

(山脇君へ参会の節失敬のお詫びにつき書状) 堅蔵 →(渡辺)定次郎殿	(3月)夜認	横切紙・1通	28-89
(褒賜につき書状) 道平→遅賀敬君	3月	横切紙・1通	28-145
(歌会出席につき書状) 井桁屋元行→佐野屋定治郎様	卯月朔日	小切紙・1通	28-189-2
舌代(草書瀏海の本借用願につき書状) 鋏三郎→佐兵衛様	4月朔	小切継紙・1通	28-199
(東京へ発足のため日延願につき書状) 千想→子賢君・録弥君	卯月2日	横切紙・1通/(赤色罫紙)	28-19
(明日豊川行参詣者へ引合せにつき来訪願の旨書状) 道平→晋敬君	4月2日	横切継紙・1通	28-170
廻章(元遊会所謂明道社久しく堪絶のところ明日集会につき至急案内) 水野子賢停→鈴木三平大人・渡辺晋敬大人外2名	4月2日	横切継紙・1通	73-3
(会計の件お知らせ願につき書状) 信国→忠桂君	4月3日	横切紙・1通	28-43
(拙親他出など通知につき書状) 笹屋又六郎→渡辺佐兵衛様	4月4日	横切継紙・1通	28-596
(古油町芝居行開催につき書状) 岱谷→定次郎君	4月7日	小切継紙・1通	28-51
(夜分のため金子預りにつき書状) 清兵衛→佐野屋様	卯月7日	横切継紙・1通	28-740
(山行御共できず残念につき書状) 庄五郎→晋敬君	4月8日	横切紙・1通	28-48
記(仲村座芝居へ御供の件につき) 水野子賢→加藤岱谷殿	4月10日	横切紙・1通	28-119
(至急の手紙の件につき書状) 堅造→晋敬君	4月12日	横切継紙・1通/(前欠)	28-206
(雨中ぶらつきの件につき書状) 館斉恭→祐弘雅兄	4月15日	横切継紙・1通	28-122
(山行の件につき書状) 豊造→渡辺君	4月16日	横切継紙・1通	28-105
(山行の件問合につき書状) 丹羽→相生町渡辺君	4月19日	堅紙・1通	28-121
(在京中の近況報告につき書状) 在京奥田謙介→佐野屋佐兵衛様	4月21日	横切継紙・1通/(封筒共)/(紐で一括)	28-4
(商用のため山行御供できずにつき書状) 晋敬雅君→子賢	4月24日	横切継紙・1通	28-59
(親父と懸合頼入につき書状) 笹屋→佐野屋様	4月26日	横切紙・1通	28-547
(愛知県大属細川忠明御地へ来訪ほかにつき書状) 大八木清次郎→渡辺佐兵衛様・同定次郎様	4月28日	横切継紙・1通	28-66
(きりぼし戴き礼状) 奥田内→渡辺おつな殿	4月	横切継紙・1通	28-115
(当地鼠流行など近況報告) 奥留貞信→渡辺鉄三郎様	4月	横切継紙・1通	28-136
(能の節馳走の御礼につき書状) 正三郎→渡辺定治郎様	5月2日	小切継紙・1通	28-583
(御手透の節豊川行勘定いたすにつき書状) 道平→晋敬君	5月10日	横切継紙・1通	28-160
(伯母サマ来訪につき来訪願旨書状) →相生町様	5月12日	横切紙・1通	28-166
(来訪願につき書状) 季長→渡辺定次郎様	5月13日	横切紙・1通	28-237
(参宮より帰国の節来訪願につき書状) 問屋重右衛門→渡辺佐兵衛様	5月14日	横切紙・1通	28-174
(養生快復の旨ならびに鮮魚御礼など書状) 銭屋新右衛門→渡辺佐兵衛様	5月16日	横切紙・1通	28-232
(廉肴1尾進上につき書状) 中邨太郎→渡辺佐兵衛様	5月20日	横切紙・1通	28-60

## 鉄砲塚町渡辺家文書 5.家/7.交際/4.書状

(御暇乞につき書状) 政順→佐兵衛様	5月25日	横切紙・1通	28-131
(山左一件手違いにつき書状) キタ様→庄七様	5月28日	横切紙・1通	28-49
(七間町内曳初の案内につき書状) 七間町→相生町様	5月28日	横切紙・1通	28-132
(祭礼のため車通行につき立寄願状) 成多屋弥一郎→渡辺佐兵衛様	5月31日	横切紙・1通	28-221
(封筒) 理義蔵→忠継雅兄	6月7日	封筒・1点/(No.28-184)は5点封筒入)	28-184-2
(約束の品送付につき礼状) likiya→Jadadouyokeo	6月7日	横切継紙・1通/(No.28-184)は5点封筒入)	28-184-3
(高田先生への使の件につき伺状)	6月7日	横切紙・1通/(No.28-184)は5点封筒入)	28-184-4
(封筒)	6月7日	封筒・1点/(No.28-184)は5点封筒入)	28-184-5
(鉾山寮拝命報告ほかにつき書状) 奥田五郎吉→渡辺佐兵衛様	6月9日	横切紙・1通	28-559
(扇子返却につき書状) 正三郎→渡辺定次君	6月18日	横切紙・1通	28-85
(要用のため来訪伺につき書状) 赤塚→定さま	6月21日夕	横切紙・1通	28-164
(信友催の件周旋の御礼につき書状) 水野竹通→渡辺君	6月23日	小切継紙・1通	28-38
(伺の旨書状) 信の屋清右衛門→佐の屋様	7月8日	横切継紙・1通/(前欠)	28-180
(芳札拝見につき返状) 鋤三郎より→渡辺定次郎様	7月10日	横切紙・1通	69-18
(陶芸水金一件御都合伺につき書状) 山田季俊→渡辺佐兵衛様	7月11日	横切紙・1通	28-1
(能興行切手入用貫取願につき書状) 水野照望(子賢)→渡辺晋敏君	7月12日	横切紙・1通	28-2
覚(金2両受取書) 小汐屋文吉→佐野屋佐兵衛様	7月13日	小切紙・1通	28-536
(うどん粉進呈につき書状) キョス→渡辺佐兵衛様	7月19日	横切継紙・1通	28-167
(御無沙汰につき近況報告) 奥田→渡辺おつな様	7月21日	横切継紙・1通	28-148
(大野稽古能の日限ご教示願いにつき書状) 佐兵衛→定治郎様	7月25日	横切紙・1通	28-81
(御機嫌伺につき書状) 山城屋半兵衛→[ ](渡辺)佐兵衛様	7月27日	横切継紙・1通	28-607
(来3日来訪依頼につき書状) 山城屋鉄三郎→渡辺佐兵衛様	7月30日	横切紙・1通/(青色罫紙)	28-621
口述(中元受取につき礼状)	7月	横切紙・1通	28-565
(封筒) *中身はNo.28-579カ 三井支店瀬兵衛→渡辺様	8月14日	封筒・1点	28-577
舌代(熊田氏の本返却依頼につき書状) 鉄三郎→佐兵衛様	8月17日	横切継紙・1通	28-609
(御隠居様死去お悔やみにつき書状) 佐野屋佐兵衛→林おきぬさま	8月19日	横切紙・1通	28-620
(貴君平臥養生の件ならびに恒三郎お世話頂き御礼につき書状)	8月25日	横切継紙・1通	28-99
(東照宮境内にて能、昨年より面白しの旨につき書状) 小舟町→相生町	8月25日	横切紙・1通/(扇形料紙)	28-605
(廻り機織を作造につき書状) 児玉→渡辺殿	8月26日	横切継紙・1通	28-210
(会計など書簡にてお届けにつき書状) 信正→忠継君	8月	小切継紙・1通	28-147

(常三郎療治のためカゴ借用願につき書状) 中根八右衛門→佐野屋佐兵衛殿	9月1日	横切紙・1通/(No.28-3は15冊紐一括)	28-3-3
(山行お供の件につき書状) 三午→子賢君・晋真君・岱谷君	9月1日	横切継紙・1通	28-153
(亀酒一献進上願につき書状) 善三郎→渡辺佐兵衛様	9月2日	横切紙・1通	28-39
口上(本日の能番組などにつき書状) 小舟丁→相生丁様	9月4日	横切紙・1通	28-216
(会計に関する金銭請取につき書状)	9月8日	横切継紙・1通	28-150
(連日雨天にて御供参り難しにつき書状) 庄五郎→渡辺様	9月8日	小切紙・1通	28-157
廻文(明日山行につき参集の件通知) 渡辺定次郎→水野君・山脇君外4名	9月10日	横切継紙・1通	73-2
(山行の人力車会計の件につき書状) 庄五郎→定八郎様	9月13日	横切継紙・1通	28-156
(帰宅の節来訪願につき書状) ます→渡辺様	9月16日	横切紙・1通	28-79
(慶事にて酒振舞いにつき書状) 問龍→渡辺佐兵衛様	9月16日	小切紙・1通	28-212
廻章(岩崎行会計9人に割付金徴収の旨) 忠徳→遵楽君・安之君・賢次郎君・吉之助君	9月16日	横切継紙・1通	73-14
(会計の件につき書状) 賢蔵→晋敬雅君	9月18日	横切紙・1通	28-45
(切手添付など助精願状) 山根いつみ→渡辺佐兵衛様・同鉄三郎様	9月19日	小切紙・1通	28-662
(時計鍵借用の御礼につき書状) 児玉正真→渡辺晋敬君	9月23日	横切紙・1通/(No.28-3は15冊紐一括)	28-3-5
(少参事拝命につき書状) (佐渡県奥田小参事)→(佐野屋佐兵衛様)	9月23日	横切継紙・1通	28-65-2
(時計鍵安価にて譲受願につき書状) まさ→柏木さま	9月24日	横切紙・1通/(No.28-3は15冊紐一括)	28-3-6
(音信御無沙汰につき近況報告) *端裏書「二号当座帳佐兵衛」 子賢→晋敬大義兄様	9月27日	横切継紙・1通	28-73
(御尊父様死去の件につき書状) 奥田五郎吉→渡辺佐兵衛様	9月29日	横切紙・1通/(赤色罫紙)/(No.28-3は15冊紐一括)	28-3-8
(面会の上秋田地方の話につき書状) 奥田五郎吉→渡辺佐兵衛様	9月29日	横切紙・1通/(赤色罫紙)/(No.28-3は15冊紐一括)	28-3-9
(集会に御返事につき書状) 山十七→佐兵衛様	9月29日	横切紙・1通	28-666
(明日午前10時心得の件につき書状)	10月2日	小切紙・1通	28-35
(大野氏初囃子披露につき書状) もとゆき(元行)→渡辺晋敬君	10月3日	横切継紙・1通	28-53
(藤五郎先生稽古への誘いにつき書状) 両文居主人→晋敬大人	10月3日	横切継紙・1通	28-54
(早々お誘ひの段希みにつき書状) 子賢→晋敬義兄様	10月7日	横切継紙・1通	28-71
(和宮下向にてこも竹入用などにつき書状) 扇屋半七→佐野屋佐兵衛様	10月7日	横切継紙・1通/(No.28-711は3点紙紐一括)	28-711-1
(面会願につき書状) 中村太郎吉→渡辺鋤三郎様	10月10日	横切紙・1通/(No.28-3は15冊紐一括)	28-3-7
(彼地へ出立のため景況報願につき書状) (奥田)五郎吉→佐兵衛殿	10月15日	横切紙・1通/(No.28-3は15冊紐一括)	28-3-10

## 鉄砲塚町渡辺家文書 5.家/7.交際/4.書状

(大野氏稽古にて失敬の件お詫び願につき書状) (加藤) 岱谷→周良君(渡辺定治郎)	10月15日	横切継紙・1通	28-127
(来訪伺につき書状) 蕩晴山人(子賢)→晋敬雅兄	10月20日	横切紙・1通	28-159
(1日お隙き願につき書状) 清兵衛→善七様	10月21日	横切紙・1通	28-56
(金子出納覚書、手習い書きの反故紙を使用)	10月27日	横折紙・1通	28-228
(デンシンハリガネ2尺頂戴につき書状) 児玉嘉三郎→渡辺佐兵衛様	10月29日	横切紙・1通/(No. 28-3は15冊紐一括)	28-3-2
(封筒) 子賢→敬晋雅兄	10月晦日	封筒・1点/(中身なし)	28-183
(長光亭にて集会開催につき書状) (松本)隆録→(渡辺)晋敬雅兄	11月2日	横切継紙・1通	28-143
(連中訪問依頼につき書状) 渡辺忠治郎→第三大区内五小区百六十六番渡辺定治郎様	11月3日	横切継紙・1通	28-74
(大野行お供仰せつけられ御礼につき書状) 道所→経忠大和上	11月6日	横切紙・1通	28-58
(金7両借用願などにつき書状) 山下屋清兵衛内日置→佐野屋佐兵衛様	11月12日	横切紙・1通	28-94
(祝儀差上につき書状) 西尾喜兵衛→渡辺御主人様(佐兵衛)	11月16日	小切継紙・1通	28-665
舌代(御隠居様死去お悔やみにつき書状) 大嶋弥左衛門→佐野屋佐兵衛様	11月17日	横切継紙・1通	28-591
(黒塚始の件につき書状) 甚兵衛→晋敬雅兄	11月21日	横切継紙・1通	28-107
(母様御病気に注意する旨願書状) 太郎→渡辺様	11月21日	横切紙・1通	28-668
(帰宅のため不参許可願につき) (菱屋ニ而)正三郎→(相生町)佐野屋(渡辺)佐兵衛様	11月23日	横切紙・1通	28-91
(拾野集冬ノ部借用願につき書状) 道平→渡辺雅兄	11月末	横切紙・1通	28-647
(四観音免上下借用につき書状) 道平→晋敬雅君	11月	横切継紙・1通	28-550
口上(嘉次郎同道にて来訪願) 佐兵衛→松野公	11月	横切継紙・1通	28-553
(片谷の負債の件につき書状) 正次郎→佐兵衛様	12月3日	横切紙・1通	28-21
(妹病死を養母病死と偽る件につき書状) 大阪北濱3丁目壹番地酒井寅松方侑兵衛→渡辺佐兵衛様外1名	12月5日	横切継紙・1通	28-117
(代価27両返納につき書状) 中村緋三郎→渡辺定次郎様	12月6日	小切紙・1通/(No. 28-3は15冊紐一括)	28-3-4
(書簡拝見遅れにつき書状) 戸谷→渡辺若君	12月6日	横切紙・1通/(No. 28-3は15冊紐一括)	28-3-11
(馳走の礼に御肴料進上につき書状) 斎田庄八→渡辺佐兵衛様	12月9日	横切紙・1通/(扇形料紙)	28-78
(芝居の件騒動につきお詫などの旨書状) 渡辺定次郎君→代峪	12月11日	横切紙・1通	28-100
口伸(用係連署の上相手方へ御伺依頼につき書状) (土間町)市太郎→(相生町)佐兵衛様	12月14日	横切紙・1通/(青色罫紙)	28-16
(兄出雲へ出立につき書状) 五郎→渡辺定次郎君・同鉄三郎君	12月14日	横切継紙・1通	28-93
(能入用寄付などにつき書状) 柳屋(小寺)治兵衛→青山新七様	12月25日	横切継紙・1通	28-223
(龍泉寺参詣にて大曾根出口に待受の旨につき書状) 鑑蔵→定治郎君	師走25日	横切継紙・1通/(後欠)	28-224

記(カゴ借渡願につき) 元中根八右衛門(印)→渡辺佐兵衛殿	2日	横切紙・1通/(No.28-3は15冊紐一括)	28-3-1
(細川文治郎拝顔につき書状) 後藤→鉄砲塚町さの佐様	2日	小切紙・1通	28-68
(御無沙汰の旨など挨拶につき書状) 奥田→渡辺おつな様	2日	横切紙・1通	28-230
(恰野集秋ノ部拝借願につき書状) てつ→おさたさま	5日	小切紙・1通	28-64
(書懸けの書類返納につき書状)	5日	横切紙・1通	28-90
(玉水屋養子取持につき書状) ひかた→鉄砲様	5日	横切継紙・1通	28-651
(先日御地まで罷越につき書状) [ ]→晋敬様	13日	小切紙・1通/(赤色罫紙)	28-182
(来訪の件行き違いにつき書状) 庄五郎→佐兵衛様	15日	小切継紙・1通	28-63
(山行御供できずなどにつき書状) 佐助→渡辺親君さま	16日	小切継紙・1通	28-47
(御地走頂戴預り御礼につき書状) 四兵衛→さのや定治郎様	16日	小切継紙・1通	28-69
(歌かるた合戦開催案内につき書状) 鍊三郎→市川鍵之助様	16日	小切継紙・1通	28-566
(本2冊返済につき書状) 鍊三郎→定次郎様	16日	小切継紙・1通	28-622
演舌ニ而(用談のため訪問の件につき書状下書) 晋敬→道平君	17日	小切継紙・1通	28-88
(清洲へ御出につき伺状) てつ→御まささま	17日	横切紙・1通	28-229
(来訪の可否伺につき書状) 道平→晋敬雅君	17日	横切継紙・1通	28-608
(成たけ早めに御出かけ願につき書状) 次郎太→渡辺定九郎様	18日	小切紙・1通	28-23
口上(義堂様来訪の件つな様へ伝言願いたく書状) 鉄三郎→佐兵衛君	18日	小切紙・1通	28-205
(俗用にて御供参り失敬につき書状) 小僧→若旦那様	19日	横切紙・1通	28-158
(写信鏡借用願につき書状) 鉄三郎→定次郎様	20日	小切継紙・1通	28-585
(鳥渡申上置一条につき書状) 善七→佐兵衛様	21日	小切継紙・1通	28-57
(用事のため来訪の件につき書状) 水野子賢→晋敬雅義兄様	21日	横切紙・1通	28-83
(髪ガスブタ送付遅延の件謝罪につき書状) 成遂→銭左大先生	21日	小切継紙・1通/(赤色罫紙)	28-213
(儀事所へ出頭につき書状) 次郎太→鉄佐	26日	小切紙・1通	28-67
(清洲へ出発願につき書状) 道平→忠常兄	26日	小切継紙・1通	28-163
(お供できずお詫びの件につき書状) 太郎吉→正三郎様	26日	横切紙・1通	28-215
(包紙の料紙問合せにつき伺状) 庄七→渡辺様	新30日	横切紙・1通	28-92
(明日参上の時刻通知につき書状) 庄五郎→定次郎様	31日	小切継紙・1通	28-217
(煮豆の礼など書状下書)		小切紙・1通/(前後欠力)/(No.28-3は15冊紐一括)	28-3-15
(白紙)		横切紙・1通/(紙縫紐あり)	28-5
(封筒) 鑑蔵→定治郎雅兄		封筒・1点	28-6
(封筒) →渡辺君		(封筒)・1点	28-7

(面談願につき書状)	横切紙・1通	28-10
(来訪伺につき書状)	横切紙・1通	28-12
(荷物御渡しにつき書状) なべや→相生町様	横切継紙・1通	28-18
(時候挨拶文)	小切継紙・1通/(後欠)	28-31
(擦鉢の件つき書状)	小切継紙・1通/(後欠力)	28-32
(依頼の件につき書状下書)	小切紙・1通/(後欠)	28-33
(鷺丹公蘭之画などにつき書上)	横切継紙・1通	28-40
(山行の節会計のこと御礼につき書状) 松本隆録・加藤岱谷・鈴木堅蔵→渡辺君	横切継紙・1通	28-42
(書状断簡) 岱谷→渡辺定次郎君	小切紙・1通	28-52
(山脇相見へ候につき書状、断簡) 賢蔵→晋敬君	横切紙・1通/(後欠)	28-55
(包紙) 佐渡県奥田小参事→佐野屋佐兵衛様	横切紙・1通	28-65-1
(拙納壺人御断りにつき書状) 暁山→渡辺様	横切紙・1通	28-72
(進物の切干受取願などにつき書状)	横切継紙・1通	28-80
(書状宛名案文) →水谷おなか様・太田久左衛門様・青山おりつ様・柴田おきの様・加藤御隠居様・中村おしほ様	横切紙・1通	28-101
(書状宛名案文) →水谷おなか様・太田久左衛門様・青山おりつ様・柴田おきの様・加藤御隠居様・中村おしほ様・中野なくう様・青山新七様・水谷おしす様・松ノ市様	横切継紙・1通	28-102
(新年の挨拶につき書状)	横折紙・1通	28-123
(舍弟君へ預け荷差上につき書状) 渡辺鋤三郎→渡辺佐兵衛敬君	横切紙・1通	28-124
(明後日うどん打ちにつき案内状)	横切継紙・1通	28-130
(横赤塚町開業の様子など書状)	横切継紙・1通	28-135
(書状断簡) 道平→渡辺君	小切紙・1通/(後欠)	28-168
(御見舞の礼状)	小切紙・1通/(前欠力)	28-169
(電信封筒) tabutu電信局→相生町Watanabekun	封筒・1点/(No.28-184は5点封筒入)	28-184-1
(熱田神宮参詣に御供につき書状下書)	横切紙・1通/(包紙入)	28-185-1
(熱田神宮参詣に御供につき書状下書)	横切紙・1通/(包紙入)	28-185-2
(書状断簡)	断簡・4点	28-186
(佐野屋佐兵衛内輪事故につき書状)	小切紙・1通	28-190
(書翰の次第行き過ぎにつき書状)	小切継紙・1通/(後欠)	28-193
(恰野集の内借用願につき書状) 南朝→比方様	小切紙・1通	28-195
(出行の際の方角の件につき書状) 水野(印文「大日本水道易学家水野南北」)→上	横切継紙・1通	28-222
(歌会の模様報告につき書状)	横切紙・1通/(後欠)	28-234
(証書の件尋問のことにつきお礼)	小紙・1通/(断簡力)	28-257
覚(大野節・山行之節入用金などにつき)	横切継紙・1通	28-273
(駒屋へ地券についての返事の件につき書状) 佐兵衛→定二	小切紙・1通	28-405

(書状断簡) 中村太郎吉→渡辺佐兵衛様・同おつな様	小切紙・1通/(前欠)	28-421
(書状断簡) 大曾根坂下飼葉屋清兵衛→相生町佐野屋佐兵衛様	横折紙・1通/(包紙力)	28-442
(状物断簡) →佐野屋佐兵衛様	小切紙・1通	28-535
(書状断簡)	小切継紙・1通	28-554
(書状下書)	横切継紙・1通	28-557
(御隠居様死去お悔やみにつき書状)	小切継紙・1通	28-571
(本日午前11時迄に来訪願につき書状)	横切紙・1通	28-574
(囃子の稽古につき書状) 水野庄蔵→渡辺定次郎様	横切継紙・1通	28-584
(菖蒲などに関する和歌添削願) 正三郎→定御座様	横切紙・1通	28-588
(断簡)	小切紙・1通	28-590
(私心配にて一度帰宅の旨などにつき書状) ます→佐田様	横切継紙・1通/(後欠力)	28-594
(御隠居様死去お悔やみにつき書状)	横切紙・1通	28-602
(封筒) 奈良北天満町福井敬祐→尾張国名古屋赤塚町児玉嘉助殿(印文「尾張愛知名古屋」)	封筒・1点	28-603
(年頭の挨拶につき書状)	横折紙・1通	28-604

## 5.8.信仰

御札御祭買物帳 鉄砲塚町中之切御降臨元佐野屋佐兵衛	慶応3年丁卯9月11日	横長半・1冊<7丁墨>	23-3
他行ニ付届(母つな西京東本願寺参詣につき届書写) 名古屋区相生町3丁目41番邸商渡辺佐兵衛→相生町戸長岩田正富殿	明治12年4月30日	堅紙・1通/(黒色野紙)	74-4
他行ニ付届(母つな西京東本願寺参詣につき届書写) 名古屋区相生町3丁目41番邸商渡辺佐兵衛→相生町戸長岩田正富殿	明治12年4月30日	堅紙・1通/(黒色野紙)	74-5
他行ニ付届(母つな西京東本願寺参詣につき届書写) 名古屋区相生町3丁目41番邸商渡辺佐兵衛→相生町戸長岩田正富殿	明治12年5月1日	堅紙・1通/(黒色野紙)	74-6
他行届(讃岐国金毘羅ならび西国四国の神社仏閣参詣致度につき) 鈴村磯七印→戸長御中	明治15年2月28日	堅紙・1通	28-317
記(伊勢参宮掛金他267円94銭預りにつき)	寅2月8日	横折紙・1通	28-386
記(金1円受納) 別院納払所(印)→三浦みのとの	卯12月11日	小切継紙・1通	28-781
奉納(神納につき祈祷すべき旨) 秋葉寺役寮(印)→名古屋佐野屋佐兵衛殿	酉6月26日	横切紙・1通	66-4
御大会志(金50匹上納につき) 長休寺→佐野屋佐兵衛	酉10月8日	小切紙・1通	66-3
御達着志(金100疋奉納につき御印下賜状) 飯田大膳(印)・下間民部卿(印)→鉄砲塚町佐野屋佐兵衛	酉11月5日	小切紙・1通	66-1
志(金100疋奉納につき御印下賜状) 飯田大膳(印)・下間大蔵卿(印)→尾州名古屋佐野屋佐兵衛	戌3月6日	小切紙・1通	66-2
(熱田神宮参詣に御供願状) 鍛三郎→渡辺佐兵衛様	1月23日	横切紙・1通	28-545
記(中野清三郎様金2銭ほか金子受納) 養念寺納所→渡辺佐兵衛様	6月5日	横切紙・1通	28-336
(来8月1日神祭につき通知状) 渡辺正兵衛→中村鍛三郎様・同太郎吉さま	7月28日	横切継紙・1通	28-625

記(酒代他34銭受取) 真誠講御定宿美濃大垣舟町京丸屋 平吉(印)→諸君様	8月17日	小切紙・1通(木版)	69-21
(参詣願につき書状)	10月5日	横切継紙・1通/(青色罫紙)	28-618
(参詣御供の件につき書状) 信正→忠経君		横切紙・1通/(後欠力)	28-209
覚(外宮内宮末社名書立)		横切継紙・1通	28-239
(東照宮祭礼諸掛り分担書)		横切継紙・1通	28-435
養念寺奉納物		横切紙・1通/(後欠力)	28-446
(御燈料・野菜料納入者名前書立)		小切紙・1通/(後欠力)	28-568

## 5.9.衛生

届(佐兵衛・妻すず・妹りやう天然痘・種痘済の旨届書)	明治11年5月	縦帳・1通/(黒色罫紙)/(No.60は紐一綴)	60-5
届(佐兵衛・妻すず・妹りやう天然痘・種痘済の旨届書)	明治11年5月	縦紙・1通/(黒色罫紙)/(No.60は紐一綴)	60-6
(熊膽丸効能書)		小切紙・2通	69-20

## 5.10.諸活動

道中覚(大坂往路) 尾州渡辺佐兵衛	安政5年午2月26日出	横半半・1冊<7丁墨>/ (3冊紐一綴の内)	25-1
道中日記帳(大坂往復) 青藤扣	安政5年午2月29日出立	横半半・1冊<21丁墨>/ (3冊紐一綴の内)	25-3
万覚(白紙) 三春	明治5年壬申1月吉日	横半半・1冊<13丁>/ (6冊紐一綴の内)	26-6
一札(拾得金子入笹屋伝兵衛より返還願) 笹屋伝兵衛(印)/(奥印)右年寄吹原文二郎(印)→佐野屋佐兵衛様	(明治5年)壬申2月晦日	半・1冊<3丁墨>	37-5-3
(士族志水忠兵衛よりの通辞の趣同意につき取りなし願) 味鏡原新田居住士族安藤政順	(明治)7年戌12月	縦紙・1通/(黒色罫紙)	68-11
東京行道中記(東京往路) 渡辺佐兵衛	明治13年庚辰4月1日発足	横半半・1冊<9丁墨>/ (3冊紐一綴の内)	25-2
通貨並ニ物貨受取證(さら物3枚送付) (三宮駅荷物運送所中岡利兵衛)北有社(印)→同人(名古屋土方つね)殿	明治23年9月23日	縦紙・1通/(木版)	68-9
(包紙)「証書類及密用書在中」	明治29年11月1日	(包紙)・1点	28-486
乍恐口上之覚(片麻織立方御用仰せつけられるにつき御下げ金願) 請負山城屋半兵衛	辰9月	横切継紙・1通	28-395
(荷作御見事の旨書付) 太郎吉	3月21日	小切紙・1通/(No.28-3は15冊紐一括)	28-3-14
(キヨスより不動産売却願相談の件などにつき書状) 行安寺ニ而→三浦惣七様	11月18日	横切継紙・1通	28-595
覚(かり米・預り米など勘定)	27日夜	小切紙・1通	28-439
覚(預り米1石9斗ほか書立)		小切継紙・1通	28-429
(帳簿表紙) 佐野屋佐兵衛→小川喜助様		小切紙・1通/(前欠)/(裏表紙のみ)	28-438

(人ごと勘定書上)		小切紙・1通	28-627
預り置品名(ピストル・法律字典他11品) 柴田之蔵		堅紙・1通/(青色 罫紙)	68-7
(六人半勘助他書上)		小切継紙・1通	28-374
よろつおほへ(著名人俗称など覚書)		半・1冊<5丁墨>/ (後欠)/(6冊紐一 綴の内)	26-4
(献立覚書)		横切継紙・1通	28-188-1
御こん立(料理献立書立)		横切継紙・1通	28-246
こん立(料理献立書立)		横切継紙・1通	28-255
(人名書上)		小切紙・1通	28-256
(料理献立書立)		横切紙・1通	28-272
(包紙)「易学」(印文「大日本水道易學家水野南北」)		包紙・1点	28-288
(色絵焼付職人別書上)		横切紙・1通	28-388
(土筑割付書上)		横切紙・1通/(No. 46は紐一括)	46-97
(暦)		堅紙・1通/(木版)/ (前欠)	69-5
儀員落札名々		堅紙・1通/(黒色 罫紙)	69-15
口上(○印壺本の所在問合せにつき)		小切継紙・1通	28-11
(道案内書付) 三井屋四郎		小切紙・1通	28-203
(関東観光名所書立)		横切継紙・1通	28-245
(旅行中小遣など金銭書上)		横長半・1冊<3丁 墨>/ (No.46は紐一 括)	46-31

### 5.11.乳母奉公

乳母奉公人御請状之事(熱田松岡丑大夫娘しが奉公人 請状、1年季・給金2両3分) 請人山形屋源左衛門(印)→ 佐野屋惣右衛門様	天保4年巳7月	堅紙・1通	53-10
--	---------	-------	-------

### 5.12.日記

諸事覚(日記など)		横半半・1冊<7丁 墨>/ (6冊紐一綴 の内)	26-1
諸事記一(日記、後欠)	8月1日～丑10月26日	横半半・1冊<14丁 墨>/ (6冊紐一綴 の内)	26-2

### 5.13.物品

(白紙)		小切紙・1通	28-407
(白紙)		小切紙・1通/(墨 付なし)	28-544
(罫紙)		堅切紙・1通/(No. 46は紐一括)	46-94
(罫紙)		堅切紙・1通/(No. 46は紐一括)	46-95



# 尾張国名古屋大船町知多屋青木家文書目録

---

## 尾張国名古屋大船町知多屋青木家文書目録本文細目次〔文書群の構造〕

---

<b>1. 内方</b>	117
1.1. 総勘定	117
1.1.1. 大福帳	
1.1.2. 金銀出入帳	
1.1.3. 金銀取入帳	
1.1.4. 万覚帳	
1.2. 地主経営	119
1.3. 家計	119
<b>2. 店方</b>	120
2.1. 塩店	120
2.1.1. 当座帳	
2.1.2. 金銀出入帳	
2.1.3. 金銀請取帳	
2.1.4. 大福帳	
2.1.5. 勘定帳	
2.1.6. 船積帳	
2.1.7. 目録帳	
2.1.8. 仕切帳	
2.1.9. 水揚帳	
2.1.10. 現金小売帳	
2.1.11. 蔵入	
2.1.12. 店入用覚帳	
2.1.13. 預かり塩支払	
2.1.14. 貫目改	
2.2. 延店	127
2.2.1. 延米会所	
2.2.2. 延商	
2.3. 商方引替所	127
2.4. 戸	127

---

## 尾張国名古屋大船町知多屋青木家文書解題

---

文書群記号 31C  
年 代 文政4年(1821)～大正3年(1914)  
文書群名 おわりのくに な こ やおおふなちようち た や あお き けもんじょ  
尾張国名古屋大船町知多屋青木家文書  
数 量 210点  
入手の経過 1956年度に故紙業者より購入。

### 青木家の歴史

青木家は名古屋大船町(現在、愛知県名古屋西区)に居を構えた商人であるが、そもそもは知多半島成岩(ならわ)に居住していた。その後、天文12年(1543)の織田信長の清洲城入城とともに清洲へ、次いで慶長17年(1612)、尾張藩主徳川家の名古屋城開府と同時に清洲城下から移転したという。歴代当主名などは本解題末の青木家系図を参照されたい。なお、当主はすくなくとも、文政4年(1821)以降、代々新四郎を名乗った。

居住地大船町は、現在の名古屋市西区那古屋の納屋筋通にあり、北は塩町に、南は船入町に続く。ここには、米穀・味噌・塩・酒・薪炭など重くかさばる生活物資を取り扱うものが多い。また、酒・味噌などの製造に関わる者もいた。諸品の移動には堀川舟運が利用され、道路と堀川水路との間の狭い土地に河岸蔵が建ち、両側には町屋と土蔵が並んでいた。

青木家は塩問屋を始め、延店(延米売)・借家経営・地主経営など、その経営は多岐に渡っていたが、収支の面からも同家の経営の主力が塩問屋であったことは間違いない。同業者による塩問屋仲間が結成されており、同家の活動も仲間組織との協同や尾張藩の統制のもとにあった。

また、明治に入ると、尾張藩によって、諸品の流通統制の目的から商船会所(前身は明治3年設置の商法会社)が設置され、青木家はその頭取役に任命される。この時期の店員数は不明であるが、明治以降も、青木家は順調に業績を伸ばし、現在、名古屋市中区で名古屋市有数の塩販売会社「名エン株式会社」を経営するに至っている。なお、同家の歴史については社史『名塩小史－名塩食品三百五十年史』(1965年)に詳しい。

### 青木家文書の構造と内容

青木家文書の構造を考える上で前提となるのが、同家の経営組織である。青木家が従事した商売などについて、1年分の収支を総勘定したと思われる天保10年(1839)正月「大福帳」(No.6)の柱書(見出し)などを利用して抜き出すならば、次のような経営の柱を挙げることができる。

塩店(一号店・二号店共)、延店(延米)、商方引替所、戸、店貸経営(大船町、赤塚町、万正寺預かりの内扣借家、西水主町扣借家、蔵屋敷共、堀江町の内扣借家、美濃大野林吉兵衛家屋敷土蔵共、下材木町の内伝馬町角押廻し扣、廣井村の内仲之切天王前北角押廻シ、廣井村の内、下江川扣借家大和屋小兵衛住居蔵付、元新四郎扣分、廣井村江川の内扣借家・元新四郎扣分、熱田新田中川通、伝馬町御門遠角押廻シ、仲之切の内扣(借主延べ6人))、蔵貸、地主経営(常盤新田、松陰新田、西硯村、真執新田、熱田新田五番割地所、熱田新田、式番割地所)、貸金業(商人、尾張藩家中、扣地など)

また、天保9年の「金銀出入帳」(No.75)などによれば、同家では塩店で得た金銭を「奥方」あるいは「内方」へ繰り入れており、店方と内方で資金を移動させて運用したことを確認できる。塩店・延店など各店の活動と、内方を明確に区別していたわけである。さらに、大規模経営を営む多くの商家では、総勘定を内方で実施していることも考慮し、本目録では、「内方」「店方」が同家組織の大きな柱であると考え、1. 内方、2. 店方の柱を立て、それぞれの経営内容に従って、下位項目を立てた。ちなみに、地主経営など独立した経営組織が存在しないものについては、これも内方で経営していると考えられるため、1. 内方へ編成した。

## 1. 内方

本文書群の件数は60件、対象年代は、上限が文政4年(1821)、下限が明治31年(1898)である。本文書群は、1.1. 総勘定、1.2. 地主経営、1.3. 家計の柱を立てた。

### 1.1. 総勘定

上述のように、青木家では、内方において、同家の経営全体の統括をした。1.1. 総勘定は、かかる活動の中から作成された、諸帳簿を柱として編成した。

1.1.1. 大福帳は、後掲2.1.4. 大福帳に編入した「大福帳」とは性格が異なり、青木家における経営全体の総勘定的な帳簿である。大口の貸金、各新田の作徳、延店、塩店、大付込、家賃などの収入、新田諸入用などを記録したもので、青木家の経営の全体像を示すものである。文書は文政4年(1821)～天保15年(1844)の6点である。1.1.2. 金銀出入帳は、青木家の内方における金銭の出納を記録したものである。出費項目に「仲支払」「小遣帳」「新家へ」などとあり、一見すると内方の出納のみに関わる帳簿と見えるが、「戸へ渡」「蔵ヨリ」「たのみ帳」(延店の経営帳簿)、「内ヨリ」などとあるように、店方と内方の相互で資金を移動させていることがわかるためここに収めた。1.1.3. 金銀取入帳は、店の資金や「預り」金を内方へ送金した際の日記である。1.1.4. 万覚帳は、前述の1.1.2. 金銀出入帳を転記し項目別に分類し転記したものである。

1.2. 地主経営は、例えば「新田悉皆記」(No.189)のように、青木家の地主経営状況を示す記録を収めた。青木家は、常盤新田、松陰新田、西舘村内、真執新田、熱田新田五番割地所、熱田新田式番割地所に土地を所持している。村外地主である青木家は、各所持地に設置した支配人を通じ、作徳米を徴収し、自家消費分以外は、すべて延店に廻し、延商の資本とした。

1.3. 家計は、「小遣帳」(No.181)など生活上の諸雑用費に関する記録類を収めた。家の経営に関わるものであり、本来は別に柱を立てる必要があるが、点数も少ないことから1. 内方に収めた。なお、「小遣帳」は、「金銀出入帳」の支出部門を転記・作成したものである。

## 2. 店方

本文書群の件数は150件、対象年限は上限が文政13年(1830)、下限が大正3年(1914)である。本文書群は、2.1. 塩店、2.2. 延店、2.3. 商方引替所、2.4. 戸の柱を立てた。

2.1. 塩店 青木家の塩店は、本店のほかに「二号」と称される店舗があった。二号店の方が取引金額なども小額であるが、所在地や機能の相違などは不分明である。

塩店は、問屋と小売の機能を有するが、問屋機能の方が主力である。同家が商う塩の生産地は、成岩・富浜・乙川・伊勢・松名・黒部など青木家の出身地である知多半島や伊勢湾岸の地域のものも見られるが、それ以上に、野崎(備中国倉敷)・坂出(讃岐国坂出)・多喜浜(伊予国多喜浜)、才田(讃

岐国才田)など、瀬戸内海沿岸地域のいわゆる「十州塩」の取引が多く、これらを内海廻船によって搬送していた。それらを仕入れた青木家は、名古屋などの塩商売の者へ卸し、あるいは名古屋の町人への小売り、さらに揖斐川などを通じて、高山など美濃・飛騨地方へも流通させていた。

青木家の塩店経営は、相当に大規模なものであり、現存する多くの帳簿も、その経営に関わり作成されたといえる。各帳簿の役割や、帳簿相互の関連性から経営全体をイメージし、文書群を編成することが求められる。ただし、文書点数が限られることもあり、ここでは、帳簿の種類ごとに便宜的に編成することにし、諸帳簿の機能と帳簿相互の関連性について確認できた範囲で触れて置く。

2.1.1. 当座帳は、商売の際、取引現場に備え、売買の区別なく日々の取り引きを記録した帳簿である。この帳簿から、様々な諸帳簿が仕分・作成される。例えば、掛売り部分の記録を抽出したものが、後述の「大福帳」であり、商人別毎の収納状況を記録したものが「蔵入帳」である。2.1.2. 金銀出入帳は、塩店における日々の金銀の出納状況の記録である。2.1.3. 金銀請取帳は「金銀出入帳」より収入部分のみを転記した記録である。ただし、小売りの記録も含んでいる。2.1.4. 大福帳とは、商品の掛け売りを記録した帳簿であり、青木家の場合は取引商人ごとに記録した。本帳簿では、店を「一番」「二番」にわけて記録しているが、これは店毎の記録と考えられる。2.1.5. 勘定帳とは買入状況を取引先の荷主ごとにまとめたもので、手数料や瀬取賃銀などの経費まで詳細に記される。なお、これを日記として転記したものが後掲の「目録帳」である。

2.1.6. の船積帳は得意先ごとの船積荷物の記録である。帳簿には「是迄水上ニテ再改」などとあり、従来は、瀬取船を利用して、沖合にて荷物を確認していたが、後には船が着岸した際に確認作業を実施したことがわかる。2.1.7. の目録帳は、前記「勘定帳」との関連で、荷主に対する決済状況をまとめたものと考えられる。2.1.8. 仕切帳とは、荷物の量目や品位等級検査を経た上で、授受する荷物の品名と代金を記録した帳簿である。本来、売買にあたって荷主へ交付する仕切状をまとめたものであろう。2.1.9. 水揚帳は、荷物が着岸した際に着荷を荷主毎に記録したものである。

2.1.10. 現金小売帳は、塩の卸売、小売商の際に記録されたものであり、日記形式で取引状況を記録している。なお、取引人は明記されていない。2.1.11. 蔵入は、荷受塩の収納状況を蔵ごとに記録したものである。本帳簿からは青木家が、向蔵（一番口と貳番口）・小蔵・下蔵・壺番蔵・貳番蔵・三番蔵・四番蔵・五番蔵・六番蔵・七番蔵・八番蔵・九番蔵の計12棟の蔵を所持していたこと、蔵間の入れ替え状況などがわかる。2.1.12. 店入用覚帳は、赤ペン書で「雑用部ノ続」とあることから、塩店における雑費の決済帳簿といえる。使用人の小遣いや通信費用、租税関係などが記録される。また「奥納」として内方（奥方）への送金が毎月確認できる。2.1.13. 預かり塩支払は、所有する蔵を利用した蔵敷業務に関わるものであり、本帳簿は、蔵敷料の授受を荷主毎に記す。青木家が徴収する蔵敷料は、1俵につき1ヶ月1厘宛であった。2.1.14. 貫目改は、着荷した塩の貫目を検査した際の記録である。

2.2. 延店は、件数は4点で、対象年代の上限が天保9年（1838）、下限が慶応3年（1867）12月である。ここでは、2.2.1. 延米会所、2.2.2. 延商の柱を立てた。

2.2.1. 延米会所は、尾張藩が延商を統括する組織であり、青木家に伝来することから判断すれば、延米会所の年行司を勤めたことによって形成された文書といえる。

2.2.2. 延商は、青木家の米売買に関する文書を収めた。嘉永6年（1853）の延店経営帳簿「多濃味」（No.199）より、延商の様子が理解できる。青木家は、常盤新田、松陰新田、西硯村、真執新田、熱田新田五番割地所、熱田新田貳番割地所に土地を所持し作徳米も延店へ移して売却していた。「多濃味」

には「酉年分 一、西蜆米八拾三石五斗 右売場江」などとある。「納米」と称される市場よりの買入米や、尾張藩の領主米も取り引きの対象となるが、同家の作徳米が延商に占める割合は大きい。かかる経営の在り方は、尾張地域における地主制や商品流通を考える上で留意すべき点であろう。なお、尾張の延商では、大豆・綿も商いの対象としていたが、天保9年(1838)～天保11年の延店の経営状況を記録した「多濃味」(No.198)によれば、青木家でも、同様であったことが判明する。

2.3. 商方引替所は、天保11年12月の「商方引替所出入通」1点である。前述の「大福帳」より、青木家には商方引替所があったことが確認できる。しかし、引替所や帳簿の性格など現時点では不明である。

2.4. 戸は、件数2件、年次は天保10年正月～安政5年(1858)である。既述の大福帳より、青木家には「戸」なる組織が存在していたことが明かである。ここに収録した「年々玉」「知戸出入帳」は、かかる「戸」の経営より発生した帳簿であるが、現時点では「戸」の経営内容などについては不明である。

### 青木家文書の整理方針

青木家文書は、昭和31年(1956)度に故紙業者より文部省史料館が受け入れ、文書群記号31Cを与え、これまで仮整理のまま閲覧に供してきたものである。今回、目録刊行にあたってはこの仮整理の史料配列順にしたがい、これまでの仮番号を生かしながら、文書個々に整理番号を与えた。

**史料状態** 一部表紙が欠損しているものも見られるが、概ね良好である。

**検索手段** 本目録(国文学研究資料館調査収集事業部『史料目録』第92集)

**複製の存在** とくにない。

**関連史料** 尾張国名古屋大船町青木家文書の関連文書は存在しないと思われる。

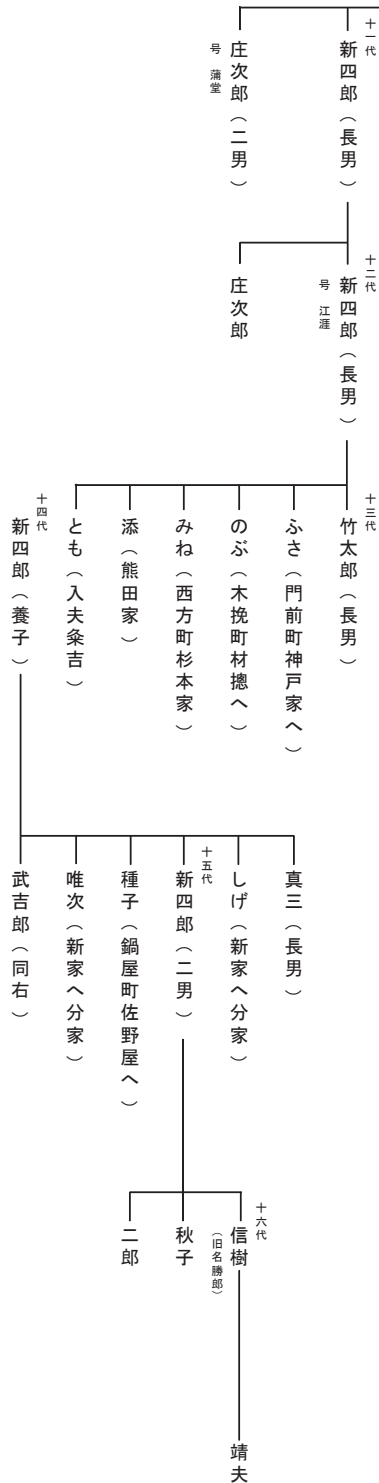
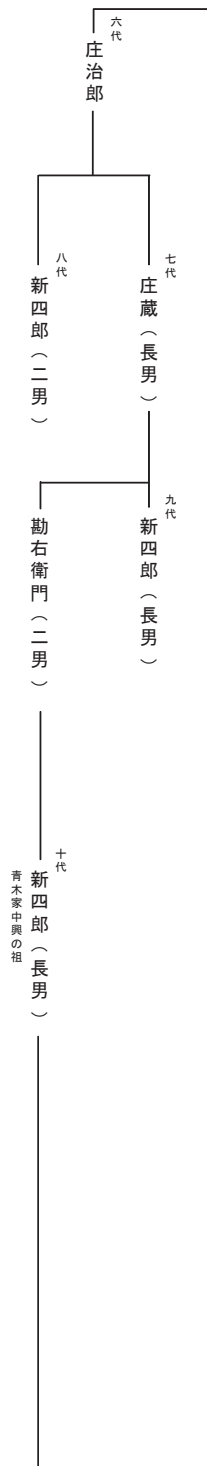
### 出版物

とくにない。なお、同家の塩商売は、現在の名エン株式会社が続く。同社の前身である名塩食品株式会社では、昭和40年に社史『名塩小史-名塩食品三百五十年史』(編集人株式会社報道春秋社、発行者青木信樹、非売品)を発行している。同家所蔵と思われる近世～近代の文書も一部、掲載している。

**記述日** 2010年12月10日(担当種村威史)

尾張国名古屋大船町青木家系図

初代 清兵衛  
二代 庄蔵  
三代 清左衛門  
四代 清右衛門  
五代 清左衛門



【出典】『名塩小史』(株)青木信樹発行  
『名塩小史』(株)青木信樹発行  
一九六五

表 知多屋青木家資産表（安政4年時）

	品目	金額（両）	備考	安政4年決算後の異同 <sup>*1</sup>
家 屋 敷	居宅・中屋・塩株	1000		
	廣井中戸田道扣	140		
	廣井江川扣	40	大和屋住居	
	赤塚町扣	150		
	（大船）町内之内	300	州崎屋住居	
	西水主町之内扣	100		文久3年12月、80両で譲渡
	中之切之内扣	170		
	伝馬町之内扣	300		
	替地出来之内新長屋	260		
	（大船）町内之内扣	135	知多与住居	
土 地	常盤新田・松陰新田・真執新田	1270	25町3反17歩、但し1反あたり5両ずつと見積り	安政4年7月215両分知多屋与七へ譲渡
	西舘村	1500	年々作徳70石、4升6合引と見積り	
	三稲新田之内扣	2100	16町2反6畝1分、1反あたり13両ずつと見積り	2000両地代引
	政成新田・朝日新田之扣	1000		大破につき御上様へ1000両差上
	横満蔵新田之内扣	1185		売払
	熱田新田之内中川四五式番	850	作徳年々34石	
株	塩株代	50	小川屋甚介より譲受の分 <sup>*2</sup>	
	合計	10550		

出典：「永宝記」（安政4年春吉日、No.191）より作成

<sup>\*1</sup>「永宝記」は安政4年以降の資産異同を加筆している。

<sup>\*2</sup> 嘉永元年、小川屋甚介の塩問屋廃業に伴う株仲間増大を防ぐため、知多屋・野村屋・古金屋の3人が共同出資で株を購入する。（『名塩小史』）

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

## 1.内方

### 1.1.総勘定

#### 1.1.1.大福帳

大福帳(塩米売掛・現金売代金取立) *裏表紙「伍太力菩薩」 大船町青木新四郎	文政4年辛巳3月吉日	横長半・1冊<209丁墨>/(小口つめかけ付)	1
大福帳(塩米売掛・現金売代金取立) *裏表紙「伍太力菩薩」 大船町青木新四郎	文政7年甲申正月吉日	横長半・1冊<254丁墨>/(貼紙あり)/(小口つめかけ付)	2
大福帳(塩米売掛・現金売代金取立) *裏表紙「伍太力菩薩」 大船町青木新四郎	文政11年戊子	横長半・1冊<239丁墨>/(20・21丁間に史料有)/(貼紙あり)/(小口つめかけ付)	3
大福帳(塩米売掛・現金売代金取立) *裏表紙「伍太力菩薩」 大船町青木新四郎	天保5年甲午正月吉日	横長半・1冊<214丁墨>/(貼紙あり)/(小口つめかけ付)	4
大福帳(塩米売掛・現金売代金取立) *裏表紙「伍太力菩薩」 大船町青木新四郎	天保7年丙申正月吉日	横長半・1冊<282丁墨>/(66・67丁間・106丁内・138丁内・200丁内・257丁内に史料あり)/(貼紙あり)/(小口つめかけ付)	5
大福帳(塩米売掛・現金売代金取立) *裏表紙「伍太力菩薩」 青木氏	天保15年甲辰正月吉日	横長半・1冊<270丁墨>/(57丁内に史料有)/(貼紙あり)/(朱書あり)/(小口つめかけ付)	6

#### 1.1.2.金銀出入帳

金銀出入帳(新田・控地入用・町方運上等) 知多屋新四郎	天保(7年)正月□日	横長美・1冊<230丁墨>/(下手付)	74
金銀出入帳(新田・控地入用・町方運上等) 知多屋新四郎	天保9年戊戌正月吉日	横長美・1冊<234丁墨>/(下手付)	75
貳番金銀出入帳(新田・控地入用・町方運上・会所費等) 知多屋新四郎	天保12年辛丑9月吉日	横長美・1冊<128丁墨>/(下手付)	76
(金銀出入帳、新田・控地入用・町方運上等) 知多屋新四郎	(天保13年)	横長美・1冊<239丁墨>/(下手付)/(表紙破損)	77
(金銀出入帳) 知多屋新四郎	(天保13年)	横長美・1冊<154丁墨>/(表紙破損)/(下手付)	206
貳番金銀出入帳(新田・控地入用・町方運上・会所費等) 知多屋新四郎	天保14年癸卯7月吉日	横長美・1冊<111丁墨>/(下手付)	78
貳番金銀出入帳(新田・控地入用・町方運上等) 知多屋新四郎	弘化3年丙午正月吉日	横長美・1冊<229丁墨>/(下手付)	79
貳番金銀出入帳(新田・控地入用・町方運上・会所費等) 知多屋新四郎	弘化3年丙午11月吉日	横長美・1冊<45丁墨>	80
金銀出入帳(新田・控地入用・町方運上等) 知多屋新四郎	嘉永3年庚戌正月吉日	横長美・1冊<288丁墨>/(下手付)/(表紙一部破損)	81

大船町知多屋青木家文書 1.内方/1.総勘定/2.金銀出入帳

金銀出入帳(新田・控地入用・町方運上等) 知多屋新四郎	嘉永6年癸丑正月吉日	横長美・1冊<333丁>/ (下手付) / (付箋多数)	82
金銀出入帳(新田・控地入用・町方運上等) 知多屋新四郎	嘉永7年甲寅正月吉日	横長美・1冊<277丁>/ (表紙一部破損) / (下手付)	83
金銀出入帳(新田・控地入用・町方運上・会所雑用等) 知多屋新四郎	安政4年丁巳正月吉日	横長美・1冊<310丁墨>/ (下手付)	84
金銀出入帳(新田・控地入用・町方運上・会所雑用等)	万延2年辛酉正月吉日	横長美・1冊<321丁墨>/ (裏表紙破損) / (下手付)	85
金銀出入帳(新田・控地入用・町方運上・会所雑用等)	文久3年癸亥正月吉日 (日)	横長美・1冊<162丁墨>/ (後欠力) / (下手付)	86
金銀勘定帳(塩店・家賃・米代等総勘定) 青木新四郎	(文久3年盆後～明治14年盆後)	横長半・1冊<50丁墨>	122
金銀出入帳(新田・控地入用・町方運上・会所雑用等) 知多屋新四郎	慶応2年丙寅正月吉日	横長美・1冊<239丁墨>/ (下手付)	87
金銀出入帳(新田入用・塩商・船賃等) 知口口(知多屋)新四郎	明治8年乙亥1月吉日	横長美・1冊<394丁墨>/ (裏表紙一部破損) / (下手付)	88
金銀出入帳(新田入用・塩商・船賃等) 知多屋新四郎	明治18年乙酉1月吉日	横長美・1冊<300丁墨>/ (下手付)	89
(金銀出入帳・新田入用・塩商等) 知多屋新四郎		横長美・1冊<47丁墨>/ (表紙脱)	210

1.1.3.金銀取入帳

金銀取入帳(店・御用・新田等出入金差引勘定) 青木新四郎	天保3年壬辰正月吉日	横長半・1冊<98丁墨>	91
金銀取入帳(店・御用・新田等出入金差引勘定) 青木新四郎	天保7年丙申正月吉日	横長半・1冊<104丁墨>	92
金銀取入帳(店・御用・新田等出入金差引勘定) 青木新四郎	天保11年庚子正月吉日	横長半・1冊<61丁墨>	93
金銀取入帳(店・御用・新田等出入金差引勘定) 青木新四郎	天保13年壬寅正月吉日	横長半・1冊<76丁墨>	94
金銀取入帳(店・御用・新田等出入金差引勘定) 青木新四郎	天保15年甲辰正月吉日	横長半・1冊<41丁墨>	95
金銀取入帳(店・御用・新田等出入金差引勘定) 青木新四郎	弘化4年丁未正月吉日 (～嘉永1年)	横長半・1冊<51丁墨>/ (付箋2ヶ所)	96
金銀取入帳(店・御用・新田等出入金差引勘定)	弘化4年丁未～嘉永1年	横長半・1冊<105丁墨>	97
金銀取入帳(店・御用・新田等出入金差引勘定) 青木新四郎	嘉永3年庚戌正月吉日	横長半・1冊<37丁墨>	98
金銀取入帳(店・御用・新田等出入金差引勘定) 青木新四郎	嘉永4年辛亥正月吉日	横長半・1冊<43丁墨>	99
金銀取入帳(店・御用・新田等出入金差引勘定) 青木新四郎	嘉永5年壬子正月吉日	横長半・1冊<42丁墨>	100
金銀取入帳(店・御用・新田等出入金差引勘定) 青木新四郎	嘉永6年癸丑正月吉日	横長半・1冊<52丁墨>	101
金銀取入帳(店・御用・新田等出入金差引勘定) 青木新四郎	嘉永7年甲寅正月吉日	横長半・1冊<49丁墨>	102
金銀取入帳(店・御用・新田等出入金差引勘定) 青木新四郎	安政2年乙卯正月吉日	横長半・1冊<53丁墨>	103
金銀取入帳(店・御用出入金差引勘定) 青木自然	安政2年乙卯正月吉日	横長半・1冊<126丁墨>/ (付箋多数)	104

金銀取入帳(店・御用・新田等出入金差引勘定・付明治10年金銀出入帳他) 青木新四郎	安政3年丙辰正月吉日 (・明治10年)	横長半・1冊<57丁墨>/(小口見出し墨)	105
金銀取入帳(店・御用・新田等出入金差引勘定・付明治6年～明治11年) 青木新四郎	慶応3年丁卯正月吉日 (・明治6年～10年)	横長半・1冊<63丁墨>/(小口見出し墨)	106
金銀取入帳(店・御用等出入金差引勘定) 青木新四郎	明治12年卯9月吉日	横長半・1冊<79丁墨>	107
金銀取入帳(店・御用等出入金差引勘定) 青木新四郎	明治20年丁亥10月吉日	横長半・1冊<18丁墨>	108

## 1.1.4.万覚帳

万覚帳(使途別出入金覚) 知多屋新四郎	天保9年戊戌正月吉日	横長美・1冊<102丁墨>/(小口つめかけ・下手付)	145
万覚帳(運上賃・瀬取賃等使途別出入金覚) 知多屋新四郎	天保12年辛丑正月吉日	横長美・1冊<109丁墨>/(小口つめかけ墨付)	146
万覚帳(運上賃・瀬取賃等使途別出入金覚) 知多屋新四郎	天保14年癸卯正月吉日	横長美・1冊<115丁墨>/(小口つめかけ付)(下手付)	147
万覚帳(運上賃・瀬取賃等使途別出入金覚) 知多屋新四郎	弘化3年丙午正月吉日	横長美・1冊<97丁墨>/(小口つめかけ付)	148
万覚帳(運上賃・瀬取賃等使途別出入金覚) 知多屋新四郎	安政4年丁巳正月吉日	横長美・1冊<111丁墨>/(小口つめかけ墨付)	149
万覚帳(瀬取賃・取替金等出入金覚) 知多屋新四郎	明治16年癸未2月吉日	横長美・1冊<94丁墨>/(小口つめかけ・下手付)/(裏表紙破損)/(後欠力)	150
万覚帳(瀬取賃・取替金等使途別出入金覚) 青木新四郎	明治30年□(丁)酉□□□□(～明治31年前半)	横長美・1冊<61丁墨>/(下手付)/(表紙摩耗)/(一部破損)	151
(万覚帳・運上賃・瀬取賃等使途別出入金覚) 知多屋新四郎		横長美・1冊<104丁墨>/(表紙破損)/(小口つめかけ・下手付)	207

## 1.2.地主経営

常盤新田細間田畑反別并掟名前根帳(開帳不能) 青木新四郎	文政12年丑4月改	横長半・1冊<85丁墨>/(開扉紐付)	202
常盤新田田畑反別掟名前扣 青木新四郎	天保3辰年改	横長半・1冊<80丁墨>/(付箋多数)	201
新田悉皆記(西硯村・熱田新田・三稲新田・政成新田・西新開新田分納米・売米覚・付明治期売米覚) 青木	(天保12年)辛丑(・明治)	横長美・1冊<65丁墨>/(小口つめかけ付)	189
永宝記(青木家資産記録)	安政4年丁巳春之吉	横長半・1冊<6丁墨>	191

## 1.3.家計

小遣帳 知多屋	弘化3年丙午正月吉日	横長半・1冊<111丁墨>/(表紙摩耗)/(下手付)	179
小遣帳 知多屋	弘化5年戊申正月吉日	横長半・1冊<95丁墨>/(下手付)	180
金銭小払帳(諸雑費) 青木新四郎	嘉永7年甲寅正月吉日	横長半・1冊<61丁墨>	193

小遣帳(含店入用) 知多屋	安政4年丁巳正月吉日	横長半・1冊<103丁墨>/(下手付)	181
雑用帳(諸雑用) *慶応2年～明治4年は綴閉じのため未見 青木新四郎	(慶応2年～4年・明治14年)	横長半・1冊<16丁墨>	192

## 2.店方

### 2.1.塩店

#### 2.1.1.当座帳

当座帳(塩店) 知多屋新四郎	天保13年壬寅正月吉日	横長美・1冊<626丁墨>/(下手付)	161
売上帳(塩店) 知多屋新四郎	弘化3年丙午正月吉日	横長美・1冊<353丁墨>/(下手付)	188
当座帳(塩店) 知多屋新四郎	嘉永3年庚戌正月吉日	横長美・1冊<378丁墨>/(下手付)	162
当(当座帳、塩店) 知多屋新四郎	(嘉永3年力)戌	横長美・1冊<288丁墨>/(下手付)/(表紙破損)	166
当座帳(塩店) 知多屋新四郎	嘉永6年癸丑正月吉日	横長美・1冊<320丁墨>/(下手付)	163
当座帳(塩店) 知多屋新四郎	安政4年丁巳正月吉日	横長美・1冊<284丁墨>/(下手付)	164
当座(帳、塩店) 知多屋新四郎	安政6年己未正月吉日	横長美・1冊<269丁墨>/(表紙・裏表紙破損)/(下手付)	165

#### 2.1.2.金銀出入帳

塩店金銀出入帳 青木新四郎	天保10年己亥正月吉日	横長半・1冊<139丁墨>	185
塩店金銀出入帳(付明治期分金銀出入帳) 青木新四郎	嘉永5年壬子正月吉日(・明治)	横長半・1冊<34丁墨>	186

#### 2.1.3.金銀請取帳

金銀請取帳(手代集金・小売等塩代金)	文政13年庚寅正月吉日	横長美・1冊<275丁墨>/(裏表紙破損)/(下手付)	109
金銀請取帳(手代集金・小売分塩代金)	天保9年戊戌正月吉日	横長美・1冊<292丁墨>/(裏表紙破損)/(下手付)	110
金銀受取帳(手代集金・小売分塩代金) □□屋(知多屋) □□郎(新四郎)	天保13年壬寅正月吉日	横長美・1冊<370丁墨>/(裏表紙摩耗)/(下手付)	111
貳番金銀受取帳(手代集金分塩代金、12月27日～5月5日迄の記録) 知多屋新四郎	天保13年壬寅□月吉日	横長美・1冊<26丁墨>/(下手付)	112
金銀受取帳(手代集金・持参分塩代金) 知多屋新四郎	天保14年癸卯正月吉日	横長美・1冊<162丁墨>/(下手付)	113
金銀受取帳(手代集金分塩代金) 知多屋新四郎	弘化3年丙午正月吉日	横長美・1冊<200丁墨>/(下手付)	114
金銀受取帳(手代集金・持参分塩代金) 知多屋新四郎	弘化5年戊申正月吉日	横長美・1冊<249丁墨>/(下手付)	115
金銀受取帳(手代集金・持参分塩代金) 知多屋新四郎	嘉永6年癸丑正月吉日	横長美・1冊<209丁墨>/(下手付)	116
金銀受取帳(手代集金・持参分塩代金) 知多屋新四郎	嘉永7年甲寅正月吉日	横長美・1冊<199丁墨>/(下手付)	117

金銀受取帳(手代集金・持参分塩代金)	知多屋新四郎	安政4年丁巳正月吉日	横長美・1冊<202丁墨>/(下手付)	118
金銀受取帳(手代集金・持参分塩代金)	(知多屋新四郎)	慶応2年丙寅正月吉日	横長美・1冊<168丁墨>/(裏表紙破損)	119
金銀受取帳(手代集金・持参分塩代金)	知多屋新四郎	明治3年庚午正月吉日	横長美・1冊<221丁墨>/(下手付)	120
金銀受取帳(手代集金・持参分塩代金)	知多屋新四郎	明治17年甲申正月吉日	横長美・1冊<315丁墨>/(下手付)	121

## 2.1.4.大福帳

貳番大福帳(塩売掛・現金売代金取立)	知多屋新四郎	天保7年丙申正月吉日	横長美・1冊<249丁墨>/(小口つめかけ付)	8
西濃大福帳(塩売掛代金取立)	知多屋新四郎	天保7年丙申正月吉日	横長美・1冊<180丁墨>/(小口つめかけ付)	69
貳番大福帳(塩売掛・小売代金取立)	知多屋新四郎	天保8年丁酉正月吉日	横長美・1冊<246丁墨>/(小口つめかけ・下手付)	9
三番大福帳(塩売掛・小売代金取立)	知多屋新四郎	天保8年丁酉正月□□	横長美・1冊<237丁墨>/(貼紙あり)/(小口つめかけ付)	10
壹番大福帳(塩売掛・小売代金取立)	知多屋新四郎	天保9年戊戌正月吉日	横長美・1冊<319丁墨>/(貼紙あり)/(小口つめかけ・下手付)	11
三番大福帳(塩売掛・小売代金取立)	知多屋新四郎	天保9年戊戌正月吉日	横長美・1冊<314丁墨>/(貼紙あり)/(小口つめかけ・下手付)	12
壹番大福帳(塩・米分売掛・小売代金取立)	知多屋新四郎→梯	天保11年庚子正月吉日	横長美・1冊<293丁墨>/(朱書あり)/(貼紙あり)/(小口つめかけ付)	13
三番大福帳(塩・米分売掛・小売代金取立)	知多屋新四郎	天保11年庚子正月吉日	横長美・1冊<293丁墨>/(貼紙あり)/(小口つめかけ付)	14
貳番大福帳(塩・米分売掛・小売代金取立)	知多屋新四郎	天保12年辛丑正月吉日	横長美・1冊<248丁墨>/(貼紙あり)/(小口つめかけ付)	15
三番大福帳(塩・米分売掛・小売代金取立)	知多屋新四郎	天保12年辛丑正月吉日	横長美・1冊<322丁墨>/(貼紙あり)/(小口つめかけ付)	16
西濃大福帳(塩売掛代金取立)	知多屋新四郎	天保12年辛丑正月吉日	横長美・1冊<180丁墨>/(小口つめかけ付)	70
壹番大福帳(塩売掛・小売代金取立)	知多屋新四郎	天保13年壬寅正月吉日	横長美・1冊<382丁墨>/(小口つめかけ・下手付)	17
貳番大福帳(塩売掛・小売代金取立)	知多屋新四郎	天保13年壬寅正月吉日	横長美・1冊<326丁墨>/(表紙一部破損)/(付箋多数)/(小口つめかけ・下手付)	18
三番大福帳(塩売掛代金取立)	知多屋新四郎	天保13年壬寅正月吉日	横長美・1冊<286丁墨>/(小口つめかけ・下手付)	19
西濃大福帳(塩売掛代金取立)	知多屋新四郎	天保13年壬寅正月吉日	横長美・1冊<224丁墨>/(小口つめかけ・下手付)	71
(式番大福帳、塩米分売掛代金取立)	知多屋新四郎	(天保14年)	横長美・1冊<183丁墨>/(表紙欠)/(小口つめかけ・下手付)	20

大船町知多屋青木家文書 2.店方/1.塩店/4.大福帳

(壹番大福帳、塩・米分売掛代金取立) 知(知多屋新四郎方)	(天保14年)	横長美・1冊<150丁墨>/ (表紙欠、裏表紙破損)/ (小口つめかけ・下手付)	21
参番大福帳(塩米分売掛代金取立) 知多屋新四郎	天保14年癸卯正月吉日	横長美・1冊<201丁墨>/ (小口つめかけ・下手付)	22
壹番大福帳(塩米分売掛代金取立) 知多屋新四郎	弘化2年乙巳正月吉日	横長美・1冊<182丁>/ (小口つめかけ付)	23
参番大福帳(塩米分売掛代金取立等) 知多屋新四郎	弘化2年乙巳正月吉日	横長美・1冊<211丁>/ (小口つめかけ付)	24
壹番大福帳(塩米分売掛代金取立) 知多屋新四郎	弘化3年丙午正月吉日	横長美・1冊<271丁>/ (小口つめかけ・下手付)	25
貳番大福帳(塩米分売掛代金取立等) 知多屋新四郎	弘化3年丙午正月吉日	横長美・1冊<169丁>/ (小口つめかけ付)	26
三番大福帳(塩米分売掛代金取立・売溜) 知多屋新四郎	弘化3年丙午正月吉日	横長美・1冊<232丁>/ (小口つめかけ付)	27
西濃大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	弘化3年丙午正月吉日	横長美・1冊<314丁墨>/ (小口つめかけ付)	72
貳番大福帳(塩米分売掛代金取立)	弘化4年丁未	横長美・1冊<187丁>/ (小口つめかけ付)/ (裏表紙欠損、表紙一部破損)	28
貳番大福帳(塩米分売掛代金取立) 知多屋新四郎	嘉永2年己酉正月吉日	横長美・1冊<250丁>/ (小口つめかけ付)/ (裏表紙一部破損)	29
壹番大福帳(塩米分売掛代金取立) 知多屋新四郎	嘉永3年庚戌正月吉日	横長美・1冊<234丁>/ (小口つめかけ付)	30
貳番大福帳(塩米分売掛代金取立) 知多屋新四郎	嘉永3年庚戌正月吉日	横長美・1冊<211丁墨>/ (小口つめかけ付)	31
参番大福帳(塩米分売掛代金取立・売溜) 知多屋新四郎	嘉永3年庚戌正月吉日	横長美・1冊<270丁墨>/ (小口つめかけ・下手付)	32
壹番大福帳(塩米分売掛代金取立) 知多屋新四郎	嘉永4年辛亥正月吉日	横長美・1冊<230丁墨>/ (小口つめかけ・下手付)	33
参番大福帳(塩米分売掛代金取立) 知多屋新四郎	嘉永4年辛亥正月吉日	横長美・1冊<265丁墨>/ (小口つめかけ・下手付)	34
尾濃大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	嘉永4年辛亥正月吉日	横長美・1冊<260丁墨>/ (小口つめかけ・下手付)	57
西濃大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	嘉永4年辛亥正月吉日	横長美・1冊<141丁墨>/ (小口つめかけ・下手付)	62
壹番大福帳(塩米分売掛代金取立) 知多屋新四郎	嘉永6年癸丑正月吉日	横長美・1冊<199丁>/ (小口つめかけ付)	35
貳番大福帳(塩米分売掛代金取立) 知多屋新四郎	嘉永6年癸丑正月吉日	横長美・1冊<183丁墨>/ (小口つめかけ付)	36
参番大福帳(塩米分売掛代金取立・売溜) 知多屋新四郎	嘉永6年癸丑正月吉日	横長美・1冊<260丁>/ (小口つめかけ付)	37
西濃大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	嘉永6年癸丑正月吉日	横長美・1冊<132丁墨>/ (小口つめかけ付)	63

壺番大福帳(塩米分売掛代金取立) 知多屋新四郎	嘉永7年甲寅正月吉日	横長美・1冊<182丁>/(小口つめかけ付)	38
壺番大福帳(塩米分売掛代金取立) 知多屋新四郎	安政4年丁巳正月吉日	横長美・1冊<188丁>/(小口つめかけ付)	39
三番大福帳(塩米分売掛代金取立) 知多屋新四郎	安政4年丁巳正月吉日	横長美・1冊<266丁>/(小口つめかけ付)	40
尾濃大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	安政4年丁巳正月吉日	横長美・1冊<186丁墨>/(小口つめかけ・下手付)	58
西濃大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	安政4年丁巳正月吉日	横長美・1冊<69丁墨>/(小口つめかけ付)	64
壺番大福帳(西濃分塩米分売掛代金取立) 知多屋新四郎	安政6年己未正月吉日	横長美・1冊<164丁墨>/(小口つめかけ・下手付)	41
壺番大福帳(塩売掛代金取立・売溜) 知多屋新四郎	安政6年己未正月吉日	横長美・1冊<266丁墨>/(小口つめかけ・下手付)	42
壺番大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	万延2年辛酉正月吉日	横長美・1冊<242丁>/(小口つめかけ・下手付)	43
尾濃大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	万延2年辛酉正月吉日	横長美・1冊<164丁墨>/(小口つめかけ・下手付)/(綴紐破損注意)	59
西濃大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	文久2年壬戌正月吉日	横長美・1冊<43丁墨>/(小口つめかけ・下手付)	65
参番大福帳(塩売掛代金取立・売溜) 知多屋新四郎	文久3年癸亥正月吉日	横長美・1冊<269丁墨>/(小口つめかけ・下手付)	44
尾濃大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	文久3年癸亥正月吉日	横長美・1冊<167丁墨>/(小口つめかけ・下手付)	60
壺番大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	文久4年甲子正月吉日	横長美・1冊<142丁墨>/(小口つめかけ・下手付)/(表紙一部破損)	45
尾濃大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	文久4年甲子正月吉日	横長美・1冊<142丁墨>/(小口つめかけ付)	61
西濃大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋(新四郎)	文久4年甲子正月吉日	横長美・1冊<34丁墨>/(小口つめかけ・下手付)	66
西濃大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	元治2年乙丑正月吉日	横長美・1冊<46丁墨>/(小口つめかけ・下手付)	67
西濃大福帳(塩売掛代金取立・新田入用・家賃・洋物会所給金・仕切所金等) 青木新四郎	元治2年乙丑正月吉日	横長半・1冊<95丁墨>/(小口つめかけ・下手付)/(裏表紙綴紐脱)	73
三番大福帳(塩売掛代金取立)	慶応2年丙寅正月吉日	横長美・1冊<190丁>/(小口つめかけ付)/(裏表紙破損)	46
西濃大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	慶応2年丙寅正月吉日	横長美・1冊<39丁墨>/(小口つめかけ・下手付)	68
壺番大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	明治3年庚午正月吉日	横長美・1冊<139丁墨>/(小口つめかけ・下手付)	47
貳番大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	明治3年庚午正月吉日	横長美・1冊<258丁墨>/(小口つめかけ・下手付)	48

大船町知多屋青木家文書 2.店方/1.塩店/4.大福帳

貳番大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	明治4年辛未正月吉日	横長美・1冊<214丁墨>/ (小口つめかけ・下手付)	49
貳番大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	明治5年壬申正月吉日	横長美・1冊<153丁墨>/ (小口つめかけ・下手付)	50
(大福帳、塩売掛代金取立、丁間史料あり) (知多屋)屋新(新四郎)	(明治7年)戌年	横長美・1冊<174丁墨>/ (小口つめかけ・下手付) / (表紙破損、裏表紙一部破損)	51
大福帳(塩売掛・現金売代金取立) 青木氏	明治13年庚辰9月吉日	横長美・1冊<18丁墨>/ (小口つめかけ・下手付)	7
貳番大福帳(蔵敷料・塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	明治13年庚辰1月吉日	横長美・1冊<198丁墨>/ (小口つめかけ・下手付)	52
壹番大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	明治16年癸未1月吉日	横長美・1冊<199丁墨>/ (小口つめかけ・下手付)	53
貳番大福帖(塩売掛代金取立、朱書入) 知多屋新四郎	明治24年辛卯4月吉日	横長美・1冊<132丁墨>/ (小口つめかけ・下手付)	54
貳番大福帳(塩売掛代金取立) 知多屋新四郎	明治25年壬辰4月吉日	横長美・1冊<160丁墨>/ (小口つめかけ・下手付)	55
(大福帳、塩売掛代金取立) (知多屋新四郎)	(明治26年)	横長美・1冊<149丁墨>/ (小口つめかけ・下手付) / (表紙破損)	56

### 2.1.5.勘定帳

雑記(船頭への支払等) 大舟店	(嘉永1年4月～安政2年正月吉日)	横長半・1冊<39丁墨>/ (再利用力)	205
勘定帳(船主毎勘定) 知多屋新四郎	(明治19年)□月□日	横長美・1冊<230丁墨>/ (下手付)	123
勘定帳(船主毎勘定) 知多屋新四郎	明治20年亥5月吉日	横長美・1冊<230丁墨>/ (下手付)	124

### 2.1.6.船積帳

船積帳(塩店) 知多屋新四郎	文政13年庚寅正月吉日	横長美・1冊<177丁墨>/ (下手付)	125
船積帳(塩店) 知多屋新四郎	天保14年癸卯正月吉日	横長美・1冊<117丁墨>/ (下手付)	126
船積帳(塩店) 知多屋新四郎	弘化3年丙午正月吉日	横長美・1冊<193丁墨>/ (下手付)	127
船積帳(塩店) 知多屋新四郎	嘉永2年己酉正月吉日	横長美・1冊<235丁墨>/ (下手付) / (貼紙多数)	128
船積帳(塩店) 知多屋新四郎	嘉永3年庚戌正月吉日	横長美・1冊<170丁墨>/ (下手付)	129
船積帳(塩店) 知多屋新四郎	嘉永7年甲寅正月吉日	横長美・1冊<144丁墨>/ (下手付)	130
船積帳(塩店) 知多屋新四郎	安政4年丁巳正月吉日	横長美・1冊<100丁墨>	131
船積帳(塩店) 知多屋新四郎	万延2年辛酉正月吉日	横長美・1冊<85丁墨>	132

## 2.1.7.目録帳

目録帳(荷主別出入金覚)	知多屋新四郎	天保7年丙申正月吉日	横長美・1冊<145丁墨>/ (小口つめかけ付)	133
目録帳(荷主別出入金覚)		(天保10年亥力)	横長美・1冊<102丁墨>/ (小口つめかけ付・下手付)/ (数丁下部破損)/ (表紙・裏表紙破損)	135
目録帳(荷主別出入金覚)	知多屋新四郎	天保12年辛丑正月吉日	横長美・1冊<144丁墨>/ (小口つめかけ付)	134
目録帳(荷主別出入金覚)	知多屋新四郎	天保13年壬寅正月吉日	横長美・1冊<161丁墨>/ (小口つめかけ付・下手付)/ (数丁下部破損)/ (裏表紙摩耗)	136
目録帳(荷主別出入金覚)	知多屋新四郎	天保(14)年癸卯正月吉日	横長美・1冊<129丁墨>/ (小口つめかけ付・下手付)/ (表紙一部破損)	137
目録帳(荷主別出入金覚)	知多屋新四郎	弘化3年丙午正月吉日	横長美・1冊<130丁墨>/ (小口つめかけ付)	138
目録帳(荷主別出入金覚)	知多屋新四郎	嘉永6年癸丑正月吉日	横長美・1冊<106丁墨>/ (小口つめかけ付)	139
目録帳(荷主別出入金覚)	知多屋新四郎	嘉永7年甲寅正月吉日	横長美・1冊<91丁墨>/ (小口つめかけ付)	140
目録帳(荷主別出入金覚)	知多屋新四郎	安政4年丁巳正月吉日	横長美・1冊<92丁墨>/ (小口つめかけ付)	141
目録帳(荷主別出入金覚)	知多屋新四郎	安政6年己未正月吉日	横長美・1冊<153丁墨>/ (小口つめかけ付・下手付)	142
目録帳(荷主別出入金覚)	知多屋新四郎	文久2年壬戌正月吉日	横長美・1冊<88丁墨>/ (小口つめかけ付・下手付)	143
目録帳(荷主別出入金覚)	知多屋新四郎	明治5年壬申正月吉日	横長美・1冊<56丁墨>/ (小口つめかけ付・下手付)/ (挟込文書2点)	144

## 2.1.8.仕切帳

仕切帳(塩店)	知多屋新四郎	天保7年丙申正月吉日	横長美・1冊<133丁墨>	167
仕切帳(塩店)	知多屋新四郎	天保12年辛丑正月吉日	横長美・1冊<142丁墨>/ (表紙摩耗)	168
仕切帳(塩店)	知多屋新四郎	天保12年辛丑正月吉日	横長美・1冊<115丁墨>	169
仕(仕切帳、塩店)	知多屋新四郎	(天保14年力)卯	横長美・1冊<91丁墨>/ (下手付)/ (表紙破損)	170
仕切帳(塩店)	知多屋新四郎	弘化3年丙午正月吉日	横長美・1冊<115丁墨>/ (下手付)	171
仕切帳(塩店)	知多屋新四郎	弘化4年丁未正月吉日	横長美・1冊<118丁墨>/ (下手付)	172
仕切帳(塩店)	知多屋新四郎	嘉永3年庚戌正月吉日	横長美・1冊<135丁墨>/ (下手付)	173
仕切帳(塩店)	知多屋新四郎	嘉永6年癸丑正月吉日	横長美・1冊<129丁墨>/ (下手付)	174

大船町知多屋青木家文書 2.店方/1.塩店/8.仕切帳

仕切帳(塩店) 知多屋新四郎	(安政)4年丁巳正月吉日	横長美・1冊<104丁墨>/ (表紙一部破損)/ (貼紙多数)	175
仕切帳(塩店)	万延2年辛酉□□吉日	横長美・1冊<63丁墨>/ (裏表紙破損)/ (後欠力)/ (下手付)	176
仕切帳(塩店) 知多屋新四郎	慶応2年丙寅正月吉日	横長美・1冊<53丁墨>/ (下手付)	177
(未使用帳) *表紙裏「慶応三年丁卯正月吉日 仕切帳」 知多屋新四郎		横長美・1冊/(反故紙使用)	208
(仕切帳) 知多屋新四郎		横長美・1冊<122丁墨>/ (表紙脱)/(下手付)/(貼紙付)	209

### 2.1.9.水揚帳

水揚帳(塩店) 知多屋新四郎	文政13年庚寅正月吉日	横長美・1冊<312丁墨>/ (裏表紙破損)/(下手付)	152
水揚帳(塩店) 知多屋新四郎	天保13年壬寅正月吉日	横長美・1冊<260丁墨>/ (下手付)	153
水上帳(塩店) 知多屋新四郎	弘化5年戊申正月吉日	横長美・1冊<232丁墨>/ (表紙一部破損)/(下手付)	154
水揚帳(塩店) 知多屋新四郎	嘉永3年庚戌正月吉日	横長美・1冊<252丁墨>/ (下手付)	155
水揚帳(塩店) 知多屋新四郎	嘉永4年辛亥正月吉日	横長美・1冊<234丁墨>/ (下手付)	156
水上帳(塩店) 知多屋新四郎	安政4年丁巳正月吉日	横長美・1冊<201丁墨>/ (下手付)	157
水上帳(塩店)	万延2年辛酉正月吉日	横長美・1冊<122丁>/ (綴紐破損)/(後欠)	158
水上帳(塩店) 知多屋新四郎	(文久4年) 甲子正月吉日	横長美・1冊<147丁墨>/ (下手付)/(表紙破損)	159
(水上帳、塩店) 知多屋新四郎	卯	横長美・1冊<177丁墨>/ (表紙欠)/(下手付)	160

### 2.1.10.現金小売帳

現金小売帳(塩店) 知多屋新四郎	天保15年甲辰9月吉日	横長美・1冊<274丁墨>/ (下手付)	183
(現金小売帳)	(安政5年力)	横長美・1冊<214丁墨>/ (表紙・裏表紙破損)/(下手付)	184
現金小売帳(塩店) 知多屋新四郎	文久1年辛酉10月吉日	横長美・1冊<230丁墨>/ (下手付)	182

### 2.1.11.蔵入

蔵入帳(塩店)	安政7年庚申正月吉日	横長美・1冊<212丁墨>/ (小口つめかけ・下手付)	190
---------	------------	-----------------------------	-----

### 2.1.12.店入用覚帳

運賃仲仕店入用覚帳(蔵敷出入・船積運賃・仲支払・店員勘定・店雑用等) 青木新四郎	明治36年癸卯4月吉日	横長美・1冊<152丁墨>/ (小口見出し朱墨)/(反故紙使用)	204
--	-------------	----------------------------------	-----

店入用覚帳(雑用部) 知多屋新四郎	大正3年寅3月以降	横長美・1冊<91丁墨>/ (赤ペン加筆)/ (小口つめかけ付)	194
-------------------	-----------	----------------------------------	-----

## 2.1.13.預かり塩支払

預り塩仕払帳(蔵預分) 知多屋新四郎	明治18年乙酉1月吉日	横長半・1冊<84丁墨>/ (小口つめかけ・下手付)/ (表紙赤インクにて汚損)	187
--------------------	-------------	--	-----

## 2.1.14.貫目改

貫目帳(塩店) 知多新(新四郎)	明治28年乙未5月吉日	横長半・1冊<188丁墨>/ (下手付)	197
------------------	-------------	----------------------	-----

## 2.2.延店

## 2.2.1.延米会所

延米会所永久備金帖	慶応3年卯12月	横半半折・1冊<8丁墨>/ (紐破脱)/ (裏表紙破損)	195
-----------	----------	------------------------------	-----

## 2.2.2.延商

多濃味(新田米他延売等) ちたや新二	天保9年戌～天保12年丑	横長半・1冊<117丁墨>	198
仕切帳(米店) 青木米店	嘉永4年辛亥正月吉日	横長半・1冊<106丁墨>/ (小口つめかけ付)/ (貼紙多数)	178
多濃味(新田米他延売等) 青木自然(新四郎)	嘉永6年癸丑正月吉日	横長半・1冊<102丁墨>/ (小口つめかけ付)/ (貼紙多数)	199
多濃味(新田米他延売等) 青木新四郎	嘉永6年癸丑正月吉日	横長半・1冊<23丁墨>/ (小口貼紙付)	200

## 2.3.商方引替所

商方引替所出入通 知多屋新四郎	天保11年庚子12月吉日	横半列・1冊<7丁墨>	196
-----------------	--------------	-------------	-----

## 2.4.戸

知戸金銀出入帳(米金・正金等) 青木新四郎	天保10年己亥正月吉日(～安政5年)	横長半・1冊<104丁墨>	90
年々玉(内題「勘定 戸」) 知多屋新四郎	甲申～辛卯	横長半・1冊<211丁墨>	203



# 尾張国名古屋西陣町茜部家文書目録

---

尾張国名古屋西陣町茜部家文書目録本文細目次〔文書群の構造〕

---

<b>1. 茜部相嘉</b>	135
1.1. 著作	135
1.2. 編著	136
1.3. 地名等抜書本	137
1.4. 尾張国内他絵図	140
1.5. 諸国郷帳写	140
1.6. 蔵書	144
<b>2. 茜部厚海・頼敏・與利刀</b>	147
2.1. 茜部厚海	147
2.2. 茜部與利刀	147
2.3. 茜部頼敏	148

## 尾張国名古屋西陣町茜部家文書

文書群記号	36R・37A
文書群名	おわりのくに な ご や にしじんまちあかなべけもんじょ 尾張国名古屋西陣町茜部家文書
年代	延暦 23 年 (804)～明治 33 年 (1900)
数量	230 点
入手の経緯	1961 年度 (36R) 及び 1962 年度 (37A) に古書店から購入。

### 茜部家の歴史

茜部家は当初伊藤姓を名乗る尾張藩士の家柄で、切米 30 俵取であった。同家の歴史は、本文書群形成に大きな役割を果たす茜部相嘉に至るまでは、全く不明である。茜部相嘉は、寛政 7 年 (1795)、尾張藩士藤井六郎治豊泰の長男として生まれ、幼名鎌太郎、通称平太・平十郎・三十郎・伊藤五と称した。文政 1 年 (1818) 伊藤庄平祐寿の養子となり、同年 5 月伊藤家を相続した。嘉永 4 年 (1851)、先祖の出所が美濃国厚美郡茜部村であったことから茜部姓に改称、文久 3 年 (1863) 致仕後に介と称した。号は葬園、白須叟。

相嘉は、尾張藩士として文政 5 年 (1822) 養父の隠居により小普請組となり、以後、小性格、小納戸役、書院番役、大番役、清洲代官などを勤め、また江戸詰も経験した。一方で、相嘉は、尾張藩主第 12 代徳川斉温死去後の後任藩主をめぐり、支藩高須藩の世子慶勝を擁立し、目付田宮弥太郎らとともに金鉄党を結成するなどの政治的活動にも参画する。弘化 2 年 (1845) には尾張藩主徳川慶勝に海防建白書『防禦一卷』を上呈し、尾張藩の海防施策に採用されている。

相嘉は、尾張藩士として活躍する一方で、明倫堂教授鈴木臈・植松茂岳に国学を学び、また本居宣長に私淑するなど、尾張国学者としても活躍する。相嘉が学問上で特に、親交が深いのは植松で、彼の蔵書の貸借を通じ、交流を深めるとともに、海外情報などの知識を得ている。以上のように、相嘉は尾張藩役人としての政治的活動とともに文化的活動にも積極的である。相嘉には、本文書群所収の「槿拈論」「葬園雑記」「陸奥五十四僻論」など多数の著作があるが、特に、専門は古事記研究であり、「古事記補遺」「古事記伝追継考付録」などの研究書が多い。本文書群の成立には、かかる相嘉の経歴が大きく影響している。

慶応 2 年 (1866)、相嘉が 72 歳で死去すると、長子小五郎 (厚海) が 200 俵で家督を継ぐ。明治 2 年 (1869) の分限帳 (『新修名古屋市史資料編近世 I』所収) によれば、神祇副知事と中奥御番を勤める。また、相嘉には次男余三、孫與理刀がいる。他に頼敏という人物もあり、明治 43 年 (1910) に幕末勤王家の和歌を編纂した「大和魂」を著しているが、與理刀と同一人物かと推測されるが判然としない。相嘉以外の各人の履歴についての詳細は不明である。

なお、当館では本文書群を受入れ時のまとまりに従い、36R「諸国地誌」、37A「諸国郷帳」を別なものとして扱ってきたが、平成 8 年 (1996)、どちらも茜部家に伝来したことが確認されたため、両資料を一括して「尾張国名古屋西陣町茜部家文書」と改称した。

### 茜部家文書の構造と内容

本文書群は茜部相嘉の著作及び書写本、さらに子の小五郎 (厚海)、孫の與理刀と與利刀関係の蔵

書数点が伝存している。したがって、本文書群は、文書の作成・収集者である人物によって柱を立てるのが適切と考えられた。ただし、既述の通り、頼敏と與理刀とは同一人物と推測されるなど判然としないため、1. 茜部相嘉、2. 茜部厚海・與理刀・頼敏とした。

## 1. 茜部相嘉

本文書群は件数 227 件、対象年代は上限が延暦 23 年（804）、下限が明治 18 年（1885）である。その大半は茜部相嘉に関わる書物であるが、中でも、諸国郷帳や地名の抜書き本など、地誌的な書物が多い。かかる資料群形成の背景としては、国学者である相嘉の学問的関心が大きい、さらに、相嘉の在世時、尾張藩では『尾張志』（天保 3 年〈1832〉）、『尾張名所図絵』（天保 12 年〈1841〉）の刊行、嘉永 1 年（1848）には、地誌編纂のため領内から村絵図を提出させるなど、一大文化事業として地誌関連事業が盛んに行われており、かかる文化的土壌が影響したことも考えられる。

1.1. 著作は件数 20 件、対象年代は上限が天保 12 年（1841）2 月、下限が天保 13 年（1842）2 月である。相嘉の著作の詳細は、後掲表を参照されたいが「延喜式物名類聚」「雅言集」「古事記伝追継考録」など 13 種である。この内、「七道説」「葬園雑記」「槿桔論」の 3 種類が当館所蔵となる。特に「七道説」「葬園雑記」「槿桔論」は草稿本、清書があり、著作の成立過程を伺うことができる。なお、「葬園雑記」所収の「陸奥五十四僻論」は、後掲の「諸国郷帳」収集の成果に依拠していることから明らかなように、相嘉の著作と、地名調べは相互に関連したものである。

1.2. 編著は件数 28 件、対象年代は不明である。尾張、難波、美濃、信濃、越後、摂津、大和国などの旧地名を考証したものである。「大日本惣国擬風土記草稿」（No. 16）、「地理誌」（No. 18）などもここに収めた。

1.3. 地名等抜書本は件数が 46 件、対象年代は年代が判明するものに限られるが天保 12 年（1841）のものがある。万葉集や日本紀、源氏物語などの古典や、諸国の地名や和語を抜書したものが中心である。これは勿論、相嘉の国学者的関心に基づく、地名や和語の考証より成立したものであり、その成果は 1.1. 著作や 1.2. 編著に反映されている。

1.4. 尾張国内他絵図は件数 11 件、対象年代は不明である。「葬園翁旧地名考按図」との上書のある封筒に一括して保管されており、その表題より既述の各国地名考に関連する絵図類であることが明らかである。内容は、尾張国内の部分図 5 枚、木曾・長良川辺の絵図 2 枚、奥羽・出羽・越後・蝦夷辺り絵図 3 枚、伊豆半島周辺沿岸の絵図 1 枚の計 11 枚で、一部、彩色である。

1.5. 諸国郷帳写は件数 62 件、対象年代は上限が寛文 7 年（1667）、下限が元禄 15 年（1702）である。ただし、対象年代は郷帳の原本が作成された年代であり、のちに相嘉が書写したものであることはいうまでもない。内容は、全国 68 か国の郷帳の書写本で、目録 1 冊、武蔵国 4 冊、陸奥国 5 冊、若狭国・越前国・越中国・越後国・阿波国各 2 冊の計 60 冊から成る。大和国郷帳のみ寛文 7 年で、残り元禄郷帳である。地名の書上げのみで石高記載を欠くものも多い。これらの諸国郷帳写は、相嘉が、文政年間頃（1818～1830）江戸在番中に、武家間のネットワークを通じ、幕府の勘定所保管の元禄郷帳を閲覧・書写したものを底本とし、諸書類・諸本を校合した上で作成したものである。相嘉が参考にした諸本は、郷帳内の書入れから、姓氏録・古今物語・東鑑・神風抄・和名・本国帳（尾張国）・三代実録・伊豆国神階帳・風土記（常陸）・常陸国誌・太平記・保元物語・神明帳・神代記・神武記・盛衰記・続記・義経記・霊異記・風土記（豊後）などであることが判明する。ここには、相嘉が小納戸役勤務の際、藩主の蔵書を筆写したものもある。なお、全国の石高をまとめた「国郡高帳全」（No.

45) も収めた。

1.6. 蔵書は件数 60 件、対象年代は上限が延暦 23 年 (804)、下限が明治 18 年 (1885) である。ここには、相嘉の学問的関心より書写した写本類や、収集した版本などを収めた。三代実録・伊豆国神階帳・風土記 (常陸)・常陸国誌など 1.5. 諸国郷帳写を作成した際に、参考にしたものも含まれている。

## **2. 茜部厚海・頼敏・與利刀**

本文書群の件数は 3 件、対象年代は年代のわかるものは明治 33 年 (1900) 3 月 18 日である。2.1. は明治 23 年 (1890) 年茜部相嘉厚海が書写した「書博士伝年中行事頭書」(No. 168)、2.2. は明治期に茜部與利刀宛に進呈された細井平洲著「松島紀行」(明治 33 年〈1900〉刊、No. 30)、2.3. は明治 43 年 (1910) 茜部頼敏が幕末勤王家の和歌を編纂した「大和魂」(No. 158) である。

## **茜部家文書の整理方針**

茜部家文書は、昭和 36 年 (1961) 度と昭和 37 年 (1962) 度に古書店より文部省史料館が受け入れ、文書群記号 36R・37A を与え、これまで仮整理のまま閲覧に供してきたものである。今回、目録刊行にあたってはこの仮整理の史料配列順にしたがい、これまでの仮番号を生かしながら、文書個々に整理番号を与えた。ただし、これまでは、36R・37A、それぞれ別個に整理番号が付けられていたものを、今回、改めて目録を作成するにあたり、統合し番号を付与した。なお、仮整理の時の旧番号は、これを示さなかったが、管理情報としては旧番号を残しているのでもリファレンスなどの対応は可能である。

**史料状態** 一部、フケの進行が著しいものがある。

**検索手段** 本目録 (国文学研究資料館調査収集事業部『史料目録』第 92 集)

**複製の存在** とくにない。

**関連史料** 他に存在しないと思われる。

## **出版物**

本文書群の基本的性格や茜部家の来歴等については、福田千鶴「尾張藩士茜部相嘉と『諸国郷帳』の成立—史料論覚書、その一—」(『史料館研究紀要』No. 26、1995 年) が参考となる。その他、本文書群所収の国絵図を分析したものに、横田冬彦「元禄郷帳と国絵図—丹波国を中心として—」(『文化学年報』No. 4、1985 年)、渡部淳「元禄郷帳徴収について」(『海南史学』No. 24、1986 年) がある。

**記述日** 2010 年 12 月 10 日 (担当種村威史)

表 茜部相嘉著作

No.	書名	著者	成立年代	数量	所蔵機関
1	延喜式物名類聚	茜部相嘉／山科元幹		2冊	大阪府
2	雅言集	茜部相嘉			(「国学者伝記集成」による)
3	槿拈論	茜部相嘉	天保12年	1冊	国文学研究資料館、東北大学狩野文庫 (「桔梗考」の内、茶図竹柏(自筆))
4	古事記伝追継考付録	茜部相嘉	安政6年	1巻	無窮神習(玉簾266)、相模女子大学図書館
5	古事記伝補遺	茜部相嘉			(「国学者伝記集成」による)
6	古事記補遺	茜部相嘉			名古屋鶴舞図書館
7	七道説	茜部相嘉			国文学研究資料館
8	葬園雑記	茜部相嘉			国文学研究資料館
9	高橋氏文考疑	茜部相嘉	安政6年		宣長記念館
10	日本紀補遺	茜部相嘉			(「国学者伝記集成」による)
11	封物御尋且御答之一巻	茜部相嘉	安政5年		名古屋鶴舞図書館
12	水内神社続考	茜部相嘉			名古屋鶴舞図書館
13	和名抄国郡類字集	茜部相嘉			宮内書陵部(大勢古万蔵写)
14	陸奥五十四僻論	茜部相嘉			国文学研究資料館

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
<b>1. 茜部相嘉</b>			
<b>1.1. 著作</b>			
槿桔論 藤原(茜部)相嘉	天保12年2月	美・1冊<11丁墨>/ (改装表紙)/(題箋あり)	176
槿桔論(内題「槿桔論 草稿」) 藤原(茜部)相嘉	天保13年2月	美・1冊<17丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(丁間史料あり)	160
槿桔論 藤原(茜部)相嘉	天保13年2月	美・1冊<14丁墨>/ (改装表紙)/(題箋あり)	177
七道説附録(内題「七道説附録・延喜式七道駅次」「七道説附録・国郡廃置沿革」) (茜部相嘉)		半・1冊<64丁墨>/ (改装表紙)/(朱の書入あり)	1-1
七道説附録草稿(延木式七道駅次・国郡廃置沿革、内題「延喜式七道駅次」「郡廃置」) (茜部相嘉)		半・1冊<53丁墨>/ (改装表紙)/(一部青色罫紙)	1-2
七道説草稿(内題「七道説原稿」「八道説」「畿内七道説」等合綴) (茜部相嘉)		美・1冊<86丁墨>/ (改装表紙)/(貼紙あり)/(朱書入あり)	2-1
七道説(内題「七道説」) (茜部相嘉)		美・1冊<38丁墨>/ (改装表紙)/(丁間史料1通あり)	2-2
七道説完(内題「七道説」) (茜部相嘉)		美・1冊<37丁墨>/ (改装表紙)	3-1
七道説附録(内題「七道説附録」「国郡廃置沿革」) (茜部相嘉)		美・1冊<61丁墨>/ (改装表紙)	3-2
薺園雑記原稿(内題「薺園雑記原稿参照本」) (茜部相嘉)		半・1冊<69丁墨>/ (改装表紙)/(貼紙あり)/(朱書あり)	4-1
薺園雑記草稿一(内題「草稿上」) (茜部相嘉)		半・1冊<28丁墨>/ (改装表紙)/(朱書あり)	4-2
薺園雑記一(内題「薺園雑記草稿一」) (茜部相嘉)		半・1冊<32丁墨>/ (改装表紙)/(貼紙・朱書あり)	5-1
薺園雑記二(内題「薺園雑記第二」) (茜部相嘉)		半・1冊<17丁墨>/ (改装表紙)/(貼紙あり)	5-2
薺園雑記三(内題「薺園雑記原稿三」) (茜部相嘉)		半・1冊<46丁墨>/ (改装表紙)/(青色・黒色罫紙)/(貼紙あり)	5-3
薺園雑記四(「陸奥五十四郡僻論」「僻儒教戒」合綴、内題「陸奥五十四郡僻論」「僻儒教戒」) (茜部相嘉)		半・1冊<20丁墨>/ (改装表紙)	5-4
薺園雑記上(浄書本、内題「薺園雑記第一巻」) (茜部相嘉)		美・1冊<28丁墨>/ (改装表紙)	6-1
薺園雑記中(浄書本、内題「薺園雑記第二巻」) (茜部相嘉)		美・1冊<40丁墨>/ (改装表紙)	6-2
薺園雑記下(浄書本、内題「薺園雑記第三巻」) (茜部相嘉)		美・1冊<39丁墨>/ (改装表紙)	6-3
陸奥五十四郡僻論原稿(内題「陸奥五十四郡僻論」「陸奥五十四郡説附一二条」) 薺園(茜部相嘉)		半・1冊<46丁墨>/ (青色罫紙)/(上部欠損)/(貼紙あり)	51

古今人名考 尾張世臣茜部相嘉述		美・1冊<26丁墨>/ (題箋あり)/(改装表紙)	180
-----------------	--	------------------------------	-----

## 1.2. 編著

尾張国旧地考 (茜部相嘉)		美・1冊<119丁墨>/ (改装表紙)	9
摂津国旧地考 (茜部相嘉)		美・1冊<28丁墨>/ (改装表紙)	11
美濃国旧地略考 (茜部相嘉)		美・1冊<35丁墨>/ (改装表紙)	12
尾張国旧地考按図 (茜部相嘉)		117.7×74.4cm・1 枚/(畳み物、改装 表紙付)/(彩色)/ (郡境訂正の貼紙 あり)	13-1
尾張国旧地考按図 (茜部相嘉)		123.0×118.5cm・1 枚/(畳み物、改装 表紙付)/(彩色)	13-2
尾張国旧地考按図 (茜部相嘉)		106.0×77.0cm・1 枚/(畳み物、改装 表紙付)/(彩色)	13-3
大日本惣国擬風土記草稿 (茜部相嘉)		半・1冊<222丁墨>/ (改装表紙)/(一 部黒色罫紙)	16
摂津国旧地考(内題「摂津国旧地考」) (茜部相嘉)		半・1冊<24丁墨>/ (改装表紙)	17
地理誌 (茜部相嘉)		半・1冊<77丁墨>/ (改装表紙)/(一 部黒色罫紙)	18
美濃国旧地略考 (茜部相嘉)		半・1冊<34丁墨>/ (改装表紙)	19
信濃国旧地略考草稿(内題「信濃国旧地略考上代」) (茜部相嘉)		半・1冊<31丁墨>/ (書入本)/(改装 表紙)	20
美濃国三郡羽栗・中島・海西邑名記(内題「美濃国三郡 邑名記」) (茜部相嘉)		半・1冊<12丁墨>/ (改装表紙)/(書 入本)	21
尾張国愛智・春日井両郡郷帳(内題「愛智郡郷帳・春日 井郡郷帳」) (茜部相嘉)		半・1冊/(改装表 紙)<27丁墨>/(朱 書あり)	24
尾張村名類字部類 付丹羽郡内人口数(「清須旧支配 所丹波郡内村名」「尾州村名類字部類」合綴) (茜部 相嘉)		半・1冊<30丁墨>/ (改装表紙)/(貼 紙あり)/(朱書あ り)	25
信濃国旧地略考(内題「信濃国旧地略考全」) (蔵書印 「造幣館蔵書」)		半・1冊/(改装表 紙)<41丁墨>	26
信濃国旧地略考(内題「信濃国旧地略考目次」「信濃国 旧地略考」) (茜部相嘉)		美・1冊<38丁墨>/ (改装表紙)	35
越後国旧地略考(内題「越後国旧地略考」「越後国旧地 略考」) (茜部相嘉)		美・1冊<21丁墨>/ (改装表紙)	36
勢尾間海説附海道沿革論(内題「勢尾間海説全 附海 道沿革論」) (茜部相嘉)		美・1冊<9丁墨>	39
摂津国旧地考草稿(内題「摂津国旧地考」) (茜部相嘉)		半・1冊<29丁墨>/ (改装表紙)/(虫 損あり)	42
勢尾間海説草稿 附海道沿革論(内題「勢尾間海説 附海道沿革論」) (茜部相嘉)		半・1冊<10丁墨>/ (改装表紙)/(一 部黒色罫紙)	43

大和国旧地考(内題「大倭国地名上」) (茜部相嘉)		半・1冊<90丁墨>/ (改装表紙)/(貼紙あり)/(虫損あり)	44
美濃国旧地略考草稿 (茜部相嘉)		半・1冊<48丁墨>/ (改装表紙)/(一部黒色罫紙)/(虫損あり)	46
尾張国旧地考(内題「尾張国旧地考」) (茜部相嘉)		半・1冊<110丁墨>/ (郡別毎小口付)	53-1
尾張国旧地考草稿 (茜部相嘉)		半・1冊<92丁墨>/ (改装表紙)/(朱書あり)	53-2
越後国旧地略考 (茜部相嘉)		半・1冊<19丁墨>/ (改装表紙)/(一部青色・黒色罫紙)	54-1
越後国旧地略考草稿(内題「越後国旧地略考」) (茜部相嘉)		半・1冊<33丁墨>/ (改装表紙)/(一部青色・黒色罫紙)	54-2
尾張国旧地考材料(内題「尾張旧地考追加」「尾張国旧地名考校考美濃国十八郡邑名拔萃」「管内邑名録」合綴) (茜部相嘉)		半・1冊<106丁墨>/ (改装表紙)/(一部青色罫紙)/(朱書あり)	55
(北陸道道程) (茜部相嘉)		半・1冊<9丁墨>	56

### 1.3.地名等拔書本

朝顔の説桔梗考・松乃落葉拔書・千草の根おし拔書・埃囊抄拔書・槿桔論(内題「朝顔の説・桔梗考・松乃落葉拔書・千草の根おし同・埃囊抄同・槿桔論」) 藤原(茜部)相嘉	<槿桔論>天保12年2月	半・1冊<23丁墨>/ (改装表紙)/(22丁目の袋の中・間史料あり)/(朱書あり)	159
大倭物語拔萃(内題「大倭物語拔書」) (茜部相嘉)	辛丑9月16日終切	半・1冊<12丁墨>/ (下小口「大和拔萃」)	131
続日本後紀拔萃(内題「続日本後紀拔萃」) (茜部相嘉)	寅3月写畢	半・1冊<52丁墨>/ (改装表紙)/(下小口「続日本後紀拔萃」)/(書入本)	118
写本日本後紀地名抜抄(内題「写本日本後紀地名抄」) (茜部相嘉)	未正月18日	半・1冊<18丁墨>/ (改装表紙)/(下小口「日本後紀地名」)	117
夫木集拔書(内題「夫木集拔書 七八九十」「夫木集第廿九拔書」「夫木集第卅二」「夫木摘葉抄 廿七之八 自獸虫魚之部至草部」) (茜部相嘉)	(11月9日夜起)	半・1冊<87丁墨>/ (改装表紙)/(表紙「市岡和雄書拔之」)/(書入本)/(虫損甚大)	107
宇都保物語書拔(内題「宇津保物語書拔 壺」「宇都保物語拔書 式」「空穂物語摘要 三」) (茜部相嘉)		半・1冊<87丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(小口見出し墨)	106
後撰和歌集抜抄(内題「後撰和歌集卷第四」「後撰和歌集卷第一」) (茜部相嘉)		半・1冊<22丁墨>/ (改装表紙)/(小口見出し墨)	108
枕草子拔萃(内題「枕草子」) (茜部相嘉)		半・1冊<44丁墨>/ (改装表紙)	109
万葉集地名抄(内題「万葉集地名拔書」) (茜部相嘉)		半・1冊<125丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(虫損甚大)/(丁間史料あり)	110
万葉集拔萃(内題「萬葉集」) (茜部相嘉)		半・1冊<22丁墨>/ (改装表紙)	111
万葉集聞書(内題「万葉集聞書第三」) (茜部相嘉)		半・1冊<25丁墨>/ (改装表紙)/(一部黒色罫紙)	112-1

西陣町茜部家文書 1. 茜部相嘉/3. 地名等拔書本

万葉集聞書(内題「萬葉集聞書 第三」「万葉四」「萬葉五卷」「萬葉六聞書」「萬葉集七聞書写」「万葉九」「萬葉十」「第十一」「自十五」)(茜部相嘉)	半・1冊<173丁墨>/ (一部黒色罫紙)/ (丁間史料あり)	112-2
日本紀地名抄 上共ニ 自神代至武烈天皇(内題「日本紀地名 上 自神代至武烈天皇」)(茜部相嘉)	半・1冊<78丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	113-1
日本紀地名抄 下共ニ 自継體天皇至持統天皇(内題「日本紀地名 下 自継體天皇至持統天皇」)(茜部相嘉)	半・1冊<60丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	113-2
日本紀拔萃(内題「日本紀拔萃」)(茜部相嘉)	半・1冊<28丁墨>/ (改裝表紙)/(虫損甚大)	114
続日本紀地名抄(内題「続紀地名」)(茜部相嘉)	半・1冊<116丁墨>/ (貼紙あり)/(朱書あり)/(書入本)/(虫損甚大)	115
日本後紀拔萃(内題「日本後紀拔鈔」)(茜部相嘉)	半・1冊<37丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	116
文徳実録拔萃(内題「文徳実録拔萃」)(茜部相嘉)	半・1冊<29丁墨>/ (改裝表紙)	119
三代実録地名抄(内題「三代実録地名抄」)(茜部相嘉)	半・1冊<83丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)/(虫損甚大)/ (丁間史料あり)	120
延書式拔萃附六国史廃置駅家(厩牧令驛傳馬 年新別貢雑物 年新雑器 交易雑物 雑式 民部式 主計式 主税式 兵部式驛次、内題「延喜式書拔 厩牧令驛傳馬 年新別貢雑物 年新雑器 交易雑物 雑式 民部式 主計式 主税式」)(茜部相嘉)	半・1冊<66丁墨>/ (一部黒色罫紙)/ (改裝表紙)/(書入本)	121
延喜式地名抄上(内題「延喜式地名抄上」)(茜部相嘉)	半・1冊<73丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)/(丁間史料あり)	122-1
延喜式地名抄下(内題「延喜式地名下拔萃」)(茜部相嘉)	半・1冊<23丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)/(虫損甚大)/ (丁間史料あり)	122-2
源氏物語集聞書(内題「ははき木聞書」「記(桐壺の更衣聞書)」)(茜部相嘉)	半・1冊<31丁墨>/ (虫損甚大)	123
古今集拔萃(内題「古今集拔書」)(茜部相嘉)	半・1冊<36丁墨>/ (虫損甚大)	124
蜻蛉日記摘要附地名(内題「蜻蛉日記摘要附地名」)(茜部相嘉)	半・1冊<23丁墨>/ (書入本)	125
靈異記拔萃(内題「靈異記上中下書拔」)(茜部相嘉)	半・1冊<48丁墨>/ (虫損甚大)/(丁間史料あり)	126
保元平治物語拔萃(内題「保元平治物語拔抄」「太平記」)(茜部相嘉)	半・1冊<21丁墨>/ (一部黒色罫紙)/ (改裝表紙)/(書入本)	127
源平盛衰記書拔(内題「源平盛衰記拔書 波平 犬山 焼将他」)(茜部相嘉)	半・1冊<59丁墨>/ (改裝表紙)/(虫損甚大)	128
平家物語地名書拔 (茜部相嘉)	半・1冊<12丁墨>/ (虫損甚大)	129
朝野群載拔萃(内題「朝野群載書拔」)(茜部相嘉)	半・1冊<40丁墨>	130
拾遺集・金葉集拔萃(内題「拾遺集 金葉集拔萃」)(茜部相嘉)	半・1冊<32丁墨>/ (合冊)/(金葉集の 抜書一紙同封)/ (書入本)	132

桂園一枝拾遺書抜(内題「桂園一枝拾遺書抜」)(茜部相嘉)	半・1冊<21丁墨>	133
勝地吐懷編抜萃(内題「勝地吐懷編上下巻抜萃」)(茜部相嘉)	半・1冊<22丁墨>	134
抜萃(比古婆衣目録・同抜萃・猷動植各彙引書目・尔雅木槿注疏・安斉随筆書抜一条・張州府志目録・同抜萃・本国神名帳書抜・内題「比古婆衣目録 同書抜 動植各彙引書目 尔雅木槿注疏 安斉随筆書抜一条」)(茜部相嘉)	半・1冊<31丁墨>/ (一部青色罫紙)/ (書入本)/(丁間史料あり)	135
諸説抜萃(俚歌童謡変遷・俘因説・芭蕉説・越州説・倭奴国・言語変遷・古来姓名転化・皇国学・内題「俚歌童謡変遷 俘因説 越州之説 倭奴国考 言語変遷 古来姓名転化 我国古書ヨリ学習スル説」)(茜部相嘉)	半・1冊<38丁墨>/ (青色罫紙)	136
円珠庵雑記 冠辞考抜萃(内題「円珠庵雑記」「冠辞考抄出 地名部愚説書入」)(茜部相嘉)	半・1冊<25丁墨>/ (一部黒色罫紙)/ (書入本)	137
諸記録(「内題「鳥居甲斐初申渡書・大塩平八郎触書・唐国騷擾風聞具陳書・越後騷動記録・小事箴・鼠小僧初申渡書・出石侯内乱記事・天変録・大久保武蔵鑑別編・浜松風聞書 崎陽茶話 邪教始末」)(茜部相嘉)	半・1冊<193丁墨>/ (虫損甚大)/(丁間史料あり)	139
抜萃及聞書(内題「塵俗抜萃 六條三葉」)(茜部相嘉)	半・1冊<118丁墨>/ (改装表紙)/(一部黒色・茶色罫紙あり)/(丁間史料あり)/(書入本)	142
抜萃(慕景集・橘為仲朝臣家集・藤原綱朝臣家集・源実朝家集・津守國基集・東大寺奴婢籍帳・百練抄・判官物語・宇治拾遺物語・源氏物語(桐壺・帚木)・古事談・東北院職人歌合・円光大師伝・内題「慕景集一条・橘為仲朝臣家集・藤原綱朝臣家集・源実朝家集・津守國基集・東大寺奴婢籍・百練抄・判官物語書抜他」)(茜部相嘉)	半・1冊<57丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)	144
伊勢物語・土佐日記・更級日記地名抜抄(内題「伊勢物語地名・土佐日記地名・更級日記摘要」)(茜部相嘉)	半・1冊<25丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)	145
赤染衛門集・相摸集・伊勢物語・医心法抜萃(内題「赤染衛門集・相摸集・伊勢物語・医心法」「砂石集・太平記・赤染衛門集・相模集・徒然草」)(茜部相嘉)	半・1冊<31丁墨>/ (合綴)/(一部青色罫紙)/(書入本)	146
倭姫世記・藤原長能集・続詞花集・藤川の記・陸奥話記・長門本平家物語・紫式部日記・拾遺抄・善光寺記行・将門記・曾我物語抜萃(内題「倭姫命世記地名・紫式部日記・藤原長能集・拾遺抄・続詞花集・善光寺紀行地名・藤川の記地名・将門記・陸奥話記・曾我物語地名・長門本平家物語」)(茜部相嘉)	半・1冊<51丁墨>/ (朱書あり)	147
性靈集・太平記・朝野群載・塏囊抄・尾張国解・多賀城碑・長崎小倉より陸行程・木曾路名所古歌・玉露叢・元亨尺書(内題「性靈集狸毛筆・太平記大田文・朝野群載申改路次(他9冊)」)(茜部相嘉)	半・1冊<19丁墨>/ (一部青色罫紙)/ (貼紙あり)/(書入本)	148
姓氏録・三代格・日本紀略・十六夜日記(他27冊)抜萃(内題「姓氏録・信明集・紫式部集(他28冊)」)(茜部相嘉)	半・1冊<36丁墨>/ (改装表紙)	149
東鑑抜書(内題「東鑑抜書 第一地名 第二人名 第三雑事」)	半・1冊<94丁墨>/ (改装表紙)	151
舜園相嘉翁詠草(内題「膽淳之礪羊蹄延以佐宇」) 舜園(茜部相嘉)	半・1冊<23丁墨>/ (改装表紙)/(丁間史料あり)	152

## 1.4. 尾張国内他絵図

(中嶋郡・尾張国分寺周辺図) (茜部相嘉)		79.0×55.6cm・1枚 / (No.52封筒一括) / (No.52の封筒上書「蘇園翁旧地名考按図」)	52-1
(中嶋郡・一ノ宮周辺図) (茜部相嘉)		56.5×39.8cm・1枚 / (No.52封筒一括)	52-2
(木曾・長良・揖斐川河口周辺図) (茜部相嘉)		58.7×51.3cm・1枚 / (No.52封筒一括)	52-3
(愛知郡・名古屋周辺図) (茜部相嘉)		40.1×28.3cm・1枚 / (No.52封筒一括)	52-4
(愛知郡部分図) (茜部相嘉)		28.0×40.0cm・1枚 / (No.52封筒一括)	52-5
(愛知郡・庄内川並びに新川河口周辺彩色絵図) (茜部相嘉)		40.4×27.9cm・1枚 / (No.52封筒一括)	52-6
(奥州・出羽・越後・蝦夷国境周辺彩色絵図) (茜部相嘉)		41.8×30.5cm・1枚 / (No.52封筒一括)	52-7
(奥州・出羽・越後・蝦夷国境周辺朱引絵図) (茜部相嘉)		40.0×28.2cm・1枚 / (No.52封筒一括)	52-8
(伊豆半島周辺沿岸彩色絵図) (茜部相嘉)		42.3×30.6cm・1枚 / (No.52封筒一括)	52-9
(木曾川・長良川中州周辺朱引絵図) (茜部相嘉)		40.5×29.0cm・1枚 / (No.52封筒一括)	52-10
(奥羽越後国境朱引絵図) (茜部相嘉)		39.9×28.5cm・1枚 / (No.52封筒一括)	52-11

## 1.5. 諸国郷帳写

郷帳目録 二(内題「郷帳目録」)		半・1冊<22丁墨>/ (書入本)	105
郷帳 山城(内題「壱 畿内山城国 第一」) 石川主殿頭	元禄13年庚辰11月	半・1冊<141丁墨>/ (改装表紙)/(訂正の貼紙あり)/ (書入本)	57
郷帳 第二 大和 畿内四冊之内(内題「大和国郷帳」) (奥書)「寛文七年丁未二月吉日初瀬村柳原町源一郎(印)/ 為末代也云云/木岡家久」/(蔵書印)	寛文7年丁未2月吉日	半・1冊<141丁墨>/ (改装表紙)/(23丁目と24丁目の間に丁間史料あり)	58
郷帳 第三 河内 和泉 畿内四冊之内(内題「参 河内 第三 和泉 第四」、「亥七月廿七日校正」「亥 七月廿七日校正」) <和泉>岡部美濃守 <河内>井上大 和守・安藤筑後守・松前伊豆守・久貝因幡守	<河内>元禄15年壬午4月 <和泉>3月	半・1冊<84丁墨>/ (合冊)/(改装表紙)	59
郷帳 第四 接(攝)津 畿内四冊之内(内題「四 畿 内 接(撰)津 第五」) 青山播磨守・永井豊熊・九鬼大 和守/(奥朱書)「子二月廿六日校正」	元禄15年壬午2月	半・1冊<86丁墨>/ (改装表紙)	60
郷帳 第五 伊賀 伊勢 東海道十五冊之内(内題 「東海道 壱 弍 伊賀六 伊勢七」) <伊勢>松平 越中守・板倉周防守 <伊賀>藤堂和泉守	<伊賀>元禄13年庚辰7月 <伊勢>12月	半・1冊<131丁墨>/ (改装表紙)/(朱書入)	61
郷帳 第六 志摩 尾張 東海道十五冊之内(内題 「東海道 三 四 志摩国 尾張国」) <志摩>松平 源次郎	<志摩>元禄13庚辰年9月 <尾張>元禄14辛巳11月	半・1冊<85丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)	62
郷帳 第七 三河 東海道十五冊之内(内題「東海道 五 三河国」) 水野監物・土井式部少輔	元禄14年辛巳2月	半・1冊<125丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	63
郷帳 第八 遠江 東海道十五冊之内(内題「東海道 六 遠江国 第拾壱」) 青山下野守・西尾隠岐守	元禄15年壬午12月	半・1冊<197丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	64

郷帳 第九 駿河 東海道十五冊之内(内題「諸国邑名志 東海道 七 駿河国 拾式」) 太田摂津守・井伊兵部少輔	元禄15年壬午12月	半・1冊<83丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	65
郷帳 第十 甲斐 東海道十五冊之内(内題「東海道第八 甲斐国郷帳 山梨 八代 都留 巨麻」)	元禄15年壬午12月	半・1冊<103丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(丁間史料1通)/(虫損甚大)	66
郷帳 第十一 伊豆 東海道十五冊之内(内題「諸国邑名誌卷 東海道 八 伊豆国 十三 凡式百八拾五邑」) 井上大和守・安藤筑後守・松前伊豆守・久貝因幡守/(奥書)「文政戊午十一月十九日以伊豆志校左傍ニ加仮名畢右之仮名本来所有也」	元禄15年壬午7月	半・1冊<37丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(虫損甚大)/ (虫損破片入封筒あり)	67
郷帳 第十二 相模 東海道十五冊之内(内題「東海道 十 相模 第十五」) 井上大和守・安藤築後守(筑後守)・松前伊豆守・久貝因幡守	元禄15年壬午	半・1冊<97丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(虫損あり)/ (虫損破片入封筒あり)	68
郷帳 第十三 武蔵 上四冊之内 東海道十五冊之内(内題「武蔵国 壺 共三 豊島郡 往原郡 橘樹郡 久良岐郡 都筑郡 多磨郡 新座郡」) (井上大和守・安藤筑後守・松前伊豆守・久貝因幡守)	(元禄15年壬午11月)	半・1冊<80丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	69-1
郷帳 第十四 武蔵 中ノ一四冊之内 東海道十五冊之内(内題「武蔵国 式 共三 入間 高麗 秩父 男衾 大里 比企 横見 足立」) (井上大和守・安藤筑後守・松前伊豆守・久貝因幡守)	(元禄15年壬午11月)	半・1冊<89丁墨>/ (改装表紙)(虫損甚大)	69-2
郷帳 第十五 武蔵 中ノ二四冊之内 東海道十五冊之内(内題「武蔵国郷帳式 共三 入間郡 高麗 秩父 男衾 大里 比企 横見 足立」) (井上大和守・安藤筑後守・松前伊豆守・久貝因幡守)	(元禄15年壬午11月)	半・1冊<119丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	69-3
郷帳 第十六 武蔵 下四冊之内 東海道十五冊之内(内題「東海道 武蔵国 三 共三 葛飾 埼玉 幡羅 榛澤 那賀 児玉 賀美」) 井上大和守・安藤筑後守・松前伊豆守・久貝因幡守/(奥書)「亥八月十九日校正」	元禄15年壬午11月	半・1冊<77丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	69-4
郷帳 第十七 安房 上総 東海道十五冊之内(内題「東海道 安房国 上総国」) <安房国・上総国>井上大和守・安藤筑後守・松前伊豆守・久貝因幡守	<安房>元禄14年辛巳2月 <上総>元禄15年壬午11月	半・1冊<73丁墨>/ (改装表紙)/(合冊)/(書入本)	70
郷帳 第十八 下総 東海道十五冊之内(内題「東海道 下総 第十九 葛飾 猿嶋 結城 豊田 岡田 相馬 千葉 印幡 埴生 香取 匝瑳 海上」) 牧野備前守・松平伊豆守	元禄15年壬午11月	半・1冊<115丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	71
郷帳 第十九 常陸 東海道十五冊之内(内題「東海道 常陸国 千六百七拾七ヶ村」)		半・1冊<73丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	72
郷帳 第廿 近江 東山道十三冊之内(内題「東山道 近江国 廿壺」) 井伊掃部頭・本多隠岐守・鳥居播磨守(播磨守)		半・1冊<148丁墨>/ (改装表紙)/(改装表紙)/(書入本)	73
郷帳 第廿一 美濃 東山道十三冊之内(内題「東山道 美濃国」) 戸田采女正・松平丹波守	元禄14年辛巳12月	半・1冊<80丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)	74
郷帳 第廿二 飛騨 東山道十三冊之内(内題「東山道 飛騨国 廿三」) 伊奈半左衛門	元禄14年辛巳9月	半・1冊<36丁墨>/ (書入本)/(改装表紙)	75
郷帳 第廿三 信濃 東山道十三冊之内(内題「東山道 信濃国 廿四」) 真田伊豆守・水野隼人正・仙石越前守・松平遠江守	元禄15年壬午12月	半・1冊<143丁墨>/ (改装表紙)/(虫損甚大)	76
郷帳 第廿四 上野 東山道十三冊之内(内題「東山道 五 上野国郷帳」) 酒井雅楽頭	元禄15年壬午12月	半・1冊<159丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(一部史料)/(丁間史料あり)	77

西陣町茜部家文書 1. 茜部相嘉/5. 諸国郷帳写

郷帳 第廿五 下野 東山道十三冊之内(内題「東山道 下野国 第廿六」) 阿部対馬守	元禄14年辛巳7月	半・1冊<196丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)	78
郷帳 第廿六 陸奥 甲五冊之内 東山道十三冊之内(内題「陸奥国 𡵽 白河郡 石川郡 岩瀬郡 田村郡 安達郡 安積郡 津輕郡」) <白河郡他>松平大和守外2名 <津輕領>津輕越中守	<津輕領>元禄14辛巳年11月 <白河郡他>元禄15壬午年12月	半・1冊<70丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)	79-1
郷帳 第廿七 陸奥 乙五冊之内 東山道十三冊之内(内題「東山道 陸奥国 式 会津領 会津郡 大沼郡 耶麻郡 河沼郡 福島領 信夫郡 伊達郡」) <会津領>松平肥後守 <福島領>堀田伊豆守	<福島領>元禄13年庚辰5月 <会津領>元禄13庚辰年8月	半・1冊<99丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)	79-2
郷帳 第廿八 陸奥 丙五冊之内 東山道十三冊之内(内題「陸奥国 三 菊多 白川 磐前 磐城 檜葉 標葉 行方 宇多」)		半・1冊<134丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)	79-3
郷帳 第廿九 陸奥 丁五冊之内 東山道十三冊之内(内題「陸奥国 四 仙台領式拾𡵽郡 刈田 柴田 伊具 宇多 亙理 名取 宮城 黒川 賀美 玉造 志田 遠田 栗原 登米 牡鹿 桃生 本吉 気仙 磐井 胆沢 江刺」) 松平陸奥守	元禄12年己卯8月	半・1冊<82丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)	79-4
郷帳 第三十 陸奥 戊五冊之内 東山道十三冊之内(内題「陸奥国 五終 南部領拾郡 和賀 稗貫 紫浪 岩手 鹿角 閉伊 九戸 二戸 三戸 北」)		半・1冊<98丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)	79-5
郷帳 第三十一 出羽 上二冊之内 東山道十三冊之内(内題「式冊之内上 出羽国 山形領 庄内領」) 酒井左衛門尉	元禄13年庚辰8月	半・1冊<98丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)	80-1
郷帳 第三十二 出羽 下二冊之内 東山道十三冊之内(内題「式冊之内下 出羽国 秋田領 米沢領 新庄領」) <秋田>佐竹右京大夫 <米沢>上杉弾正大弼 <新庄>戸沢上総介	<秋田>元禄15壬午歳12月 <米沢>元禄13庚辰年3月4日 <新庄>元禄13庚辰年3月	半・1冊<114丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)	80-2
郷帳 第三十三 若狹 越前 上二冊之内 北陸道八冊之内(内題「北陸道 𡵽式 若狹国 越前国」) (松平兵部大輔)	(元禄14年辛巳8月)	半・1冊<80丁墨>/ (改裝表紙)/(丁間史料あり)/(書入本)	81-1
郷帳 第三十四 若狹 越前 下二冊之内 北陸道八冊之内(内題「北陸国 若狹 越前」) 松平兵部大輔	元禄14年辛巳8月	半・1冊<147丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)	81-2
郷帳 第三十五 加賀 能登 北陸道八冊之内(内題「北陸道 加賀 𡵽 能登 𡵽式」) 松平加賀守・(加賀)松平加賀守	元禄15年壬午4月	半・1冊<115丁墨>/ (改裝表紙)/(合冊)/(書入本)/(虫損あり)	82
郷帳 第三十六 越中 上二冊之内 北陸道八冊之内(内題「北陸道 越中国村名帳」) <加賀・能登>松平加賀守	<加賀・能登>(元禄15年壬午4月)	半・1冊<61丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)	83-1
郷帳 第三十七 越中 下二冊之内 北陸道八冊之内(内題「北陸道 越中」) 松平加賀守	元禄15年壬午4月	半・1冊<109丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)	83-2
郷帳 第三十八 越後 上二冊之内 北陸道八冊之内(内題「北陸道 越後 上 式冊之内 第卅四」) 牧野駿河守	元禄(15)年壬午12月	半・1冊<115丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	84-1
郷帳 第三十九 越後 下二冊之内 北陸道八冊之内(内題「北陸道 越後国 下 式冊之内」) 榊原式部大輔・溝口信濃守/(奥書)「文政亥九月六日校合畢」	元禄13年庚辰6月	半・1冊<130丁墨>/ (改裝表紙)/(朱書あり)	84-2
郷帳 第四十 佐渡 北陸道八冊之内(内題「北陸道 七 佐渡 第卅五」) 荻原近江守	元禄13年庚辰12月	半・1冊<15丁墨>/ (改裝表紙)/(丁間史料あり)/(書入本)	85
郷帳 第四十一 丹波 丹後 山陰道四冊之内(内題「山陰道 丹波国 卅六 丹後国 卅七」) <丹波>朽木伊豫守・小出伊勢守・織田山城守/(奥書)「文政亥七月五日写之畢」 <丹後>奥平熊太郎・牧野讃岐守	<丹波>元禄13庚辰年11月 <丹後>元禄12己卯年7月	半・1冊<115丁墨>/ (合冊)/(改裝表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	86

郷帳 第四十二 但馬 因幡 山陰道四冊之内(内題「山陰道 第三 第四 但馬 卅八 因幡 卅九」) 〈但馬〉松平伊賀守・京極甲斐守 〈因幡〉松平右衛門督/(奥書)「文政亥七月廿三日写同廿六日交合」	〈但馬〉元禄13庚辰年9月 〈因幡〉元禄14辛巳年11月	半・1冊<97丁墨>/ (合冊)/(改装表紙)/(書入本)/ (虫損甚大)	87
郷帳 第四十三 伯耆 出雲 山陰道四冊之内(内題「山陰道 伯耆 四十 出雲 四十一」) 〈伯耆〉松平右衛門督<出雲〉松平出羽守	〈伯耆〉元禄14辛巳年11月 〈出雲〉元禄14辛巳年6月	半・1冊<101丁墨>/ (合冊)/(改装表紙)/(書入本)/ (虫損甚大)	88
郷帳 第四十四 石見 隠岐 山陰道四冊之内(内題「山陰道 第七第八 石見国 四十二 隠岐国 四十三」) 〈石見〉松平周防守・亀井隠岐守 〈隠岐〉松平出羽守	〈石見〉元禄12己卯年5月 〈隠岐〉元禄14辛巳年6月	半・1冊<53丁墨>/ (改装表紙)/(合冊)/(改装表紙)/ (書入本)/(虫損甚大)	89
郷帳 第四十五 播磨 山陽道四冊之内(内題「諸国邑名志 卷卅四 山陽道 壱 播磨国 第四十四 千有八百箇邸」) 本多中務大輔・松平左兵衛佐・脇坂淡路守/(奥書)「文政年丙戌九月写之」	元禄15壬午年2月	半・1冊<74丁墨>/ (改装表紙)/(朱書あり)/(虫損甚大)	90
郷帳 第四十六 美作 山陽道四冊之内(内題「山陽道 美作国 第四十五」) 松平備前守	元禄13年庚辰11月	半・1冊<50丁墨>/ (改装表紙)/(朱書あり)/(虫損甚大)	91
郷帳 第四十七 備前 備中 山陽道四冊之内(内題「山陽道 備前国 第四十六 備中国 第四十七」) 〈備中〉安藤長門守・木下肥後守 〈備前〉松平伊豫守	〈備前〉元禄13庚辰年12月 〈備中〉元禄14辛巳年4月	半・1冊<108丁墨>/ (合冊)/(改装表紙)/(虫損甚大)/ (朱書あり)	92
郷帳 第四十八 備後 安芸 周防 長門 山陽道四冊之内(内題「備後 安芸 周防 長門 自四十八至五十壱」) 〈備後〉松平安芸守・浅野土佐守 〈安芸〉松平安芸守 〈長門・周防〉松平大膳太夫	〈備後〉元禄14辛巳年7月 〈安芸〉元禄14辛巳年4月 〈長門・周防〉元禄12己卯年5月	半・1冊<111丁墨>/ (合冊)/(改装表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	93
郷帳 第四十九 紀伊 南海道四冊之内(内題「南海道 壱 紀伊国 第五十式」) (徳川綱教)	元禄14年辛巳7月	半・1冊<110丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	94
郷帳 第五十 淡路 阿波 南海道四冊之内(内題「南海道 淡路 五十三 阿波 五十四」) 〈淡路・阿波〉松平淡路守	〈淡路・阿波〉元禄13年庚辰8月	半・1冊<64丁墨>/ (合冊)/(改装表紙)/(書入本)/ (虫損甚大)	95
阿波国郷帳二		半・1冊<62丁墨>/ (改装表紙)	50
郷帳 第五十一 伊豫 讃岐 南海道四冊之内(内題「南海道 伊豫国 五十六 讃岐国 五十五」) 〈伊豫〉松平隠岐守・伊達遠江守・加藤遠江守・松平駿河守 〈讃岐〉松平讃岐守・京極縫殿	〈伊豫〉元禄13年庚辰年6月 〈讃岐〉元禄13庚辰年5月	半・1冊<150丁墨>/ (合冊)/(改装表紙)/(書入本)	96
郷帳 第五十二 土佐 南海道四冊之内(内題「南海道 土佐国 五十七 千七拾六ヶ村」) 松平民部大輔	元禄13庚辰年12月	半・1冊<117丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	97
郷帳 第五十三 筑前 西海道七冊之内(内題「西海道 壱 筑前国 第五十八」) 松平肥前守	元禄14辛巳年7月	半・1冊<47丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	98
郷帳 第五十四 筑後 西海道七冊之内(内題「西海道 式 筑後国郷帳」) 有馬中務大輔・立花飛騨守	元禄14年辛巳3月	半・1冊<62丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	99
郷帳 第五十五 豊前 西海道七冊之内(内題「西海道 三 豊前国郷帳」) 小笠原右近将監・小笠原信濃守/(奥書)「文政亥八月十二日写之」	元禄14年辛巳4月	半・1冊<56丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	100
郷帳 第五十六 豊後 西海道七冊之内(内題「西海道 豊後国 第六十壱」) (岡藩中川久通・臼杵藩稲葉知通)	(元禄)	半・1冊<126丁墨>/ (改装表紙)/(小口見出し墨)/(虫損甚大)	101
郷帳 第五十七 肥前 西海道七冊之内(内題「諸国邑名志 第四十四 西海道 五 肥前国 六十式 凡千四百拾八邸」) 松平信濃守/(奥書)「文政九年九月十五日令若党河合辰三写之一校畢」	元禄14辛巳年7月	半・1冊<90丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	102

西陣町茜部家文書 1. 茜部相嘉/5. 諸国郷帳写

郷帳 第五十八 肥後 西海道七冊之内(内題「西海道 肥後 第六十三」) 細川越中守	元禄14辛巳年8月	半・1冊<122丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	103
郷帳 第五十九終 日向 大隅 薩摩 杵岐 対馬 西海七冊之内(内題「西海道 日向 凡三百九十八ヶ村 大隅 凡式百三十ヶ村 薩摩 二百五十八ヶ村 杵岐 五十ヶ村 対馬 百式十四ヶ村」) <日向・大隅・薩摩>松平薩摩守 <杵岐>松浦杵岐守 <対馬>宗対馬守	<日向・大隅・薩摩>元禄15壬午年8月 <杵岐>元禄12年卯3月 <対馬>元禄13庚辰年正月	半・1冊<80丁墨>/ (合冊)/(改装表紙)/(書入本)/(虫損甚大)	104
国郡高帳全		半・1冊<45丁墨>/ (丁間史料あり)/(虫損あり)	45

## 1.6.蔵書

豊受宮儀式帳 残欠(内題「豊受宮儀式帳 残欠」) 内人无神主山代外10名/(奥書)「右豊受宮儀式諸本文字多錯誤口格頗參」/「差且所施之訓迄皆後人之意而非延於曆曆」/「之俗矣今聊改写之而具于後日之考訂」/「享和元年辛酉夏六月中旬荒木田未壽」/「右延曆儀式帳一本借荒木田未寿神主謄写了」/「大野村内宮神主小田井負固謹写」/「文政十二己丑歳三月良辰大足村豊石神社神主小出久臣謹写」/「明治二己巳歳八月中旬小鈴谷村白山社神主松田柁穆謹写」	延暦23年3月24日	美大・1冊<42丁墨>/ (改装表紙)	163
猪隈関白御記 正治三年正月建仁元二月(内題「猪隈関白御記 正治三年正月為建仁元二月」)	(正治3年正月～建仁元年2月)	美・1冊<30丁墨>/ (改装表紙)	173
古語拾遺 大須本写 (斎部広成)	大同2年2月13日	美・1冊<20丁墨>/ (改装表紙)	174
仁部記 建治元年七月(内題「仁部記 建治元年七月」)	(建治元年7月)	美・1冊<12丁墨>/ (改装表紙)	178
尾張国風土記・民部省図牒(内題「尾張国風土記・同民部省図牒」) 史生源忠勝・史生泰行宗/(茜部相嘉書入本)	元亨2年10月下春	半・1冊<18丁墨>/ (改装表紙)	23
羅浮子東海道紀行・連集良材集・謡之抄之内拔書・東鑑拔萃(拔書) <羅浮子東海道紀行>羅浮子	<羅浮子東海道紀行>元和2年11月	美・1冊<101丁墨>/ (合冊)/(虫損甚大)	169
西山遺事(内題「西山遺事」) 土佐国鏡郡大神重遠拝書	宝永7年庚寅12月6日	半・1冊<149丁墨>/ (改装表紙)	143
年中行事歌合上(判者新中納言為秀卿) (二条通沢田庄左衛門判板)	(慶安2年初夏上旬)	美・1冊<33丁墨>/ (木版)/(虫損あり)	33-1
年中行事歌合中(内題「年中行事五十番歌合卷第二」) *判者新中納言為秀卿 (二条通沢田庄左衛門判板)	(慶安2年初夏上旬)	美・1冊<23丁墨>/ (木版)/(付箋あり)	33-2
年中行事歌合下(内題「年中行事五十番歌合卷第三」) *判者新中納言為秀卿 二条通沢田庄左衛門判板	(慶安2暦初夏上旬)	美・1冊<28丁墨>/ (木版)/(虫損あり)	33-3
後水尾院御製集(内題「後水尾院御製集」) 松田斬風弾	元禄11年戊寅□□5月22日	半・1冊<14丁墨>	138
むし草紙(内題「むし草し」) (奥書)「寛保四甲子年二月十三日写之」	寛保4年2月13日写	半・1冊<16丁墨>/ (改装表紙)	154
但馬国風土記(内題「但馬国風土記」) (奥書)「右以藤大納言高基之家本訂之官本令書写畢」/「元和壬辰四月望前日」/「朝散大夫中原師行在判」/「右風土記残冊十七冊之内但馬国今度以台命」/「之故訂誤字者也」/「寛文十年庚戌五月十八日」/「大納言源通村在印」/「延享元甲子七月十二日写之河村秀根」	延享1年7月12日写之	美・1冊<18丁墨>/ (改装表紙)/(虫損あり)	34
美濃国名所和歌集 濃州不破郡中山東寓節菊主人戲書	延享3年丙寅秋7月	半・1冊<28丁墨>/ (綴紐破損)/(裏表紙虫損あり)/(彩色画入)/(朱書入)	28

日本国風一(内題「日本国風巻一目録」「日本国風巻一」) 久志本常彰(奥書)「此六巻以常彰神主自筆本写之于時寛延第二己巳冬十二月正校畢/権禰宜從四位下度会神主經麻」→権祢宜從四位下度会神主經麻	延享5年3月穀日	半・1冊<53丁墨>/ (虫損あり)	41-1
日本国風二 (久志本常著、寛延2年12月度会神主經麻写)	寛延2年	半・1冊<51丁墨>/ (付箋あり)/(虫損あり)	41-2
日本国風三 (久志本常著、寛延2年12月度会神主經麻写)	寛延2年	半・1冊<60丁墨>	41-3
日本国風四 (久志本常著、寛延2年12月度会神主經麻写)	寛延2年	半・1冊<71丁墨>	41-4
日本国風五 (久志本常著、寛延2年12月度会神主經麻写)	寛延2年	半・1冊<66丁墨>/ (虫損あり)	41-5
日本国風六 (久志本常著、寛延2年12月度会神主經麻写)	寛延2年	半・1冊<86丁墨>/ (虫損あり)	41-6
笠掛全記(内題「二 笠掛全記」) 伊勢平藏貞丈(花押)/ (奥書)「宝暦八年戊寅夏六月廿一日伊勢平藏貞丈(花押)」	宝暦8年戊寅6月21日	美大・1冊<46丁墨>	182
常陸国風土記 *「補欽三條」付き (奥書)「延宝五丁巳仲春以加賀本謄録」/「宝暦八戊寅四月望日艸之」/「右借鈔于中山信名所蔵校勘一過按是書」/「以真壁郡作白壁郡則今名避」/「光仁天皇御諱所改是書之成於延暦已前」/「亦可推知也唯多為後人所刪節殊是惜惋」/「今為補欠逸三條口知沾一滴於河海為無」/「益然好古之癖不能默止之所為幸勿嗤焉」/「掖齋望之志」/茜部相嘉書入本	(宝暦8年謄写)	美・1冊<33丁墨>	14
軍用記伊勢貞丈著(内題「六 軍用記 巻六」) (伊勢貞丈)	(宝暦11年)	美・1冊<30丁墨>/ (改装表紙)/(書入本)/(丁間史料あり)	170
箴書 弓袋暮目袋之式(内題「三 箴書 附図四品」) 〈箴書〉伊勢平藏貞丈記(花押) 〈箴図〉信豊御判/〈箴書〉奥書「右一帖雖為説任深々御懇望令伝写候、必々不可出窓外之条誓約仍而如件 寛政九年丁巳六月五日 伊勢万助貞春」	〈箴書〉明和2年乙酉10月24日 〈箴図〉弘治2年8月吉日	美・1冊<39丁墨>/ (合冊)/(改装表紙)/(彩色)/(書入本)	172
直垂考附同附録(内題「直垂考同附録」) 大塚嘉樹/(奥書)「壺井氏所著直垂考也、証古書速取考、其説詳矣、然予有聊取、以付録于巻尾云 明和九年壬辰正月廿八日 扈從隊士伊勢平藏貞丈書 (印)」	(明和9年正月18日謄写)	半・1冊<23丁墨>/ (改装表紙)/(下小口「直垂考」)/(書入本)	153
信濃地名考上 <輯者>吉沢好兼 <版元>信州岩村田吉沢鶏山、<売弘所>江東書林江戸室町三丁目須原屋市兵衛(梓) <識者>明和辛卯仲春望信陽源通魏 <書者>東江源鱗 <序文>明和庚寅臘月安原貞平・伯亨(甫撰) <科野名与勢序>明和八のとし奈の月静本能宇万伎いふ、信州岩村田吉沢鶴山(蔵板)	安永2年癸巳(春)	美・1冊<41丁墨>/ (改装表紙)/(木版)	8-1
信濃地名考中下 <輯者>吉沢好兼 <版元>信州岩村田吉沢鶏山、<売弘所>江東書林江戸室町三丁目須原屋市兵衛(梓) <識者>明和辛卯仲春望信陽源通魏 <書者>東江源鱗 <序文>明和庚寅臘月安原貞平・伯亨(甫撰) <科野名与勢序>明和八のとし奈の月静本能宇万伎いふ、信州岩村田吉沢鶴山(蔵板)	安永2年癸巳(春)	美・1冊<72丁墨>/ (改装表紙)/(木版)/(付箋あり)	8-2
治水考(内題「治水考」) (奥書)「安永二季癸巳二月廿八日蕃政書」/「治水考序」/「寛政三年辛亥九月朔日しるす」/「寛政三季亥九月朔日夜しるす」/「寛政六年秋九月蕃書」	(寛政6年9月蕃写)	半・1冊<45丁墨>	48
難波旧地考 *逸楽神社所蔵本の転写本 <輯者>長斎七五三翔 <版元>大坂書林 <売弘所>敦賀屋九兵衛・柏原屋清右衛門・塩屋忠兵衛外3名 <序文>若山榮	寛政11年己未極月	美・1冊<14丁墨>/ (木版)	10
訂正出雲風土記上 <版元>梅之舎蔵板、<印刷>売弘所書林江戸白銀町2丁目須原屋善五郎・和陽名古屋本町1丁目風月孫助・同名古屋玉屋町永楽屋東四郎外6名/(天平5年神宅臣金太理・出雲臣廣嶋作/寛政9年7月15日千家俊信が交合/文化3年春紀之殿人本居三四右衛門平大平が序文)	(文化3年寅7月刻板)	美・1冊<54丁墨>/ (木版)	15-1

西陣町茜部家文書 1. 茜部相嘉/6. 蔵書

訂正出雲風土記下 <版元>梅之舎蔵板 <印刷>壳弘所<書林江戸白銀町2丁目須原屋善五郎・和陽名古屋本町1丁目風月孫助・同名古屋玉屋町永樂屋東四郎外6名/(天平5年神宅臣金太理・出雲臣廣嶋作/寛政9年7月15日千家俊信が交合/文化3年春紀之殿人本居三右衛門平大平が序文)	文化3年寅7月刻板	美・1冊<46丁墨>/ (木版)	15-2
桔梗考田中大秀著(内題「吉更考」) 田中大秀考→考	文化10年6月晦日	美大・1冊<11丁墨>/ (改装表紙)	162
文政六年洞中御遊之次第(抜粋) 隠岐守豊原文秋(花押)/奥書「右洞中御遊之次第并古例之准抛等季良(朝臣)従旧記之中抜萃之悉令註之者也予借其冊令書写之畢 文政六年七月廿八日 隠岐守豊原文秋(花押)」	文政6年7月28日	美・1冊<11丁墨>/ (改装表紙)	161
吉藪旧記・佐渡日記・職原抄聞書・砲術問答(外6冊)抜粋(内題「吉藪旧記抜書・佐渡日記・職原抄聞書・砲術問答・北窓瑣談・趣庭雑話・牛馬問・若狹郡縣志・奥羽觀蹟聞老志抜書・儘囊抄」) <吉蘇旧記>(奥書「丁巳臘月晦写之」)/<趣庭雑話>「嘉永六年五月十九日写之 相嘉」/<儘囊抄>「弘化三年丙午閏五月二十七日書写之 舜園」	(弘化3年～安政4年)	半・1冊<93丁墨>/ (55丁目の袋の中に丁間史料あり)/ (朱書あり)	150
続名甲図鑑卷一兜之部(内題「続名甲図鑑卷一兜部」・「続名甲図鑑卷二兜部」) (奥書)「弘化三年八月廿八日写畢(相嘉花押)」	(弘化3年8月28日写)	美大・1冊<41丁墨>/ (改装表紙)	166
無名随筆・安斎随筆・立路随筆・南留列志抜萃(内題「無名随筆書抜」) (茜部相嘉写)	(弘化4年6月～文久元年2月)	半・1冊<79丁墨>/ (合綴)/(虫損甚大)	140
報恩抄(「本朝医蹟凡例」「引用書物」抜粋、内題「報恩抄」) 医道末生源朝臣元幹一識	弘化4年8月	美・1冊<42丁墨>/ (改装表紙)	167
明君一班抄(内題「明君一班抄」) (徳川景山)/(奥書)「右一冊借水野氏之本謄写記 嘉永三庚戌年三月望」/「此一冊借神谷氏本謹写之畢 嘉永三年四月朔(相嘉花押)」	(嘉永3年4月朔日写)	美・1冊<93丁墨>/ (改装表紙)	175
海道記・東開記行・富士記行・慰草・覚富士記地名抄(内題「海道記・東開記行・富士記行・慰草・覚富士記地名抄」) (茜部相嘉)	嘉永3年庚戌4月書抜	半・1冊<12丁墨>/ (改装表紙)	22
黒田如水九州働之記(内題「黒田如水九州働之記」) (奥書)「嘉永五年壬子四月岸上之本写之」	(嘉永5年4月写)	美・1冊<17丁墨>/ (改装表紙)	179
田租調庸私考下(内題「第三稿田租調庸私考下」) (神谷元平)/(奥書)「元治二乙丑年三月写之・舜園」	(元治2年3月写)	半・1冊<32丁墨>	47
佐伊婆良古本・東遊風俗歌古本(「催馬楽目録」「東遊風俗歌古本」合綴) (奥書)「右東遊風俗歌者先師賀茂縣主所蔵自筆/書入之本也課男健蔵書写之校合畢/安永五年丙申七月三日本居宣長/同六年丁酉七月廿二日田中道麿/天明元年辛丑五月十八日川村真掉/以本居大人本写之天明七年霜月三日書畢渡辺尚鷹(花押)/明治十八年六月十三日以一本校合畢」	明治18年6月13日以一本校合畢	美・1冊<57丁墨>/ (木版)/(茶色の付箋あり)/(虫損)	32
街北紀行		美・1冊<32丁墨>/ (改装表紙)	7
地名字音転用例(内題「地名字音転用例」) 本居宣長著		美・1冊<25丁墨>	27
真蹟臨本三種歌合 <版>寺町通本能寺前京兆書肆錢屋惣四郎		美・1冊<18丁墨>/ (木版)/(丁間に袋1点あり<袋上書「真蹟臨本 範永宅歌合 忠家卿書・源順馬名合 俊忠卿書 住吉歌合 西行法師書 三種同刻(落款)」>)	29
神楽歌・東遊風俗歌(内題「神楽歌目録」「東遊歌一歌」)		美・1冊<40丁墨>/ (表紙に反故紙を使用)/(朱書あり)	31
駿河国志卷四(内題「駿河国志第四目錄府内神社仏閣」「駿河国志第四府内神社」) (榊原長俊)		美・1冊<23丁墨>	37-1

駿河国志卷五卷六(内題「駿河国志卷五目錄国府之東一」「駿河国志卷第五国府之東」「駿河国志卷第六目錄国府之東二」「駿河国志卷第六国府之東二」) (榑原長俊)	美・1冊<49丁墨>	37-2
駿河国志卷七卷八(内題「駿河国志第七府城之東三目錄」「駿河国志卷第七国府之東三」「駿河国志卷第八目錄府城之北」「駿河国志卷第八府城之北」) (榑原長俊)	美・1冊<57丁墨>	37-3
若狭群県志神社部(内題「若狭群県志卷第四」)	美・1冊<73丁墨>	38
古義一(内題「古義一」)	半・1冊<203丁墨>/ (丁間史料あり)/ (貼紙あり)/(虫損あり)/(朱書入)	40
地方品目(内題「地方品目」)	半・1冊<42丁墨>/ (虫損あり)	49
書拔(茶道・苗字・銃砲・狭箱・揚弓・後藤家由来・月代・鎗・傘・蠟燭・雛・七夕・画家・華・割符・雪踏・一里塚・研・碁・象戯・雙六・五十音、内題「拔書」) 天野清右衛門	半・1冊<26丁墨>/ (虫損甚大)	141
新百人一首(内題「新百人一首」) 沙門判聖護院宮道興	半・1冊<29丁墨>/ (改裝表紙)	155
回天詩史(内題「回天詩史」)	半・1冊<81丁墨>/ (合冊)/(改裝表紙)/(朱書あり)	156
三木の屋詠草拔萃	半・1冊<40丁墨>	157
学習院上丁次第(内題「学習院上丁次第」)	美大・1冊<16丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)	164
梅松訴陳(内題「梅松訴陳」)	美・1冊<15丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)	165
群書類従跋(内題「群書類従跋」) <撰>尾張儒官秦鼎 (印)(印) <書>尾頭倫(印)(印)	美・1冊<10丁墨>/ (木版)/(版心「群書類従秦跋」)/ (改裝表紙)	171
犬追物図説伊勢貞丈著(内題「一 犬追物図説 伊勢貞丈著」) 伊勢貞丈著	美大・1冊<61丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)	181

## 2. 茜部厚海・頼敏・與利刀

### 2.1. 茜部厚海

書博士所伝年中行事頭書(内題「書博士所伝年中行事頭書」) (佐々木)庸綱(花押)/(奥書)「右年中行事頭書墨付九枚者以横井北泉之秘書佐々木庸綱自筆模写一校了明治二十四辛卯歲仲秋望 茜部厚海(花押)」	(明治24辛4月写)	美・1冊<14丁墨>/ (改裝表紙)/(書入本)	168
---	------------	-----------------------------	-----

### 2.2. 茜部與利刀

松島紀行(内題「遊松島記」) *彰徳会より茜部与理刀君への進呈品 <著者>(紀徳民)細井平洲 <発行兼印刷者>愛知県尾張国知多郡半田町516番戸小栗半右衛門 <発行所>愛知県尾張国知多郡半田町嚶鳴館遺稿発行所	明治33年3月18日発行	美・1冊<25丁墨>/ (黒色罫紙)/(丁間に袋1点あり)/ (木版)/(袋上書「進呈 遊松島記全」)	30
--	--------------	---	----

## 2.3. 茜部頼敏

大和魂 (茜部頼敏編)	(明治43年8月)	半・1冊<39丁墨>/ (合冊)/ (一部青 色罫紙)/ (付箋 付)	158
-------------	-----------	--	-----

## 尾張国海西郡村々免状その他史料目録

---

尾張国海西郡村々免状その他史料目録本文細目次〔文書群の構造〕

---

1. 尾張国海西郡与蔵山新田免状 .....	157
2. 尾張国海西郡松名新田免状 .....	163
3. 尾張国海西郡平嶋新田免状 .....	164
4. 中井庄左衛門他某家中切支丹宗門改 .....	174
5. 柳原役所宛拝借証文 .....	174
6. 尾張国他村々出生届 .....	175

---

## 尾張国海西郡村々免状その他史料

---

文書群記号 23H  
文書群名 おわりのくにかいさいぐんむらむらめんじょうそ の た し り ょ う  
尾張国海西郡村々免状その他史料  
年 代 慶安1年(1648)～明治3年(1870)  
数 量 393点

### 入手の経過

本文書群は、与蔵山新田・松名新田・平嶋新田の尾張国海西郡の3か村の免状と若干の諸書類や柳原役所宛拝借金証文、村々出生届、尾張藩士宗門一札2通を1948年度に徳川林政史研究所より一括で購入したものである。また本文書群記号と名称は受入時に当館で付与したものである。

### 文書を発生させた組織体の歴史

本文書群を徳川林政史研究所が所蔵するまでの経緯は不明である。ただし、与蔵山新田免状、松名新田免状、平嶋新田免状は、尾張藩代官から年貢額を通知したものであり、本来、各村の庄屋宅で保管されていたものと推定できる。ただし、「尾張徇行記」などによれば、与蔵山新田は平嶋新田の庄屋が管理するところであり、平嶋新田の庄屋が与蔵山新田の免状を保管したことも考えられる。柳原役所宛拝借金証文は、尾張藩柳原役所（現在、名古屋市北区内）で保管された文書と考えられる。

### 尾張国海西郡村々免状その他史料の構造と内容

受入当時における仮整理によって作られたまとまりに従って、1. 尾張国海西郡与蔵山新田免状、2. 尾張国海西郡松名新田免状、3. 尾張国海西郡平嶋新田免状、4. 中井庄左衛門他家中切支丹宗門改、5. 柳原役所宛拝借金証文、6. 尾張藩領村々出生届という柱のもとにこれを編成した。

#### 1. 尾張国海西郡与蔵山新田免状

本文書は当新田を管轄した尾張藩の佐屋代官所より、同新田を支配した平嶋新田の庄屋に発給されたものであり、庄屋宅で保管されていたものと考えられる。

与蔵山新田（現在、愛知県海部郡弥富町を経て愛知県弥富市）は、鍋田川沿いの森津新田と伊勢国川原欠新田にはさまれた土地で、与蔵という人が開墾し、享保11年(1726)検地を受けた。高24石余、この田畑2町2反余。延享5年(1748)辰新田高1石2斗余が開墾される。与蔵山新田全体の戸数4、人口29。明治11年(1878)12月28日、森津新田と合併して森津村となった。

本文書群の件数は142件、対象年代は上限が享保11年(1726)、下限が明治3年(1870)11月であり、田畑分免状と添免状、野方免状から構成される。免状は、享保11年～万延1年(1860)まではほぼ継続的に貼り継ぎ形式で一括されている。若干の欠年があり、散逸が考えられるが、尾張藩の定免仕法では定免期間中に年貢免状が発給されないのが、この可能性もある。添免状は、26点で宝暦3年(1753)～天明2年(1782)分のものがほぼ継続的に残存している。添免状は末文に「猶委免定ニ記渡之者也」とあることから、代官が検見実施後、免状発給に先立ち、暫定的に年貢率を村に伝達した仮免状定性格のものと考えられる。野方免状は天明7年(1787)～寛政6年(1794)に6点、この期間前後にも発給されたことが考えられるが現存しない。

ところで、本文書はすべての免状が貼り継ぎされ、巻物として現存するが、この措置に関わりNo. 1-6 文書に「此間戊亥ニヶ年御極免之御免定無御座候、但寛保元年酉六月十七日夜、鯛浦村堤切レ申節、与蔵山帳箱取置明り申由、此節取失申候哉、又ハ戊亥定免故御免定出申候哉、無御座候」との覚書がある。すなわち、所蔵者は、後年、文書を整理する中で、享保 16・17 年（1731・32）の免状がないことに気づき、①寛保 1 年（1741）6 月 17 日夜に鯛浦村の堤防が決壊し、所蔵者が文書箱（帳箱）を避難した際に、文書箱が開扉し、文書が紛失したものか、②享保 16・17 年には藩が定免を採用しており、そのため免状が発給されなかったのではないかとこの 2 通りの考えを示すのである。この段階ではいずれが理由であるのか、特定はできなかったようであるが、所蔵者は「夫より如件継立置申候」と今後の保存・管理を考慮した上で免状を継ぎ立て巻物にする方法を採用する。また、同様の措置は平嶋新田の免状でも見られるが、これは庄屋が同一であったためであろう。松名新田でも同様の措置が見られる。

なお、享保 16・17 年の免定が所在不明である理由は、当該期、定免制が施行されていたことにある。庄屋家では、後年、享保 16 年の定免申渡書を発見したようで、享保 14 年（1729）の免定（No. 1-4）の奥部に、5ヶ年間定免制を施行するとある申渡書を添付している。

## **2. 尾張国海西郡松名新田免状**

本文書群は、当新田を管轄した尾張藩の佐屋代官所より、既述のように、松名新田の庄屋他村役人・惣百姓中に発給され、庄屋宅で保管されていたものである。件数は 22 件で、対象年代は上限が延享 1 年（1744）11 月、下限が明和 9 年（1772）である。なお、2.1. 尾張海西郡松名新田免状と 2.2. 年貢勘定他の柱をたてた。

松名新田（現在、愛知県海部郡弥富町を経て愛知県弥富市）は、木曽川山材の流送のため設置された筏川の中心地にあった。支配関係は尾張藩佐屋代官の管轄下にあった。開発は享保 11 年（1726）、鎌倉新田・芝井新田の地先の砂洲を、蟹江本町村鈴木四郎左衛門、鎌倉新田木村忠兵衛、松名新田佐野治右衛門、名古屋益屋町錢屋嘉兵衛の先祖の者が開墾したもので、延享 1 年（1744）の検地では高 252 石 4 斗余、田畑 27 町余（田 25 町余、畑 2 町余）であった。後に南側に中堤新田ができた。この新田は 8 石余で、田畑 9 反余（田 1 反余、畑 8 反余）。他に「申起返」があり、これは鎌倉新田との境の堤を、「縁（へり）新田」は堤の地先を開墾したものである。さらに、文化 4 年（1807）に、東を流れる筏川の鎌倉新田・松名新田の堤防沿い砂洲 1 町 4 反程が開墾され「島名新田」と呼ばれた。人家は堤防沿いに並び、文化年間の戸数は 16、人口は 90 人。

本文書群は、松名新田宛の免状 19 通と添免状 1 通、物成代金の仮受取証文 2 通から構成される。免状は貼り継ぎの形式で一括されている。その一括の状態は、端から奥にかけて、新しい順に貼り継がれている。したがって、近世段階の文書所蔵者が免状の貼り継ぎを開始したのは、少なくとも宝暦 13 年（1763）以降となる。また、貼り継ぎの継目裏に「松名新田延享元子年壺」「松名新田延享二丑年式」などの墨書が見えるが、これは、免状を貼り継ぐ段階において、検索の便を考慮して記述したものと考えられる。

## **3. 尾張国海西郡平嶋新田免状**

本文書群は、当新田を管轄する尾張藩佐屋代官所より、平嶋新田の庄屋・与頭・惣百姓中に発給され、平嶋新田の庄屋宅で保管されたものである。

平嶋新田（現在、愛知県海部郡弥富町を経て愛知県弥富市）は、正保 3 年（1646）服部市兵衛、野

村留兵衛、立松九兵衛、半左衛門、勘四郎、定四郎、伊兵衛等の先祖が開発した。東西8町半、南北4町ほどの大村で、寛文年間には人家41軒、人口は140人程であった。「寛文村々覚書」によれば、平嶋新田（同巳新田、同西新田も含む）は本高390石9斗2升余9升余（田25町3反余、畑6町8反余で計32町2反余）と慶安3年（1650）開発の小具足新田高23石8斗余（田2町余、畑2反余、計田畑2町2反余）から構成される。のちさらに新田開発が進み、元禄9年（1696）前新田高66石3斗余、延享3年（1746）寅新田高19石6斗余、宝暦9年（1759）卯新田高1石2斗余、明和4年（1767）甲新田高7石7斗余、寛政7年（1795）後卯新田（高6石4斗余）、明和4年（1767）甲新田（高7石7斗余）、寛政7年（1795）後卯新田（高6石4斗余）、文化6年（1809）川山新田（高6石3斗8升）、以上田畑5反3畝余。以上合計460石、田畑合計42町が順次開墾された（「尾張徇行記」）。

本文書群は件数は204件、対象年代は、上限が慶安1年（1648）11月14日、下限が明治2年（1869）11月である。一部欠年も見られるが、よく残っており、当新田の年貢率の推移や災害状況などを理解できる。なお、添免状は、宝暦4年（1754）～文化10年（1813）まで、特に宝暦4年～天明7年（1787）まで集中的に現存している。年貢関係文書は年貢の差引勘定書や新田米書上など4点であり、年代は不明であるが、全て近世のものである。

#### **4. 中井庄左衛門他家中切支丹宗門改**

本文書群件数は2件、対象年代は元禄3年（1690）3月である。尾張藩の宗門改に関わる文書と考えられる。文書の宛所である魚住角右衛門・高橋九兵衛・高野瀬伊左衛門・三田伝左衛門、発給者中井庄左衛門・久世与兵衛、さらに文書中に登場する「松仙院様」は、いずれも尾張藩家中とその縁者であると推定されるが詳細は不明である。

#### **5. 柳原役所宛拝借証文**

本文書群件数は8件、対象年代は慶安2年（1649）11月・12月である。尾張藩領内の村々より提出され尾張藩柳原役所（現名古屋市中北区内）に蓄積されたものと考えられる。柳原役所は「天明年間名古屋市中支配分図」（『名古屋史』地図編所収）から、名古屋城の東北側（現名古屋市中北区内）に位置することを確認できる。おそらく、藩の金銭勘定を担当した役所と考えられるが、具体的な機能については不詳である。

#### **6. 尾張国他村々出生届**

本文書群件数は15件、対象年代は上限が元禄4年（1691）正月、下限が正徳5年（1715）である。尾張国愛知郡や知多郡、春日井郡、海西郡、海東郡、中嶋郡、丹羽郡、美濃国賀茂郡といった尾張藩領内の村よりの出生届が大半を占めるが、旗本水野家の知行地である三河国碧海郡小針村（寛文4年〈1664〉以降に水野家の領地になる）のものも見られる（No.34）。ただし、No.34文書の受取人野々村新右衛門は、尾張藩領の届の受取人として頻出する。野々村が尾張藩領外の出生届の受取者となった。理由は、おそらく水野家知行所の管理を尾張藩が請け負ったことによるのではないかと推察される。なお、尾張藩内で、戸籍を取り扱う部局や、野々村、田中友右衛門、小串数右衛門、橋爪八右衛門、山羽平兵衛といった受取人の所属部局については現時点では不明である。

#### **尾張国海西郡村々免状その他史料の整理方針**

尾張国海西郡村々免状その他史料は、昭和23年（1948）度に徳川林政史研究所より受け入れ、文書群記号23Hを与え、これまで仮整理のまま閲覧に供してきたものである。今回、目録刊行にあたってはこの仮整理の文書配列順にしたがい、これまでの仮番号を生かしながら、文書個々に整理番号を

与えた。

#### 史料状態

概ね良好であるが、一部フケなどにより取扱いに注意を要するものがある。なお、免状数十通を継いで巻いた形態のものが含まれている。

**検索手段** 本目録（国文学研究資料館調査収集事業部『史料目録』第92集）

**複製の存在** とくにない。

#### 関連史料

本文書群に関わる文書は存在しないと思われる。なお、徳川林政史研究所所蔵「旧名古屋税務監督局所蔵史料」の内の村絵図の中に与蔵山新田・松名新田・平嶋新田の絵図が見られる。この絵図は、『弥富町誌』村絵図編（1990年7月刊）に収録される。

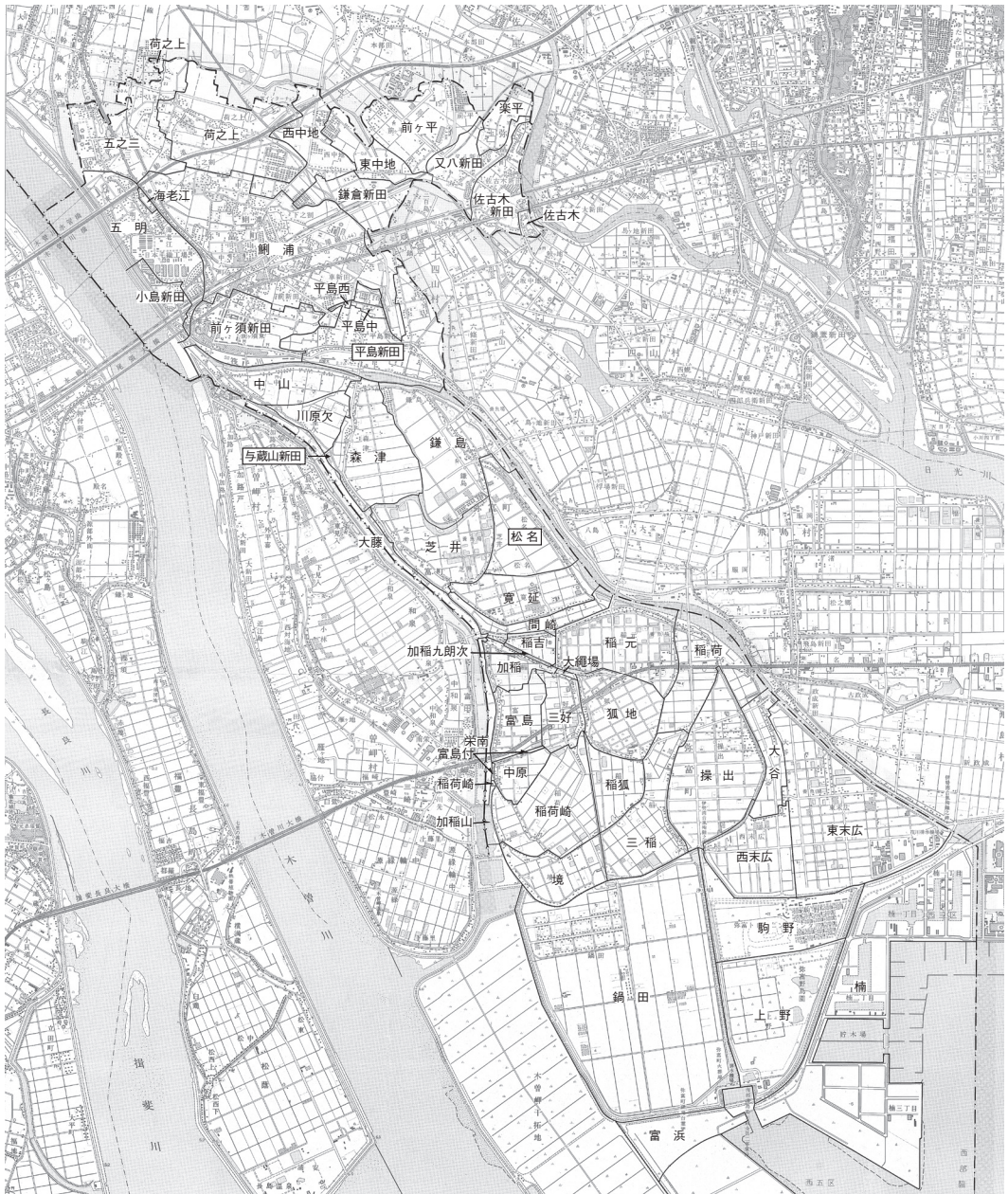
#### 出版物

与蔵山新田免状のうち6点が、松名新田免状のうち5点が、平嶋新田免状のうち5点がそれぞれ『弥富町誌』資料編2に収録される。また、本文書群を理解する上で、参考になる図書には次のものがある。

- ・『弥富町誌』通史編（1994年、弥富町）
- ・『弥富町誌』村絵図編（1980年、弥富町）
- ・『弥富町誌』資料編2（1993年、弥富町）
- ・「寛文村々覚書」（『名古屋叢書続編』第2巻、1965年、名古屋市教育委員会）
- ・「尾張徇行記」（『名古屋叢書続編』第8巻、1969年、名古屋市教育委員会）

**記述日** 2010年12月10日（担当種村威史）

図 尾張国海西郡村々免状その他史料関係地図



(出典：弥富町役場「弥富町全図」より部分転載の上加筆)



表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
<b>1.尾張国海西郡与蔵山新田免状</b>			
午之年免定(与蔵山午新田、取米13石4斗3合) 飯嶋重左衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・小百姓中	享保11年午11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-1
未之年免定(与蔵山午新田、取米15石4斗9合) 神谷弥五左衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・小百姓中	享保12年未11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-2
申之年免定(与蔵山午新田、取米14石4斗7合) 河村図助(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・小百姓中	享保13年申11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-3
覚(与蔵山午新田当酉ノ年より丑ノ年迄5ヶ年の定免守るべく覚) 河村嘉左衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・小百姓中	享保14年酉8月	横切紙・1通/(No.1は糊継)/(No.1-4に糊付)	1-5
酉年免定(与蔵山午新田、取米14石2斗4升5合) 河村嘉左衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・百姓	享保14年酉11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-4
子之年免定(与蔵山午新田、取米12石3斗1升3合) 河村嘉左衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・小百姓中	享保17年子11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-7
丑之年免定(与蔵山午新田、取米11石7斗6升8合) 河村嘉左衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・百姓中	享保18年丑11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-8
寅年免定(与蔵山午新田、取米11石6斗6升9合) 村上只右(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	享保19年寅11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-9
卯年免定(与蔵山午新田、取米12石3斗5升1合) 村上只右(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	享保20年卯11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-10
辰年免定(与蔵山午新田、取米10石5斗4升4合) 村上只右(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	元文1年辰11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-11
巳年免定(与蔵山午新田、取米10石7斗6升8合) 村上只右(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	元文3年午正月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-12
午年免定(与蔵山午新田、水損つき無免) 村上只右(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	元文3年午11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-13
未年免定(与蔵山午新田、取米12石3升1合) 岡田伝七(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	元文4年未11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-14
申年免定(与蔵山午新田、取米9石3斗4升6合) 岡田伝七(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・頭百姓	元文5年申11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-15
酉年免定(与蔵山午新田、取米10石3斗6升9合) 岡田伝七(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	寛保1年酉11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-16
戌年免定(与蔵山午新田、取米11石1斗2升4合) 天野沢之右(沢之右衛門)(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・百姓中	寛保2年戌11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-17
亥年免定(与蔵山午新田、取米10石7斗2合) 天野沢之右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・百姓中	寛保3年亥11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-18
子年免定(与蔵山午新田、取米11石6斗4升4合) 天野沢之右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・百姓中	延享1年子11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-19
丑年免定(与蔵山午新田、取米11石6斗4升4合) 天野沢之右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・百姓	延享2年午11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-20
寅年免定(与蔵山午新田、取米11石6斗4升4合) 浅野久治(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・百姓中	延享3年寅11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-21
卯年免定(与蔵山午新田、取米11石6斗4升4合) 浅野久治(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・百姓中	延享4年卯11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-22
辰年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計11石9升5合) 比木伝六(印)→右新田(与蔵山新田)庄屋・組頭・百姓中	寛延1年辰11月	縦継紙・1通/(No.1は糊継)	1-23

## 海西郡村々免状その他史料 1.尾張国海西郡与蔵山新田免状

巳年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計12石3斗8升3合) 比木伝六(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・百姓	寛延2年巳11月	堅継紙・1通/(No.1 は糊継)	1-24
午年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計12石3斗8升3合) 比木伝六(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・百姓	寛延3年午11月	堅継紙・1通/(No.1 は糊継)	1-25
未年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計12石3斗8升3合) 比(此木)伝六(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦1年末11月	堅継紙・1通/(No.1 は糊継)	1-26
申年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計12石3斗8升3合) 比(此木)伝六(印)→右新田(与蔵山新田)庄屋・組頭・百姓	宝暦2年申11月	堅継紙・1通/(No.1 は糊継)	1-27
酉年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計11石6斗5升) 比(此木)伝六(印)→右新田(与蔵山新田)庄屋・組頭・百姓	宝暦3年酉11月	堅継紙・1通/(No.1 は糊継)	1-28
宝暦三酉年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計11石6斗5升) 比(此木)伝六(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦3年酉11月	堅継紙・1通	6
戌年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計12石3斗8升4合) 富八郎兵衛(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	宝暦4年戌11月	堅継紙・1通/(No.1 は糊継)	1-29
戌年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計12石3斗8升4合) 富八郎兵衛(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	宝暦4年戌11月	堅継紙・1通	7
亥年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計11石8斗1升3合) 富八郎兵衛(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	宝暦5年亥11月	堅継紙・1通/(No.1 は糊継)	1-30
亥年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計11石8斗1升3合) 富八郎兵衛(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦5年亥11月	堅継紙・1通	8
子年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計10石7斗4升) 尾友次郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・小百姓	宝暦6年子11月	堅継紙・1通/(No.1 は糊継)	1-31
子年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計10石7斗4升) 尾友次郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦6年子11月	堅継紙・1通	9
丑年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計4斗9升6合) 尾友次郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・小百姓	宝暦7年丑11月	堅継紙・1通/(No.1 は糊継)	1-32
丑年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計4斗9升6合) 尾友次郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	宝暦7年丑11月	堅継紙・1通	10
寅年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計1石1升4合) 尾友次郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦8年寅12月	堅継紙・1通/(No.1 は糊継)	1-33
卯年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計10石3斗9升) 磯(磯村)藤七郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦9年卯11月	堅継紙・1通/(No.1 は糊継)	1-34
宝暦九卯年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計10石3斗9升) 磯(磯村)藤七郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦9年卯11月	堅継紙・1通	11
辰年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計8石7斗2升4合) 磯(磯村)藤七郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦10年辰11月	堅継紙・1通/(No.1 は糊継)	1-35
宝暦十辰年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計8石7斗2升4合) 磯(磯村)藤七郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦10年辰11月	堅継紙・1通	12
巳年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計8石2斗4升) 尾友次郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦11年巳11月	堅継紙・1通/(No.1 は糊継)	1-36
宝暦十一巳年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計8石2斗4升) 尾友次郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦11年巳11月	堅継紙・1通	13
午年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計9石3斗1升6合) 尾友次郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦12年午11月	堅継紙・1通/(No.1 は糊継)	1-37

## 海西郡村々免状その他史料 1.尾張国海西郡与蔵山新田免状

宝暦十二午年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計9石3斗1升6合) 尾友次郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦12年午11月	堅継紙・1通	14
未年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計8石2斗2升8合) 尾友次郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦13年未11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-38
宝暦十三未年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計8石2斗2升8合) 尾友次郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦13年未11月	堅継紙・1通	15
申年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計8石7升6合) 尾友次郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和1年申11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-39
明和元申年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計8石7升6合) 尾友次郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和1年申11月	堅継紙・1通	16
酉年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計5石6斗2升9合) 尾友次郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和2年酉11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-40
酉年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計5石6斗2升9合) 尾友次郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	明和2年酉11月	堅継紙・1通	17
免定(与蔵山午・辰新田、取米合計7石4斗2升3合) 金(金森)市之進(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	明和3年戌11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-41
明和三戌年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計7石4斗2升3合) 金(金森)市之進(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	(明和3年)戌11月	堅継紙・1通	18
亥年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計4石8升5合) 矢藤助(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和4年亥11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-42
子年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計5石9斗6升3合) 矢藤助(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和5年子11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-43
子年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計5石9斗6升3合) 矢藤助(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	明和5年子11月	堅継紙・1通	19
丑年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計7石4斗7升2合) 大橋新之右(新之右衛門)(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和6年丑11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-44
丑年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計7石4斗7升2合) 大(大橋)新之右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和6年丑11月	堅継紙・1通	20
寅年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計4石4斗4合) 大橋新之右(新之右衛門)(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和7年寅11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-45
寅年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計4石4斗4合) 大(大橋)新之右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和7年寅11月	堅継紙・1通	21
卯年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計6石4斗8升1合) 大(大橋)新之右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和8年卯11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-46
明和九辰年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計7石4斗2升3合) 田仙右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	(明和9年)辰11月	堅継紙・1通	22
辰年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計7石4斗2升3合) 田仙右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和9年辰11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-47
安永二巳年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計5石7斗6升3合) 田仙右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	(安永2年)巳10月	堅継紙・1通	23
巳年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計5石7斗6升3合) 田仙右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	安永2年巳11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-48

## 海西郡村々免状その他史料 1.尾張国海西郡与蔵山新田免状

安永三午年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計11石7斗3升3合) 田仙右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	(安永3年)午11月	堅継紙・1通	24
午年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計11石7斗3升3合) 田仙右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	安永3年午11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-49
安永四未年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計5石8斗6升2合) 田仙右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	(安永4年)11月	堅継紙・1通	25
未年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計5石8斗6升2合) 田仙右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	安永4年未11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-50
安永五申年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計8石4升2合) 田仙右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	(安永5年)申11月	堅継紙・1通	26
申年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計8石4升2合) 田仙右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	安永5年申11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-51
酉年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計8石8斗6升) 田仙右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	安永6年酉11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-52
戌年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計7石8斗6升9合) 田仙右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	安永7年戌11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-53
安永八亥年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計2石4斗6升2合) 田仙右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	(安永8年)11月	堅継紙・1通	27
亥年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計2石4斗6升2合) 田仙右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	安永8年亥11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-54
安永九子年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計9石5升8合) 田仙右衛門(印)→右新田(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	(安永9年)子11月	堅継紙・1通	28
子年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計9石5升8合) 田仙右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	安永9年子11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-55
天明元丑年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計9石7斗5升8合) 久岡右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	(天明1年)丑11月	堅継紙・1通	29
丑年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計9石7斗5升8合) 久岡右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	天明1年丑11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-56
天明二寅年添免定(与蔵山午・辰新田、取米合計8石8斗9升) 小(小笠原)九郎右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	(天明2年)寅11月	堅継紙・1通	30
寅年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計8石8斗9升) 小(小笠原)九郎右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	天明2年寅11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-57
免定(与蔵山午・辰新田、取米合計9石6斗9合) 飯(飯沼)定右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	天明3年卯11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-58
免定(与蔵山午・辰新田、取米合計10石3升) 飯(飯沼)定右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	天明4年辰11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-59
免定(与蔵山午・辰新田、取米合計10石2斗5升3合) 飯(飯沼)定右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	天明5年巳10月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-60
免定(与蔵山午・辰新田、取米合計7石3斗5升5合) 飯(飯沼)定右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	天明6年午11月	堅継紙・1通/(No.1は糊継)	1-61
覚(与蔵山新田野方、合計5升免定) 飯(飯沼)定右衛門(印)→右新田(与蔵山新田)庄屋・百姓	天明7年未11月	堅継紙・1通/(No.5は紙縫一括)	5-1
覚(与蔵山新田野方、合計5升4合免定) 飯(飯沼)定右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・百姓	天明8申11月	堅継紙・1通/(No.5は紙縫一括)	5-2

海西郡村々免状その他史料 1.尾張国海西郡与蔵山新田免状

免定(与蔵山午・辰新田、取米合計1斗7升2合) 飯(飯沼)定右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	寛政1酉11月	堅継紙・1通/(No.2 は紙縫一括)	2-1
覚(与蔵山新田野方、取米合計9合免定) 飯(飯沼)定右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	寛政1年酉11月	堅継紙・1通/(No.5 は紙縫一括)	5-3
免定(与蔵山午・辰新田、取米合計9石8斗8升6合) 橘(橘田)長七郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	寛政2戌11月	堅継紙・1通/(No.2 は紙縫一括)	2-2
覚(与蔵山新田野方、取米合計5升4合免定) 橘(橘田)長七郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	寛政3年亥11月	堅継紙・1通/(No.5 は紙縫一括)	5-4
覚(与蔵山新田野方、取米合計5升9合免定) 橘(橘田)長七郎(印)→右(与蔵山新田)庄屋・百姓	寛政5年丑11月	堅継紙・1通/(No.5 は紙縫一括)	5-5
免定(与蔵山午・辰新田、取米合計9石6斗5升8合) 橘(橘田)長七郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・百姓	寛政6寅11月	堅継紙・1通/(No.2 は紙縫一括)	2-3
覚(与蔵山新田野方、取米合計5升9合免定) 橘(橘田)長七郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・百姓	寛政6年寅11月	堅継紙・1通/(No.5 は紙縫一括)	5-6
免定(与蔵山午・辰新田、取米合計7石9斗8升9合) 橘(橘田)長七郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	寛政7卯11月	堅継紙・1通/(No.2 は紙縫一括)	2-4
免定(与蔵山午・辰新田、取米合計9石6斗5升8合) 橘(橘田)長七郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	寛政8年辰11月	堅継紙・1通/(No.2 は紙縫一括)	2-5
未年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計7石2斗7升1合) 太(太田)文左衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	寛政11年末11月	堅継紙・1通/(No.2 は紙縫一括)	2-6
覚(与蔵山新田野方、取米合計5升9合免定) 太(太田)文左衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	寛政11年末11月	堅継紙・1通/(No.5 は紙縫一括)	5-7
酉年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計5石2升1合) 太(太田)文左衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	享和1年酉11月	堅継紙・1通/(No.2 は紙縫一括)	2-7
戌年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計4石9斗5升3合) 太(太田)文左衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	享和2年戌11月	堅継紙・1通/(No.2 は紙縫一括)	2-8
免定(与蔵山午・辰新田、取米合計9石4斗7升3合) 太(太田)文左衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	享和3年亥11月	堅継紙・1通/(No.2 は紙縫一括)	2-9
子年免定(与蔵山午・辰新田、取米合計2石5斗) 長(長坂)荻助(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	文化1年子11月	堅継紙・1通/(No.3 は紙縫一括)	3-1
覚(与蔵山堤外見取米合計5升9合免定) 長(長坂)荻助(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	文化1年子11月	堅継紙・1通/(No.5 は紙縫一括)	5-8
丑年免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計9石5斗3升2合) 金(金森)市之進(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	文化2年丑11月	堅継紙・1通/(No.3 は紙縫一括)	3-2
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計9石5斗3升2合) 金(金森)市之進(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	文化3年寅11月	堅継紙・1通/(No.3 は紙縫一括)	3-3
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計4斗5升5合) 金(金森)市之進(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	文化4年卯11月	堅継紙・1通/(No.3 は紙縫一括)	3-4
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計9石7斗1升7合) 岡勝右(勝右衛門)(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	文化5年辰11月	堅継紙・1通/(No.3 は紙縫一括)	3-5
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計9石7斗1升7合) 岡勝右(勝右衛門)(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	文化7年午11月	堅継紙・1通/(No.3 は紙縫一括)	3-6
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計9石7斗1升7合) 岡勝右(勝右衛門)(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	文化8年末11月	堅継紙・1通/(No.3 は紙縫一括)	3-7

海西郡村々免状その他史料 1.尾張国海西郡与蔵山新田免状

免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計3斗6升4合) 岡勝右(勝右衛門)(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	文化12年亥11月	堅継紙・1通/(No.3は紙縫一括)	3-8
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計8石4斗6升6合) 岡勝右(勝右衛門)(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	文化13年子11月	堅継紙・1通/(No.3は紙縫一括)	3-9
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計9石7斗1升7合) 岡勝右(勝右衛門)(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	文化14年丑11月	堅継紙・1通/(No.3は紙縫一括)	3-10
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計3斗6升3合) 石(石川)小兵衛(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	文政3年辰11月	堅継紙・1通/(No.3は紙縫一括)	3-11
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計9石7斗1升7合) 石(石川)小兵衛(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	文政4年巳11月	堅継紙・1通/(No.3は紙縫一括)	3-12
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計9石7斗1升7合) 馬(馬場)九八郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	文政8年酉11月	堅継紙・1通/(No.3は紙縫一括)	3-13
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計9石7斗1升7合) 馬(馬場)九八郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	文政9年戌11月	堅継紙・1通/(No.3は紙縫一括)	3-14
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計5石1斗2升6合) 三(三沢)喜右衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	文政11年子11月	堅継紙・1通/(No.3は紙縫一括)	3-15
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計8石9斗3升) 織(織田)大助(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・与頭・惣百姓	文政12年丑11月	堅継紙・1通/(No.3は紙縫一括)	3-16
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計9石7斗8合) 織(織田)大助(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	文政13年寅11月	堅継紙・1通/(No.3は紙縫一括)	3-17
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計9石7斗8合) 織(織田)大助(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	天保2年卯11月	堅継紙・1通/(No.3は紙縫一括)	3-18
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計9石7斗8合) 矢(矢野)藤九郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	天保6年未11月	堅継紙・1通/(No.3は紙縫一括)	3-19
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計4斗1升2合) 矢(矢野)藤九郎(印)→右新田(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	天保7年申11月	堅継紙・1通/(No.3は紙縫一括)	3-20
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計9石7斗8合) 水(水野)篤助(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	天保8年酉11月	堅継紙・1通/(No.3は紙縫一括)	3-21
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計8石7斗4升8合) 三(三村)平六(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	天保11年子11月	堅継紙・1通/(No.3は紙縫一括)	3-22
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計5石1斗8升7合) 三(三村)平六(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	天保12年丑10月	堅継紙・1通/(No.3は紙縫一括)	3-23
免定(与蔵山午・辰新田・取米合計9石7斗8合) 三(三村)平六(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	天保13年寅11月	堅継紙・1通/(No.3は紙縫一括)	3-24
免定(与蔵山午・辰新田・取米合計9石7斗8合) 児(児玉)貞一郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	弘化2年巳11月	堅継紙・1通/(No.4は紙縫一括)	4-1
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計9石7斗8合) 児(児玉)定一郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	弘化3年午11月	堅継紙・1通/(No.4は紙縫一括)	4-2

免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計9石6斗8升6合) 吉(吉田)助次郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	嘉永1年申11月	堅継紙・1通/(No.4は紙縫一括)	4-3
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、水損につき無免) 吉(吉田)助次郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	嘉永3年戌12月	堅継紙・1通/(No.4は紙縫一括)	4-4
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計7石4斗6升1合) 山(山田)貫一郎(印)→右新田(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	安政2年卯11月	堅継紙・1通/(No.4は紙縫一括)	4-5
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計9石7斗8合) 山(山田)貫一郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	安政3年辰11月	堅継紙・1通/(No.4は紙縫一括)	4-6
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計9石2升8合) 山(山田)貫一郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	安政4年巳11月	堅継紙・1通/(No.4は紙縫一括)	4-7
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計1斗9升) 一(一色)庄左衛門(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	万延1年申11月	堅継紙・1通/(No.4は紙縫一括)	4-8
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計9石9升4合) 金(金森)五郎兵衛(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	元治1年子11月	堅継紙・1通/(No.4は紙縫一括)	4-9
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計6石7斗7升) 岡(岡崎)新吾(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	慶応1年丑11月	堅継紙・1通/(No.4は紙縫一括)	4-10
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計4斗8升5合) 岡(岡崎)新吾(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	慶応2年寅11月	堅継紙・1通/(No.4は紙縫一括)	4-11
御救拝借仕金子證文之事(田畑違作のため金128両拝借金返済延納につき) 下原村庄屋横井廣左衛門(印) 外7名→柳原御役所	慶応2年寅11月	堅紙・1通/(No.33綴は一括)	33-1
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計6石1斗6升9合) 上(上田)喜兵衛(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	慶応3年卯11月	堅継紙・1通/(No.4は紙縫一括)	4-12
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計1斗1升8合) 天(天野)勘太夫(印)→右新田(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	明治1年辰11月	堅継紙・1通/(No.4は紙縫一括)	4-13
免定(与蔵山午・辰新田・含砂原29畝、取米合計4石2斗8升) 安(安井)喜一(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	明治3年午11月	堅継紙・1通/(No.4は紙縫一括)	4-14
(享保15戌年・享保16亥年の2年分の免定不明につき覚書)		堅切紙・1通/(No.1は糊継)	1-6

## 2.尾張国海西郡松名新田免状

子年免定(松名新田、取米合計107石8斗6升9合) 天野沢之右衛門(印)→右村(松名新田)庄屋・組頭・百姓中	延享1年子11月	堅継紙・1通/(No.35は糊継、紙縫一括)	35-19
丑年免定(松名新田、取米合計106石4升6合) 天野沢之右衛門(印)→右村(松名新田)庄屋・組頭・百姓	延享2年丑11月	堅継紙・1通/(No.35は糊継、紙縫一括)	35-18
寅年免定(松名新田、取米合計109石2斗5升2合) 浅野久治(印)→右村(松名新田)庄屋・組頭・百姓	延享3年寅11月	堅継紙・1通/(No.35は糊継、紙縫一括)	35-17
卯年免定(松名新田、取米合計102石2斗3升3合) 浅野久治(印)→右村(松名新田)庄屋・組頭・百姓中	延享4年卯11月	堅継紙・1通/(No.35は糊継、紙縫一括)	35-16
辰年免定(松名新田、取米合計81石7斗8升2合) 森村甚左(印)→右新田(松名新田)庄屋・組頭・惣百姓	寛延1年辰11月	堅継紙・1通/(No.35は糊継、紙縫一括)	35-15

## 海西郡村々免状その他史料 2.尾張国海西郡松名新田免状

巳年免定(松名新田、取米合計105石1斗8升1合) 森村甚左(印)→右村(松名新田)庄屋・組頭・惣百姓	寛延2年巳11月	堅継紙・1通/(No.35は糊継、紙縫一括)	35-14
午年免定(松名新田、取米合計94石6斗3升5合) 土岐市右(市右衛門)(印)→右村(松名新田)庄屋・組頭・小百姓	寛延3年午11月	堅継紙・1通/(No.35は糊継、紙縫一括)	35-13
未年免定(松名新田、取米合計98石9斗9升9合) 土(土岐)市右衛門(印)→右村(松名新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦1年未11月	堅継紙・1通/(No.35は糊継、紙縫一括)	35-12
申年免定(松名新田、取米合計90石7斗1升1合) 土(土岐)市右衛門(印)→右村(松名新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦2年申11月	堅継紙・1通/(No.35は糊継、紙縫一括)	35-11
酉年免定(松名新田、取米合計84石4斗8升8合) 土(土岐)市右衛門(印)→右村(松名新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦3年酉11月	堅継紙・1通/(No.35は糊継、紙縫一括)	35-10
戌年免定(松名新田、取米合計96石5斗9升8合) 富八郎兵衛(印)→右村(松名新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦4年戌11月	堅継紙・1通/(No.35は糊継、紙縫一括)	35-9
亥年免定(松名新田、取米合計92石9升) 富八郎兵衛(印)→右村(松名新田)庄屋・与頭・惣百姓	宝暦5年亥11月	堅継紙・1通/(No.35は糊継、紙縫一括)	35-8
子年免定(松名新田、取米合計100石2斗2升2合) 尾友治郎(印)→右村(松名新田)庄屋・組頭・小百姓	宝暦6年子11月	堅継紙・1通/(No.35は糊継、紙縫一括)	35-7
丑年免定(松名新田、取米合計81石3斗4升6合) 尾友次郎(印)→右村(松名新田)庄屋	宝暦7年丑11月	堅継紙・1通/(No.35は糊継、紙縫一括)	35-6
寅年免定(松名新田、取米合計90石3斗9合) 尾友次郎(印)→右村(松名新田)庄屋・与頭・惣百姓	宝暦8年寅11月	堅継紙・1通/(No.35は糊継、紙縫一括)	35-5
免定(松名新田、取米合計100石2斗2升2合) 磯(磯村)藤七郎(印)→右村(松名新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦9年卯10月	堅継紙・1通/(No.35は糊継、紙縫一括)	35-4
覚(御物成代金2分12匁6分9厘受取につき) 磯村藤七(藤七郎)(印)→右村(松名新田)庄屋	宝暦10年辰8月	堅継紙・1通/(No.36は紙縫一括)	36-3
巳年免定(松名新田、取米合計87石9斗5升) 尾友次郎(印)→右村(松名新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦11年巳11月	堅継紙・1通/(No.35は糊継、紙縫一括)	35-3
午年免定(松名新田、取米合計61石7斗2升7合) 尾友次郎(印)→右村(松名新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦12年午11月	堅継紙・1通/(No.35は糊継、紙縫一括)	35-2
免定(松名新田、取米合計100石2斗2升2合) 尾友次郎(印)→右村(松名新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦13年未11月	堅継紙・1通/(No.35は糊継、紙縫一括)	35-1
覚(物成代金3分銀7匁4分1厘受取証文、小手形と引換) 尾友次郎(印)→右村(松名新田)庄屋	宝暦14年申3月	堅継紙・1通/(No.36は紙縫一括)	36-2
明和九辰年添免定(松名新田、取米合計62石3斗9升3合) 田仙右衛門(印)→右村(松名新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和9年辰11月	堅継紙・1通/(No.36は紙縫一括)	36-1

## 3.尾張国海西郡平嶋新田免状

免定(平嶋新田、取米合計174石2斗6升7合) 村瀬彦左(花押・印)→平嶋新田庄屋中	慶安1年子11月14日	堅継紙・1通/(No.37は紙縫一括)	37-1
卯年免定之事(平嶋新田、取米合計209石9斗7升8合) 杉浦弾右衛門(花押・印)→平嶋新田庄屋・百姓中	慶安4年卯11月7日	堅継紙・1通/(No.37は紙縫一括)	37-2
辰年免定之事(平嶋新田、取米合計204石2斗2升6合) 杉浦弾右衛門(花押・印)→平嶋新田庄や・百姓中	承応1年辰11月10日	堅継紙・1通/(No.37は紙縫一括)	37-3
(巳年免定・平嶋新田、取米合計201石5升3合) 杉浦弾右衛門(花押・印)→平嶋新田庄や・百姓中	承応2年巳11月4日	堅継紙・1通/(No.37は紙縫一括)	37-4
申之年免定之事(平嶋新田、取米合計216石) 横井平太夫(花押)→右(平嶋新田)之庄屋・小百姓中	明暦2丙申10月28日	堅継紙・1通/(No.37は紙縫一括)	37-5
酉之年免定(平嶋新田、取米合計216石1升) 横井平太夫(花押)	明暦3丁酉霜月	堅継紙・1通/(No.37は紙縫一括)	37-6
戌之年免定之事(平嶋新田、取米合計211石4斗7升1合) 横井平太夫(花押)→平嶋新田庄屋・百姓中	万治1戊戌霜月26日	堅継紙・1通/(No.37は紙縫一括)	37-7

亥之年免定之事(平嶋新田、取米合計222石6斗2升5合) 横井平太夫(印)→平嶋新田庄や・百姓中	万治2己亥霜月9日	堅継紙・1通/(No.37 は紙継一括)	37-8
子之年免定之事(平嶋新田、取米合計202石6斗1升4合) 横井平太夫(印)→平嶋新田庄屋・小百姓中	万治3年子極月朔日	堅継紙・1通/(No.37 は紙継一括)	37-9
丑之年免定之事(平嶋新田、取米合計229石2斗6升3合) 横井平太夫(印)→平嶋新田庄屋・百姓中	寛文1年丑10月9日	堅継紙・1通/(No.37 は紙継一括)	37-10
寅之年免定之事(平嶋新田、取米合計227石4斗7升8合) 横井平太夫(花押)→平嶋新田庄屋・百姓中	寛文2年寅10月27日	堅継紙・1通/(No.37 は紙継一括)	37-11
卯之年免定之事(平嶋新田、取米合計220石5斗9升7合) 横井平太夫(花押)→平嶋新田庄屋・百姓中	寛文3年卯11月9日	堅継紙・1通/(No.37 は紙継一括)	37-12
巳之年免定之事(平嶋新田、取米合計252石4斗5升2合) 横井平太夫(印)→平嶋新田庄屋・百姓中	寛文5年巳11月20日	堅継紙・1通/(No.37 は紙継一括)	37-13
午之年免定(平嶋新田、取米合計238石5斗5合) 横井 五右衛門(印)→平嶋新田庄や・百姓中	寛文6年午11月	堅継紙・1通/(No.37 は紙継一括)	37-14
未之年免定(平嶋新田、取米合計235石1斗9升2合) 横 井五右衛門(印)→平嶋新田庄屋・小百姓中	寛文7年未霜月	堅継紙・1通/(No.37 は紙継一括)	37-15
申之年免定(平嶋新田、取米合計239石2斗2升7合) 稲 葉与市(花押・印)→海西郡平嶋村庄屋・小百姓中	寛文8年申11月	堅継紙・1通/(No.37 は紙継一括)	37-16
酉之年免定(取米合計220石8斗3升6合) 奥田彦九郎 (印)→平嶋新田庄屋・惣百姓中	寛文9年酉霜月11日	堅継紙・1通/(No.38 は紙継一括)	38-1
戌之年免定(取米合計251石1斗2升) 奥田彦九郎(印)→ 平嶋新田庄屋・小百姓中	寛文10年戌10月	堅継紙・1通/(No.38 は紙継一括)	38-2
亥之年免定(取米合計263石2斗2合) 奥田彦九郎(印)→ 平嶋新田庄屋・小百姓中	寛文11年亥11月	堅継紙・1通/(No.38 は紙継一括)	38-3
子之年免定(取米合計263石6斗7升6合) 奥田彦九郎 (印)→平嶋新田庄屋・小百姓中	寛文12年子11月	堅継紙・1通/(No.38 は紙継一括)	38-4
免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計260石1斗7合) 山田作之右衛門(印)→平嶋新田庄屋・小百姓中	延宝1年丑11月	堅継紙・1通	39-1
免定(平嶋新田・小具足新田、取米237石余り) 土屋源 助(花押・印)→海西郡平嶋村庄屋・小百姓中	延宝3年卯之11月	堅継紙・1通	39-2
免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計222石5斗4升5 合) 土屋源助(印)→海西郡平嶋新田庄屋・小百姓中	延宝4年辰12月	堅継紙・1通	39-3
免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計249石7斗1升5 合) 土屋源助(印)→海西郡平嶋村庄屋・組頭・小百 姓中	延宝5年巳12月	堅継紙・1通	39-4
午之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計271石6斗 6升4合) 土屋源助(印)→平嶋新田・小具足新田右庄屋・ 組頭・小百姓中	延宝6年午11月	堅継紙・1通/(No. 39-5~7は糊継)	39-5
未之年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計 268石2斗3升5合) 横地仁兵衛(印)→海西郡平嶋新田 庄屋・与頭・小百姓中	延宝7己未12月	堅継紙・1通/(No. 39-5~7は糊継)	39-6
免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計240石8斗3升9 合) 渡辺佐左衛門(花押・印)→平嶋新田庄屋・小百姓中	延宝8庚申10月	堅継紙・1通/(No. 39-5~7は糊継)	39-7
免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計84石1斗1升6合) 渡辺佐左衛門(花押・印)→平嶋新田庄屋・小百姓中	天和1年酉11月19日	堅継紙・1通	39-8
免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計256石5斗3升9 合) 鈴木勘兵衛(印)→右村(平嶋新田)庄屋・小百姓中	天和2年戊11月	堅継紙・1通/(No. 39-9~14は糊継)	39-9
免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計252石2斗2合) 鈴木勘兵衛(印)→右村(平嶋新田)庄屋・小百姓中	天和3年亥11月	堅継紙・1通/(No. 39-9~14は糊継)	39-10
免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計265石9斗8升5 合) 山本平左衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・小百姓中	貞享1年子11月	堅継紙・1通/(No. 39-9~14は糊継)	39-11

海西郡村々免状その他史料 3.尾張国海西郡平嶋新田免状

丑之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計263石1斗2合) 山本平左衛門(印)→平嶋新田庄屋・小百姓中	貞享2年丑11月	堅継紙・1通/(No.39-9~14は糊継)	39-12
免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計260石8斗5升8合) 山本平左衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・小百姓中	貞享3年寅11月	堅継紙・1通/(No.39-9~14は糊継)	39-13
卯之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計262石余り) 榑田八兵衛(印)→平嶋新田・小具足新田庄屋・組頭・小百姓中	貞享4年卯11月	堅継紙・1通/(No.39-9~14は糊継)	39-14
免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計272石余) 榑田八兵衛(印)→平嶋新田庄屋・組頭・小百姓中	元禄元年辰11月	堅継紙・1通/(No.40は紙縫一括)(No.40-1は糊継一括)	40-1-1
巳之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計260石9斗5合) 渡辺半右衛門(印)→平嶋新田庄屋・組頭・小百姓中	元禄2年巳11月	堅継紙・1通/(No.40は紙縫一括)(No.40-1は紙縫一括)	40-1-2
午之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計254石8斗1升9合) 渡辺半右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・小百姓中	元禄3年午11月	堅継紙・1通/(No.40は紙縫一括)(No.40-1は糊継)	40-1-3
未之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計254石6斗5升4合) 小田原平蔵(印)→海西群平嶋新田庄屋・組頭・小百姓中	元禄4年末11月	堅継紙・1通/(No.40は紙縫一括)/(No.40-1は糊継)	40-1-4
申之年免定(取米合計258石5斗5升1合) 加藤市兵衛(印)→平嶋新田庄屋中	元禄5年申11月	堅継紙・1通/(No.40は紙縫一括)/(No.40-1は糊継)	40-1-5
酉之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計271石8斗5升) 今村弥助(印)→右村(平嶋新田)庄屋・小百姓中	元禄6年酉11月	堅継紙・1通/(No.40は紙縫一括)/(No.40-1は糊継)	40-1-6
戌之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計254石8斗6升8合) 蟹江角右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・小百姓中	元禄7年戌11月	堅継紙・1通/(No.40は紙縫一括)/(No.40-1は糊継)	40-1-7
亥之年免定(取米合計270石2斗5升3合) 小野文四郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・小百姓中	元禄8年亥11月	堅継紙・1通/(No.40は紙縫一括)/(No.40-1は糊継)	40-1-8
子之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計295石5斗1升4合) 小野文四(印)→右村(平嶋新田)庄屋・小百姓中	元禄9年子11月	堅継紙・1通/(No.40は紙縫一括)/(No.40-1は糊継)	40-1-9
寅之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計277石2斗5升3合) 小野文四(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・小百姓中	元禄11年寅11月	堅継紙・1通/(No.40は紙縫一括)/(40-2は糊継)	40-2-1
卯年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計278石7斗3升8合) 小野文四(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・小百姓中	元禄12年卯11月	堅継紙・1通/(No.40は紙縫一括)/(40-2は糊継)	40-2-2
辰之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計289石9斗9升7合) 桜井佐之右衛門(印)→右(平嶋)新田庄屋・組頭・小百姓中	元禄13年辰11月	堅継紙・1通/(No.40は紙縫一括)/(40-2は糊継)	40-2-3
巳之年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計261石1斗5升7合) 小澤九郎左(印)→右(平嶋)新田庄屋・与頭・小百姓中	元禄14年巳11月	堅継紙・1通/(No.40は紙縫一括)/(40-2は糊継)	40-2-4
午之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計258石1斗7升4合) 関佐左衛門(印)→右(平嶋)新田庄屋・与頭・小百姓中	元禄15年午11月	堅継紙・1通/(No.40は紙縫一括)/(40-2は糊継)	40-2-5
未之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計277石4斗2升5合) 関佐左衛門(印)→右(平嶋)新田庄屋・与頭・小百姓中	元禄16年末11月	堅継紙・1通/(No.40は紙縫一括)/(40-2は糊継)	40-2-6
申之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計268石9斗3升9合) 益田安兵衛(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・小百姓中	宝永1年申11月	堅継紙・1通/(No.41は糊継、紙縫一括)	41-1
酉之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計262石5斗3升5合) 佐田弾助(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・小百姓中	宝永2年酉11月	堅継紙・1通/(No.41は糊継、紙縫一括)	41-2

戌之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計280石3斗8升7合) 佐田弾助(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・小百姓中	宝永3年戌11月	堅継紙・1通/(No.41 は糊継、紙縫一括)	41-3
亥年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計229石4斗2升2合) 佐田弾助(印)→右村(平嶋新田)庄屋・小百姓中	宝永4年亥12月	堅継紙・1通/(No.41 は糊継、紙縫一括)	41-4
子之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計236石3合) 佐田弾助(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・小百姓中	宝永5年子11月	堅継紙・1通/(No.41 は糊継、紙縫一括)	41-5
丑年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計270石8斗3升8合) 佐田弾助(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・小百姓中	宝永6年丑11月	堅継紙・1通/(No.41 は糊継、紙縫一括)	41-6
寅之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計268石5升6合) 佐田弾助(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・小百姓中	宝永7年寅11月	堅継紙・1通/(No.41 は糊継、紙縫一括)	41-7
卯之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計233石6斗9升6合) 佐田弾助(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・小百姓中	正徳1年卯11月	堅継紙・1通/(No.41 は糊継、紙縫一括)	41-8
辰之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計247石4斗3合) 稲垣甚右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・百姓中	正徳2年辰12月	堅継紙・1通/(No.42 は糊継、紙縫一括)	42-1
巳之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計255石6斗7升1合) 稲垣甚右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・百姓中	正徳3年巳12月	堅継紙・1通/(No.42 は糊継、紙縫一括)	42-2
午之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計214石2斗7升4合) 稲垣甚右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・百姓中	正徳4年午12月	堅継紙・1通/(No.42 は糊継、紙縫一括)	42-3
未之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計245石8升5合) 稲垣甚右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・百姓中	正徳5年未12月	堅継紙・1通/(No.42 は糊継、紙縫一括)	42-4
申之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計231石1斗2升7合) 稲垣甚右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・小百姓中	享保1年申11月	堅継紙・1通/(No.42 は糊継、紙縫一括)	42-5
酉之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計202石6斗6升9合) 水野文四(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・小百姓中	享保2年酉11月	堅継紙・1通/(No.42 は糊継、紙縫一括)	42-6
戌之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計225石7斗5升6合) 水野文四(印)→右村(平嶋新田)庄屋・小百姓中	享保3年戌11月	堅継紙・1通/(No.42 は糊継、紙縫一括)	42-7
(嶋新田・小具足新田分辰年免定、取米合計230石9斗8升4合) 小菅半右(半右衛門)(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・小百姓中	享保9年辰11月	堅継紙・1通/(No.43 は糊継、紙縫一括)	43-1
巳年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計221石8斗3升2合) 小菅半右(半右衛門)(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・百姓中	享保10年巳11月	堅継紙・1通/(No.43 は糊継、紙縫一括)	43-2
午之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計230石9斗) 飯嶋重左衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・小百姓中	享保11年午11月	堅継紙・1通/(No.43 は糊継、紙縫一括)	43-3
未之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計227石3斗8升5合) 神谷弥五左衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・小百姓中	享保12年未11月	堅継紙・1通/(No.43 は糊継、紙縫一括)	43-4
申年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計199石8斗8升9合) 河村図助(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・小百姓中	享保13年申11月	堅継紙・1通/(No.43 は糊継、紙縫一括)	43-5
酉之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計209石6斗5升) 河村嘉左衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・百姓	享保14年酉11月	堅継紙・1通/(No.43 は糊継、紙縫一括)	43-6

海西郡村々免状その他史料 3.尾張国海西郡平嶋新田免状

戌之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計229石8斗1合) 河村嘉左衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・小百姓中	享保15年戌11月	堅継紙・1通/(No.43は糊継、紙縫一括)	43-7
亥之年免定(平嶋新田・小具足新田、取米合計192石6斗7升9合) 河村嘉左衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・百姓中	享保16年亥11月	堅継紙・1通/(No.43は糊継、紙縫一括)	43-8
宝暦三酉年添免定(取米合計23石5斗) 比(此木)伝六(印)→右新田(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦3年酉11月	堅継紙・1通/(No.52は布紐一括)	52-1
戌年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計141石4升5合) 富八郎兵衛(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・小百姓	宝暦4年戌11月	半・1冊<4丁>/(No.44は糊継、紙縫一括)	44-1
戌年添免定(取米合計141石4升5合) 富八郎兵衛(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	宝暦4年戌11月	堅継紙・1通/(No.52は布紐一括)	52-2
亥年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計123石3斗5升9合) 富八郎兵衛(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	宝暦5年亥11月	堅継紙・1通/(No.44は糊継、紙縫一括)	44-2
亥年添免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計123石3斗5升9合) 富八郎兵衛(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦5年亥11月	堅継紙・1通/(No.54は紙縫一括)	54-1
子年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計135石1斗1升7合) 尾友次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・小百姓	宝暦6年子11月	堅継紙・1通/(No.44は糊継、紙縫一括)	44-3
子年添免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計135石1斗1升7合) 尾友次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦6年子11月	堅継紙・1通/(No.54は紙縫一括)	54-2
丑年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計17石7斗4升3合) 尾友次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋	宝暦7年丑11月	堅継紙・1通/(No.44は糊継、紙縫一括)	44-4
丑年添免定(取米合計17石7斗4升3合) 尾友次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	宝暦7年丑11月	堅継紙・1通/(No.52は布紐一括)	52-3
寅年添免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計100石5斗1升6合) 尾友次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	宝暦8年寅11月	堅継紙・1通/(No.54は紙縫一括)	54-3
寅年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計100石5斗1升6合) 尾友次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦8年寅12月	堅継紙・1通/(No.44は糊継、紙縫一括)	44-5
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計132石5斗2升1合) 磯(磯村)藤七郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦9年卯10月	堅継紙・1通/(No.44は糊継、紙縫一括)	44-6
宝暦九卯年添免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計4斗5升5合) 磯(磯村)藤七郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦9年卯11月	堅継紙・1通/(No.44は糊継、紙縫一括)	44-7
辰年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計114石2斗2升6合) 磯(磯村)藤七郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦10年辰11月	堅継紙・1通/(No.44は糊継、紙縫一括)	44-8
宝暦十辰年添免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計114石2斗2升6合) 磯(磯村)藤七郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦10年辰11月	堅継紙・1通/(No.54は紙縫一括)	54-4
巳年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計98石9斗4升7合) 尾友次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	宝暦11年巳11月	堅継紙・1通/(No.44は糊継、紙縫一括)	44-9
宝暦十一巳年添免定(取米合計98石9斗4升7合) 尾友次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	宝暦11年巳11月	堅継紙・1通/(No.52は布紐一括)	52-4
午年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計116石1斗1升8合) 尾友次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦12年午11月	堅継紙・1通/(No.44は糊継、紙縫一括)	44-10

## 海西郡村々免状その他史料 3.尾張国海西郡平嶋新田免状

宝暦十二午年添免定(取米合計116石1斗1升8合) 尾友次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦12年午11月	堅継紙・1通/(No.52 は布紐一括)	52-5
覚(平嶋新田定免、取米合計119石2斗3升4合書上) 尾友次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦12年午11月	堅継紙・1通/(No.53 はビニール紐一括)	53-1
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計138石6斗4升9合) 尾友次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦13年未11月	堅継紙・1通/(No.44 は糊継、紙縫一括)	44-11
覚(平嶋新田定免取米合計6石8升書上) 尾友次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	宝暦13年未11月	堅継紙・1通/(No.53 はビニール紐一括)	53-2
申年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計106石3斗3升5合) 尾友次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和1年申11月	堅継紙・1通/(No.44 は糊継、紙縫一括)	44-12
明和元申年添免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計106石3斗3升5合) 尾友次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和1年申11月	堅継紙・1通/(No.54 は紙縫一括)	54-6
酉年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計54石6斗1升4合) 尾友次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和2年酉11月	堅継紙・1通/(No.44 は糊継、紙縫一括)	44-13
覚(平嶋新田他定免5ヶ年間4石1斗4升7につき) 尾友次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和2年酉11月	堅継紙・1通/(No.54 は紙縫一括)	54-8
酉年添免定(取米合計54石6斗1升4合) 尾友次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	明和2年酉11月	堅継紙・1通/(No.54 は紙縫一括)	54-9
覚(汐痛等につき平嶋新田定免ならびに御救米願の旨許可) 田仙右衛門→右村(平嶋新田)庄屋	(明和3年)戌8月	堅継紙・1通/(No.54 は紙縫一括)	54-10
明和三戌年添免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計86石6斗3升) 金(金森)市之進(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	(明和3年)戌11月	堅継紙・1通/(No.54 は紙縫一括)	54-11
戌年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計86石6斗3升) 金(金森)市之進(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和3年戌11月	堅継紙・1通/(No.44 は糊継、紙縫一括)	44-14
亥年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計15石8斗7升4合) 矢藤助(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和4年亥11月	堅継紙・1通/(No.44 は糊継、紙縫一括)	44-15
子年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計83石2斗6升2合) 矢藤助(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和5年子11月	堅継紙・1通/(No.44 は糊継、紙縫一括)	44-16
子年添免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計83石2斗6升2合) 矢藤助(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和5年子11月	堅継紙・1通/(No.54 は紙縫一括)	54-13
丑年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計94石3斗9升9合) 大橋新之右(新之右衛門)(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	明和6年丑11月	堅継紙・1通/(No.44 は糊継、紙縫一括)	44-17
丑年添免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計94石3斗9升9合) 大(大橋)新之右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和6年丑11月	堅継紙・1通/(No.54 は紙縫一括)	54-14
寅年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計54石5升) 大橋新之右(新之右衛門)(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和7年寅11月	堅継紙・1通/(No.44 は糊継、紙縫一括)	44-18
寅年添免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計54石5升) 大(大橋)新之右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和7年寅11月	堅継紙・1通/(No.54 は紙縫一括)	54-15
覚(平嶋新田定免3ヶ年119石2斗3升4合に決定につき) 磯(磯村)藤七郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	(明和8)年卯10月	堅継紙・1通/(No.54 は紙縫一括)	54-16

## 海西郡村々免状その他史料 3.尾張国海西郡平嶋新田免状

卯年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計76石6斗7升8合) 大(大橋)新之右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和8年卯11月	堅継紙・1通/(No.44は糊継、紙縫一括)	44-19
寛(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、平嶋小具足新田定免3石3斗8合に決定につき) 磯(磯村)藤七郎(印)→右村(平嶋小具足新田)庄屋・与頭・惣百姓	(明和9)年辰11月	堅継紙・1通/(No.54は紙縫一括)	54-17
明和九辰年添免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計89石6斗6升5合) 田仙右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	(明和9年)辰11月	堅継紙・1通/(No.54は紙縫一括)	54-18
辰年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計89石6斗6升5合) 田仙右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	明和9年辰11月	堅継紙・1通/(No.44は糊継、紙縫一括)	44-20
安永二巳年添免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計51石7斗5升3合) 田仙右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	(安永2年)巳10月	堅継紙・1通/(No.54は紙縫一括)	54-19
巳年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計51石7斗5升3合) 田仙右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	安永2年巳11月	堅継紙・1通/(No.44は糊継、紙縫一括)	44-21
安永三午年添免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計113石9斗1升2合) 田仙右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	(安永3年)午11月	堅継紙・1通/(No.54は紙縫一括)	54-20
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計113石9斗1升2合) 田仙右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	安永3年午11月	堅継紙・1通/(No.44は糊継、紙縫一括)	44-22
安永四未年添免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計67石6斗5升6合) 田仙右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	(安永4年)11月	堅継紙・1通/(No.54は紙縫一括)	54-21
未年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計67石6斗5升6合) 田仙右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	安永4年未11月	堅継紙・1通/(No.44は糊継、紙縫一括)	44-23
安永五申年添免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計113石9斗1升2合) 田仙右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	(安永5年)申11月	堅継紙・1通/(No.54は紙縫一括)	54-22
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計113石9斗1升2合) 田仙右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	安永5年申11月	堅継紙・1通/(No.44は糊継、紙縫一括)	44-24
酉年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計113石9斗1升2合) 田仙右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	安永6年酉11月	堅継紙・1通/(No.44は糊継、紙縫一括)	44-25
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計113石9斗1升2合) 田仙右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	安永7年戌11月	堅継紙・1通/(No.44は糊継、紙縫一括)	44-26
安永八亥年添免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計61石4斗7升) 田仙右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	(安永8年)11月	堅継紙・1通/(No.54は紙縫一括)	54-23
亥年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計61石4斗7升) 田仙右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	安永8年亥11月	堅継紙・1通/(No.54は紙縫一括)	54-24
安永九子年添免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計122石3斗9升5合) 田仙右衛門(印)→右新田(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	(安永9年)子11月	堅継紙・1通/(No.54は紙縫一括)	54-25
子年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計122石3斗9升5合) 田仙右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	安永9年子11月	堅継紙・1通/(No.45は糊継、紙縫一括)	45-1
天明元丑年添免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計122石4斗3升5合) 久岡右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	(天明1年)丑11月	堅継紙・1通/(No.54は紙縫一括)	54-26

丑年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計122石4斗3升5合) 久岡右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	天明1年丑11月	堅継紙・1通/(No.45は糊継、紙継一括)	45-2
天明二寅年添免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計122石4斗3升5合) 小(小笠原)九郎右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	(天明2年)寅11月	堅継紙・1通/(No.54は紙継一括)	54-27
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計122石4斗3升5合) 小(小笠原)九郎右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	天明2年寅11月	堅継紙・1通/(No.45は糊継、紙継一括)	45-3
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計122石4斗3升5合) 飯(飯沼)定右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	天明3年卯11月	堅継紙・1通/(No.45は糊継、紙継一括)	45-4
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計125石4斗1升2合) 飯(飯沼)定右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	天明5年巳11月	堅継紙・1通/(No.45は糊継、紙継一括)	45-5
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計87石9斗2升6合) 飯(飯沼)定右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	天明6年午11月	堅継紙・1通/(No.45は糊継、紙継一括)	45-6
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計130石9斗4升4合) 飯(飯沼)定右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	天明7年未11月	堅継紙・1通/(No.45は糊継、紙継一括)	45-7
寛(平嶋新田前野方見取米8斗8升3合免定) 飯(飯沼)定右衛門(印)→右新田(平嶋新田)庄屋・百姓	天明7年未11月	堅継紙・1通/(No.45は糊継、紙継一括)	45-8
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計131石8升8合) 飯(飯沼)定右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	天明8年申11月	堅継紙・1通/(No.45は糊継、紙継一括)	45-9
寛(平嶋新田前野方見取定納米8斗8升3合免定) 飯(飯沼)定右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・百姓	天明8年申11月	堅継紙・1通/(No.45は糊継、紙継一括)	45-10
子年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計117石4斗4升5合) 長(長坂)荻助(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	文化1年子11月	美・1冊<4丁>/(No.46は紙継一括)	46-1
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計121石1斗6升5合) 岡勝右(勝右衛門)(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	文化5年辰11月	美・1冊<5丁>/(No.46は紙継一括)	46-2
午年免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石1斗5升4合) 岡勝右(勝右衛門)(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	文化7年午11月	堅継紙・1通/(No.46は紙継一括)	46-3
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石1斗7升3合) 岡勝右(勝右衛門)(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	文化8年未11月	堅継紙・1通/(No.46は紙継一括)	46-4
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石4斗9合) 岡勝右(勝右衛門)(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	文化9年申10月	美・1冊<4丁>/(No.46は紙継一括)	46-5
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石4斗9合) 岡勝右(勝右衛門)(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	文化10年酉11月	美・1冊<5丁>/(No.46は紙継一括)	46-6
寛(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、平嶋新田見取場3石8斗6升4合免定) 岡勝右(勝右衛門)(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	文化10年酉11月	美・1冊<7丁>/(No.46は紙継一括)	46-7
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石4斗9合) 岡勝右(勝右衛門)(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	文化11年戌11月	美・1冊<5丁>/(No.46は紙継一括)	46-8
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計108石8斗9升) 岡勝右(勝右衛門)(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	文化12年亥11月	堅継紙・1通/(No.46は紙継一括)	46-9

海西郡村々免状その他史料 3.尾張国海西郡平嶋新田免状

免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石3斗1升7合) 岡勝右(勝右衛門)(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	文化13年子11月	半・1冊<5丁>/(No.46は紙縫一括)	46-10
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石4斗1升1合) 岡勝右(勝右衛門)(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	文化14年丑11月	半・1冊<5丁>/(No.46は紙縫一括)	46-11
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石4斗3升6合) 石(石川)小兵衛(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	文政1年寅11月	美・1冊<5丁>/(No.47は紙縫一括)	47-1
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石4斗3升7合) 石(石川)小兵衛(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	文政2年卯11月	美・1冊<5丁>/(No.47は紙縫一括)	47-2
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計116石5斗6升6合) 石(石川)小兵衛(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	文政3年辰11月	美・1冊<5丁>/(No.47は紙縫一括)	47-3
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石4斗3升7合) 石(石川)小兵衛(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	文政4年巳11月	美・1冊<5丁>/(No.47は紙縫一括)	47-4
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石4斗8升9合) 石(石川)小兵衛(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	文政5年午11月	美・1冊<5丁>/(No.47は紙縫一括)	47-5
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石4斗8升9合) 石(石川)小兵衛(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	文政6年未11月	美・1冊<4丁>/(No.47は紙縫一括)	47-6
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石4斗8升9合) 馬(馬場)九八郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	文政7年申11月	美・1冊<5丁>/(No.47は紙縫一括)	47-7
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石4斗8升9合) 馬(馬場)九八郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	文政8年酉11月	美・1冊<5丁>/(No.47は紙縫一括)	47-8
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石4斗8升9合) 馬(馬場)九八郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	文政9年戌11月	堅継紙・1通/(No.47は紙縫一括)	47-9
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石4斗8升9合) 三(三沢)喜右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	文政10年亥11月	美・1冊<4丁>/(No.47は紙縫一括)	47-10
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石4斗8升9合) 三(三沢)喜右衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	文政11年子11月	堅継紙・1通/(No.47は紙縫一括)	47-11
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石4斗8升9合) 織(織田)大助(印)→右村(平嶋新田)庄屋・与頭・惣百姓	文政12年丑11月	美・1冊<5丁>/(No.47は紙縫一括)	47-12
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石4斗8升9合) 織(織田)大助(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	文政13年寅11月	堅継紙・1通/(No.47は紙縫一括)	47-13
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石4斗8升9合) 織(織田)大助(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	天保2年卯11月	美・1冊<4丁>/(No.48は紙縫一括)	48-1
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石4斗8升9合) 織(織田)大助(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	天保3年辰閏11月	堅継紙・1通/(No.48は紙縫一括)	48-2
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計125石3斗1升9合) 矢(矢野)藤九郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	天保4年巳11月	美・1冊<5丁>/(No.48は紙縫一括)	48-3
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計125石3斗1升9合) 矢(矢野)藤九郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	天保5年午11月	美・1冊<5丁>/(No.48は紙縫一括)	48-4

免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計125石3斗2升3合) 矢(矢野)藤九郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	天保6年末11月	堅継紙・1通/(No.48 は紙縫一括)	48-5
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計106石3斗3升2合) 矢(矢野)藤九郎(印)→右新田(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	天保7年申11月	美・1冊<6丁>/(No.48は紙縫一括)	48-6
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計125石3斗2升3合) 水(水野)篤助(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	天保8年酉11月	堅継紙・1通/(No.48 は紙縫一括)	48-7
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計125石3斗2升3合) 水(水野)篤助(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	天保9年戌11月	美・1冊<5丁>/(No.48は紙縫一括)	48-8
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計125石3斗2升3合) 小(小山)清次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	天保10年亥11月	美・1冊<5丁>/(No.48は紙縫一括)	48-9
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計117石4斗8升4合) 三(三村)平六(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	天保11年子11月	美・1冊<5丁>/(No.48は紙縫一括)	48-10
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計124石8斗2升8合) 三(三村)平六(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	天保12年丑11月	堅継紙・1通/(No.48 は紙縫一括)	48-11
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計123石1斗1升3合) 児(児玉)貞一郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	天保15年辰11月	美・1冊<5丁>/(No.48は紙縫一括)	48-12
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計123石2斗3升) 児(児玉)定一郎(印)・吉(吉田)助次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	弘化4年末11月	堅継紙・1通/(No.49 は紙縫一括)	49-1
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計123石3升7合) 吉(吉田)助次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	嘉永1年申11月	堅継紙・1通/(No.49 は紙縫一括)	49-2
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計123石5斗2升4合) 吉(吉田)助次郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	嘉永2年酉11月	美・1冊<5丁>/(No.49は紙縫一括)	49-3
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計106石7斗6升7合) 吉(吉田)助次郎(印)→右新田(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	嘉永3年戌12月	堅継紙・1通/(No.49 は紙縫一括)	49-4
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、与蔵山午新田、取米合計9石7斗8合) 山(山田)貫一郎(印)→右村(与蔵山新田)庄屋・組頭・惣百姓	嘉永4年亥11月	堅継紙・1通/(No.49 は紙縫一括)	49-5
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計123石5斗6升3合) 山(山田)貫一郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	嘉永5年子11月	堅継紙・1通/(No.49 は紙縫一括)	49-6
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計129石7斗2升2合) 山(山田)貫一郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	嘉永7年寅11月	堅継紙・1通/(No.49 は紙縫一括)	49-7
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計112石8斗6升9合) 山(山田)貫一郎(印)→右新田(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	安政2年卯11月	堅継紙・1通/(No.50 は紙縫一括)	50-1
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計129石7斗2升2合) 山(山田)貫一郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	安政3年辰11月	堅継紙・1通/(No.50 は紙縫一括)	50-2
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計128石8斗6升) 山(山田)貫一郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	安政4年巳11月	堅継紙・1通/(No.50 は紙縫一括)	50-3
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計128石3升1合) 山(山田)貫一郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	安政5年午11月	堅継紙・1通/(No.50 は紙縫一括)	50-4

### 海西郡村々免状その他史料 3.尾張国海西郡平嶋新田免状

免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計129石3斗3升5合) 須(須賀井)重五郎(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	安政6年末11月	堅継紙・1通/(No.50は紙縫一括)	50-5
免定(平嶋新田・平嶋新田内諸新田、取米合計81石7合) 一(一色)庄左衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	万延1年申11月	堅継紙・1通/(No.50は紙縫一括)	50-6
免定(取米合計129石8斗3升5合) 一(一色)庄左衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	文久1年酉11月	堅継紙・1通/(No.51は紙縫一括)	51-1
免定(取米合計129石7斗1升9合) 一(一色)庄左衛門(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	文久2年戌11月	美・1冊<4丁>/(No.51は紙縫一括)	51-2
免定(取米合計129石7斗7升7合) 金(金森)五郎兵衛(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	文久3年亥11月	堅継紙・1通/(No.51は紙縫一括)	51-3
免定(取米合計129石5斗2升5合) 金(金森)五郎兵衛(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	元治1年子11月	美・1冊<5丁>/(No.51は紙縫一括)	51-4
免定(取米合計125石5斗6升5合) 岡(岡崎)新吾(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	慶応1年丑11月	美・1冊<5丁>/(No.51は紙縫一括)	51-5
免定(取米合計109石6升3合) 岡(岡崎)新吾(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	慶応2年寅11月	堅継紙・1通/(No.51は紙縫一括)	51-6
免定(取米合計127石5升7合) 上(上田)喜兵衛(印)→右新田(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	慶応3年卯11月	堅継紙・1通/(No.51は紙縫一括)	51-7
免定(取米合計21石2斗8升4合) 天(天野)勘太夫(印)→右新田(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	明治1年辰11月	堅継紙・1通/(No.51は紙縫一括)	51-8
免定(取米合計130石4斗9升2合) 山滝郷(印)→右村(平嶋新田)庄屋・組頭・惣百姓	明治2年巳11月	美・1冊<12丁>/(No.51は紙縫一括)	51-9
(平嶋新田定免書上) 田仙右衛門→右村(平嶋新田)庄屋	年末9月	堅継紙・1通/(No.54は紙縫一括)	54-12
(水損等につき年数引を三か年延期の旨) 田仙右衛門→右新田(平嶋新田)庄屋	年申6月	堅紙・1通/(No.54は紙縫一括)	54-7
已年分免定之事		堅継紙・1通/(No.54は紙縫一括)/(後欠)	54-5
(平嶋新田年貢差引勘定書)		小切紙・1通/(No.54は紙縫一括)	54-28
(平嶋新田・与蔵山新田米書上)		断簡・1通	55
(平嶋小具足米書上)		断簡・1通	56
(免状断簡) →平嶋新田庄屋・百姓中		断簡・1通	57

## 4.中井庄左衛門他某家中切支丹宗門改

一札(妻子のキリシタン宗門改詮議つき) 高橋九兵衛(印)→三田伝左衛門殿	元禄3ノ年午ノ3月	堅紙・1通	32
一札(松仙院様・奥様奉公人のキリシタン宗門改詮議つき) 中井庄左衛門(印)外1名→奥住角右衛門殿外2名	元禄3年午3月	堅紙・1通	31

## 5.柳原役所宛拝借証文

拝借仕金子證文之事(金150両拝借) 下之一色村頭百姓 惣代安左衛門(印)外5名→柳原御役所	慶応2年寅11月	堅紙・1通/(No.33は綴一括)	33-4
拝借仕金子證文之事(風水損にて田畑違作につき金68両拝借) 南下原村庄屋荻原仁左衛門(印)外3名→柳原御役所	慶応2年寅11月	堅紙・1通/(No.33は綴一括)	33-6

拝借仕金子證文之事(金40両拝借) 春日井郡下志段味村内庄屋佐左衛門(印)外3名→柳原御役所	慶応2年寅11月	堅紙・1通/(No.33)は綴一括)	33-7
乍恐御請書旁証文奉指上候御事(風水損にて田畑違作につき金68両拝借) 東方村高持惣代多七(印)外6名→柳原御役所	慶応2年寅11月	堅紙・1通/(No.33)は綴一括)	33-8
拝借申金子之事(風水損にて田畑違作につき金19両拝借) 愛知郡石仏村藤成新田頭百姓惣代林右衛門(印)外5名→柳原御役所	慶応2年寅11月	堅紙・1通/(No.33)は綴一括)	33-9
拝借仕金子證文之事(風水損にて田畑違作につき金50両無利足拝借) 海東郡甚目寺村内高持百姓惣代宮崎藤蔵(印)外4名→柳原御役所	慶応2年寅12月	堅紙・1通/(No.33)は綴一括)	33-3
拝借仕金子證文之事(稀なる凶作につき金100両拝借) 今村庄屋坂田幾四郎(印)外2名→柳原御役所	慶応2年寅12月	堅紙・1通/(No.33)は綴一括)	33-5
乍恐奉申上候御事(風水損にて田畑違作につき金54両拝借) 右村(沖村)庄屋丹羽幾右衛門(印)外6名→柳原御役所	11月	堅紙・1通/(No.33)は綴一括)	33-2

## 6.尾張国他村々出生届

御断申上候覚(下条村2名出生届) 下条村庄や甚助(印)	元禄4年末正月	堅紙・1通/(No.34)は綴一括、紙縫一括)	34-5
御注進申上ル御事(西郷村2名出生届) 濃州賀茂郡西郷村庄や平八郎(印)→野々村新右衛門様	元禄4年末12月15日	堅紙・1通/(No.34)は綴一括、紙縫一括)	34-4
出生之覚(小針村8名出生届) 小針村庄や三右衛門→野々村新右衛門様	元禄4年末之12月21日	堅紙・1通/(No.34)は綴一括、紙縫一括)	34-3
御断申上口覚(南野村8名出生届) 南野村庄屋八左衛門(印)外1名→野々村新右衛門様	元禄5年申ノ2月5日	堅紙・1通/(No.34)は綴一括、紙縫一括)	34-1
御断申上ル覚(朝倉村3名出生届) 知多郡朝倉村庄や儀兵衛(印)→野々村新右衛門様	元禄5年申之12月24日	堅紙・1通/(No.34)は綴一括、紙縫一括)	34-2
(多屋村4名出生届) 多屋村庄屋覚兵衛(印)外1名→野々村新右衛門様	元禄5年申ノ12月	堅紙・1通/(No.34)は綴一括、紙縫一括)	34-6
御断申上ル覚(松下村2名出生届) 松下村庄屋孫三郎(印)	元禄13年辰ノ9月	堅紙・1通/(No.34)は綴一括、紙縫一括)	34-8
御断申上ル出生人之覚(嶋村2名出生届) 中嶋郡嶋村庄屋惣右衛門(印)→小串数右衛門様・田中友右衛門様	元禄13年辰之9月	堅紙・1通/(No.34)は綴一括、紙縫一括)	34-9
御断申上ル覚(文津村4名出生届) 文津村庄や六兵衛(印)→小串数右衛門様・田中友右衛門様	元禄13年辰12月	堅紙・1通/(No.34)は綴一括、紙縫一括)	34-7
御断申上覚(松下村2名出生届) 松下村庄屋孫三郎(印)→田中友右衛門様・小串数右衛門様	元禄13年辰ノ12月	堅紙・1通/(No.34)は綴一括、紙縫一括)	34-12
覚(中有上村1名出生届) 中有村庄や勘十郎(印)→小串数右衛門様・田中友右衛門様	元禄13年辰ノ12月29日	堅紙・1通/(No.34)は綴一括、紙縫一括)	34-10
御断申上ル出生人之覚(上小口村3名出生届) 上小口村庄や長右衛門(印)外1名→小串数右衛門様	元禄14年巳正月	堅紙・1通/(No.34)は綴一括、紙縫一括)	34-13
出生人之覚(春日井郡味鏡村3名出生届) 味鏡村庄屋甚助(印)外1名→小串数右衛門様・田中友右衛門様	元禄14年巳2月	堅紙・1通/(No.34)は綴一括、紙縫一括)	34-11
御断申上候覚(南野村8名出生届) 南野村庄や喜三郎(印)外1名→橋爪八右衛門殿・山羽平兵衛殿	正徳4年午ノ11月	堅紙・1通/(No.34)は綴一括、紙縫一括)	34-14
(春日井郡下津尾村5名出生届) 春日井郡下津尾村庄屋甚六(印)→橋爪八右衛門殿・山羽平兵衛殿	正徳5年末ノ2月	堅紙・1通/(No.34)は綴一括、紙縫一括)	34-15



# 尾張国海西郡葛木村渡辺家文書目録

---

尾張国海西郡葛木村渡辺家文書 本文細目次〔文書群の構造〕

---

<b>1. 葛木村庄屋</b>	183
1.1. 土地	183
1.2. 村況	183
1.3. 年貢	183
1.4. 諸掛	183
1.5. 治水	184
1.6. 用水	184
1.7. 村入用	184
1.8. 救恤	185
<b>2. 葛木村公職</b>	185
2.1. 貢租	185
2.2. 村費	185
2.3. 教育	185
<b>3. 家</b>	185
3.1. 地主	185
3.1.1. 土地	
3.1.2. 地価	
3.1.3. 検見	
3.1.4. 掟米	
3.1.5. 取立勘定	
3.1.6. 肥料	
3.2. 講金	186
<b>4. 混入文書</b>	186

## 尾張国海西郡葛木村渡辺家文書目録解題

文書群記号 23P  
文書群名 おわりのくにかいさいぐんかつらぎむらわたなべ け もんじょ  
尾張国海西郡葛木村渡辺家文書  
年代 宝暦6年(1756)～明治14年(1881)(幕末から明治期のものが大方を占める)  
数量 82点(枝番号も含めた本目録上での文書件数)

### 入手の経過

1948年度に徳川林政史研究所より購入。

### 渡辺家の歴史

渡辺家は、尾張国海西郡葛木村(現在、愛知県海東郡立田村葛木を経て愛知県愛西市葛木町)に居を構え、近世に尾張国海西郡葛木村庄屋、明治期には葛木村の戸長などを勤めた。また、「横井伊折介様御家来渡辺関三郎殿・渡辺宗六」とする記載が安政6年(1859)5月等に見られ、明治22年(1889)4月「管内職員録」には天保8年(1837)6月23日生まれの渡辺宗六郎を「士族」と肩書する(名古屋市博物館所蔵渡辺家文書)。おそらく幕末期に横井伊折介様(尾張家家中か)と関係を結ぶなかで獲得した地位ではなかろうか。ただし、当館所蔵文書に関連文書は存在しない。

同家が庄屋役などを務めた葛木村は木曽川沿いの村であり、「尾張徇行記」では概高1370石余、田方38町2反4畝歩、畑方31町5反5畝歩、戸数・人数は「寛文村々覚書」に115戸、734人とある。

渡辺家の主な経営は地主経営であり、葛木村をはじめ周辺諸村に相当の土地を有した。支配人なども置いていた。

家系などの詳細は不明であるが、個々の文書から判断する所では、宗四郎―勝治郎―関三郎―宗六郎と当主が交代したようである。

なお、現在、同家文書は、当館の他に名古屋市博物館が所蔵する。渡辺家にも現存するようである。

### 文書群の構造と内容

渡辺家文書は、同家の先祖代々の諸活動を通じて蓄積されたものであり、当館が所蔵する文書群は、1. 葛木村庄屋、2. 葛木村公職、3. 家、4. 混入文書に編成される。それぞれの構造と内容は次の通りである。

1. 葛木村庄屋は文書件数53件、村の土地、村況、年貢、諸掛、治水、用水、村入用、救恤などの庄屋機能に関するものからなり、対象年次は天保9年(1838)～明治4年(1871)である。幕末のものが大半である。なお、同村は安政6年(1859)6月、東西2つの組に分村しており、これに伴い庄屋機能に大きな変化が見られる(『新編立田村史』通史編118頁参照)。渡辺家文書には安政6年以前の村全体に関わる庄屋文書が存在するが、安政6年以降、その多くは西組の庄屋文書となる。名古屋市博物館所蔵渡辺家文書「安政6年5月 組分ケ約定書」には、「已来於内輪村方二ツニ引分西組毎月朔日より廿日迄東組廿一日より晦日迄月々諸事当番二引受、時々庄屋組頭立合其当番当り候宿二而正路二引分ケ、夫より組々ニ而割付可仕筈」とあり、東西両組は庄屋役を月半ばで交代する仕組みであった。諸掛は二分したうえで各組が小割り徴収した。当館が所蔵する文書には諸掛に関するものが

多いので、その手続きを同上の約定書によって確認するならば、「一、御免相并諸役銀其外上納物等 但シ是迄高二割来り候物ハ惣高二引訳之筈」「一、家別ニ割来り候物は惣家数ニ引訳之筈」「一、人別ニ割来り候物ハ惣人数ニ引訳之筈」「一、輪中ニ割当候分は惣高二引請之筈」「一、御検見入用之義ハ其当番持」「一、砂入年限明手限継候ハ、輪中江不抱ニ付入用は西東惣高割之筈 但シ御案内之儀は双方より立合可致候筈」「一、御堤水番普請并井桁守方間数を以高割之筈」「一、御役人様御休泊を初御用状并諸奉加等ハ都而其組々当番持之筈」「一、宮田并地藏堂附来候物高二順し候筈」「一、宗門帳認メ方ハ人数増減其組々ニ而取調書代として金百疋謝礼之筈」などであり、組の役割の一端が明らかとなる。記録の作成などもこうした約定書に沿って作成されたことになる。渡辺家文書の「西組」の諸掛に関する文書も同様である。

**2. 葛木村公職**は、関係文書が少なく不確かであるが、同家では明治期に学区取締正副区長（明治7年）、用係（明治9・10年）、葛木村戸長（明治14年）、葛木村外六ヶ村戸長（明治19年）などを勤めており、これらの公職に関連する文書である。なお、葛木村は明治5年大区小区制のもとでは大6区16小区に属した。この段階における役職は不明である。明治9年大小区制が廃止となり区制が敷かれるが、この時期は用係職を勤めた。会所は神守村に置かれた。明治11年7月郡区町村制が導入されると、葛木村は町野村・塩田村・二老村・後江村・戸倉村・松山中島村とともに第37組に属した。役場は葛木村に置かれた。不明点も多く役職を基準とした編成は不可能と考えられたため、関係の文書は、貢租・村費・教育の柱のもとに編成した。点数は6点、年次は明治7年から11年である。

**3. 家**に関する文書は3.1.地主経営、3.2.講金に分かれる。3.1.地主経営は、文化6年（1809）から明治12年（1879）の19点であるが、その大半は江戸時代のものである。小作地は葛木村のほかに塩田村・町野村・二老村・後江村・戸倉村・大井村・下大牧村・北条村・戸倉村などに存在しており、かなりの規模であったと思われる。そのため、各村々には支配人が置かれ、小作地管理がなされた。管理者である支配人を全て確認することはできないが、下大牧村の場合は武平次郎が支配人を勤める。現存する文書は、検見帳・掟米取立帳・細見帳などや肥料貸与などに関するものである。3.2.講金は、弘化4年（1847）～安政5年（1858）の無尽講に関する記録である。文書には「講元柳助」とあり、講元からの報告、または何らかの理由で講元の記録を渡辺家で管理する状況があったと考えられるが、記録は1点のみであり、詳細は不明である。

**4. 混入文書**は、渡辺家とはまったく関係がないと判断されたため、これを混入文書として示した。これらは渡辺家文書が、同家を離れ、伝来するなかで混入したことが考えられる。

#### 渡辺家文書の整理方針

渡辺家文書は、昭和23年（1948）度に徳川林政史研究所より受け入れ、文書群記号23Pを与え、これまで仮整理のまま閲覧に供してきたものである。今回、目録刊行にあたってはこの仮整理の文書配列順にしたがい、これまでの仮番号を生かしながら、文書群個々に整理番号を与えた。

また、渡辺家文書には一件書類が紙綴・包紙などで一括りにされる場合が見られた。これらは整理番号に枝番号、孫番号を用いて目録上に示し、同時に形態欄に封筒入・紐括り・袋入などと状態を明記した。ただし、これらの中には、文書相互の関係が必ずしも明瞭でないものもあった。したがって、目録の作成では、組織構造との関わりで然るべき位置に移動させることをおこなった。枝番号を与えられた文書が、まとまりを離れ、目録上に散在する状況は、こうした理由による。関連して、各文書ごとに一括状況（たとえば「No.28-112は13冊紐一括」など）を記した。

**史料状態** 綴じ紐が切れた文書が散見する。

**検索手段** 本目録（国文学研究資料館調査収集事業部『史料目録』第92集）。

**複製の存在** とくにない。

#### **関連史料**

葛木村渡辺家文書は、当館の他に名古屋市歴史博物館が古書店よりこれを購入して所蔵する。また、愛知県愛西市葛木町の渡辺家にも伝存するようであるが、今回は調査できなかった。

#### **出版物**

渡辺家文書を用いた出版物はないと考えられるが、渡辺家文書を理解する上で参考となる図書には次のものなどがある。

- ・『新編立田村史 通史』（立田村史編纂委員会、1996年）
- ・「寛文村々覚書」（『名古屋叢書続編』第2巻、1965年）
- ・「尾張徇行記」（『名古屋叢書続編』第8巻、1969年）

**記述日** 2010年12月10日（担当大友一雄）



表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

## 1.葛木村庄屋

### 1.1.土地

葭畔老番手(田畑の面積・石高書上)		横長半・1冊<17丁墨>	40
麦高引帳扣(麦砂高合計13石8斗2升7合) 北		半・1冊<15丁墨>	46
麦高帳(出作分21人)		半・1冊<4丁>	50
生高起返高帳(出作分163石余)		半・1冊<5丁>	51
生麦起返麦高帳(未申酉戌子寅改出作分)		半・1冊<5丁>	52
本高帳(出作分171石余)		半・1冊<8丁>	53
不納高帳(出作分54石余)		半・1冊<6丁>	54
(老人別畑地・砂地取調帳)		横長半・1冊<3丁>/ (4冊一綴の内)	73-1

### 1.2.村況

海西郡葛木村田畑面帳(下書写、喜兵衛控分) 右村(葛木村)庄屋茂右衛門・同断紋左衛門・与頭吉次郎	安政7年申10月	横長半・1冊<4丁>	44
--	----------	------------	----

### 1.3.年貢

郷米積り帳 (葛木村)	天保9年戌12月	横長半・1冊<12丁>	61
申年免定(葛木村、取米合計2石4斗8升8合) 岡喜太郎(印)→右村(尾張国海西郡葛木村)庄屋・組頭・惣百姓	万延1年申11月	堅継紙・1通/(No.1～8は紙縫一括)	6
酉年免定(葛木村、取米合計28石4斗6升7合) 白逸蔵(印)→右村(尾張国海西郡葛木村)庄屋・組頭・惣百姓	文久1年酉11月	堅継紙・1通/(No.1～8は紙縫一括)	8
亥年免定(葛木村、取米合計52石1斗9升2合) 白逸蔵(印)→右村(尾張国海西郡葛木村)庄屋・組頭・惣百姓	文久3年亥11月	堅継紙・1通/(No.1～8は紙縫一括)	7
御城米川出シ俵数覚	文久3年亥11月	横長半・1冊<5丁>	19
子年免定(葛木村、取米合計68石5斗9升7合) 住新八(印)→右村(尾張国海西郡葛木村)庄屋・組頭・惣百姓	元治1年子11月	堅継紙・1通/(No.1～8は紙縫一括)	4
寅年免定(葛木村、取米合計14石3升8合) 下弥七郎(印)→右村(尾張国海西郡葛木村)庄屋・組頭・惣百姓	慶応2年寅11月	堅継紙・1通/(No.1～8は紙縫一括)	3
辰年免定(葛木村、水損につき取米合計4斗1合) 森七右衛門(印)→右村(尾張国海西郡葛木村)庄屋・組頭・惣百姓	明治1年辰11月	堅継紙・1通/(No.1～8は紙縫一括)	2
午年免定(葛木村、取米合計79石3斗5合) 森七右衛門(印)→右村(尾張国海西郡葛木村)庄屋・組頭・惣百姓	明治3年午11月	堅継紙・1通/(No.1～8は紙縫一括)	1
免定(葛木村、取米合計128石7斗3升1合) 住少属(印)→右村(尾張国海西郡葛木村)庄屋・組頭・惣百姓	明治4年辛未11月	堅継紙・1通/(No.1～8は紙縫一括)	5
御城米川出シ覚帳(初納)	壬申12月5日	横長半・1冊<5丁>	18
御城米川出シ覚帳 (喜兵衛扣)→(庄屋衆中様)	申12月	横長半・1冊<7丁>	17

### 1.4.諸掛

綿布御役銀割賦帳(写) 庄屋所	天保9年戌10月	横長半・1冊<7丁>	41
-----------------	----------	------------	----

## 葛木村渡辺家文書 1.葛木村庄屋/4.諸掛

御年具米代金并諸懸物取集帳 葛木村西組	万延1年庚申12月	横長半・1冊<5丁>	47
宗門改メ雑用共割符帳	万延1年申ノ12月	横長半・1冊<4丁>	74
金銀銭出入請払帳(船手・郷割・出作等) (葛木村)西組	万延1年庚申12月	横長半・1冊<10丁>	75
申年献金残取立帳 (葛木村)西組	文久2年戊戌6月	横長半・1冊<14丁>	64
子十二月献金残之分春上納割賦帳	元治2年丑3月8日	横長半・1冊<17丁>	37
御用諸色繰込入用割(田尻村・和田村・大成村・北条村・葛木村5か村)	元治2年丑7月	横長半・1冊<4丁綴>	43
三役未納并六月伝馬割賦帳	元治2年丑7月	横長半・1冊<7丁>	48
居米代・端米七合物代割賦帳(出作分) (葛木村)西組	申9月調割	横長半・1冊<6丁>	63
覚(菓子・紙手代等諸入用金勘定帳) 長七→葛木西組庄屋御苗喜兵衛様	酉7月14日	横長半・1冊<5丁>/ (4冊一綴の内)	73-4
申年夫銀・戌年三役未納・申盆前・午年杓弁金 米麦代・出作(負担者ごと勘定)(葛木村西組)		横長半・1冊<4丁>	49
申年御役竹割賦帳 葛木村西組		横長半・1冊<5丁>	66
申年綿布役集帳(葛木村西組)		横長半・1冊<6丁>	71

## 1.5.治水

船頭平村杓所御普請人足帳 葛木村西組	安政7年申5月	横半半・1冊<5丁墨>	62
(御普請人足帳)		横長半・1冊<6丁>/ (4冊一綴の内)	73-2

## 1.6.用水

井桁囲諸色人足覚(葛木西組)	安政7年申5月8日	横半半・1冊<11丁>/ (No.23~26は一綴)	24
井桁守人足帳(葛木西組)	安政7年申5月23日	横半半折・1冊<8丁>/ (No.23~26は一綴)	26
水番順廻帳 (葛木村)西組	安政7年申5月	横長半<5丁>・1冊	11
井桁人足覚(葛木西組)	安政7年申5月	横半半折・1冊<7丁墨>/ (No.23~26は一綴)	23
井桁水分人足帳(葛木西組)	安政7年申5月	横半半折・1冊<8丁>/ (No.23~26は一綴)	25
又右衛門新田鼻毛人足覚	安政7年申6月	横半半・1冊<14丁>/ (2冊一綴の内)	22
午年杓伏替弁金割符帳(葛木村)	安政7年申11月	横長半・1冊<9丁>	65
井桁囲諸色人足覚帳 西組台所	万延1年申12月	横長半・1冊<10丁>	29

## 1.7.村入用

宗門帳御改メ造用并人足覚 葛木村西組台所	安政7年申4月	横長半・1冊<5丁>	12
御川並方雑用覚帳 海西郡葛木村西組	安政7年申10月	横長半・1冊<2丁墨>/ (2冊一綴の内)	39-1
覚(御川並方雑用覚帳) 善右衛門→御当所様入用西組村方行		横切紙・1冊<2丁墨>/ (2冊一綴の内)	39-2
郷宿払書拔覚帳	万延1年申12月	横長半・1冊<3丁>	57
丑年郷宿人別持取寄帳(人足代取立)	元治1年12月	横長半・1冊<4丁>/ (2冊一綴の内)	27-1

覚(酒代等郷宿の入用の日記) 郷宿長七→葛木村庄屋渡 辺喜兵衛様	(元治2年)子12月	横長半・1冊<4丁>/ (2冊一綴の内)	27-2
廿八日御齊覚帳(真宗の講関係力)	申年	横長半・1冊<墨付4 丁>	42
(卯7月分等古下用調書)		横長半・1冊<10丁>	28

## 1.8.救恤

御拝借米割符帳写(葛木村)	文久2年戌11月改	横長半・1冊<13丁>	60
---------------	-----------	-------------	----

## 2.葛木村公職

### 2.1.貢租

亥貢租両組引訳帳(西組・東組年貢引訳)	明治9年子1月6日	横長半・1冊<4丁>	58
---------------------	-----------	------------	----

### 2.2.村費

地券人足覚帳	明治8年亥8月12日	横長半・1冊<4丁>	15
米割三分米帳(葛木村分)	明治8年亥12月	横長半・1冊<4丁>	14
明治十三年度村掟米割記(葛木・戸倉村状使給・圀守給 の割当書上) 戸長役場	(明治)第14年巳1月	横長半・1冊<11丁>	13

### 2.3.教育

(愛知県令小学新教則施行の旨伝達) 学区取締正副区 長→正副戸長・幹事議補御中	明治7年戌8月	半・1冊<4丁>/ (黒 色野紙)	55
学校入費割賦(明治10年9月より11年1月迄)	明治11年寅1月	横長半・1冊<15丁>	36

## 3.家

### 3.1.地主

#### 3.1.1.土地

所々高扣帳(塩田村・下大牧村・北条村・戸倉村など) 渡辺宗四郎持事	文政1年寅6月改	横半半・1冊<23丁 墨>/ (虫損甚大)	56
田畑細間帳(渡辺家分)	文政12年丑5月	横半半・1冊<22丁>	31
居村砂入田畑地直下帳(三番、葛木村分) 海西郡葛木村 渡辺勝次郎扣	天保13年寅3月	横半半・1冊<33丁>	34
畑方五番細間帳(葛木村分) 喜(喜兵衛)扣	天保14年卯3月21日	横半半・1冊<23丁>	21
生地細間帳(貳番) 喜(喜兵衛)扣	天保14年卯	横半半・1冊<46丁>	33
細間帳(渡辺家分) 渡辺信智(花押)	明治3年庚午12月	横半半・1冊<51丁>	32

#### 3.1.2.地価

田地価書抜記(葛木村・戸倉村分)	明治12年卯1月	横長半・1冊<10丁>	20
------------------	----------	-------------	----

## 3.1.3.検見

下大牧村分・塩田村分 田畑小作検見帳 葛木村渡辺勝次郎扣	文化8年末12月	横長半・1冊<26丁>/ (虫損甚大)	35
居村田畑小作検見元帳(葛木村分、渡辺関三郎控分)	元治2年乙丑12月	横長半・1冊<61丁>	10
亥年田方検見帳(葛木村分力)		横長半・1冊<20丁>/ (虫損甚大)	72

## 3.1.4.掟米

居村田畑掟検見帳(葛木村分、渡辺宗四郎控分)	文政6年末12月	横長半・1冊<60丁墨>/ (虫損甚大)	9
------------------------	----------	----------------------	---

## 3.1.5.取立勘定

塩田村分 田畑検見小作積帳(渡辺勝次郎分田畑5反3畝歩余) 鷺尾善吉様	文化6年巳12月	横長半・1冊<15丁>	70
居村田畑小作方年貢取立帳(葛木村・塩田村・町野村・二老村・後江村・戸倉村・大井村等) 渡辺勝治郎扣	文化11年甲戌12月	横長半・1冊<38丁>/ (虫損)	59
居村畑方取立帳(葛木村・戸村・二老村分) 渡辺勝次郎扣	文化12年亥12月	横長半・1冊<30丁>/ (虫損甚大)	38
下大牧村田畑掟検見取立帳(渡辺家控地分、田畑4町7反4畝4歩) 渡辺勝治扣分	文政10年亥11月	横長半・1冊<19丁>/ (虫損甚大)	69
下大牧田畑検見取立帳(渡辺家控地分惣取立米42石余) 渡辺勝司扣、支配人武平治	天保3年辰極月吉日	横長半・1冊<16丁開披可能>/ (虫損甚大)	67
下大牧村検見取立帳(渡辺家控地分田畑惣取立米42石余) 渡辺勝司扣、武平次郎支配	天保6年末12月	横長半・1冊<26丁>	68
(美濃国海西郡日原村・外浜村田畑検見取立帳)		横長半・1冊<16丁>/ (4冊一綴の内)/ (表紙破損)	73-3

## 3.1.6.肥料

ほしか売買帳・萬覚帳 葛木村渡辺勝治、二老村甚蔵	文政12年丑11月19日	横長半・1冊<4丁墨>	16
--------------------------	--------------	-------------	----

## 3.2.講金

連中口合勘定蝶(弘化4～安政5年講会記録) 講元柳助	安政5年戊午極月3日	横長半・1冊<8丁>	45
----------------------------	------------	------------	----

## 4.混入文書

なかし切申田地手形之事(下田1反4畝22歩質流れ) 当村地主太左衛門(印)、請人太郎右衛門(印)	享保12年末12月	堅切紙・1通	76
質物ニ相渡申家屋敷之事(15両2分借入) 中野中町渡主 金兵衛(印)、名主善右衛門(印) 外組頭4名→西町彦九郎殿	宝暦6年子12月	堅継紙・1通	78
質地証文之事(20両借入、2石4斗余質入) 中野村置主林 左衛門(印墨消) 外1名/名主惣七(印)→西条村代作殿	寛政10年午12月	堅継紙・1通	77

# 尾張国海東郡甚目寺村吉川家文書目録

---

尾張国海東郡甚目寺村吉川家文書 本文細目次〔文書群の構造〕

---

<b>1. 甚目寺村組頭</b>	193
1.1. 陣屋詰賄	193
1.2. 領主	193
1.2.1. 給地高	
1.2.2. 上納金	
1.3. 諸掛	193
1.3.1. 夫銀	
1.3.2. 伝馬銀	
1.3.3. 割付勘定	
1.3.4. 綿布銀	
1.3.5. その他	
1.4. 土地	195
1.4.1. 持高	
1.4.2. 地割	
1.5. 年貢	195
1.6. 村政	195
<b>2. 家</b>	196
2.1. 普請	196
2.2. 年貢	196
2.3. 金銭受取	196
2.4. 地主	196
2.4.1. 掟米・手作	

## 尾張国海東郡甚目寺村吉川家文書目録解題

文書群記号 24D  
文書群名 おわりのくにかいとうぐん じ もく し むらよしかわ け もんじょ  
尾張国海東郡甚目寺村吉川家文書  
年代 元治1年(1864)～明治4年(1871)(幕末期のものが大方を占める)  
数量 79点

### 入手の経過

1949年度に徳川林政史研究所より購入。

### 吉川家の歴史

吉川家は、尾張国海東郡甚目寺村(現在、愛知県海部郡甚目寺を経て愛知県あま市甚目寺)に居を構え村役人を勤めた家である。幕末維新期には甚目寺村の組頭を勤めた。甚目寺村は複数の領主が存在するいわゆる相給村落であり、文政年間尾張藩下の家臣など9人(後掲表参照)が支配し、慶応4年は藩直轄領697石余、藩直営新田13石余、諸給人領563石余、成瀬家領302石余、観音寺領300石余の計1877石余であった。これら全体を統括する庄屋は置かれず、各給毎に組頭が置かれ、実質的にはこの組頭が庄屋の機能を果たしていた。吉川家は幕末期尾張藩直轄領の組頭をもう一人の組頭とともに勤めた。また、当該地区を管轄した尾張藩の清須陣屋に詰めて下賄いなどの御用を勤めた。幕末には年間50日以上陣屋に出向いている。

同家が組頭を務めた甚目寺村は、「尾張徇行記」によれば、高1563石7斗5升5合、田方48町3反3畝15歩、畑方54町3反6畝6歩であり、別に古刹甚目寺観音の寺領300石9升1合が置かれた。津島街道沿いにあり、交通の要所でもあった。

経営面では地主経営が一定の比率を占めるが、自作の比率も高い。当館所蔵文書における当主名は、すべて忠八であり、幕末・明治期には忠八名を世襲したとみられる。

### 文書群の構造と内容

吉川家文書は、幕末維新期の当主忠八の諸活動を通じて蓄積されたものである。当館が所蔵する文書群はすべて 1. 甚目寺村組頭、2. 家 の2つに編成される。それぞれの構造と内容は次の通りである。

1. 甚目寺村組頭は文書件数67件、1.1. 陣屋詰賄、1.2. 領主(1. 給地高、2. 上納金)、1.3. 諸掛(1. 夫銀、2. 伝馬銀、3. 割付勘定、4. 綿布銀、5. その他)、1.4. 土地(1. 持高、2. 地割)、1.5. 年貢、1.6. 村政に関するものからなり、対象年次は慶応1年～明治4年である。1.1. 陣屋詰賄は、件数4件、年次は慶応4年(1868)～明治2年(1869)である。いずれも横帳であり表紙には「請負万割帳」などと記される。「陣屋詰賄」という文言は文書中に見られないが、職務の性格などから判断して付与したものである。諸賄経費は地域村々に割り当てられた。

1.2. 領主は文書件数5件、年次は慶応4年のものである。相給による百姓持高を把握するための惣給知高帳や藩調達金に関する文書からなる。

1.3. 諸掛は件数26件、年次は慶応2年(1866)～明治4年(1872)に集中する。藩への1. 夫銀、2. 伝馬銀、3. 割付勘定、4. 綿布銀の取り集めに関する文書である。

1.4. 土地は件数 12 件、年次は慶応 3 年～明治 3 年である。1.4.1. 持高、1.4.2. 地割からなるが、とくに割地関係文書がまとまってみられる。同村の割地制度については、『甚目寺町史』を参照されたい。

1.5. 年貢は件数 5 件、年次は慶応 2 年～明治 2 年である。検見の案内や取集帳からなる。

1.6. 村政は件数 15 件、年次は慶応 1 年～明治 3 年であり、村入用などに関する文書などがある。

2. **家**に関する文書は 2.1. 普請、2.2. 年貢、2.3. 金銭受取、2.4. 地主（掟米・手作）に分かれる。全体の文書件数は 12 件、対象年次は元治 1 年から明治 13 年である。普請は明治 3 年のものが 1 点、年貢は元治 1 年（1864）～明治 3 年にいたる吉川家の年貢収納に関わる物成通帳 1 冊、金銭受取も 1 点と現存する分量は少ない。地主は御年貢寄帳、田畑掟手作覚帳、田畑掟年貢帳など地主・手作に関する帳簿であり、慶応 3 年から明治 13 年まで 9 冊が現存する。

## 吉川家文書の整理方針

吉川家文書は、昭和 24 年（1949）度に徳川林政史研究所より受け入れ、文書群記号 24D を与え、これまで仮整理のまま閲覧に供してきた。今回、目録刊行にあたってはこの仮整理の文書配列順にしたがい、新規に整理番号を与えた。仮整理の時の旧番号はこれを示さなかったが、管理情報としては旧番号を残したのでレファレンスなどでの対応は可能である。

また、吉川家文書には紙縫・紐などで複数の文書が一括りにされるケースが見られたが、これらはそれぞれ独立した文書として扱い、形態欄にその旨を記した。また、紙縫などで綴られた文書で、文書相互の関係が見いだせない場合は、綴られていたことを形態欄に明記し、記述編成上相応しい箇所に配置した。

**史料状態** 綴じ紐が切れた文書が散見する。

**検索手段** 本目録（国文学研究資料館調査収集事業部『史料目録』第 92 集）。

**複製の存在** とくにない。

**関連史料** とくにない。

## 出版物

吉川家文書を用いた出版物はないと考えられるが、吉川家文書を理解する上で参考となる図書には次のものなどがある。

- ・『甚目寺町史』（甚目寺町史編纂委員会、1975 年）
- ・「寛文村々覚書」（『名古屋叢書続編』第 2 巻、1965 年）
- ・「尾張徇行記」（『名古屋叢書続編』第 8 巻、1969 年）

**記述日** 2010 年 12 月 10 日（担当大友一雄）

文政年間甚目寺村村高・給人一覽

領主	内訳	石高	備考
成瀬隼人正		1000石000	
総給知	安田仁左衛門	150石000	
	中島庄蔵	120石000	
	服部伊右衛門	115石000	
	上野市之右衛門	55石363	
	山上清大夫	52石892	
	小笠原総左衛門	30石000	
	渡辺九八郎	29石000	
	橘田与左衛門	11石500	
小計		<b>1563石755</b>	元高1239石213
御新田	明暦2年申	9石278	
	寛文4年辰	1石936	
	寛文9年酉	2石754	
小計		<b>13石968</b>	
観音領		<b>300石091</b>	
合計		<b>1877石814</b>	

出典：『名古屋叢書続編第七巻 尾張徇行記（4）』169～171頁



表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

## 1. 甚目寺村組頭

### 1.1. 陣屋詰賄

辰年請負万割帳(清須陣屋諸入用賄勘定) 合宮崎市蔵様・組頭兩人	甚目寺村立	慶応4年巳(ママ)5月3日	横長半・1冊<4丁墨>	44
辰年請負万割帳(清須陣屋諸入用賄勘定) 川忠八	甚目寺村吉	慶応4年巳(ママ)5月3日	横長半・1冊<5丁墨>	45
巳年請負万割帳(清須陣屋諸入用賄勘定) 伊八・(吉川)忠八	(甚目寺村)	明治2年末(ママ)2月	横長半・1冊<5丁墨>	46
巳年請負万割帳(清須陣屋諸入用賄勘定) 川忠八	甚目寺村吉	明治2年午(ママ)	横長半・1冊<6丁墨>	47

### 1.2. 領主

#### 1.2.1. 給地高

惣給知高帳(百姓ごと給知高書上、但成瀬領を除く) (甚目寺村)立合与頭・頭百姓	慶応4年辰9月20日	横長半・1冊<7丁墨> (貼紙あり)	34
--	------------	-----------------------	----

#### 1.2.2. 上納金

差上調達名前帳(225両余うち76両高割取立) 村吉川)忠八	慶応4年辰2月7日	横長半・1冊<9丁墨> (ヒレ付)	42
差上調達名前帳(124両余高割取立) 八	慶応4年辰2月11日	横長半・1冊<12丁墨> (ヒレ付)	43
巳六月廿九日調達金懸金(書上)  (再建取締金徴収帳)	巳6月29日	横長半・1冊<1丁>/ (6冊合綴の内)  半・1冊<9丁>/ (3冊 合綴の内)/(ヒレ 付)	71-6  72-3

### 1.3. 諸掛

#### 1.3.1. 夫銀

卯年御夫銀集帳(御陣屋上納高26両1分余) 組頭忠八	甚目寺村	慶応3年2月5日	横長半・1冊<6丁墨>	14
人足賃銭衆抱割符帳(総高1577石余) 組頭・頭百姓	(甚目寺村)立合	慶応3年卯12月23日	横長半・1冊<8丁墨>	12
辰年御夫銀寄帳(清須御陣屋上納高26両1分余) 寺村組頭忠八	甚目	慶応4年2月	横長半・1冊<5丁墨>	15
夫役賃銭割符寄帳(清須御陣屋より割当て京都御守衛 夫銀・元千代様御上京夫人足銀など) 庄屋・頭百姓	甚目寺村立合	慶応4年辰3月朔日	横長半・1冊<5丁墨> (No.1~5は紙縫一 括)/(ヒレ付)/(破 損あり)	1
夫役賃銭割符寄帳(元千代様上京夫人足3度分) 寺村組頭忠八	甚目	慶応4年辰閏4月3日	横長半・1冊<3丁墨> (No.1~5は紙縫一 括)	3
夫役賃銭割符寄帳(元千代様上京人足代・領分御固手 当夫等) 甚目寺村忠八	甚目寺村忠八	慶応4年辰4月4日	横長半・1冊<4丁墨> (No.1~5は紙縫一 括)/(ヒレ付)/(貼 紙あり)	2

甚目寺村吉川家文書 1.甚目寺村組頭/3.諸掛/1.夫銀

夫役賃銭割符寄帳(領分初固夫人足請負両度分) 甚目寺村組頭忠八	慶応4年辰5月6日	横長半・1冊<3丁墨>/ (No.1~5)は紙縫一括)	4
萱津入組并出水入用七嶋新田杵伏書入用・惣給知高当り夫銀并惣給知百姓人別夫銀・新田高当り夫銀御蔵高当り夫賃銀〆七口寄帳 甚目寺村立合与頭・頭百姓	慶応4年辰9月19日	横長半・1冊<10丁墨>/ (ヒレ付)	49
夫人足賃銀割符帳(京都御守衛夫銀・元千代様上京人足代など) (甚目寺村)立合与頭・頭百姓	慶応4歳辰9月19日	横長半・1冊<10丁墨>	6
夫賃銀人別割帳(給知惣百姓中) (甚目寺村)立合与頭・頭百姓	慶応4年辰9月20日	横長半・1冊<4丁墨>	7
夫賃銀寄帳(惣給知高) (甚目寺村)立合庄屋・与頭・頭百姓	慶応4年辰9月20日	横長半・1冊<5丁墨>	9
夫賃銀割符帳(新田分) (甚目寺村)立合与頭・頭百姓	慶応4歳辰9月20日	横長半・1冊<2丁墨>	8
禁裏様佐屋行人人足賃 先納米利足割出シ長	明治1年辰11月27日	横長半・1冊<7丁墨>	57
禁裏様佐屋行人人足賃、先納米利足割出し、御蔵高苗江代御下ヶ金割付、越後行夫賃銀高割并二人足共差引惣覚帳	明治1年辰12月12日	横長半・1冊<7丁墨>/ (ヒレ付)	58
夫銀寄覚帳(総給知分、総高15777石余) (甚目寺村)当番忠八	明治2年巳2月	横長半・1冊<5丁墨>	10
夫役賃銭割符寄帳(京都守護夫銀) (甚目寺村)立合庄屋・組頭・頭百姓	明治2年巳2月	横長半・1冊<5丁墨>/ (No.1~5)は紙縫一括)/(貼紙あり)	5
人足賃銭衆抱割符帳(総高1577石余) 甚目寺邑立合与頭・頭百姓	明治2年巳12月28日	横長半・1冊<8丁墨>/ (ヒレ付)	13
夫人足割符寄帳 (甚目寺村)立合庄屋・頭百姓	明治2年巳12月	横長半・1冊<6丁墨>	11

### 1.3.2.伝馬銀

巳年伝馬銀寄帳(甚目寺村のうち成瀬領分以外) (甚目寺村)忠八	明治2年10月23日	横長半・1冊<4丁墨>	31
---------------------------------	------------	-------------	----

### 1.3.3.割付勘定

御蔵高立合割帳(検見雑用・京都守衛など諸経費) (甚目寺村)当番忠八、立合庄屋・組頭・与百姓	慶応2年とら12月	横長半・1冊<4丁墨>	37
御蔵高駄賃割賦帳(蔵入地分) (甚目寺村)村方与頭・頭百姓	慶応3年う師走23日	横長半・1冊<6丁墨>/ (ヒレ付)	35
御蔵高立合割帳(蔵入地分) (甚目寺村)庄屋・組頭・頭百姓 当番伊八	明治2年巳12月6日	横長半・1冊<4丁墨>	38
(銀高・麦金割賦帳)		横長半・1冊<5丁>/ (5冊合綴の内)	71-5

### 1.3.4.綿布銀

綿布役銀相勤帳 甚目寺村組頭忠八・伊八→広瀬伝三郎様御陣屋	慶応2年寅7月	半・1冊<9丁>/ (3冊合綴の内)/(ヒレ付)	72-1
-------------------------------	---------	--------------------------	------

### 1.3.5.その他

高須様賃銭覚帳 甚目寺立合庄屋・与頭・頭百姓	明治2年巳12月	横長半・1冊<2丁墨>	32
馬二付手ぬぐい覚帳(大口組中、手ぬぐい・湯文字代等割付帳) 大口組中	明治4年末9月8日	横長半・1冊<3丁墨>	33

## 1.4.土地

## 1.4.1.持高

御蔵給知并新田惣高帳(百姓持高書出し) (甚目寺村吉川)忠八	慶応4年辰3月改	横長半・1冊<8丁墨>	36
--------------------------------	----------	-------------	----

## 1.4.2.地割

卯年御物成新田割帳(辰・酉新田分) (甚目寺村)割元伊八	慶応3年12月	横長半・1冊<5丁墨>	30
午春上壱反割帳(地割帳) 立合庄屋・組頭・頭百姓(印文同様)	明治2年2月吉日	横長美・1冊<23丁墨>/ (貼紙あり)	64
午春上五畝割替帳(地割帳) 立合庄屋・組頭・頭百姓(印文同様)	明治2年2月吉日	横長美・1冊<31丁墨>/ (貼紙あり)	65
屋敷代并仲地取亀帳(地割帳) 甚目寺邑立合庄屋・与頭・頭百姓	明治2年巳8月吉日	横長美・1冊<12丁墨>/ (貼紙あり)	62
巳畑地割居屋敷取帳(地割帳) 立合庄屋・組頭・頭百姓(印文同様)	明治2年8月吉日	横長美・1冊<104丁墨>	63
畑地割入用并畑久手宿入用帳 (甚目寺村)割元忠八	明治2年巳11月	横長半・1冊<18丁墨>/ (ヒレ付)	28
畑地割入用并畑久手宿入用帳 (甚目寺村)割元忠八	明治2年巳11月	横長半・1冊<15丁墨>	29
午春下壱反割帳(地割帳) 立合庄屋・組頭・頭百姓(印文同様)	明治3年正月吉日	横長美・1冊<27丁墨>	66
午春下五畝割帳(地割帳) 立合庄屋・組頭・頭百姓(印文同様)	明治3年正月吉日	横長美・1冊<44丁墨>/ (貼紙あり)	67
午春中壱反割帳・同春中五畝割帳(地割帳) 立合庄屋・組頭・頭百姓(印文同様)	明治3年正月吉日	横長美・1冊<29丁墨>	68
沖田六畝割并二下々帳(地割帳) 立合庄屋・組頭・頭百姓(印文同様)	明治3年午正月吉日	横長美・1冊<31丁墨>	69

## 1.5.年貢

海東郡甚目寺村見取所御案内帳 (甚目寺村)庄屋預組頭忠八(印)・右同断伊八	慶応2年寅2月	横長半・1冊<2丁墨>	59
検見諸入用帳 (甚目寺村)当番忠八	(慶応3)丁卯年10月	横長半・1冊<3丁墨>	54
海東郡甚目寺村田畑御案内帳 右(甚目寺)村組頭忠八・右同断伊八	慶応3年卯10月	横長美・1冊<3丁墨>	60
巳年麦代金寄帳 甚目寺村組頭忠八	明治2年4月8日	横長半・1冊<9丁墨>/ (横帳1冊と横折紙1通を合綴)	26
巳年麦代金寄帳 (甚目寺村)当番忠八	明治2年卯月8日	横長半・1冊<14丁墨>	27

## 1.6.村政

村与方役印覚帳(役印証覚) *丁間に巳12月28日付文書あり (甚目寺村)組頭庄屋預忠八	慶応1年丑11月21日	横長美・1冊<4丁墨>	61
諸事取替覚帳(下用) (甚目寺村吉川)忠八	慶応1年丑12月日	横長半・1冊<6丁墨>/ (ヒレ付)	51
万村方年内入用覚帳(甚目寺村分) 甚目寺村吉川忠八	慶応2年丙寅正月吉日	横長半・1冊<13丁墨>/ (ヒレ付)	39

甚目寺村吉川家文書 1. 甚目寺村組頭/6. 村政

惣村下用立合割帳 (甚目寺村) 庄屋・組頭・頭百姓・当番忠八	慶応2歳寅12月5日	横長半・1冊<24丁墨>/ (ヒレ付)	52
万村方年内入用覚帳(甚目寺村分) 甚目寺村吉川忠八	慶応3年丁卯正月吉日	横長半・1冊<8丁墨>	40
御役人様御飯料覚帳(清須役人など賄い経費) 甚目寺村忠八	慶応3年丁卯正月吉日	横長半・1冊<2丁墨>	56
をか井たき出シ人別かず覚帳(粥施行) 甚目寺村組頭忠八	慶応3年卯2月	横長半・1冊<3丁墨>	55
鬺高帳(六分米割付困貯) 甚目寺村吉川忠八	慶応3年卯3月7日	横長半・1冊<10丁墨>	53
乍恐奉願上候御事(杵橋など伏替願書)ならびに覚(甚目寺村地頭名支配高届) 甚目寺村組頭忠八・伊八→山内瀧次様御陣屋	(明治1年)辰8月	半・1冊<4丁>/ (3冊合綴の内)/(ヒレ付)	72-2
萱津入組并出水入用割帳(七嶋新田込伏替入用共) 立合組頭・頭百姓	慶応4歳辰9月20日	横長半・1冊<9丁墨>	48
惣高上下名前附覚帳	(明治1)年辰12月～同2年6月28日	横長半・1冊<4丁>/ (6冊合綴の内)/(ヒレ付)	71-1
萱津盆前割寄帳 (甚目寺村吉川) 忠八	明治2年巳7月7日	横長半・1冊<5丁墨>	50
万村方年内入用覚帳(甚目寺村分) 甚目寺村吉川忠八	明治3年午正月吉日	横長半・1冊<10丁墨>	41
覚(村方寄合経費など書上)	寅12月	横長半・6冊<4丁>/ (6冊合綴の内)	71-2
覚(夫食米書上帳)		横長半・1冊<15丁>/ (6冊合綴の内)	71-4

## 2. 家

### 2.1. 普請

土こや入用覚(杉丸太・ふすまなど)	明治3年正月吉日	横長半・1冊<2丁>/ (6冊合綴の内)	71-3
-------------------	----------	----------------------	------

### 2.2. 年貢

(忠八分御物成通) (甚目寺村吉川) 忠八	元治1年子～明治3庚午	横長美・1冊<29丁墨>/ (5冊合綴)/(破損)	70
-----------------------	-------------	---------------------------	----

### 2.3. 金銭受取

(金子請取証下書) → 甚目寺(吉川) 忠八様	(明治5年) 壬申6月	小切紙・1通/(No.19～24紙経一括)	20
-------------------------	-------------	-----------------------	----

## 2.4. 地主

### 2.4.1. 掟米・手作

卯年御年貢寄帳 甚目寺村吉川忠八	慶応3年卯12月	横長半・1冊<6丁墨>	25
田畑掟手作覚帳 甚目寺村吉川忠八	慶応4年辰正月吉日	横長半・1冊<12丁墨>	16
田畑掟手作覚帳 甚目寺村吉川忠八	明治2年巳9月吉日	横長半・1冊<12丁墨>	18
田畑掟手作覚帳 甚目寺村吉川忠八	明治2年巳12月吉日	横長半・1冊<10丁墨>	17

田畑掟年貢覚帳	甚目寺村吉川忠八	明治3年午12月吉日	横長半・1冊<10丁墨>/ (No.19～24紙 縫一括)	19
田畑掟年貢覚帳	甚目寺村吉川忠八	明治4年未12月吉日	横長半・1冊<11丁墨>/ (No.19～24紙 縫一括)	21
田畑掟年貢記帳	甚目寺村吉川忠八	明治11年寅12月吉日	横長半・1冊<10丁墨>/ (No.19～24紙 縫一括)	22
田畑掟年貢覚帳	甚目寺村吉川忠八	明治12年卯12月吉日	横長半・1冊<8丁墨>/ (No.19～24紙縫一 括)	23
田畑掟年貢覚帳	甚目寺村吉川忠八	明治13年辰12月吉日	横長半・1冊<8丁墨>/ (No.19～24紙縫一 括)	24



# 尾張国丹羽郡犬山鈴木家文書目録

---

## 尾張国丹羽郡犬山鈴木家文書目録本文細目次〔文書群の構造〕

---

<b>1. 成瀬家</b>	207
1.1. 家中	207
<b>2. 旧犬山藩士</b>	207
2.1. 犬山壮年会	207
2.2. 稲置愛親会	208
2.3. 温故会	209
<b>3. 医業</b>	209
3.1. 薬種	209
3.2. 通信	209
3.3. 相続	210
3.4. 河田直弥	210
<b>4. 塾</b>	210
<b>5. 鈴木家</b>	210
5.1. 家族	210
5.1.1. 通信	
5.1.2. 冠婚葬祭	
5.2. 地主	212
5.3. 家屋	213
5.4. 家計	213
5.5. 金銭貸借	214
5.6. 教養	215
5.7. 信仰	216
5.8. 交際	216
5.9. 通信	217
<b>6. 混入文書</b>	217
6.1. 三河国碧海郡関係	217
6.2. 増徴地租小票	218
6.3. 諸記録	219

---

## 尾張国丹羽郡犬山鈴木家文書解題

---

文書群記号 35G  
文書群名 おわりのくににわぐんいぬやますぎけもんじょ  
尾張国丹羽郡犬山鈴木家文書  
年代 安永9年(1780)～大正12年(1923)  
数量 327点  
入手の経過 1960年度に故紙業者より購入。

### 鈴木家の歴史

鈴木家は、近世から明治期にかけては犬山城下(現在、愛知県犬山市)で町医者を開業すると同時に、尾張藩付家老成瀬家中(尾張国犬山、3万石)の奥医師を勤めた家である。

鈴木家は、寛永12年(1635)没の弥右衛門(号一閑)を初代とする(以下、鈴木家の家系については本解題末系図を併わせて参照されたい)。ただし、同家の家業である医業は3代目寂翁に始まると考えられるが、本文書群において直接確認できるのは寛政7年(1795)、9代恒久(号玄道)以降である。その後、10代玄道(維馨)、11代熙(玄道)、12代豊(幼名睦太郎、号玄道、字紀水)と続き、特に豊は町医者と成瀬家の御番医師を勤めつつ、西洋医学・本草学を学び、オランダ語薬名辞典「薬名字彙」を翻刻するなどの業績を残している。

10代玄道の子、玄察は分家を興し、本家と別に成瀬家に仕えた。万延1年の「惣帳」(『犬山市史』史料編五、近世下 所収)によれば、小納戸格で、次席・奥医師を勤め、80石・雑用3人扶持の禄を食んでいる。本文書群は12代豊以前の本家文書と玄察に始まる分家文書が混在した形で構成されている。これは、分家玄察家が時期や理由は不明ながら、本家文書を引き継いだためと考えられる。

分家玄察の子、文拙(文政7年<1824>～明治31年<1898>、分家2代当主)は、父と同時に七人扶持で成瀬家の御番医師を勤めている(前述「惣帳」)が、これは、後述するように、文拙の医学と文学に関する学識が成瀬家に認められていたためであろう。文拙は、御殿医師を務める旁ら町医者(内科医)を営み、さらに「沈蔵観」という医塾を開いていた。文拙は、14歳のころまでに美濃国加納の吉田東堂の塾に学び、その後、名古屋で奥田鳳文などに詩儒を、京都では、玉木少進に蘭学、今枝譲如に漢学を学ぶ文人でもあった。文拙は寺内先(現高見町)に居住し、そこに医業と塾を開いたが、和医・外科医双方を兼ねた名医という。文拙の後は、海軍軍医総監を勤め日本軍医として著名な祐三、さらに寿三郎が引き継ぎ現在に至る。

なお、12代豊以後、本家は断絶したわけではなく、13代光雄、14代敏也、15代祐と続き、現在に至っている。特に14代敏也は著名で、広島高等師範学校教授、昭和4年(1929)広島文理大学教授、学長事務取扱を勤める一方で、上田秋成の研究者として『雨月物語』の注釈書『雨月物語新訳』(大正5年<1916>1月発刊)、「近世日本小説史」「近代国文学素描」などの著作を著している。

### 鈴木家文書の構造と内容

本文書は、既述のような鈴木家の諸活動を通じて蓄積されたものであるが、それぞれの活動や役割から、1. 成瀬家、2. 旧犬山藩士、3. 医業、4. 塾、5. 鈴木家、6. 混入文書の柱を立てた。なお、本来は本家文書と分家文書を分離すべきであるが、手掛かりが少なく不可能であった。したがって、本目録

は、玄察以前の鈴木家本家の文書群と玄察にはじまる分家の文書群が混在した形で編成されている点を了解されたい。

## **1. 成瀬家**

本文書群は件数5件であり、年代が明らかなものは文久1年（1861）のもの1点のみである。鈴木家の歴代が成瀬家へ奉公することによって蓄積された文書群である。少なくとも鈴木家本家では11代玄道、分家では初代玄察と2代文拙が成瀬家御番医師を勤めた。御殿医師の勤務状況を示す文書はないが、藩士の任免、御目見関係、江戸藩邸などの事情を報知した諸記録が見られる。

## **2. 旧犬山藩士**

本文書群の件数は51件、対象年代は、上限が明治19年（1886）、下限が明治38年（1905）である。明治維新後、文拙が、旧犬山藩士（犬山藩は慶応4年1月に成立、明治4年旧暦7月14日に廃藩）の同郷会である愛親会や犬山壮年会の役員を勤めたことにより蓄積された文書群である。

2.1. 犬山壮年会は、愛親会のうち中壮年会員が、旧藩士族の学事研究、品行矯正を目的として組織した団体である。会長は成瀬家11代当主、成瀬正勝が勤めた。壮年会は、東京に本部を置き、犬山（稲置）には支部を設置した。『犬山壮年会雑誌』（明治19年～昭和19年）の刊行、夜学の設置運営などにあたった（No.47-15）。文拙は、壮年会において漢学の教授や監督を勤めていた（No.78）。

2.2. 稲置愛親会は、旧犬山藩士が組織した愛親会についての文書を収録した。愛親会の会長は成瀬正勝が勤め東京・名古屋・犬山にそれぞれ事務局を置き活動した。東京・名古屋の事務局の設立年代については不明であるが、犬山（稲置）の事務局は明治19年に設立していることがNo.47-16文書より確認できる。愛親会は、旧藩士の交誼を維持するとともに、旧藩士子弟の教育援助をになった同郷会組織であり、文拙は稲置愛親会の幹事を勤めた。その関係で会の設立や運営に関わる文書が現存する。例えば「愛親会規則第二十三項追加願（控）」（No.47-17）、「犬山愛知親会細則設立願（控）」（No.47-18）などは愛親会の運営状況の一端を示す重要な書類である。

2.3. 温故会の詳細は不明であるが、創設に関わった可児九五郎が、成瀬家で留書並び御材木方調役を兼務した藩士であることから、愛親会などと同様の同郷会的組織であると考えられる。

## **3. 医業**

本文書群の件数は23件。対象年代は、上限が安永9年（1780）、下限が明治24年（1891）である。本文書群は、鈴木家代々の医業活動によって形成された文書群であり、3.1. 薬種 3.2. 通信 3.3. 相続 3.4. 河田直弥からなる。

3.1. 薬種は、薬種相場や患者への投与記録「処剤日記」等を所収した。「相場（薬種相場）」（No.27）の受取に「鈴木薬室」とある。

3.2. 通信は医者としての鈴木家が受領した書状であり、病状経過に関するものが多い。差出人河田直弥は、鈴木家と同様に犬山藩の表医師である。

3.3. 相続は、11代熙の死去に伴う12代豊への相続願の文書であり、いずれも本家の相続に関連する。

3.4. 河田直弥は、成瀬家表医師である河田直弥関係の文書を収めた。河田の文書が鈴木家の残った理由は不明であるが、鈴木家・河田家両家の医業上での交流が関係すると考えられる。

## **4. 塾**

本文書群の件数は6件、対象年代は上限が明治27年（1894）、下限が明治30年（1897）である。文拙が経営した医学塾「沈蔵観」の運営に関わる文書を収めた。「沈蔵観」（「蔵」は臓器を指すのであ

う)の名称から、本道(内科)を教授する学校であったと考えられる。「沈蔵観一切出納記」(No.37)、「廿年度後季出入記」などは塾の運営の実態を示すものである。

## 5. 鈴木家

本文書群の件数は191点、対象年代は寛政7年(1795)～大正13年(1924)である。内容に応じ、5.1. 家族、5.2. 地主、5.3. 家屋、5.4. 家計、5.5. 金銭貸借、5.6. 教養、5.7. 信仰、5.8. 交際、5.9. 通信に編成した。

5.1. 家族は、親子、親族などに関わる書状(5.1.1. 通信)、法事関係を中心とした冠婚葬祭関係の記録(5.1.2. 冠婚葬祭)などである。中でも、冠婚葬祭関係文書では、仏事に関する記録が詳細であり特筆できる。例えば、「妙圓示寂諸事留」(No.35-7)などは、凶事から回忌儀礼までを連続して記録、さらに、「留春堂葬式其外諸事留」(No.5)は、10代維馨の死去後の対応などを刻銘に記録している。その他、「鈴木文拙葬儀葬送行列図」(No.184)など葬送行列についての記録も詳細である。以上は、医学者としての鈴木家の関心とともに、鈴木家の強い家意識に基づいて作成されたものであろう。

5.2. 地主には、鈴木家の地主経営によって蓄積された文書である。文書上でわかる範囲では、犬山町東古券町畑に畑地を所持しており、6名へ小作地として貸与している(No.38-1・2・3)。また、所有地を犬山神社へ献納することを願っている(No.991)。さらに楽伝村(明治11～12年は学伝村、現愛知県犬山市)勝部組の地引帳が存在しており(No.51)、同村にも土地を所有した可能性がある。学伝村村民の家督届など(No.126)も地主であることから残った可能性がある。

5.3. 家屋は鈴木家の間取図や建具に関連する文書を収めた。

5.4. 家計は衣料代、飲食代、諸色の買物に関係する文書を収めた。

5.5. 金銭貸借には鈴木家宛の借用証文類を収めたが、大半は近世のもので、本家に伝来したものも含まれる。

5.6. 教養には、鈴木家の学問や趣味に関わる文書を収めた。漢詩や和歌などを介した交流が理解できるものが多い。また、茶道への関心からか懐石の次第を詳細に記録している。

5.7. 信仰は、犬山神社関係や可睡斎などへの祈祷料支払い関係の文書などである。

5.8. 交際は、鈴木家の日常的な交際に関わる文書を収めた。

## 6. 混入文書

ここには、鈴木家との関連が不明確な文書類を収めた。おそらく、故紙業者より受け入れた時点で、既に鈴木家文書とともに一括されていたものであろう。件数は51件、対象年代は、上限が明治8年(1875)、下限が大正12年(1923)である。6.1. 碧海郡関係は宇頭村や小望村など三河国碧海郡あおみに関わる諸種の文書を、6.2. 増徴地租小票には所在地不明な増徴地租小票類を、6.3. にはその他の記録類を収めた。

### 鈴木家文書の整理方針

鈴木家文書は、昭和35年(1960)度に故紙業者より受け入れ、文書群記号35Gを与え、これまで仮整理のまま閲覧に供してきたものである。今回、目録刊行にあたってはこの仮整理の史料配列順にしたがい、これまでの仮番号を生かしながら、文書個々に整理番号を与えた。

また、鈴木家文書では綴や紙に包みこまれる形で一括される場合が見られた。その場合、整理番号に枝番号を用いて目録上に示し、同時に形態欄に畳込み一括、合綴などと状態を明記した。ただし枝番号表記が、常に文書の集合的な状況を示すとは限らない。過去の仮整理段階では、同内容の文書を

取り集め、枝番号を付与することが行われた。そのために、仮整理での番号を引き継いだ本目録では、枝番号が形態的な特徴を示す場合と、内容的なまとまりを示す場合がある。集合的状况は、前述のごとく形態欄に示した注記によって判断されたい。

**史料状態** 虫損・破損が見られるものもある。

**検索手段** 本目録（国文学研究資料館調査収集事業部編『史料目録』第92集）

**複製の存在** とくにない。

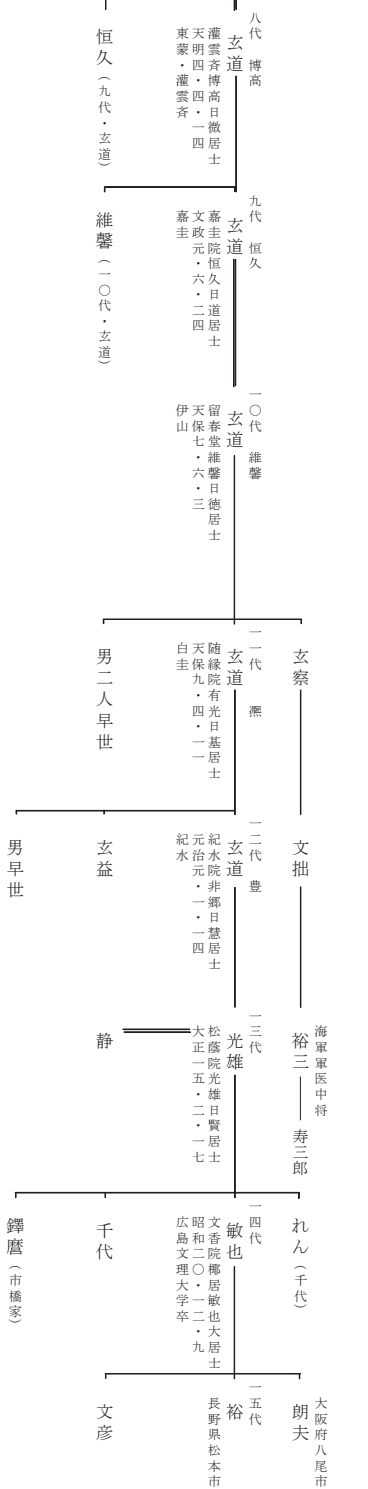
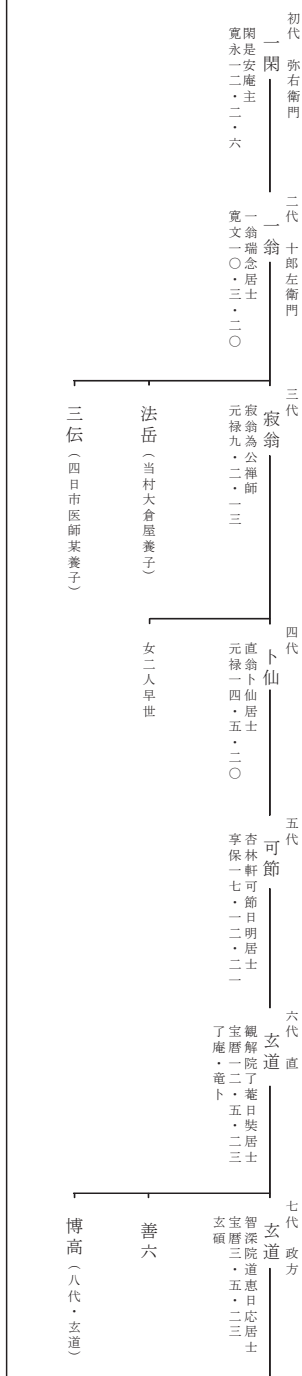
**関連史料** とくにない。

#### **出 版 物**

『犬山市史』（文化財・民俗編）（1985年、犬山市）31～39頁に鈴木豊（12代、玄道）、鈴本文拙、鈴木祐三、鈴木敏也、市橋鐸麿（鈴木光雄の次男）の事蹟が紹介されているので、参照されたい。

**記述日** 2010年12月10日（担当種村威史）

# 〔鈴木家略系図〕



【凡例】記載項目は、右側から代数・名前・号・戒名・没年・別号である。ただし当主以外・近代以降は、その限りではない。

【出典】「補遺大 山北郡地区郷土教育資料精華」(犬山市 近藤薫氏蔵) 掲載の系図類を基とし、近藤薫氏よりの聞き取り調査の結果を補足した。



表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

## 1.成瀬家

### 1.1.家中

京都休泊諸雑用帳 *表紙「京都衣棚通夷川大久保慎三方迄遣候者」 尾州犬山成瀬隼人正内鈴木文拙召使	文久1年8月発足	横長半・1冊<5丁>	32
(御目見願等につき書状)	(近世)8月24日	横切継紙・1通	48-30
(台所入用増費等内密報告書)	(近世)5日	小切紙・1通	48-32
(成瀬家給人別書上)	(近世)	切紙・1通	135
(小納戸新役選につき指示書)	(近世)	切紙・1通	151

## 2.旧犬山藩士

### 2.1.犬山壮年会

(学校新築・新設につき犬山学校校長小出良虎演説書下書)	(明治19年12月)	半・1冊<4丁>	83
(犬山ノ壮年会雑誌における犬山人記事に対する反論) *朱点付 稲置寄留人十六峯敢人→東京犬山壮年会雑誌発行編輯北尾昇君閣下	明治22年3月	半・1冊<4丁>/ (青色罫紙)	94
(壮年夜学会課業日報) 監督総代鈴木文拙	(明治)22年5月	横切紙・1通	47-15
願(老衰につき稲置壮年会監督辞退の旨) 稲置支部壮年会当分監督鈴木文拙→東京壮年会会長成瀬正雄殿	明治23年9月	縦紙・1通/ (青色罫紙)	93
(壮年会へ会費出金につき書状、紙背書「枝町中島藤三郎」) 宮田忠治→鈴木文拙様	(明治)7月5日	小切継紙・1通	48-13
(8月～9月分壮年会監督当直順表)	(明治)7月31日)	縦紙・1通/ (青色罫紙)	86
(5月～7月分壮年会監督当直順表)	(明治)	縦紙・1通/ (青色罫紙)	87
(3月～4月分壮年会監督当直順表)	(明治)	縦紙・1通/ (青色罫紙)	88
(9月分監督当直順表)	(明治)	縦紙・1通	89
(壮年会出欠表)	(明治)	縦紙・1通/ (「愛知県丹羽郡稲置村戸長役場」罫紙)	98
寄附金人名	(明治)	横折紙・1通	133
(壮年会監督職不審につき意見書下書、朱書添削付)	(明治)	縦紙・1通/ (青色罫紙)	84
(壮年会監督不審につき意見書下書)	(明治)	縦紙・1通/ (青色罫紙)	85
(本田直作等々19人名・義捐金拠出者書上)	(明治)	横折紙・1通	107
(伏文課業方法につき報告書) *No.121の関連文書、紙背書入	(明治)	縦紙・1通/ (青色罫紙)	115
(伏文課業方法・生徒の成績につき報告書) *No.115と関連	(明治)	半・1冊<3丁>	121
鈴木文拙分担(13名書上)	(明治)	横切紙・1通	129
(壮行会会員書)	(明治)	横折紙・1通	130

(漢学教授継続依頼等につき書状) 北尾昇→鈴木文拙殿	12月26日	堅紙・1通	78
----------------------------	--------	-------	----

## 2.2.稲置愛親会

(愛親会帳簿調印依頼につき通達) 愛親会幹事→杜木久太郎殿外51名	明治19年7月10日	半・1冊/(青色罫紙)	47-11
稲置愛親会第一回報告(委員会・総会・例会等、朱書入)	(明治19年)12月22日	半・1冊<4丁>/(青色罫紙)	74
明治十九年五月八日於三光社愛親会大集会着到人銘	(明治19年)	横長半・1冊<5丁>	47-4
(年甫祝詞につき書状) (東京在)天野大治拝→犬山愛親会稲置副会長・幹事・委員御中	明治20年1月2日	横切紙・1通/(封筒入)	47-16
(年賀状) (東京在)天野大治拝→犬山愛親会稲置会員御中	明治20年1月2日	堅紙・1通/(封筒入)	47-24
記(1月17日総会関係費用領収書) 深津護(印)→愛親会幹事鈴木文蔵殿	(明治)20年1月10日	切紙・1通	47-6
(愛親会総会開催につき出頭届) 飯田斧三→稲置愛親会員御中	明治20年1月11日	堅紙・1通/(青色罫紙)/(封筒入)	47-26
(22年秋期総会掲示を申継帳へ記す旨書付) 鈴木文拙	(明治)20年10月12日	切紙・1通	47-13
(他出にて会に遅刻のため例1銭受納の記帳他願事につき書状) 愛親会副社長君ヲ初幹事委員御君中→(端裏書)「愛親会御係様へ」	(明治)20年11月2日	堅紙・1通/(青色罫紙)	47-3
稟告(愛親会本年委員改正につき投票等告知) (愛親会稲置支部)幹事(印)	明治21年2月	横切継紙・1通	47-1
明治十九年度ヨリ同廿年度迄稲置愛親会費収出決算表 (愛親会)稲置愛親会幹事(印)	明治21年2月	横切継紙・1通	47-2
(稲置愛新会講筵につき犬山壮年会より監督依頼の件協議の旨通知写) 稲置愛親会幹事	明治22年2月28日	堅紙・1通/(青色罫紙)	47-21
証(壮年会会員への割戻金3円受取証) *合点あり 宮田忠治(印)→鈴木文拙殿	明治22年10月12日	堅紙・1通/(青色罫紙)	47-9
愛親会規則第二十三項追加願(控) 犬山愛親会幹事鈴木文拙→東京愛親会幹事御中	明治23年1月28日	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.47-17~19疊込一括)	47-17
犬山愛親会細則設立願(控) 犬山愛親会幹事鈴木文拙→東京愛親会幹事御中	明治23年1月28日	堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.47-17~19疊込一括)	47-18
(親睦会開催の際会費持参依頼につき通知) 稲置愛親会幹事(印文「愛親会稲置幹事之章」→稲置愛親会員御中	明治23年3月27日	横切紙・1通	47-20
(愛親会規則加除修正案)	(明治23年)	堅紙・3通/(No.47-17~19疊込一括)	47-19
(慰労のため菓子料進呈につき) 犬山愛親会→鈴木口三殿	明治28年3月19日	横切紙・1通	47-5
(壮行会懇親会へ加盟依頼につき回状) 愛親会幹事宮田忠治外1名(印文「稲置愛心会印」)→神尾況江様外5名	(明治)7月2日	堅紙・1通/(青色罫紙)/(貼紙あり)	47-25
(愛親会総会開設挙行式開催につき通知状、未使用) 稲置愛親会幹事	明治年月日	小紙・9通/(木版)	47-14
(愛親会発会祝詞)	(明治)	堅紙・1通	47-7
(愛親会祝辞草稿、推敲跡あり)	(明治)	堅紙・1通	47-8
(愛親会規約)	(明治)	堅紙・堅継紙・5通/(No.47-10は疊込一括)	47-10
「愛親会同労社二通信私用ニ属スル書 但公会ニ属スル請書モ合セ入」(封筒) 俣庵	(明治)	封筒・1点	47-22

愛親会報尊後不出届・出席届	(明治)	横折紙・1通	47-23
回章(委員会・懇談会入費拋出依頼につき) →小林守 男様外5名	(明治)	横切継紙・1通	48-1
(5月31日委員会選挙投票用紙)	(明治)	小切紙・18枚一綴	112
(清水社開墾地払い下げ願につき計画書再提出)	(明治)	半・1冊<4丁>/ (青色罫紙) / (汚損あり)	122
(副会長並びに委員選挙投票用紙)	(明治)	小切紙・44枚一綴	128
(病気見舞・紅葉山等につき書状)	3月16日	横切継紙・1通	47-12
(東京同労社よりの通知2通至急回送につき回章) 鈴木 本文拙→前嶋重江様(印)外2名	9月2日	横切紙・1通	48-10

## 2.3. 温故会

(温故会開会につき通知の旨回章) (温故会) 当番可見 久五郎→横口良蔵様外14名	(明治) 31年1月11日	横切継紙・1通/(封筒入)	48-2
--	---------------	---------------	------

## 3. 医業

### 3.1. 薬種

御薬種之通 薬屋亀吉→鈴木玄察様	安永9年(7月12日)	横美半・1冊<15丁>	26
日新盛徳(処剂日記) 不足燿坊	(明治) 15年3月	横長半・1冊<25丁墨>/ (2冊一綴の内)	28-1
日新盛徳(処剂日記) 不足燿坊	(明治) 15年4月	横長半・1冊<24丁墨>/ (2冊一綴の内)	28-2
(薬種勘定書) いせ屋久兵衛(印文「名古屋」)高木九兵衛 →鈴木文拙様	(明治) 23年2月	横長半・1冊<2丁>/ (No.29疊込一括)	29-2
(薬種勘定書) 小西利七→鈴木文拙様	明治24年旧7月	横長美・1冊<2丁>/ (No.29疊込一括)	29-1
(牛乳の効能の説明書、草案)	(明治)	縦紙・1通	77
相場(薬種相場書) 生田→鈴木薬室	戊正月	横長半・1冊<8丁>	27
(喰合せ・本草学・植物学等部分ごと書籍名書上)		縦紙・1通/(青色罫紙)	92
(御薬代金書上、漢字練習などの書込あり) 司方ニテ 伊藤家内		切紙・1通	144

### 3.2. 通信

(小嶋弥五右衛門の膈噎の病状につき書状)	4月21日	小切紙・1通	48-46
(河田直弥の子供の病状経過につき書状)	8月22日	横切継紙・1通	48-38
(大病により他邦遊学断念等につき書状) 河田直弥→ 鈴木先生	8月29日	横切継紙・1通	48-12
(河田子の容態悪しきにつき書状) 長野龍→鈴木文 拙様	9月4日	横切継紙・1通	48-19
(病状悪化につき書状) (大久保)慎三→(鈴木)文拙様	22日午時	横切継紙・1通	48-18
(春龍の病状経過につき書状) (大久保)慎三→(鈴木)文 拙大人	29日夕方認	横切継紙・1通	48-42

## 犬山鈴木家文書 3. 医業/2. 通信

(梁甫の開業につき書状)		横切紙・1通	48-15
(河田直弥の容態書) (大久保) 慎三→(鈴木) 文拙様		横切継紙・1通/(5枚一組)	48-29
(万屋助右衛門病状報告につき書状、後欠)		横切継紙・1通	48-31

### 3.3. 相続

(鈴木玄道病死につき犬山町医師睦太郎跡目相続願) *紙背書入	(明治11年)	堅紙・1通	119
(家督相続の心得等につき)		横折紙・1通	167

### 3.4. 河田直弥

文行堂蔵書目録(録) 河田直弥	万延1年2月改之	横長半・1冊<10丁>	49
覚(板代金等 〆 18 匁余金銭勘定書) 庄七(印)→河田直弥様	西4月29日	堅紙・1通	76
河田家諸出入覚 蔵春扣	戊正月	横長半・1冊<2丁>	42

## 4. 塾

沈蔵観一切出納記 侯庵肘後(鈴木文拙)	明治27年冬期ヨリ28年冬期前迄	横長半・1冊<14丁>	37
武藤文平月俸金出納帳(塾生月俸差引勘定)	明治29年	横長美・1冊<2丁墨>	4
明治三拾年前季納出経済(生徒謝議、学費等出納帳) 侯庵肘後(鈴木文拙)	明治30年	横長半・1冊<17丁>	39
廿年度後季出入記(謝議他、31年度分も含) *表紙「病中臥尊後事残燈無焰影瞳二」 侯庵(鈴木文拙)	明治30年	横長半・1冊<7丁墨>	40
記(堀口源一郎分学校小遣金書上)		横折紙・1通	134
記(在塾日報分玄米差引勘定書上・掟米取調書上)		横切継紙・1通	190

## 5. 鈴木家

### 5.1. 家族

#### 5.1.1. 通信

(孫子様死去につき悔状) 母より→おやう殿江	7月	小切紙・1通	48-45
(近況等につき書状) 土佐より→御うの様	9月5日	横折紙・1通	48-47
(俊造へ馳走のお礼等につき書状) 母より→おあさとのへ		横切継紙・1通/(No.48-4・5疊込一括)	48-4
(俊造への来訪依頼等の書状1通御届願につき書状) (母)→(おあさ)		横切紙・1通/(No.48-4・5疊込一括)	48-5
(綿のあめ少々送付等につき書状) 母より→おあさとのへ		横切継紙・1通	48-6
(新道一件の世話につき礼状) ばより→伊山様		横切継紙・1通	48-9
雑具之部 四(御紋付三重・新駕籠褌挺等道具帳)		半・1冊<35丁>	97

## 5.1.2. 冠婚葬祭

百年忌御物帳(寂翁和尚) 鈴木玄道	寛政7年卯2月	横長美・1冊<5丁墨> /(6冊一綴の内)	5-1
寂翁和尚百年忌客簿	寛政7年乙卯2月	横長美・1冊<5丁墨> /(6冊一綴の内)	5-2
百年忌買物帳(寂翁和尚) 鈴木玄道(印)	(寛政7)年乙卯2月	横長美・1冊<8丁墨> /(6冊一綴の内)	5-3
かりもの帳(寂翁和尚百年忌借物帳) 鈴木玄道(印)	(寛政7年)2月	横長美・1冊<2丁墨> /(6冊一綴の内)	5-4
寂翁百年諸事覚	寛政7年乙卯2月	横長美・1冊<5丁墨> /(6冊一綴の内)	5-5
敬順童子諸事留(葬送～三十七日)	享和1年辛酉3月14日	横長半・1冊<7丁>	6
妙圓示寂諸事留(葬送～五十四回忌)	文化4年丁卯5月6日(～ 安政7年)	横長半折・1冊<17 丁>	7
宝林院葬送其外諸事覚(葬送～三十七回忌)	文化12年6月朔日(～嘉 永7年4月晦日)	横長美・1冊<33丁>	8
留春堂葬式其外諸事留(死去～二十七回忌、玄察在江 戸中死去)	天保7年丙申6月□日 (～文久2年6月)	横長半・1冊<36丁 墨>	9
開敷院凶礼記(葬送～十七回忌)	弘化2年乙巳4月晦日 (～明治4年4月)	横長半・1冊<19丁>	10
開敷院葬式寺帳	(弘化2年)5月2日六ッ 時	横長半・1冊<4丁>	11
(寂翁和尚百五十回忌諸事覚)	(弘化2年)	横長美・1冊<2丁墨> /(6冊一綴の内)	5-6
開敷院悔帳	(弘化2年)	横長半・1冊<8丁>	12
退鬼堂君臥病ニ付訪客并貴物留 鈴木	安政6年己未5月22日 (～7月7日)	横長半・1冊<11丁>	13
逢夢不幸諸費留	万延1年庚申6月23日 (～10月4日)	横長半・1冊<6丁>	14
退鬼堂不録諸記	文久2年壬戌9月	横長半・1冊<34丁>	16
直弥発病己未死去後迄諸留(鈴木文拙扣)	文久1辛酉9月(11日)	横長半・1冊<3丁>	15
お金不幸諸事留(表紙「買帳」墨消) 鈴木玄察屋敷	(近世)	横長半・1冊<6丁>/ (2冊一綴の内)	23-1
悔帳	明治22年6月29日	横長半・1冊<8丁>/ (No.19疊込一括)	19-2
香奠帳	明治26年6月29日	横長半・1冊<5丁>	21
寺帳(承教院送葬) *一部鉛筆書	明治26年7月1日	横長半・1冊<5丁>	20
沈蔵坊俵庵医士諸費記(初七日葬祭料等) 鈴木氏	明治31年4月3日	横長半・1冊<7丁墨>	41
買物帳 *表紙「合第四号・第式合」 寺内先鈴木文拙	明治31年4月外	横長半・2冊<5丁墨> /(No.24紙縫一括) (2冊一綴の内)	24-1
(鈴木文拙葬儀葬送行列図)	(明治31年)	横切継紙・1通	184
遠高孫女殯歎記(順長上京留守中) (鈴木)文拙筆記	明治紀元12月2日歳在 戊辰	横長半・1冊<11丁>	17
悔帳 新町大口	(明治)18日出棺暮六時	横長半・1冊<3丁>/ (No.19疊込一括)/ (表紙切断)	19-1
膳椀調介帳 世話方鈴木彦十	大正6年10月吉日	横長半折・1冊<3丁 墨>	25
(葬儀開催につき報知人名書上)	(卯5月)	横切継紙・1通/(No. 169一綴)	169-1

犬山鈴木家文書 5. 鈴木家/1. 家族/2. 冠婚葬祭

(継母死去につき忌服届) 鈴木玄察	(卯)5月11日	小切紙・1通/(No.169一綴)	169-2
覚(葬送日時・出棺方角等報知書)	(卯)5月11日	小切紙・1通/(No.169一綴)/(灰色宿紙)	169-3
(葬送行列役割書)	(卯)5月)	小切紙・1通/(No.169一綴)	169-4
(葬送行列図)	(卯)5月)	横切継紙・1通/(No.169一綴)	169-5
(越前布代金8匁7分等 $\times$ 17匁5分代金受取書) 大丸や多吉→鈴木伊山様御屋敷	卯5月16日	横切継紙・1通/(No.169一綴)	169-6
御香典之覚(前嶋治左衛門他7名分香典書上) 大光寺納所→鈴木玄察様	(卯)9月17日)	横切継紙・1通/(No.169一綴)	169-7
覚(御法事料金3分等金銭受取書) 大光寺納所→鈴木伊山様御屋敷	5月21日	小切紙・1通	160
買者帳	6月29日	横長半・1冊<2丁墨>/ (No.24紙縫一括)/(2冊一綴の内)	24-2
秋岳童子諸記(葬礼～七回忌)		横長半・1冊<4丁>	18
葬式之際買物帳 鈴木氏		横長半・1冊<7丁墨>	22
寺帳(お金葬送)		横長半・1冊<7丁>/ (2冊一綴の内)	23-2
入用記(導師金100匹他葬送関係費)		横折紙・1通	111
(婚姻式の次第書)		横切継紙・1通	139
(百ヶ日までの読経非時飯の献立記)		横長半・1冊<2丁>	142

## 5.2.地主

(借用金証文の村役人印取扱につき書状) (林)文行→(鈴木)玄察様	(近世)7月12日番	横切継紙・1通	48-17
地引帳(楽田村勝部組、表紙に明治11年以降の字別の土地数の追記あり)	明治9年子1月	半・1冊<22丁>/ (表紙に貼紙あり)/ (訂正・貼紙あり)	51
出張物願(秋葉神社常夜燈設置につき並びに許可の旨愛知県稲置警察署朱書) 地主代理尾本縁三郎(印)・鈴木文拙外3名→稲置警察署御中/(奥書)右村(稲置村)戸長代理筆生中野半(印)	明治15年5月6日	半・1冊<2丁>/ (黒色罫紙)	75
明治十一年度不足取立記載帳	明治16年末	横長半・1冊<6丁墨>	1
明治十八年度通常村会 式番(村落経費等につき)	明治18年	半・1冊<7丁>/ (一部破損)	95
明治廿一年度臨時村会議案(堤防修繕費・共有山林の境界調査費等に関する議案)	(明治21年)	半・1冊<10丁>/ (愛知県丹羽郡学伝村戸長役場の青色罫紙)/(一部破損)	96
(増田静雄次男道彦身元確認書) (愛知県丹羽郡犬山)増田静雄	(明治)22年10月	堅紙・1通/(青色罫紙)	171
願(所有地所を犬山神社へ献納につき並びに不許可の旨東京家従下げ札) 鈴木文拙→丸山御邸御家従御中	明治23年8月4日	堅紙・1通/(青色罫紙)	90
(所持地3畝歩余を丸山邸經由で犬山神社に献納願)	(明治24年)	堅紙・1通/(青色罫紙)	91
私有地桑田掟米収入帳(春夏桑葉収穫後掟証差入の覚) 鈴木文拙	明治26年	横長半・1冊<4丁墨>	36
耕地請作証券(丹羽郡犬山丁古券9畝) 丹羽郡犬山町千二百四十六番戸請作人小川兵太郎(印)外1名→犬山町鈴木文拙様	明治29年1月9日	堅紙・1通	38-1

耕作請取証券(尾張国丹羽郡犬山町字東古券9畝余) 請作人高木孫七外1名→犬山町鈴木文拙殿	明治29年1月9日	縦紙・1通	38-3
耕地請作証券(尾張国丹羽郡犬山町東古券畑4畝歩) 請負人近藤松四郎(印)外1名→犬山町鈴木文拙殿	明治29年1月20日	縦紙・1通	38-2
勤儉取極之事(五人組規約)	(明治)	半・1冊<3丁>	67
配水地名寄帳(雛形)		美・1冊<2丁>/(下部破損)	72
(番地別畑地面積書上)		横長半・1冊<2丁>	143
(吉野又蔵他土地租税書上)		横長半・1冊<5丁>	127
家督届(丹羽郡学伝村松山弥十郎、下書)		縦紙・1通/(青色罫紙)	126

### 5.3.家屋

(間取図)		縦紙・1通	65
(鴨居・柱等代金書上)		縦紙・2通/(元は横長半、帳外れ)	66
(床台3匁等 〆728匁余差引勘定書)		横長半・1冊<3丁墨>	165

### 5.4.家計

掛物帳(購入帳)	文化13丙子年5月同写	横美半折・1冊<7丁>	31
端(反)物数覚帳 第四区丹羽郡富見丁千百七番地	明治11年3月	横半半折・1冊<10丁>	33
萬御通(三河国壁海郡宇頭村) かわうちや三蔵	明治21年10月	横美半折・1冊<6丁>	35
第四七〇号(地方税金25銭領収書) 愛知県丹羽郡犬山町収入役岡田丹次郎(印)→鈴木文拙殿	明治23年4月30日	小紙・1通	99
第九四四号(町税領収書) 愛知県丹羽郡犬山町収入役岡田丹次郎(印)→鈴木文拙殿	明治23年5月30日	小紙・1通	114
記(会席椀並び菜盛椀五人前代金請求書) 二代目雨橋屋(印)→鈴木文拙様	明治25年5月	小切紙・1通	100
記(半月盃五人前代金1円20銭につき) 二代目雨橋屋(印)→鈴木文拙様	明治25年5月	切紙・1通	140
送り券(天切酒8升等) 岐阜県羽栗郡笠松町米屋吉五郎→地内先ず鈴木文拙様	明治25年12月1日	小切紙・1通/(一部木版)	172
受取証(益友社に関する書類等) 廣瀬宮太郎(印)→鈴木俗三(裕三)殿	明治31年5月31日	縦紙・1通/(青色罫紙)	188
十一年上納分記(1月～6月までの民費)	(明治)	横折紙・1通/(青色罫紙)	125
記(船賃〆3銭金銭書上につき) 車又林二→寺内サキ鈴木様	丑旧7月13日	切紙・1通	155
おほへ(松代金等〆69匁1分受取書) 枡屋清八→すすき様	巳5月	横切継紙・1通	101
覚(紙本送付引受状) 京大坂御飛脚所井ノ口屋半左衛門(印文「名古屋会所」→鈴木文拙様)	酉6月22日	小切紙・1通	158
記(箱代52銭等〆69銭2厘勘定書) 森典次郎→鈴木様	旧2月9日	小切紙・1通	161
覚(色紙代金等勘定書) となり惣助→川田直弥様	3月8日	横切継紙・1通	159
おほへ(すそ代金等〆4匁1分5厘につき) 小屋→川島様	3月8日	小切紙・1通	182
記(硝子2枚代金10銭受取書) 大丸や→スズキ様	3月25日	小切紙・1通	162

犬山鈴木家文書 5. 鈴木家/4. 家計

金銭出入覚帳(家計費)	(4月16日～5月22日)	横長半・1冊<2丁墨>	43
覚(浅古あき代等へ金1両ト128文受取書) 半屋源七→鳥居様御別用	7月13日	横切継紙・1通	177
覚(木綿代金受取書) (京室町丸太町角のむら)兵七→上(金銭勘定書)	9月3日	横切紙・1通	30-7
(秋葉藤善東法事関係留書)		堅紙・1通/(青色罫紙)	61
覚(一人別金銭書上)		横折紙・1通	79
(包紙) はや屋→上		横切継紙・1通	80
(未記入横帳)		包紙・1点	105
(米代銭等払銭書上)		横長半・1冊<8丁>	106
記(堀口源一郎入用支払につき) 鈴木文拙(印)		堅紙・1通/(貼紙あり)	124
(罫紙300枚・マッチ5つ等諸品書上)		横折紙・1通	131
(袖口等代金支払願、端裏書「乗鋒略記」)		横折紙・1通	157
覚(酒代へ749文書上) 和蔵		横切継紙・1通/(灰色宿紙)	178
(諸品代金支払日記)		小切紙・1通	181
		堅紙・1通/(青色罫色)	64

## 5.5. 金銭貸借

借用申金子之事(要用につき1両2朱) 留川靱負(印)→鈴木玄察殿	文政6末年11月	堅紙・1通	45-3
借用申金子之事(札金2匁) 借主山本八九郎(印)外1名→鈴木伊山様	文政9戌年12月	堅紙・1通	45-7
借用申金子之事(金3分、内1両を天保11年11月に返済の旨後筆) 借主薬屋嘉吉(印)→鈴木様御屋敷	天保2年卯11月	堅紙・1通	45-6
借用申金子之事(要用につき3両) 留川蔵貞(印)→鈴木伊山老先生	天保4年巳正月	堅紙・1通/(虫損大)	45-1
拝借仕金子之事(合金13両) 拝借主横町宮田屋兵左衛門(印)外2名→鈴木玄道様	天保6年未正月	堅紙・1通	45-14
借用申金子之事(借金無利子7ヶ年にて返済延期につき) 早川七助(印)外1名→鈴木玄察殿	天保6年未4月	堅紙・1通	45-4
(正金9両借用証文、1分返済の旨後筆) 前島次左衛門(印)→鈴木玄察殿	弘化5年申3月	堅紙・1通	45-13
借用仕金子之事(5両借用) 林屋平八(印)→鈴木玄察御屋敷	嘉永4年亥6月	堅紙・1通	45-11
借用仕金子之事(土蔵を質物にて11両借用) 林屋平八(印)→鈴木玄察様御屋敷	嘉永4年亥6月	堅紙・1通	45-12
預り申金子之事(屋敷知行所預り、村方へ貸し渡金につき) 鈴木玄察→大久保隆一殿	嘉永6年12月	堅紙・1通	44
預り金之事(献金につき5両借用) 安田平七(印)→鈴木文拙様	文久3亥年7月	堅紙・1通/(虫損大)	45-8
記(元金・利子近日返済につき) 鈴木文拙→加藤おみつ様	(明治)23年6月25日	切紙・1通	123
証(仕道金之助へ金10両拝借証文) 鈴木文拙(印)→半田助吉殿	明治28年2月7日	堅紙・1通	187
借用口(申)金子之事(1両) 杉山玄口(印)	巳12月	堅紙・1通/(虫損大)	45-9

覚(要用3両借用) 河田宗達院(印)→鈴木玄察様	申3月21日	竪紙・1通	45-10
借用申金子之事(要用につき3両) 留川亥□左(印)→鈴木伊山様	戌8月	竪紙・1通	45-2
(約束の金子の一部返済につき書状) (犬山)綿屋治左衛門委(印)→鈴木玄察様	4月2日	横切紙・1通	48-21
覚(札金2両拝借願) 浜井□中堅(花押)→鈴木玄察様	9月28日	小切紙・1通	183
借用申金子之事(2両余) →(長谷川殿)		竪紙・1通/(虫損甚大のため開封不能)	45-5

## 5.6.教養

御釜料之事(金71銭余受取書) 宇治谷邨與三郎→鈴木文拙様	明治23年3月9日	小切紙・1通	180
(山本氏賛) 鈴木文拙謹撰	明治26年2月18日	横切紙・1通	117
(山本氏賛) 鈴木文拙謹撰	明治26年2月18日	横折紙・1通	154
征清關台略履歴(控、朝鮮・台湾への出兵中記録、朱書訂正入) 愛知県尾張国丹羽郡今井村字禰宜洞組奥長瀬円次郎	明治29年	半・1冊<32丁>/(貼紙あり)	55
(村瀬太乙先生賛草稿) *No.188の下書 鈴木文拙欽曰	(明治)	竪紙・1通/(貼紙あり)	185
(村瀬太乙先生賛) *朱書入	(明治)	竪紙・1通	186
於沈藏坊略式会席・於沈藏坊略式膾炙(懷石次第書、挿入史料あり)	(明治)	横折紙・2通	147
(勅題傑作謄写へ感謝につき書状) 藤白→鈴木竹屋先生	大正甲子(13年)1月元旦	横切紙・1通	102
四凶(短歌)		小切紙・1通/(No.30-1~7疊込一括)/(木版)	30-6
(草稿書)		包紙・1点	82
(漢字練習書)		竪紙・1通	104
(人生訓散文6首)		横切紙・1通	118
(書画散文)		竪紙・1通/(黒色罫紙)	141
(和歌2首)「なるおとの…」		小切紙・1通	145
筆目録(讀及び画の作者人名書上)		横美折紙・1通	146
(和歌3首)「うつものも…」		切紙・1通	149
十一月十三日正午洞雪庵御疊板入囲(懷石次第書)		横切紙・1通	153
(和歌2首)「正心…」		横切紙・1通	163
(七言律詩)「三折鄙工了始終…」		横折紙・1通	164
(懷石次第書)		横切紙・1通/(虫損)	166
(10月20日夜の懷石次第書)		横切紙・1通	175
十二月十二日正午小坂井亭(懷石次第書)		横切紙・1通	176
(五言律詩)「恵境年光速家山…」		小切紙・1通	179
(先祖名書上)		横折紙・1通	132
(献立書) 広葉		横折紙・1通	148
(「火徳之精金方之氣」など願い事書上)		横切紙・1通	150

## 5.7. 信仰

毎月醸銭・日守贖銭入記 秋葉献燈油銭出記 預主鈴木文拙	(明治9年) 丙子2月より (明治19年2月28日入)	横長半・1冊(5丁)	46-1
(祈禱料受取証文) 秋葉神社祭務課(印)	明治10年4月14日	横切紙・1通/(作成者部分等一部木版)	46-3
犬山神社祭典次第	(明治)	横折紙・1通	174
(二七日寺へ参詣者書上)	(9月18日～19日)	横折紙・1通	173
(祈禱料受納証) 可睡斎役料(印)→尾州稲置村		横切紙・1通/(作成者部分木版)	46-2
(神饌提供者書上)		横折紙・1通	109

## 5.8. 交際

副書(短冊出来延引の侘等11ヶ条)	(近世)6月10日夕認御畢	横切継紙・1通	48-11
(福本よりの軸差上げにつき) (鈴木)睦太郎→(鈴木)玄察様	(近世)	横切継紙・1通	48-20
口演(震災被害につき婚礼欠席の旨) 宮田延次郎→鈴木先生殿	明治25年4月5日	切紙・1通/(活版)	110
(出産後のお妻さんの件につき書状) 赤月九→月丸賢兄	正月14日	横切継紙・1通	48-22
(不調方の申上方の詫び等につき書状)	2月2日	横切継紙・1通	48-40
(衣類の生地につき書状) 守文→(鈴木)玄察様	3月7日	横切紙・1通	48-14
(改名の祝につき書状) 増二郎→(鈴木)玄察様	3月23日	横切紙・1通	48-33
(玄庵長・私勤學並びに借財の受取書延引等につき内密の書状) (林)文行→(鈴木)玄察様	4月16日	横切継紙・1通/(虫損)	48-16
(茶器名形篇購入等につき書状) 謙→逸谷先生	6月18日	横切継紙・1通	48-26
(暑中見舞としてビール送付につき書状) 徳川義親御家扶→鈴木寿三郎殿執事御中	7月24日	横切紙・1通	48-34
(御昇任祝儀として松魚節送付につき書状) 徳川義親家扶→鈴木寿三郎殿御執事御中	9月8日	横切紙・1通	48-36
(祖母貞享院初七日の酒漬贈りにつき書状) 御座屋登→鈴木文拙様	10月15日	小切紙・1通	48-27
(主家助成の件につき書状) (鈴木)玄察→桐園先生	11月朔日	横切紙・1通	48-23
(御宅金証文一件につき書状) 麴丁→柳原様	11月14日	横切継紙・1通	48-25
(歳暮の祝儀として松魚節送付につき書状) 徳川義親家扶→鈴木寿三郎殿執事御中	11月20日	横切紙・1通	48-37
(依頼の書出来につき書状) 大黒→鈴木伊三様	12月18日	小切継紙・1通	48-28
(歳暮として松魚節送付につき書状) 徳川家家扶→鈴木寿三郎殿	12月29日	横切紙・1通	48-35
(両者行違いの次第につき書状)		横切継紙・1通/(貼紙あり)	48-3
(副会長回章への意見問合せ等につき急書状) 鈴木文拙→宮田忠治様		堅紙・1通	48-7
(好諸葉・咎赦免等への礼状) (東京都四谷仲町三丁目廿番地加藤正次)安彦→(鈴木)文拙様		横切紙・1通/(封筒入)	48-8
(家政向につき書状)		横切紙・1通	48-24

(おはつ様命日の夜せん入手等につき書状)		小切紙・1通	48-39
(ご馳走のお礼等につき書状) とさより→御母様		横折紙・1通	48-41
(近況同等につき書状 2通一紙) 御母→おあさとのへ / (鈴木) 玄察様		横折紙・1通	48-43
(龍公肖像の書写過程につき覚書)		横切紙・1通	48-44
(海軍主計部合格につき今井和三郎の賛辞)		堅紙・1通	81
(小島町等犬山内各町出席人名確認帳)		横長半・1冊<4丁>	103
(出席者書上)		横折紙・1通	108
(山田氏賛)		横折紙・1通	113
(平井善栄・星野久庵へ依頼人名につき書付)		切紙・1通	136
(包紙「掲覧物」) 無為		包紙・1点	137
(包紙「掲覧物」)		包紙・1点	138

## 5.9. 通信

覚(早封状送付引受状) (小嶋権兵衛)→鈴木文拙様	申9月20日	小切紙・1通	156
覚(早便送付引受状) 三条通町江戸定飛脚江戸屋新三郎 (印)→杵(大)久保慎三様	(酉)8月14日	小切紙・1通/(No.30 畳込一括)	30-3
覚(早便送付引受状) 三条通町江戸定飛脚江戸屋新三郎 (印)→大久保慎三様	酉8月17日	小切紙・1通/(No.30 畳込一括)	30-2
覚(正六送付引受状) 三条通町江戸定飛脚江戸屋新三郎 (印)→大久保慎三様	(酉)8月22日	小切紙・1通/(No.30 畳込一括)	30-4
覚(封状送付引受状) *印文「京都会所」 尾州御飛脚所井 野口屋半左衛門(印)→大久保慎三様	酉8月29日	小切紙・1通/(No.30 畳込一括)	30-1
(綿十代金受取書)	9月2日	小切紙・1通/(No.30 畳込一括)	30-5

## 6. 混入文書

### 6.1. 三河国碧海郡関係

地所調人帳(三河国碧海郡小望村) 小望村	明治8年4月	横半半折・1冊<5丁 墨>	3
用土地引絵図(下書、五小区小望村、表紙朱書「亥十二 月八日納帳」) 五小区小望村	明治8年乙亥11月	半・1冊<15丁>	52
(丹羽郡学伝村内の金銭紛失訴訟につき裁判記録)	(明治11年～明治22年)	半・1冊<6丁>/(黒色 罫紙)/(一部破損)	54
始末書(出火の件につき) 右(三河国碧海郡宇頭)村中根 春吉(拇印墨消)→愛知県令安場保和殿/(奥印)右村(三河 国碧海郡宇頭村)志水久孝(印)	明治12年7月10日	半・1冊<2丁>/(青色 罫紙)	70
始末書(出火の件につき、下書) *No.70の下書 右(三河 国)中根春吉	(明治12年7月10日)	半・1冊<2丁>/(青色 罫紙)	71
共有公債委員届(起業金共同委員交代につき) 愛知県 碧海郡起業金共同委員同郡矢作村中根幸七・右総代同県同 郡安城村保証人鈴木元八・右惣代同県同郡筒針村保証人富 永藤造→愛知県知事勝間田稔殿	明治19年8月25日	半・1冊<23丁>/(青色 罫紙)	57
(弊村薬師如来入仏執行のため投餅等開催につき来参 願) 東別所村書役米沢(印)→宇頭村書役御中	(明治19年)11月6日	堅紙・1通/(青色罫 紙)/(包紙入)	116

犬山鈴木家文書 6.混入文書/1.三河国碧海郡関係

記(水カン代金等 $\times$ 20円35銭受取書) 名古屋古渡町小沢鉄次郎(印文「名古屋本町通り小沢鉄治郎」)→宇頭村井ノ上太吉様	明治20年6月25日	堅紙・1通/(青色罫紙)	189
呉服太物通 美濃屋忠兵衛→鈴木文拙様	明治21戊子年	横美半折・1冊<14丁>	34
本堂再建寄帳(大字小望、同内容2枚一括)	明治23年	堅紙・1通/(表紙のみ)	59
本堂再建寄帳(大字小望)	明治23年	堅紙・1通/(一部欠)/(表紙のみ)	63
字協議費割立帳 *紙背は明治32年御田扇祭役割帳に使用 志貴村大字宇頭	明治31年12月	堅紙・1通/(青色罫紙)/(帳外れ6枚)/(反故紙使用)	73
(小望村老人別田畑反別帳)	(明治)	半・1冊<15丁>/(前欠)/(綴紐一部欠)	50
(楽田村下舞台老人別田畑反別帳)	(明治)	半・1冊<15丁>/(前欠・後欠)/(帳外れ・綴紐欠)	53
(明治用水関係地目変換・開墾地地価査定帳、字宇頭) 明治用水年期地々主同盟会	大正12年5月	半・1冊<4丁>/(「明治用水年期地々主同盟会」罫紙)/(活版)	68
(総計金201円50銭勘定書) 中郷村大字小望信徒惣代平岩五郎兵衛・同村大字同信徒惣代原田豊助・中郷村大字葉子檀家惣代平岩半三		堅切紙・1通/(青色罫紙)/(前欠・後欠)	62
(愛知県碧海郡宇頭村薬師堂明細書) 古薬師堂看主杉本妙光・教会衆惣代神谷竹四郎・谷川菊蔵外1名		半・1冊<2丁墨>/(青色罫紙)	56
(碧海郡宇頭村内道法)		半・1冊<4丁>/(青色罫紙)	69
記(水カン等保証書) 名古屋古渡町小沢鉄二郎(印)→宇頭村井ノ上太吉様・神谷藤十様		堅紙・1通/(青色罫紙)	170
移転地変更願(愛知県三河国碧海郡中郷村大字小望真宗高田派寶乗寺、下書、白紙2枚付)		堅紙・1通/(青色罫紙)/(No.58~68まで折込一括)	58
本堂新築請負追約定証券(宝乗寺本堂、下書力) →碧海郡中郷村大字小望宝乗寺世話方御中		堅切紙・1通/(青色罫紙)	60

## 6.2.増徴地租小票

(地積一筆限増徴地租小票一括 近藤林分、字長者屋敷内宅地他)	(明治18年他)	小紙・2点一括	2-1
(地積一筆限増徴地租小票綴 稲垣とき分、字瓢箪の畑地他)	(明治19年7月他)	小紙・7点一綴	2-2
(地積一筆限増徴地租小票綴 柴田藤治郎分、字東名古屋の田地他)	(明治31年)	小紙・13点一綴	2-3
(地積一筆限増徴地租小票綴 井口達治郎分、字井上の田地他)	(明治31年)	小紙・20点一綴/(綴紐脱)	2-4
(地積一筆限増徴地租小票綴 足立新吉分、字新畑の畑地他)	(明治31年)	小紙・10点一綴	2-5
(地積一筆限増徴地租小票綴 神谷増右衛門分、字長者敷の山林他)	(明治31年)	小紙・37点一綴	2-6
(地積一筆限増徴地租小票一括 神谷増右衛門分、字狐田の他)	(明治31年)	小紙・86点一綴/(綴紐脱)/(本来は紙縫一括)	2-7
(地積一筆限増徴地租小票一括 永井徳治郎分、字向山の他)	(明治31年)	小紙・205点一括	2-8
(地積一筆限増徴地租小票綴 井上小右エ門分、字青木の他)	(明治31年)	小紙・15点一括/(綴紐脱)	2-9

(地積一筆限増徴地租小票一括 神谷栄吉分、字池下の他)	(明治31年)	小紙・15点一括	2-10
(地積一筆限増徴地租小票綴 石原かね分、字北裏の他)	(明治31年)	小紙・9点一括	2-11
(地積一筆限増徴地租小票綴 谷川栄蔵分、字唐桶の田地他)	(明治31年)	小紙・7点一括	2-12
(地積一筆限増徴地租小票一括 足立新吉鯛治郎・石原菊蔵分、字東山の林地他)	(明治31年)	小紙・15点一括	2-13
(地積一筆限増徴地租小票綴 井上龍三郎分、字山神の畑地他)	(明治31年)	小紙・3点一綴	2-14
(地積一筆限増徴地租小票一括 井上元右エ門分、字出口の宅地他)	(明治31年)	小紙・5点一括	2-15
(地積一筆限増徴地租小票綴 水越菊四郎分、字池下の田地他)	(明治31年)	小紙・27点一綴/(綴紐脱)	2-16
(地積一筆限増徴地租小票綴 永井浅次郎分、字池下の田地他)	(明治31年)	小紙・9点一綴	2-17
(地積一筆限増徴地租小票綴 神谷竹四郎分、字池下の田地他)	(明治31年)	小紙・35点一綴	2-18
(地積一筆限増徴地租小票綴 長坂たか分、字北裏の藪地他)	(明治31年)	小紙・11点一綴/(一部下部欠損)	2-19
(地積一筆限増徴地租小票綴 宇北家下の田地他)	(明治31年)	小紙・9点一綴/(下部欠損)	2-20
(地積一筆限増徴地租小票綴 中根松弘分、字新畑の田地他)	(明治31年)	小紙・11点一括	2-21
(地積一筆限増徴地租小票 井上清右エ門分、字出口の宅地)	(明治31年)	小紙・1枚/(綴紐付)	2-22
(地積一筆限増徴地租小票綴 井上元右エ門分、字黒田の田地)	(明治31年)	小紙・17点一括	2-23
(地積一筆限増徴地租小票一括 足立与吉分、字山ノ神の畑地他)	(明治31年)	小紙・73点一括	2-24
(地積一筆限増徴地租小票綴 神谷関治郎分、字瓢丹の畑地他)	(明治31年)	小紙・33点一綴	2-25
(地積一筆限増徴地租小票綴 永井徳治郎分、字荒子の畑地他)	(明治31年)	小紙・13点一綴/(一部上部欠損)	2-26
(地積一筆限増徴地租小票綴 永井徳治郎分他、字瓢丹の畑地他)	(明治31年)	小紙・13点一綴	191
(地積一筆限増徴地租小票綴 石原教五郎分他、字北家下の田地他)	(明治31年)	小紙・23点一綴	192

### 6.3.諸記録

おほへ(惣代1貫464文受取書) (志水杉出町)八屋喜蔵 →菅生様御屋敷	5月8日	小切紙・1通	168
(吉野藤四郎他田畑屋敷面積・地価書上)		横長半・1冊<2丁>/ (前欠・後欠)/(帳外れ)	120
記(預金差引勘定) 伊藤等次郎殿		横折紙・1通	152



## 史料目録 第92集

### 愛知県下諸家文書目録（その1）

印刷発行 平成23年3月31日  
発行者 人間文化研究機構 国文学研究資料館  
編集 調査収集事業部  
〒190-0014  
東京都立川市緑町10-3  
電話 050-5533-2900(代)  
印刷所 野崎印刷紙器株式会社

© 人間文化研究機構 禁無断複写

（本目録は国文学研究資料館史料館の『史料館所蔵史料目録』（第78集まで発行）を継続しています。

（本文用紙は中性紙を使用）

ISBN978-4-87592-154-7